平成 25（2013）年度

「授業評価アンケート」報告書

平成 26（2014）年 7 月

学習院大学

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会

は　じ　め　に

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員長　眞野　泰

本学において、履修学生による「授業評価アンケート」が全学的に統一されたフォーマットで実施されるようになって、本年で８年目となる。実施そのものに関しては、教職員への周知徹底と学生の協力のお蔭で、ほぼ 100%に近い実施率となっている。

学生数から見て中規模クラスの本学では､履修者数が 30－40 人程度の授業が非常に多い。このため伝統的に教員と学生との距離が近いという強みがあり、日常の教員と学生とのコミュニケーションをもとに、これまでも各教授会や各学科の会議、各学部が新たに設けた FD 懇談会などにおいて授業改善のための議論が積み重ねられてきた。「授業評価アンケート」は、これまでの授業改善活動に、学生側からの新たな情報を加えるものとして位置づけられる。今回の報告書を見ると、授業の総合的な評価を問う項目では、学生側からの評価が高いことがわかる。これは、教員側が「授業評価アンケート」を活用して授業の改善を続けている成果と捉えることができる。

そもそもファカルティ・ディベロップメントは、米国の大学で導入されたものであるが、日本では米国における趣旨と方法をそのまま踏襲して実施されているわけではない。このため、各大学によってファカルティ・ディベロップメントの方法は様々であり、現在でも各大学において改善のための検討が継続しているといった状況である。また「授業評価アンケート」は、授業改善のための一手段であり、アンケートの情報だけで、大学の授業全般を評価することはできない。特に少人数の授業では「授業評価アンケート」とは異なった方法で授業の評価と改善が行われる必要がある。この点に関し本学では、従来から各教員が授業形態に応じた教育の工夫を続けてきたところであるが、それを教員固有の創意工夫として留めるのではなく、大学全体の共有財産として認識するために、新しい「授業への取り組み例」を報告書に掲載する。

授業形態や授業方法は、それ自体自己完結的なものではなく、新たな IT 環境や社会環境の変化によって絶えず変化していくものである。その意味で授業改善は、終わりのない作業である。本学の伝統である教員と学生の緊密なコミュニケーションに加えて、「授業評価アンケート」の結果や「授業への取り組み例」を参考にすることによって、今後も授業担当者である個々の教員のレベル、各学部学科やセンターごとのレベル、そして全学的なレベルで、授業改善への努力を続けていきたい。

平成 26（2014）年 7 月

目　次

はじめに

第１章　授業評価アンケート実施の概要 ･････････････････････････････ 1
　I.　実施の経緯 ･･･ 2
　II.　実施の方法 ･･･ 3
　III.　実施に関わる全体的な状況と評価 ･････････････････････････ 5
　IV.　今後の授業評価、ＦＤ活動に向けて ･････････････････････････ 12

第２章　各部門の分析・評価 ･････････････････････････････････････ 13
　「授業評価アンケート」結果の経年比較（全学的な傾向分析） ･････････ 15
　I.　法学部 ･･･ 17
　II.　経済学部 ･･･ 23
　III.　文学部 ･･･ 29
　IV.　理学部 ･･･ 41
　V.　計算機センター ･･･ 49
　VI.　外国語教育研究センター ･････････････････････････････････ 56
　VII.　スポーツ・健康科学センター ･････････････････････････････ 65
　VIII.　基礎教養科目運営委員会 ･････････････････････････････････ 71
　IX.　教職課程 ･･･ 79
　X.　学芸員課程委員会 ･･･ 86

第３章　授業への取り組み例 ･････････････････････････････････････ 93

第４章　資料集（質問項目別基礎データクロス表） ･････････････････････113

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員一覧 ･････････････････143

第１章

授業評価アンケート実施の概要

I.　実施の経緯

ファカルティ・ディベロップメント（以下ＦＤ）が本学において意識されるようになったのは、平成 15（2003）年８月の各学部・センターの有志の教員 14 名からなる「ＦＤ勉強会」の組織からである。そこでは、ＦＤの定義についての確認、ＦＤに関する他大学の状況説明等があり、これらにつき意見交換がなされた。また、学部・学科、センターにおけるＦＤへの取り組み状況が紹介、説明され、また、経済学部、法学部・法学科、スポーツ健康科学センターおよび外国語教育研究センターが実施（あるいは予定）していた、学生による授業評価アンケートについての報告もあった。その後「ＦＤ勉強会」は「ＦＤ研究プロジェクト」と名称を変え、ＦＤをめぐる様々な事項について意見交換がなされ、とりわけ授業評価アンケートやＦＤを推進してゆくための組織について集中的に討議された。その結果、「ファカルティ・ディベロップメント準備委員会」を経て、学長補佐を委員長とする「学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会」（以下、「ＦＤ推進委員会」）が発足、平成 16（2004）年７月、第１回の委員会が開催された。委員会規程によれば、本学におけるＦＤとは「授業に関する技量及び教育効果を高めるための組織的かつ継続的な取り組みを行うこと等を通して教育の内容及び方法の改善を図ること」であるとされ、委員会では、そのために全学の取り組むべき活動として、学生による授業評価アンケートの実施を緊急かつ最優先に議論することとなった。授業評価の主たる目的は個々の授業の改善にあるが、同時に様々なＦＤ活動への情報提供という意味をも持ち、また学生や社会に対する説明責任を果たすための活動としても位置づけられている。

その後、ＦＤ推進委員会で、アンケートの質問形式と質問項目、アンケート対象科目、実施スケジュールと方法等について集中的に議論を進め、その結果を「授業評価アンケートの実施に関するガイドライン」としてまとめた。一方、授業評価アンケートの結果は個々の授業担当者に関する個人情報であると考えられることから、「学習院個人情報保護規程」の趣旨をふまえた「授業評価アンケートにおける個人情報の取扱いに関するガイドライン」がまとめられた。これらふたつのガイドラインにそって、教務部（現学生センター教務課）の協力のもとに実務に関する細部の調整が行われ、平成 18（2006）年度、全学にわたる授業評価アンケートが初めて実施された。

Ⅱ．実施の方法

第１学期は６月下旬から７月上旬、第２学期は 12 月の所定の期間中（各２週間）に、無記名のアンケートにより実施した。実施にあたっては、学生センター教務課により実施本部が設置され、各教員が授業前に実施本部でアンケート票一式を受け取り、アンケート終了後、回収用の封筒に封入された記入済みアンケート票その他を実施本部に提出することになっている。

アンケート実施対象科目は以下のとおりであり、学部学生が履修することのできるほぼ全ての科目が該当する。

第１学期： 第１学期科目および通年科目のうち学期単位で担当者が変わる科目

第２学期： 第２学期科目および通年科目

注 1.集中講義については、通常の期間ではなく開講期間中に実施。

2.大学院・専門職大学院の科目は対象外だが、学部・大学院共通の科目は実施。

3.総履修者数が５名以下の科目は対象外。

4.回答者数が５名以下の科目は、その回答データを担当教員個人へフィードバックしない。このデータは保存するが、各種集計データには含めない。

なお、集計結果分析に資するため、アンケート実施上の授業形態として、授業科目を「講義」「演習」「語学」に分類した。それぞれの授業開設部門の持つ授業形態は下表のとおりである。

部門	形態	
法学部	講義	演習
経済学部	講義	演習
文学部	講義	演習
理学部	講義	演習
計算機センター	講義	
外国語教育研究センター	語学	
スポーツ・健康科学センター	演習	
基礎教養科目運営委員会	講義	演習
教職課程	講義	演習
学芸員課程委員会	講義	演習

質問項目については、５段階の評価方式とし、学生全員が回答すべき基本的な１１項目の他、授業形態等によって追加的な項目を加えた。自由記述方式の回答を求める質問についても検討されたが、全学の授業評価には馴染まないこと等から、採用しないこととした。

実際に使用されたアンケート票のイメージを次ページに掲載する。

平成25(2013)年度　学習院大学　授業評価アンケート

このアンケートは、学習院大学の授業を改善し、さらに充実させることを目的に行われます。
回答の内容があなたの成績評価に影響することは一切ありません。
率直かつ責任ある回答をお願いします。

学習院大学

1 この授業の「時間割コード」「授業形態」とあなたの所属する「学科コード」「学年」「性別」を記入・マークしてください。

【注意事項】 ・良いマーク　悪いマーク

・必要事項を記入の上、マーク欄に正しくマークしてください。
・記入・マークには、必ず鉛筆・シャープペンシルを使用してください。
・誤りは消しゴムで完全に消してください。
・指定以外のところには書き込まないでください。
・記入ミス・マークミスがあった場合、その回答は無効となります。
・このアンケート用紙を折り曲げたり汚したりしないでください。
・所属する「学科コード」とは、本学が付与している学籍番号 □□-□□□-□□□ にある □ の3桁の数字です。
(例) 09-011-999の場合「011」
09-095-999の場合「095」
・本学の学籍番号が付与されていない学生(i-Campus生・大学院交流学生)は、学科コードを「000」、学年を「0」と記入・マークしてください。

時間割コード	授業形態	学科コード	学年	性別
	講義 ①		年	男 ①
	演習 ②			女 ②
	語学 ③			

【回答の基準】
5:強くそう思う　4:そう思う　3:どちらとも言えない
2:あまりそう思わない　1:全くそう思わない

2 以下の質問項目について、回答を回答欄にマークしてください。

	回答欄					
●1～11は「全員」回答してください。						
1 私はこの授業によく出席している ⑤:出席率90%以上　④:出席率80～89%　③:出席率70～79%　②:出席率60～69%　①:出席率49%以下	⑤	④	③	②	①	
2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	⑤	④	③	②	①	
3 この授業のレベルは適切である	⑤	④	③	②	①	
4 この授業を進める速さは適切である	⑤	④	③	②	①	
5 授業に対する教員の熱意が感じられる	⑤	④	③	②	①	
6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている	⑤	④	③	②	①	
7 教員は理解しやすい授業を行っている	⑤	④	③	②	①	
8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	⑤	④	③	②	①	
9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	⑤	④	③	②	①	
10 この授業のシラバスは受講に役立った(シラバスを読まなかった人は「0」をマークしてください)	⑤	④	③	②	①	⓪
11 総合的に見てこの授業は高く評価できる	⑤	④	③	②	①	
●12・13は「授業形態」が「講義」「語学」の科目の場合のみ回答してください。						
12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	⑤	④	③	②	①	
13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	⑤	④	③	②	①	
●14・15は「授業形態」が「演習」「語学」の科目の場合のみ回答してください。						
14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	⑤	④	③	②	①	
15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	⑤	④	③	②	①	
●16・17は「授業形態」が「語学」の科目の場合のみ回答してください。						
16 1回1回の授業のねらいが明確である	⑤	④	③	②	①	
17 教員は授業時間を有効に活用している	⑤	④	③	②	①	
●18・19は「開設部門」が「基礎教養科目運営委員会」の科目の場合のみ回答してください。						
18 授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった	⑤	④	③	②	①	
19 授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった(複数講師による授業の場合のみ回答)	⑤	④	③	②	①	
●20・21は「開設部門」が「経済学部共通」「経済学科」「経営学科」の科目の場合のみ回答してください。						
20 私は授業に遅刻したことがない	⑤	④	③	②	①	
21 高校で履修した数学科目 ④:数Ⅰ・数Ⅱを履修した　③:数Ⅰ・数Ⅲのみ履修した　②:数Ⅰのみ履修した　①:いずれにも該当しない(例:留学生)		④	③	②	①	
●22～29は「開設部門」が「スポーツ・健康科学センター」の科目の場合のみ回答してください。						
22 運動量は　⑤:十分であった　④:おおむね十分であった　③:どちらとも言えない　②:やや不足していた　①:不十分であった	⑤	④	③	②	①	
23 体力・健康状態が改善された	⑤	④	③	②	①	
24 運動技術が向上した	⑤	④	③	②	①	
25 履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた	⑤	④	③	②	①	
26 身体や運動に対する関心が高まった	⑤	④	③	②	①	
27 自分の身体の健康、体力の再確認ができた	⑤	④	③	②	①	
28 自分の生活習慣を見直す機会となった	⑤	④	③	②	①	
29 施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた	⑤	④	③	②	①	

SS7848 1012

ご協力ありがとうございました。

Ⅲ．実施に関わる全体的な状況と評価

上述の通り、授業評価アンケートは、総履修者数５名以下という例外を除けば、学部生が履修可能なほぼ全科目を対象科目として行われたことになる。対象科目数 2,069、実施科目数 2,055、実施率 99.32%となり、実施率としては非常に高い数値となった。これに対して学生の回答率（＝回答者数／総履修者数）は 52.71%にとどまった。回答率が毎年 50%前後となってしまう主要な原因は、学年はじめの履修登録者数を総履修者数とみなしているためである。法学部・経済学部の講義科目では、相当数の学生が履修を中断したり、期末試験を棄権したりするが、その総数を事前に把握するのは困難である。そのため、履修登録者数の多い授業ほど、回答率は低くなる傾向がある。

初回（平成 18（2006）年度）のアンケート実施後、いくつかの問題点が発見された。まず、アンケート実施上の授業形態についての確認が完全ではなく、また実施段階での変更等もあり多少の混乱が生じた。総履修者数５名以下の科目について、アンケートの信頼性への疑問や教員へのフィードバックに対する様々な懸念があらためて指摘された。これらの問題は第２回（平成 19（2007）年度）以降改善された。また、質問項目のうち、「Q3 授業のレベル」、「Q4 授業を進める速さ」を問う項目について、最良の評価が３となる質問形式が５段階評価にそぐわず、結果集計の際にもデータに重みを付けるなど多少複雑な処理が必要であった。この問題については、平成 20(2008)年度実施時から他の質問項目同様に最良の評価が５になるように質問形式を変更している。

平成 26（2014）年３月、教員へのフィードバックとして、個々の授業についてのアンケート結果を担当教員に送付した。同年４月には速報版を Web ページに公開し、授業開設部門別、授業形態別に、各設問（主な 11 設問＋α）に対する平均・標準偏差の表、およびそれらをグラフ化した「基礎集計結果」を掲載した。また、「実施概要」および「授業満足度にみる集計結果」もあわせて公開した。また、これらに加え、部門別、形態別、学年別、総履修者数別の集計をとった「基礎データクロス表」、およびアンケートの問に対する相関係数を部門別・形態別にまとめた「相関係数表」を作成した。さらに、「授業への取り組み例」も、情報を追加・更新する形で今年度も作成した。

「相関係数表」は「基礎集計結果」とともに第２章の各部門の頁末に、「授業への取り組み例」は第３章に、「基礎データクロス表」は第４章に掲載する。また、前回に引き続き、経年変化比較表（5 年間）を部門別・形態別に作成し、第２章の各部門の頁末に掲載する。次章における各部門の分析・評価の概要はこれらのデータをもとに行われたものである。以下に Web ページに公開された「実施概要」および「授業満足度にみる集計結果」を転記する。

１．実施概要

第８回目の実施となった平成２５（２０１３）年度のアンケートについては、第１学期は７月２日から７月１５日まで、第２学期は１２月１０日から１２月２３日のそれぞれ２週間に、学部生が履修することのできるほぼ全科目を対象として行われた。具体的には、対象科目数２，０６９、実施科目数２，０５５、実施率は９９．３２％（前年度比＋１．２８％）となり、実施率は前年度より上昇し非常に高い数値となった。また、実施科目における学生の回答率（＝回答者数／総履修者数）も５２．７１％（前年度比＋０．５９％）となり、こちらも前年度より上昇した。

部門別・形態別の実施率・回答率を以下の**図表1**に示す。

図表1　アンケート実施率および実施科目の回答率

			実施率			回答率		
			対象科目数	実施科目数	実施率	総履修者数	回答者数	回答率
部門別	計セ	講義	92	91	98.91%	4,995	3,753	75.14%
		合計	92	91	98.91%	4,995	3,753	75.14%
	外セ	語学	487	487	100.00%	12,454	9,754	78.32%
		合計	487	487	100.00%	12,454	9,754	78.32%
	スポ健	演習	106	106	100.00%	2,313	1,754	75.83%
		合計	106	106	100.00%	2,313	1,754	75.83%
	基礎教養	講義	85	85	100.00%	10,428	5,093	48.84%
		演習	1	1	100.00%	64	27	42.19%
		合計	86	86	100.00%	10,492	5,120	48.80%
	法学部	講義	139	138	99.28%	25,818	8,047	31.17%
		演習	103	103	100.00%	2,291	1,634	71.32%
		合計	242	241	99.59%	28,109	9,681	34.44%
	経済学部	講義	135	134	99.26%	24,165	7,414	30.68%
		演習	110	106	96.36%	1,828	1,513	82.77%
		合計	245	240	97.96%	25,993	8,927	34.34%
	文学部	講義	182	181	99.45%	12,483	7,794	62.44%
		演習	333	329	98.80%	8,137	6,221	76.45%
		合計	515	510	99.03%	20,620	14,015	67.97%
	理学部	講義	129	129	100.00%	8,798	5,201	59.12%
		演習	47	46	97.87%	2,564	1,867	72.82%
		合計	176	175	99.43%	11,362	7,068	62.21%
	教職課程	講義	35	35	100.00%	2,178	1,362	62.53%
		演習	54	53	98.15%	2,288	1,924	84.09%
		合計	89	88	98.88%	4,466	3,286	73.58%
	学芸員	講義	19	19	100.00%	1,119	866	77.39%
		演習	12	12	100.00%	146	123	84.25%
		合計	31	31	100.00%	1,265	989	78.18%
形態別	講義計		816	812	99.51%	89,984	39,530	43.93%
	演習計		766	756	98.69%	19,631	15,063	76.73%
	語学計		487	487	100.00%	12,454	9,754	78.32%
全科目			2069	2055	99.32%	122,069	64,347	52.71%

注1　総履修者数が5名以下の科目はアンケート実施対象外

注2　総履修者数が6名以上の科目でも、当日の回答者が5名以下の科目は含まれていない。

【図表1で使用している用語の定義】

「部門別」:学部やセンターといった授業の開設部門の単位で、10の部門にまとめている。「計算機センター」

「外国語教育研究センター」「スポーツ・健康科学センター」については、それぞれ「計セ」「外セ」「スポ健」という略称を用いている。なお、学部生が履修できる大学院科目については、それぞれ対応する学部を開設部門として集計している。

「形態別」：アンケート実施上の授業形態で、「講義」「演習」「語学」の3種類。

「実施率」：実施対象となった全科目に対する実施科目数の集計結果。

「回答率」：実際にアンケートを実施した全科目の総履修者数に対する集計結果。

次に、アンケートを実施した科目のうち、それぞれの総履修者数を１０段階にランク分けし、さらに「形態別」に分類した状況をまとめたものが**図表2**である。前年度とほぼ同様の傾向になっている。

図表2　形態別・総履修者数ランク

			総履修者数ランク					
			25名以下	26～50名	51～100名	101～150名	151～200名	201～250名
形態別	講義	科目数	89	124	318	111	47	24
		%	10.96%	15.27%	39.16%	13.67%	5.79%	2.96%
	演習	科目数	497	187	67	2	2	1
		%	65.74%	24.74%	8.86%	0.26%	0.26%	0.13%
	語学	科目数	234	253	0	0	0	0
		%	48.05%	51.95%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
合計		科目数	820	564	385	113	49	25
		%	39.90%	27.45%	18.73%	5.50%	2.38%	1.22%

			総履修者数ランク				
			251～300名	301～350名	351～400名	401名以上	合計
形態別	講義	科目数	27	35	21	16	812
		%	3.33%	4.31%	2.59%	1.97%	100.00%
	演習	科目数	0	0	0	0	756
		%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%
	語学	科目数	0	0	0	0	487
		%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%
合計		科目数	27	35	21	16	2,055
		%	1.31%	1.70%	1.02%	0.78%	100.00%

回答者の種別については**図表3**のとおり。前年度同様、回答者の約９２％が本学の学部生であること、また、学部生に限ると、１年生の回答者数が最も多く、学年が進むにしたがって回答者数が減少していることも前年度と同様の傾向である。

図表3　回答者の種別

	1年	2年	3年	4年	他大生他	無回答	合計
学部生	26,745	17,873	11,499	4,272	37	1,018	61,444
大学院生（博士前期課程）	302	129	10	5	11	20	477
大学院生（博士後期課程）	25	19	16	3	0	2	65
科目等履修生（学部）	29	59	91	27	37	27	270
科目等履修生（大学院）	0	0	0	0	11	4	15
他大学生（大学院生含む）	11	4	2	7	79	4	107
不明	738	372	307	167	21	364	1,969
合計	27,850	18,456	11,925	4,481	196	1,439	64,347

※一部、学生種別と学年との回答の関係としてふさわしくないものもあるが、そのまま掲載している。

２．授業満足度にみる集計結果

今回のアンケート結果については、全回答を単純に集計する「回答者ベース」と、科目単位で集計した「科目ベース」の２種類の集計を行っている。これは、「回答者ベース」による集計結果だけで分析すると、履修者数の多い科目の影響を強く受けてしまうことがあるためである。

以下では、質問項目１１の「総合的に見てこの授業は高く評価できる」という質問に対する回答結果に注目し、授業に対する満足度を「形態別」、「総履修者数ランク別」、質問項目１の回答による「出席率別」、「学部生の学年別」（以下、「学年別」）、という４つの視点から分析してみることにした。

・「形態別」による集計結果

「講義」「演習」「語学」という３種類の形態別に集計した結果が**図表4**である。前年度の結果と比較してみると、「演習」（－０．０２ポイント）、「語学」（同ポイント）、「講義」（＋０．０２ポイント）ともに昨年度とほぼ同じ数値であった。比較的少人数で教員と学生の距離が近く、学生の授業への参加度が高いと思われる「演習」に対する満足度に比べると、発表など学生の授業への直接参加が少ないと思われる「講義」、初習外国語の授業を含む「語学」に対する満足度がやや低いことが分かる。

図表4-1 「11　総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果（科目ベース）

図表 4-2 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果（科目ベース）
（過去 5 ヵ年）

・「総履修者数ランク別」による集計結果

「形態別」の集計結果にも関係していることだが、授業の規模によって満足度に差があることも考えらる。このため、アンケート実施科目の総履修者数を１０のランクに分けた上で集計した結果が**図表5**である。全体としては、前年度同様、総履修者数が少ない科目の方が満足度が高い傾向にあるが、履修者数が 400 名を越える科目についても、高い満足度が示されている。

図表5 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「総履修者数ランク別」集計結果
（科目ベース）

・「出席率別」による集計結果

授業への満足度は、出席率とどのような関係があるのだろうか。その集計結果が**図表6**である。前年度と比較すると、「４９％以下」（＋０．０２ポイント）、「６９～５０％」（同ポイント）、「７９～７０％」（－０．０１ポイント）、「８９～８０％」（同ポイント）、「９０％以上」（＋０．０２ポイント）であった。「出席率が高いのは、授業に対する満足度が高い証拠」ともいえるであろう。

図表6 「11　総合的に見てこの授業は高く評価できる」と「1　出席率」の集計結果（回答者ベース）

・「学年別」による集計結果

学年毎の満足度の差はあるのだろうか。これを確認するために、学部生に限定して「学年別」の分析を行った結果が**図表7**である。前年度と比較すると、「学部１年」（＋０．０２ポイント）、「学部２年」（－０．０２ポイント）、「学部３年」（－０．０１ポイント）、「学部４年」（＋０．０３ポイント）となった。前年同様、学年が進むにつれて満足度が高くなっていく様子がうかがえる。

図表7 「11　総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「学年別」集計結果（回答者ベース）

３．シラバスと受講科目選択との関係性

平成 22 年度の授業評価アンケートより「この授業のシラバスは受講に役立った」かどうかを問う設問を追加した。全体的な傾向としては、3 人に 1 人程度の割合でシラバスを読まずに受講していることが明らかになった。必修科目として指定されている授業ほどその傾向が強いようである。

また、シラバスを読んで受講した学生の反応としては、受講に役立っていると評価する傾向がやや強いようだが、「どちらとも言えない」との評価も少なくなかった。

Ⅳ．今後の授業評価、ＦＤ活動に向けて

８年目を迎えた授業評価アンケートは、過去７年間のアンケートの経験を踏まえ、極めて順調に実施することができた。ＦＤ推進委員会各委員、学長室経営企画課、学生センター教務課、教員、そして学生諸君の協力に心から感謝する。

これまでの授業評価アンケート実施にあたり、ＦＤ推進委員会では実施主体の組織化、関係各部の協力体制づくり、さらには教員と学生に対する啓蒙活動など多くの活動に取り組んできた。こうした基礎作業を着実に行ってきたため、今回の授業評価アンケートは大きな混乱もなく整然と実施することができたといえよう。ＦＤ推進委員会、経営企画課、教務課の間の連繋も順調であった。

このように、授業評価アンケートが順調に実施されつつある一方、ＦＤ活動全体としては、将来的な課題もまた無視することはできない。これまで、ＦＤ推進委員会の主要な活動が、授業評価アンケートの実施に傾いていたことは否めない。授業評価アンケートは、授業の基礎的な条件を満たしているかどうかを検討するには重要な資料であるが、この授業評価アンケートだけでは捉えきれない、各教員の工夫も多数あると考えられる。このため、できる限り各教員の授業での工夫を共有化するために実施している「授業への取り組み例の収集・整理」を今年度も引き続き報告書に掲載することにした。これまで限られた範囲で行われていた創意工夫を全教員にフィードバックすることで、より良い授業作りのための情報を共有化できれば幸いである。

現在、授業評価は教員にも学生にも確実に定着しつつある。その真の意義は、個々の教員の努力により具体的な授業改善に結びついてはじめて理解されるのであろう。個人の努力を大学全体で共有化でき、より良い授業作りのための改善が継続的に行われるシステムを構築することがＦＤ活動の次の課題である。今後は、ＦＤ推進委員会の中で、教員相互の授業見学なども検討するよう議論を進めたい。

第２章

各部門の分析・評価

この章では、各種集計結果に基づき行われた授業開設各部門の分析・評価の概要を掲載する。

分析に使用する主なデータとして、各質問項目に対する回答の平均・標準偏差を部門別・形態別にまとめた「基礎集計表」、「相関係数表」および「経年変化比較表」（ともに各部門の頁末に掲載）がある。「相関係数表」は、質問項目に対する回答の方向性の強弱を見ることができるもので、相関係数の絶対値が 1 に近いほど強い正負の相関を示し、0 に近いほど相関が弱いことを示す。また、部門別、形態別、学年別、総履修者数別に集計された「基礎データクロス表」（第 4 章に掲載）がある。

なお、本文中、各質問項目を Q1、Q2、…、Q29 として引用する（第 1 章 アンケート票参照）。

※例えば、「語学」科目であるにもかかわらず、「スポ健」科目に対する項目について回答されたといった、指定項目以外の回答については無効とし、それらを除外して集計している。

「授業評価アンケート」結果の経年比較（全学的な傾向について）

授業評価アンケートについて、昨年度に引き続き、部門別・形態別の「経年変化比較表」を作成し、５年間の数値の変化を確認した。

「科目ベース」の部門別・形態別平均で見た場合、いずれの授業形態も「問２　私は授業に意欲的に取り組んでいる」及び「問５　授業に対する教員の熱意が感じられる」の回答においては、この５年間で順調に数値が高まってきており、学生と教員との信頼関係がより良好な状態になってきていると言える。

また、「問１０　この授業のシラバスは受講の役立った」「問３　この授業のレベルは適切である」の回答においても、ほとんどの部門で数値改善の傾向が見られ、シラバスが授業内容を確認・把握する重要な判断基準として定着してきており、学生はシラバスを確認したうえで授業を選択し、その授業のレベルに満足するという関係が成り立ちつつある。一方で、シラバスを確認せずに履修登録を行う学生も少なからず存在することは分かっており、こうした学生に対してシラバスを読むように促す仕組み作りが必要であろう。

なお、「問１　私はこの授業によく出席している」については、部門・形態によって多少の差はあるものの、昨年に引き続き全体的に高い数値を示している。

以下の図表４－２「１１　総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果（科目ベース）に見られるように、「演習」、「語学」、「講義」とも、学生の満足度は年々上昇してきている。「演習」、「語学」の満足度は、昨年に引き続き高い数値を保ち、これまで満足度の数値が比較的低かった「講義」についても、昨年から 0.02 ポイント数値が上昇し、過去最高を記録した。これは FD 活動に取り組む教員にとって喜ばしい結果であり、今後の授業改善に向け励みになると思われるが、「演習」、「語学」、「講義」ともに数値の上昇は鈍化傾向にあり、今後さらに学生満足度を高めていくためには、FD 活動の抜本的な改善策の検討が必要になるであろう。

図表 4-2　「11　総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果（科目ベース）

【部門別・形態別比較】（対象期間：平成21年度～平成25年度）

※比較対象設問は、「全員回答」である設問番号1～11とする。

平成21年度は1～10の平均、平成22年度から1～11の平均とする

		平成25(2013)年度						平成24(2012)年度						平成23(2011)年度						平成22(2010)年度						平成21(2009)年度					
		実施率	回答率	回答者ベース		科目ベース		実施率	回答率	回答者ベース		科目ベース		実施率	回答率	回答者ベース		科目ベース		実施率	回答率	回答者ベース		科目ベース		実施率	回答率	回答者ベース		科目ベース	
				平均点	標準偏差	平均点	標準偏差			平均点	標準偏差	平均点	標準偏差			平均点	標準偏差	平均点	標準偏差			平均点	標準偏差	平均点	標準偏差			平均点	標準偏差	平均点	標準偏差
計セ	講義	98.91%	75.14%	3.86	1.075	3.88	0.495	100.00%	75.34%	3.79	1.113	3.81	0.536	100.00%	73.71%	3.74	1.117	3.80	0.550	100.00%	72.50%	3.68	1.124	3.71	0.520	100.00%	73.34%	3.76	1.098	3.79	0.522
外セ	語学	100.00%	78.32%	4.22	0.879	4.23	0.401	99.59%	78.12%	4.21	0.882	4.23	0.403	98.97%	78.40%	4.18	0.909	4.20	0.437	99.79%	76.25%	4.16	0.914	4.18	0.440	98.93%	75.74%	4.15	0.928	4.16	0.460
スポ健	演習	100.00%	75.83%	4.55	0.722	4.59	0.311	97.98%	75.84%	4.52	0.742	4.57	0.311	100.00%	71.38%	4.50	0.766	4.55	0.345	100.00%	71.18%	4.51	0.771	4.55	0.354	98.10%	71.42%	4.54	0.729	4.56	0.316
基礎教養	講義	100.00%	48.84%	4.12	0.912	4.13	0.411	98.77%	50.09%	4.09	0.932	4.10	0.397	100.00%	44.72%	4.06	0.930	4.09	0.405	100.00%	41.65%	4.10	0.939	4.11	0.421	100.00%	38.71%	4.04	0.973	4.06	0.461
	演習	100.00%	42.19%	3.89	1.012	3.89	-	100.00%	54.22%	3.89	0.950	3.89	-	100.00%	54.65%	3.78	1.059	3.78	-	100.00%	58.00%	4.13	0.957	4.13	-	100.00%	32.93%	3.83	1.151	3.83	-
	計	100.00%	48.80%	4.11	0.912	4.13	0.410	98.78%	50.12%	4.09	0.933	4.10	0.397	100.00%	44.79%	4.06	0.931	4.09	0.407	100.00%	41.72%	4.10	0.939	4.11	0.419	100.00%	38.67%	4.04	0.974	4.05	0.461
法学部	講義	99.28%	31.17%	3.96	1.002	4.04	0.452	99.29%	29.54%	3.93	1.006	4.03	0.413	99.33%	31.31%	3.94	1.019	3.98	0.492	100.00%	33.86%	3.93	1.030	3.99	0.501	98.61%	32.72%	3.94	1.037	3.97	0.496
	演習	100.00%	71.32%	4.48	0.757	4.51	0.352	96.30%	70.93%	4.48	0.753	4.50	0.379	100.00%	71.08%	4.38	0.852	4.50	0.409	99.04%	75.15%	4.28	0.912	4.37	0.474	100.00%	74.13%	4.30	0.878	4.38	0.417
	計	99.59%	34.44%	4.05	0.985	4.24	0.473	97.99%	32.61%	4.02	0.990	4.23	0.460	99.60%	34.21%	4.01	1.008	4.19	0.524	99.60%	36.76%	3.98	1.022	4.15	0.525	99.15%	35.38%	3.99	1.025	4.13	0.508
経済学部	講義	99.26%	30.68%	3.97	1.036	4.02	0.485	97.97%	32.78%	3.98	1.044	4.09	0.488	96.73%	32.99%	3.96	1.049	4.12	0.505	98.73%	29.25%	3.94	1.022	4.10	0.493	99.30%	32.48%	3.91	1.063	4.00	0.520
	演習	96.36%	82.77%	4.57	0.694	4.56	0.360	91.89%	82.83%	4.58	0.688	4.57	0.358	96.52%	83.14%	4.56	0.708	4.56	0.362	95.87%	73.09%	4.49	0.759	4.51	0.389	94.17%	84.24%	4.55	0.706	4.55	0.352
	計	97.96%	34.34%	4.07	1.012	4.26	0.509	95.37%	36.05%	4.07	1.022	4.29	0.498	96.64%	36.75%	4.06	1.024	4.31	0.499	97.49%	33.23%	4.05	1.000	4.27	0.496	96.96%	36.59%	4.03	1.037	4.25	0.530
文学部	講義	99.45%	62.44%	4.09	0.932	4.19	0.427	98.15%	60.32%	4.06	0.947	4.15	0.450	98.20%	60.80%	4.08	0.925	4.15	0.413	98.69%	55.41%	4.05	0.951	4.13	0.439	97.59%	56.62%	4.03	0.944	4.10	0.416
	演習	98.80%	76.45%	4.36	0.800	4.38	0.379	96.96%	76.93%	4.37	0.802	4.40	0.368	98.48%	77.88%	4.34	0.814	4.37	0.378	98.18%	76.19%	4.31	0.825	4.33	0.400	95.08%	74.57%	4.32	0.811	4.34	0.383
	計	99.03%	67.97%	4.21	0.886	4.31	0.407	97.35%	67.00%	4.20	0.896	4.32	0.415	98.38%	67.32%	4.20	0.887	4.29	0.402	98.34%	63.99%	4.18	0.901	4.27	0.423	95.93%	63.80%	4.17	0.896	4.26	0.411
理学部	講義	100.00%	59.12%	3.93	1.049	3.94	0.517	98.52%	54.60%	3.87	1.056	3.91	0.556	97.81%	54.53%	3.82	1.080	3.89	0.547	100.00%	52.34%	3.79	1.086	3.84	0.528	99.12%	52.99%	3.69	1.125	3.74	0.568
	演習	97.87%	72.82%	4.24	0.919	4.20	0.455	95.24%	65.82%	4.16	0.921	4.11	0.452	97.62%	64.75%	4.02	1.002	3.98	0.470	100.00%	55.30%	4.02	1.006	3.96	0.487	100.00%	65.48%	3.94	1.047	3.88	0.519
	計	99.43%	62.21%	4.01	1.025	4.01	0.513	97.74%	56.99%	3.94	1.032	3.96	0.540	97.77%	56.70%	3.87	1.065	3.91	0.531	100.00%	52.99%	3.84	1.073	3.87	0.522	99.33%	55.91%	3.76	1.110	3.77	0.560
教職課程	講義	100.00%	62.53%	4.16	0.924	4.27	0.406	100.00%	67.42%	4.20	0.870	4.21	0.349	100.00%	65.88%	4.13	0.913	4.19	0.380	100.00%	64.17%	4.14	0.919	4.14	0.363	100.00%	65.54%	4.18	0.917	4.18	0.409
	演習	98.15%	84.09%	4.40	0.846	4.42	0.346	100.00%	80.84%	4.49	0.770	4.51	0.309	100.00%	80.56%	4.42	0.821	4.44	0.349	100.00%	78.94%	4.31	0.919	4.34	0.399	100.00%	80.72%	4.43	0.836	4.40	0.398
	計	98.88%	73.58%	4.30	0.888	4.36	0.378	100.00%	74.00%	4.36	0.830	4.40	0.354	100.00%	72.91%	4.28	0.877	4.35	0.382	100.00%	72.03%	4.24	0.923	4.27	0.398	100.00%	71.55%	4.29	0.891	4.30	0.417
学芸員	講義	100.00%	77.39%	4.18	0.828	4.21	0.306	100.00%	74.21%	4.09	0.861	4.12	0.341	100.00%	70.31%	4.15	0.906	4.17	0.416	100.00%	69.26%	4.25	0.842	4.23	0.383	100.00%	68.80%	4.20	0.872	4.28	0.378
	演習	100.00%	84.25%	4.71	0.565	4.69	0.309	90.00%	83.84%	4.62	0.597	4.62	0.277	100.00%	82.76%	4.59	0.679	4.57	0.355	100.00%	83.02%	4.61	0.641	4.61	0.311	100.00%	80.24%	4.56	0.650	4.55	0.280
	計	100.00%	78.18%	4.25	0.818	4.39	0.382	96.15%	75.00%	4.14	0.855	4.30	0.395	100.00%	72.47%	4.24	0.883	4.38	0.431	100.00%	72.23%	4.34	0.812	4.46	0.387	100.00%	70.37%	4.26	0.851	4.42	0.357
合計		99.32%	52.71%	4.13	0.952	4.24	0.457	98.04%	52.12%	4.11	0.962	4.24	0.464	98.68%	51.82%	4.09	0.976	4.21	0.482	99.16%	50.08%	4.07	0.983	4.19	0.488	98.07%	50.33%	4.06	0.992	4.17	0.499

Ⅰ．法　学　部

１．集計データからわかること

法学部のアンケート結果は、今年度もほぼ例年どおりであった。総合的な満足度（質問11）の平均値は、講義科目が 3.99 / 4.08（スラッシュの前後はそれぞれ、学生回答単純平均、部門別形態別平均。以下同じ）、演習科目が 4.57 / 4.61 であり、2012 年度ないしそれ以前と較べて、ほとんど変化がない。個別の項目についても、授業のレベル（質問３）に関する平均値は講義科目が 3.87 / 3.91、演習科目が 4.30 / 4.34、授業の進度（質問４）は講義科目が 3.89 / 3.98、演習科目が 4.42 / 4.46、教員の熱意（質問５）は講義科目が 4.14 / 4.22、演習科目が 4.57 / 4.60、理解しやすさ（質問７）は講義科目が 3.92 / 4.00、演習科目が 4.51 / 4.56、そして教員の話し方（質問８）は講義科目が 3.92 / 4.03、演習科目が 4.56 / 4.60 であり、過去数年とほとんど変わらない。いずれも標準偏差の大きさを考えれば、過去の値との違いは、文字通り誤差の範囲内のことである。

次に、質問項目相互間の相関関係について、0.6 より高いかどうかを基準に検討してみよう。まず重要なのは、理解しやすさ（質問７）が（質問１と１０を除く）全ての項目と高い相関を持つことである。ある意味当たり前のことではあるが、理解しやすい授業を行っていることが、他の評価の土台にもなっているということである。その他にも、授業のレベルが適切であること（質問３）、授業を進める速さが適切であること（質問４）、話し方のスピードや聞き取りやすさが適切であること（質問８）も、多くの質問項目と高い相関を持っている。

逆に、学生が授業によく出席していること（質問１）やシラバスが受講に役立つこと（質問１０）は、いずれの質問項目とも（統計的に有意ではあるが）それほど高い相関を持たないことも注意を引く（1 番高い値ですらそれぞれ 0.384 と 0.329 である）。但し前者について言えば、そもそも授業にあまり出席していない学生は、このアンケートにも回答しない傾向にあるというセレクション・バイアスが働くので、解釈にあたっては留意が必要である。

この他、教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう教員が心がけていること（質問６）や授業に対する教員の熱意（質問５）も、ほとんどの質問項目とあまり高い相関を持っていない。

相関係数が高くない質問事項だからといって重要でないということにはもちろんならないが、他の評価とは区別された独自の基準を持っているということであろう。

２．今後の授業改善に向けて

データの分析（前述１.）にも記述した通り、理解しやすい授業を行うことをはじめとして、授業のレベル・進める速さ・話し方のスピード・聞き取りやすさが適切であることが、総合的な満足度に結び付くと考えられる。但し、これらの適切さを尋ねた質問（３、４、８）に対して「そう思わない」と回答した学生が、レベル・速さ・スピードを上げて欲しいと望んでいるのか、下げて欲しいと望んでいるのかは分からない。いずれにせよ、法学科・政治学科のそれぞれにおいて、教員間の意思疎通を図りつつ、学生にとって有益かつ有効な教育を提供すること、すなわち学生に最もふさわしい教育体系を不断に検証することが必要とされよう。

学習院大学　平成25(2013)年度　授業評価アンケート　集計結果

部門名　法学部

形態名　講義

	合計	総履修者数	回収率
回収数	8,047	25,818	31.17%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業によく理解している 5:理解平均80%以上　4:理解平均60%～80% 3:理解平均40%～60%　2:理解平均20%～40% 1:理解平均20%以下	3,448	1,422	768	273	176	21	8,047	4.08	0.943	4.03	0.258
			42.85%	17.68%	9.77%	3.42%	2.19%	0.26%	100.00%				
	2	私はこの授業に積極的に取り組んでいる (事前の予習や復習等を含む)	1,838	2,728	2,651	892	247	29	8,047	3.81	1.004	3.87	0.268
			22.84%	33.92%	32.95%	11.09%	3.07%	0.36%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	2,327	3,952	1,928	673	164	48	8,047	3.87	0.989	3.91	0.441
			28.92%	49.11%	23.96%	8.36%	2.04%	0.60%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	2,463	3,028	1,811	547	182	36	8,047	3.89	0.987	3.98	0.417
			30.60%	37.63%	22.50%	6.80%	2.26%	0.45%	100.00%				
	5	授業に対する教員の情熱が感じられる	3,313	3,011	1,222	234	118	33	8,047	4.14	0.999	4.22	0.268
			41.18%	37.42%	15.19%	2.91%	1.47%	0.41%	100.00%				
	6	教員は受講者が学習しやすい雰囲気を作れるよう心がけている	3,024	2,878	1,889	378	132	36	8,047	4.03	0.938	4.13	0.287
			37.58%	35.76%	23.48%	4.70%	1.64%	0.45%	100.00%				
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	2,763	2,813	1,822	344	248	33	8,047	3.92	1.042	4.00	0.268
			34.34%	34.95%	22.64%	4.28%	3.08%	0.41%	100.00%				
	8	教員の話し方(ペース、聞き取りやすさ)は適切である	2,822	2,777	1,263	378	228	35	8,047	3.92	1.040	4.03	0.403
			35.08%	34.51%	15.70%	4.70%	2.83%	0.43%	100.00%				
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	2,668	2,652	1,809	622	193	33	8,047	3.93	0.993	4.04	0.299
			33.16%	32.96%	22.48%	7.73%	2.40%	0.41%	100.00%				
	10	この授業のシラバスは授業に役立った (シラバスを読まなかった人 ⇒ 38.74%)	1,323	1,832	1,932	232	144	38	8,047	3.73	0.993	3.83	0.268
			16.44%	22.76%	24.00%	2.88%	1.79%	0.47%	100.00%				
	11	総合的に見てこの授業は高評価である	2,668	3,188	1,837	357	167	114	8,047	3.99	0.944	4.08	0.444
			33.16%	39.61%	22.83%	4.44%	2.08%	1.42%	100.00%				
「実技」「語学」のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	2,282	2,472	1,849	727	322	394	8,047	3.73	1.113	3.88	0.318
			28.36%	30.72%	22.98%	9.03%	4.00%	4.90%	100.00%				
	13	教材(教科書、配本資料等)の内容は適切である	2,614	2,667	1,827	617	197	323	8,047	3.92	1.087	4.03	0.408
			32.49%	33.14%	22.70%	7.66%	2.45%	4.01%	100.00%				

学習院大学　平成25(2013)年度　授業評価アンケート　集計結果

部門名　法学部

形態名　演習

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,834	2,291	71.32%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業によく集中している 5:平均より40%以上 4:平均より20～40% 3:平均より-20～20% 2:平均より-20～-40% 1:平均より40%以下	1,267	288	82	18	8	4	1,834	4.70	0.640	4.63	0.268
			72.38%	15.71%	4.48%	0.98%	0.37%	0.22%	100.00%				
	2	私はこの授業に積極的に取り組んでいる (事前の予習や復習等を含む)	813	382	214	31	9	2	1,834	4.31	0.811	4.23	0.342
			44.33%	20.83%	11.67%	1.69%	0.49%	0.11%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	888	381	213	42	7	3	1,834	4.30	0.822	4.34	0.348
			48.42%	20.78%	11.61%	2.29%	0.38%	0.16%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	518	327	147	34	8	2	1,834	4.02	0.770	4.09	0.344
			28.24%	17.83%	8.02%	1.85%	0.44%	0.11%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	1,573	228	118	12	2	1	1,834	4.77	0.660	4.68	0.268
			85.78%	12.43%	6.43%	0.65%	0.11%	0.05%	100.00%				
	6	教員は受講者が学習しやすい雰囲気を作れるよう心がけている	1,018	417	148	14	3	2	1,834	4.31	0.714	4.23	0.258
			55.51%	22.73%	8.07%	0.76%	0.16%	0.11%	100.00%				
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	1,024	429	133	25	8	3	1,834	4.31	0.731	4.28	0.251
			55.84%	23.39%	7.25%	1.36%	0.44%	0.16%	100.00%				
	8	教員の話し方(ペース、聞き取りやすさ)は適切である	1,077	428	112	21	3	1	1,834	4.38	0.653	4.38	0.265
			58.73%	23.34%	6.11%	1.15%	0.16%	0.05%	100.00%				
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	1,094	452	138	23	8	8	1,834	4.32	0.744	4.38	0.258
			59.65%	24.64%	7.52%	1.25%	0.44%	0.44%	100.00%				
	10	この授業のシラバスは実際に役立った (シラバスを読まなかった人 ⇒ 21.84%)	633	313	261	29	18	9	1,834	4.23	0.983	4.27	0.278
			34.52%	17.07%	14.23%	1.58%	0.98%	0.49%	100.00%				
	11	総合的に見てこの授業は高評価できる	1,082	418	108	12	8	28	1,834	4.37	0.863	4.41	0.253
			59.00%	22.80%	5.89%	0.65%	0.44%	1.53%	100.00%				
「演習」「講学」のみ	14	教員は参加者が活発に議論や討論が行えるよう心がけていた	588	377	119	23	7	118	1,834	4.31	0.770	4.32	0.488
			32.06%	20.57%	6.49%	1.25%	0.38%	6.43%	100.00%				
	15	教員は参加者が積極的に取り組むのを助けた	525	377	108	20	8	118	1,834	4.48	0.750	4.48	0.268
			28.63%	20.57%	5.89%	1.09%	0.44%	6.43%	100.00%				

相関係数表　　**部門名**　**法学部**
形態名　**講義**

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.384(**)	1											
Q3	.177(**)	.550(**)	1										
Q4	.129(**)	.465(**)	.740(**)	1									
Q5	.159(**)	.432(**)	.567(**)	.595(**)	1								
Q6	.124(**)	.414(**)	.511(**)	.571(**)	.622(**)	1							
Q7	.121(**)	.466(**)	.724(**)	.723(**)	.654(**)	.619(**)	1						
Q8	.110(**)	.417(**)	.611(**)	.703(**)	.595(**)	.571(**)	.753(**)	1					
Q9	.171(**)	.544(**)	.624(**)	.600(**)	.607(**)	.554(**)	.681(**)	.614(**)	1				
Q10	.065(**)	.302(**)	.280(**)	.265(**)	.224(**)	.240(**)	.276(**)	.250(**)	.329(**)	1			
Q11	.165(**)	.518(**)	.710(**)	.707(**)	.689(**)	.627(**)	.807(**)	.715(**)	.746(**)	.308(**)	1		
Q12	.118(**)	.430(**)	.580(**)	.612(**)	.561(**)	.527(**)	.683(**)	.642(**)	.574(**)	.263(**)	.691(**)	1	
Q13	.146(**)	.425(**)	.599(**)	.614(**)	.575(**)	.543(**)	.685(**)	.613(**)	.585(**)	.269(**)	.699(**)	.739(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表　　**部門名**　**法学部**
形態名　**演習**

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15
Q1	1												
Q2	.325(**)	1											
Q3	.121(**)	.574(**)	1										
Q4	.139(**)	.517(**)	.686(**)	1									
Q5	.122(**)	.490(**)	.567(**)	.597(**)	1								
Q6	.084(**)	.450(**)	.534(**)	.573(**)	.665(**)	1							
Q7	.052(*)	.468(**)	.639(**)	.645(**)	.669(**)	.653(**)	1						
Q8	.055(*)	.430(**)	.519(**)	.599(**)	.633(**)	.593(**)	.750(**)	1					
Q9	.076(**)	.511(**)	.558(**)	.578(**)	.614(**)	.574(**)	.622(**)	.600(**)	1				
Q10	.102(**)	.275(**)	.251(**)	.267(**)	.261(**)	.245(**)	.268(**)	.241(**)	.284(**)	1			
Q11	.098(**)	.520(**)	.618(**)	.634(**)	.687(**)	.644(**)	.744(**)	.671(**)	.729(**)	.285(**)	1		
Q14	.073(**)	.439(**)	.480(**)	.483(**)	.537(**)	.503(**)	.560(**)	.480(**)	.559(**)	.213(**)	.578(**)	1	
Q15	.079(**)	.455(**)	.486(**)	.489(**)	.578(**)	.506(**)	.576(**)	.503(**)	.572(**)	.243(**)	.606(**)	.728(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

Ｑ１　私はこの授業によく出席している

Ｑ２　私はこの授業に意欲的に取り組んでいる（事前の準備や復習等を含む）

Ｑ３　この授業のレベルについて

Ｑ４　この授業を進める速さについて

Ｑ５　授業に対する教員の熱意が感じられる

Ｑ６　教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている

Ｑ７　教員は理解しやすい授業を行っている

Ｑ８　教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である

Ｑ９　この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

Ｑ10　この授業のシラバスは受講に役立った（シラバスを読まなかった人は「０」をマーク）

Ｑ11　総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

Ｑ12　板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である

Ｑ13　教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

Ｑ14　教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた

Ｑ15　教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

学習院大学　平成25(2013)年度　授業評価アンケート　経年変化比較表

部門名　法学部
形態名　講義

回答対象	番号	質問内容	2013年度				2012年度				2011年度				2010年度				2009年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上　4:出席率89～80% 3:出席率79～70%　2:出席率69～50% 1:出席率49%以下	4.46	0.945	4.43	0.298	4.41	0.998	4.38	0.284	4.54	0.893	4.51	0.278	4.52	0.920	4.51	0.294	4.50	0.938	4.47	0.270
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.61	1.004	3.67	0.386	3.52	1.032	3.64	0.370	3.56	1.035	3.61	0.451	3.55	1.060	3.61	0.445	3.55	1.032	3.57	0.393
	3	この授業のレベルは適切である	3.87	0.969	3.91	0.441	3.82	0.956	3.90	0.344	3.83	0.986	3.82	0.444	3.80	0.999	3.82	0.484	3.78	1.024	3.78	0.459
	4	この授業を進める速さは適切である	3.89	0.987	3.98	0.417	3.82	1.009	3.94	0.364	3.84	1.010	3.89	0.451	3.81	1.030	3.89	0.449	3.80	1.045	3.82	0.451
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.14	0.899	4.22	0.366	4.16	0.891	4.24	0.336	4.14	0.899	4.19	0.397	4.14	0.917	4.21	0.407	4.15	0.907	4.19	0.391
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.03	0.956	4.15	0.367	4.00	0.972	4.15	0.371	4.00	0.973	4.11	0.390	4.02	0.969	4.12	0.370	4.00	0.967	4.09	0.360
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	3.92	1.042	4.00	0.500	3.89	1.015	4.02	0.428	3.89	1.056	3.91	0.537	3.89	1.056	3.93	0.550	3.86	1.080	3.88	0.539
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3.92	1.049	4.03	0.465	3.90	1.040	4.02	0.443	3.86	1.076	3.91	0.518	3.87	1.071	3.94	0.523	3.85	1.092	3.88	0.548
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3.93	0.993	4.04	0.399	3.94	0.990	4.07	0.352	3.90	1.007	3.95	0.429	3.90	1.009	4.00	0.455	3.93	1.003	3.98	0.436
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.75	0.993	3.83	0.388	3.77	0.966	3.86	0.310	3.73	0.995	3.77	0.379	3.66	1.002	3.75	0.371	–	–	–	–
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.99	0.944	4.08	0.444	3.97	0.926	4.08	0.372	3.99	0.953	4.01	0.476	3.96	0.964	4.02	0.483	3.99	0.985	4.02	0.465
「講義」「語学」のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.75	1.115	3.88	0.510	3.66	1.112	3.79	0.436	3.70	1.135	3.76	0.558	3.68	1.126	3.78	0.510	3.69	1.129	3.73	0.504
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は 適切である	3.92	1.007	4.03	0.406	3.87	1.003	4.01	0.385	3.91	1.000	3.98	0.415	3.86	1.013	3.95	0.409	3.89	1.009	3.92	0.382

部門名　法学部
形態名　演習

回答対象	番号	質問内容	2013年度				2012年度				2011年度				2010年度				2009年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上　4:出席率89～80% 3:出席率79～70%　2:出席率69～50% 1:出席率49%以下	4.70	0.646	4.65	0.306	4.70	0.653	4.67	0.288	4.76	0.592	4.73	0.216	4.74	0.617	4.74	0.267	4.70	0.629	4.69	0.269
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.31	0.811	4.35	0.343	4.31	0.774	4.35	0.299	4.21	0.845	4.33	0.382	4.11	0.896	4.22	0.402	4.09	0.895	4.18	0.390
	3	この授業のレベルは適切である	4.30	0.823	4.34	0.346	4.35	0.788	4.36	0.358	4.18	0.929	4.31	0.426	4.02	0.978	4.12	0.489	4.04	0.941	4.10	0.422
	4	この授業を進める速さは適切である	4.42	0.770	4.46	0.344	4.41	0.765	4.42	0.349	4.30	0.866	4.42	0.400	4.18	0.916	4.25	0.478	4.19	0.880	4.25	0.367
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.57	0.668	4.60	0.286	4.55	0.702	4.57	0.346	4.46	0.807	4.60	0.365	4.37	0.864	4.49	0.404	4.39	0.831	4.45	0.379
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.51	0.714	4.55	0.298	4.51	0.723	4.55	0.318	4.38	0.880	4.51	0.398	4.29	0.910	4.42	0.430	4.30	0.885	4.40	0.387
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.51	0.751	4.56	0.351	4.51	0.740	4.55	0.381	4.40	0.847	4.54	0.383	4.27	0.928	4.39	0.478	4.29	0.905	4.40	0.429
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.56	0.695	4.60	0.289	4.50	0.759	4.54	0.381	4.42	0.816	4.55	0.363	4.33	0.905	4.43	0.474	4.34	0.903	4.43	0.431
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	4.53	0.744	4.60	0.350	4.53	0.735	4.57	0.356	4.40	0.858	4.56	0.382	4.29	0.914	4.41	0.448	4.34	0.850	4.44	0.382
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	4.25	0.903	4.27	0.376	4.29	0.868	4.27	0.489	4.17	0.947	4.22	0.465	4.05	1.014	4.08	0.481	–	–	–	–
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.57	0.685	4.61	0.295	4.56	0.696	4.58	0.352	4.45	0.807	4.59	0.375	4.33	0.856	4.45	0.437	4.36	0.852	4.45	0.404
「演習」「語学」のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.51	0.770	4.52	0.408	4.46	0.829	4.53	0.387	4.38	0.860	4.47	0.423	4.29	0.885	4.40	0.419	4.26	0.887	4.32	0.447
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.46	0.796	4.48	0.388	4.44	0.810	4.48	0.371	4.34	0.863	4.44	0.420	4.24	0.923	4.34	0.443	4.22	0.929	4.29	0.457

Ⅱ. 経　済　学　部

１．集計データからわかること

A. 講義

経済学部の講義に関しては、評価の各項目の平均値が過去４年間と同様に 3.0（どちらとも言えない）を大きく上回っていることから学生の満足度が高いと考えられる。

昨年度の数値または 2009-2012 年の過去４年間の平均値と比較した結果、大きな変化はないとわかった。理解しやすさ（Q7）、知的好奇心(Q9)、総合評価(Q11)の三項目がそれぞれ、昨年度と比べても 2009-2012 年の過去４年間平均値と比べても 0.1 ほど下がった。この三項目の標準偏差がいずれも 0.5 前後であることから、0.1 の減少は誤差範囲内と考えられるものの、今後の推移に注意すべきである。

講義への遅刻の無さ（Q20）の平均値が昨年度より 0.09、過去４年間平均値より 0.15 ほど上がったことから時刻通りの出席率がよくなっていると考えられる。

相関係数を用いて評価項目間の関係を分析した結果、次の項目の間に強い関係があることが分かった（いずれも相関係数が 0.7 以上）

- Ｑ３（授業レベル）とＱ４（速さ）
- Ｑ７（理解しやすさ）とＱ８（話し方）
- Ｑ１２（板書）とＱ１３（教材）
- Ｑ１１（総合評価）とＱ７（理解しやすさ）、Ｑ８(話し方)、またはＱ９（知的好奇心）

B. 演習

経済学部の演習に関しては、評価の各項目の平均値が 4.0（そう思う）を大きく上回っていることから学生の満足度が高いと考えられる。従来通りの結果ではあるが、講義と比べて少人数で行われる演習の方は満足度が高い。

昨年度との比較、または過去４年間平均値との比較をした結果、時刻（Q20）以外の項目においては変化がほとんどないとわかった。

遅刻の無さ（Q20）の数値は昨年度より 0.13、過去４年間平均より 0.17 ほど上がったことから、講義と同様に演習も時刻通りの出席率がよくなっていると考えられる。

相関係数を用いて評価項目間の関係を分析した結果、次の項目の間に強い関係があることが分かった（いずれも相関係数が 0.7 以上）

- Ｑ３（授業レベル）とＱ４（速さ）
- Ｑ７（理解しやすさ）とＱ８（話し方）またはＱ１１（総合評価）

２．今後の授業改善に向けて

経済学部授業改善に向けて、専任教員を対象にアンケート調査を行った。各教員が授業で行っている工夫とその結果得られた知見等の情報を集めて事例集としてまとめた。その事例集の配布、または科会や教授会での報告を通じて、授業の質向上のために行われている工夫やアイディアを学部内で共有した。

学習院大学　平成25(2013)年度　授業評価アンケート　集計結果

部門名　経済学部

形態名　講義

	合計	総履修者数	回収率
回収数	7,414	24,185	30.66%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 専門別形態別平均	専門別形態別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業よく理解している 5:理解平均85%以上 4:理解平均[illegible]% 3:理解平均[illegible]%～[illegible]% 2:理解平均[illegible]%～[illegible]% 1:理解平均[illegible]%以下	3,032	1,327	888	251	183	19	2,614	4.47	0.948	4.44	0.322
			40.16%	17.58%	11.76%	3.32%	2.42%	0.25%	100.00%				
	2	私はこの授業に積極的に取り組んでいる (自習の予習や復習を含む)	1,652	2,324	2,231	636	377	32	2,614	3.94	1.043	3.78	0.418
			22.02%	30.80%	29.56%	8.43%	4.99%	0.42%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	2,238	2,828	1,762	372	208	31	2,614	3.83	1.047	3.88	0.484
			29.65%	37.47%	23.34%	4.93%	2.76%	0.41%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	2,382	2,882	1,328	268	213	39	2,614	3.88	1.043	3.93	0.403
			31.56%	38.18%	17.60%	3.55%	2.82%	0.52%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	3,231	2,884	1,138	228	158	31	2,614	4.18	0.942	4.19	0.404
			42.82%	38.21%	15.08%	3.02%	2.09%	0.41%	100.00%				
	6	教員は受講者が学習するにふさわしい雰囲気作りに努めている	2,946	2,832	1,278	328	184	32	2,614	4.04	0.977	4.11	0.353
			39.03%	37.52%	16.93%	4.34%	2.44%	0.42%	100.00%				
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	2,888	2,318	1,411	318	238	25	2,614	3.93	1.071	3.98	0.361
			38.26%	30.70%	18.69%	4.21%	3.15%	0.33%	100.00%				
	8	教員の話し方(ペース、聞き取りやすさ)は適切である	2,837	2,837	1,223	288	191	28	2,614	4.02	1.003	4.07	0.407
			37.58%	37.58%	16.21%	3.81%	2.53%	0.37%	100.00%				
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が与えられたりした	2,647	2,381	1,729	338	253	33	2,614	3.83	1.058	3.93	0.317
			35.07%	31.54%	22.91%	4.48%	3.35%	0.44%	100.00%				
	10	この授業のシラバス(授業計画)は役立った (シラバスを読まなかった人 ⇒21.32%)	1,342	1,389	1,229	268	111	48	2,614	3.84	0.998	3.88	0.318
			28.04%	29.03%	25.68%	5.60%	2.32%	1.00%	100.00%				
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	2,887	2,888	1,472	388	188	181	2,614	3.98	0.994	4.04	0.402
			38.18%	38.18%	19.46%	5.13%	2.48%	1.39%	100.00%				
「講義」「語学」のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	2,888	2,288	1,232	488	219	327	2,614	3.93	1.033	3.98	0.404
			38.87%	30.84%	16.59%	6.57%	2.95%	4.40%	100.00%				
	13	教材(資料、教本、教科書)の内容は適切である	2,888	2,483	1,258	291	183	377	2,614	3.99	1.001	4.03	0.402
			38.18%	33.45%	16.94%	3.92%	2.46%	5.08%	100.00%				
経済学原論・経済・経営学科	20	私は授業に遅刻したことがない	2,325	1,382	912	681	629	1,741	2,614	3.88	1.258	3.88	0.388
			31.31%	18.61%	12.28%	9.17%	8.47%	23.45%	100.00%				
	21	高く評価した教学科目	0	744	2,589	294	288	1,887	2,614	—	—	—	—
			0.00%	10.02%	34.86%	3.96%	3.88%	25.42%	100.00%				

学習院大学　平成25（2013）年度　授業評価アンケート　集計結果

部門名　経済学部

形態名　演習

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,513	1,828	82.77%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計 平均	学生回答単純集計 標準偏差	科目ベース 部門別総意別 平均	部門別総意別 標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業によく理解している 5:理解平均%以上　4:理解平均～[illegible]% 3:理解平均～[illegible]%　2:理解平均～[illegible]% 1:理解平均%以下	1,226	122	41	9	3	2	1,313	4.84	[illegible]	4.79	[illegible]
			[illegible]	[illegible]	2.71%	[illegible]	[illegible]	[illegible]	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる （自分の学習予習できたか）	[illegible]	411	111	8	8	1	1,313	4.58	[illegible]	4.49	[illegible]
			59.00%	31.29%	7.34%	[illegible]	[illegible]	[illegible]	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	[illegible]	492	131	28	8	1	1,313	4.43	[illegible]	4.44	[illegible]
			57.00%	32.32%	[illegible]	1.32%	[illegible]	[illegible]	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	922	403	122	17	3	1	1,313	4.28	[illegible]	4.38	[illegible]
			61.00%	29.49%	[illegible]	1.12%	[illegible]	[illegible]	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	1,026	287	84	12	4	0	1,313	4.68	[illegible]	4.68	[illegible]
			67.01%	21.86%	6.39%	0.91%	[illegible]	[illegible]	100.00%				
	6	教員は学生の学習意欲をかきたてるような授業に心がけている	1,021	318	58	12	4	0	1,313	4.26	[illegible]	4.26	[illegible]
			67.48%	24.19%	[illegible]	0.91%	[illegible]	[illegible]	100.00%				
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	1,000	304	85	13	5	0	1,313	4.37	[illegible]	4.37	[illegible]
			66.49%	23.16%	[illegible]	0.99%	[illegible]	[illegible]	100.00%				
	8	教員の話し方（ペース、間取り）やすさは適切である	1,000	307	88	12	3	1	1,313	4.63	[illegible]	4.63	[illegible]
			76.16%	23.38%	6.70%	0.91%	[illegible]	[illegible]	100.00%				
	9	この授業によって知的好奇心が刺激され、新しいものの見方が得られたと	1,002	287	97	28	3	3	1,313	4.37	[illegible]	4.39	[illegible]
			66.29%	21.86%	6.61%	1.32%	[illegible]	[illegible]	100.00%				
	10	この授業のシラバスは授業に役立った （シラバス[illegible]なかった人 ⇒ 29.01%）	376	257	138	28	10	3	1,313	4.22	[illegible]	4.31	[illegible]
			37.07%	19.58%	10.51%	1.29%	[illegible]	[illegible]	100.00%				
	11	総合的に見てこの授業は満足できる	1,010	308	81	11	6	21	1,313	4.68	[illegible]	4.68	[illegible]
			67.13%	23.12%	6.16%	0.76%	[illegible]	1.29%	100.00%				
「演習」「講義」のみ	14	教員は学生が活発に意見や議論が行なうように心がけていた	926	303	112	13	3	102	1,313	4.33	[illegible]	4.34	[illegible]
			61.34%	23.23%	7.46%	0.88%	[illegible]	7.76%	100.00%				
	15	教員は学生が質問に答えるように心がけていた	965	318	111	12	3	119	1,313	4.34	[illegible]	4.38	[illegible]
			66.88%	24.19%	7.34%	0.79%	[illegible]	7.27%	100.00%				
経済学部英語・経済・経営学科	20	私は授業に参加したことがない	878	205	58	37	63	294	1,313	4.18	1.262	4.13	[illegible]
			66.89%	15.61%	4.42%	2.77%	4.80%	22.39%	100.00%				
	21	実験で履修した別学科目	8	175	782	188	61	297	1,313	—	—	—	—
			0.61%	13.33%	59.56%	14.32%	4.65%	22.62%	100.00%				

「全員回答(1~11)」における有効回答の割合

「全員回答(1~11)」の有効回答に対する平均比較

相関係数表　　**部門名　経済学部**
形態名　講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q20	Q21
Q1	1														
Q2	.377(**)	1													
Q3	.155(**)	.502(**)	1												
Q4	.107(**)	.395(**)	.762(**)	1											
Q5	.146(**)	.399(**)	.545(**)	.545(**)	1										
Q6	.127(**)	.398(**)	.510(**)	.515(**)	.635(**)	1									
Q7	.105(**)	.426(**)	.694(**)	.697(**)	.669(**)	.641(**)	1								
Q8	.118(**)	.378(**)	.601(**)	.673(**)	.617(**)	.584(**)	.763(**)	1							
Q9	.139(**)	.487(**)	.640(**)	.592(**)	.590(**)	.541(**)	.686(**)	.631(**)	1						
Q10	.079(**)	.311(**)	.346(**)	.340(**)	.258(**)	.290(**)	.338(**)	.307(**)	.399(**)	1					
Q11	.153(**)	.475(**)	.692(**)	.680(**)	.685(**)	.626(**)	.805(**)	.721(**)	.746(**)	.359(**)	1				
Q12	.113(**)	.370(**)	.534(**)	.564(**)	.549(**)	.522(**)	.668(**)	.622(**)	.551(**)	.281(**)	.676(**)	1			
Q13	.137(**)	.384(**)	.554(**)	.557(**)	.559(**)	.527(**)	.655(**)	.602(**)	.548(**)	.300(**)	.674(**)	.756(**)	1		
Q20	.437(**)	.327(**)	.105(**)	.059(**)	.077(**)	.085(**)	.052(**)	.062(**)	.101(**)	.104(**)	.079(**)	.056(**)	.079(**)	1	
Q21	0.014	−0.001	0.025	0	−.027(*)	−.038(**)	−0.013	−0.011	0.017	−.035(**)	0.001	−.041(**)	−.032(*)	−0.008	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

「上記の表において、Q20・Q21は、開設部門が「経済学部共通」「経済学科」「経営学科」の科目の場合のみ回答する設問であることから、それ以外の設問と回答者数が異なっています。」

相関係数表　　**部門名　経済学部**
形態名　演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q13	Q14	Q20	Q21
Q1	1														
Q2	.234(**)	1													
Q3	.104(**)	.539(**)	1												
Q4	.072(**)	.476(**)	.735(**)	1											
Q5	.065(*)	.418(**)	.490(**)	.583(**)	1										
Q6	.062(*)	.408(**)	.508(**)	.572(**)	.682(**)	1									
Q7	.072(**)	.392(**)	.596(**)	.659(**)	.694(**)	.684(**)	1								
Q8	.089(**)	.389(**)	.551(**)	.606(**)	.657(**)	.657(**)	.785(**)	1							
Q9	.069(**)	.422(**)	.549(**)	.551(**)	.585(**)	.557(**)	.670(**)	.652(**)	1						
Q10	−0.003	.125(**)	.187(**)	.199(**)	.205(**)	.202(**)	.209(**)	.192(**)	.221(**)	1					
Q11	0.049	.428(**)	.586(**)	.613(**)	.673(**)	.644(**)	.722(**)	.672(**)	.695(**)	.210(**)	1				
Q12	0.029	.354(**)	.425(**)	.471(**)	.439(**)	.484(**)	.506(**)	.486(**)	.515(**)	.187(**)	.559(**)	1			
Q13	0.009	.328(**)	.439(**)	.455(**)	.507(**)	.493(**)	.556(**)	.521(**)	.530(**)	.223(**)	.582(**)	.618(**)	1		
Q20	.294(**)	.108(**)	0.036	0.03	0.013	0.054	0.036	0.047	0.026	.080(**)	0.053	0.026	0.026	1	
Q21	0.03	−0.012	0.005	0.028	0.016	0.013	−0.03	0.007	0.016	−0.003	0.004	−0.006	0.01	0.018	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

「上記の表において、Q20・Q21は、開設部門が「経済学部共通」「経済学科」「経営学科」の科目の場合のみ回答する設問であることから、それ以外の設問と回答者数が異なっています。」

【全員回答】

Ｑ１　私はこの授業によく出席している

Ｑ２　私はこの授業に意欲的に取り組んでいる（事前の準備や復習等を含む）

Ｑ３　この授業のレベルについて

Ｑ４　この授業を進める速さについて

Ｑ５　授業に対する教員の熱意が感じられる

Ｑ６　教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている

Ｑ７　教員は理解しやすい授業を行っている

Ｑ８　教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である

Ｑ９　この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

Ｑ10　この授業のシラバスは受講に役立った（シラバスを読まなかった人は「０」をマーク）

Ｑ11　総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

Ｑ12　板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である

Ｑ13　教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

Ｑ14　教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた

Ｑ15　教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【開設部門が「経済学部共通」「経済学科」「経営学科」の場合のみ回答】

Ｑ20　私は授業に遅刻したことがない

Ｑ21　高校で履修した数学科目（④数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ、③数Ⅰ・数Ⅱ、②数Ⅰのみ、①その他）

学習院大学　平成25(2013)年度　授業評価アンケート　経年変化比較表

部門名　経済学部
形態名　講義

回答対象	番号	質問内容	2013年度				2012年度				2011年度				2010年度				2009年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上　4:出席率89～80% 3:出席率79～70%　2:出席率69～50% 1:出席率49%以下	4.47	0.940	4.44	0.322	4.46	0.939	4.46	0.336	4.45	0.954	4.46	0.306	4.43	0.979	4.39	0.364	4.42	0.969	4.36	0.368
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.64	1.043	3.70	0.418	3.65	1.059	3.75	0.493	3.65	1.040	3.81	0.489	3.61	1.035	3.75	0.501	3.53	1.062	3.60	0.468
	3	この授業のレベルは適切である	3.83	1.047	3.88	0.489	3.85	1.040	3.95	0.462	3.82	1.039	3.98	0.505	3.79	1.016	3.95	0.458	3.74	1.052	3.82	0.493
	4	この授業を進める速さは適切である	3.86	1.045	3.95	0.473	3.88	1.053	4.03	0.454	3.84	1.084	4.03	0.503	3.82	1.026	4.02	0.472	3.75	1.082	3.89	0.503
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.16	0.942	4.19	0.434	4.17	0.952	4.25	0.456	4.17	0.936	4.30	0.420	4.17	0.900	4.30	0.437	4.15	0.941	4.19	0.451
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.04	0.977	4.11	0.395	4.04	0.997	4.19	0.415	4.00	1.008	4.21	0.441	4.05	0.956	4.24	0.438	3.97	0.984	4.08	0.446
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	3.93	1.071	3.98	0.541	3.96	1.076	4.08	0.520	3.92	1.088	4.12	0.562	3.93	1.027	4.13	0.502	3.87	1.101	3.99	0.549
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.02	1.003	4.07	0.447	4.04	1.021	4.15	0.446	3.97	1.046	4.16	0.503	3.97	1.010	4.14	0.456	3.92	1.049	4.05	0.486
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3.83	1.090	3.93	0.517	3.86	1.096	4.00	0.539	3.88	1.096	4.09	0.538	3.82	1.069	4.07	0.526	3.81	1.098	3.97	0.533
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.84	0.990	3.88	0.376	3.85	1.018	3.93	0.370	3.82	0.997	3.95	0.433	3.75	0.992	3.85	0.386	–	–	–	–
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.98	0.994	4.04	0.492	4.01	1.008	4.13	0.498	3.99	1.009	4.18	0.506	3.98	0.968	4.16	0.484	3.95	1.020	4.07	0.509
「講義」「語学」のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.95	1.055	3.98	0.499	3.96	1.064	4.05	0.463	3.89	1.082	4.06	0.522	3.92	1.030	4.04	0.469	3.84	1.084	3.90	0.529
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は 適切である	3.99	1.001	4.03	0.442	4.00	1.006	4.09	0.413	3.96	1.011	4.11	0.476	3.97	0.975	4.12	0.439	3.90	1.038	3.99	0.489
「経済」のみ	20	私は授業に遅刻したことがない	3.66	1.390	3.66	0.506	3.58	1.409	3.56	0.523	3.62	1.396	3.59	0.500	3.50	1.409	3.48	0.498	3.48	1.409	3.41	0.538
	21	高校で履修した数学科目	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2.97	0.640	2.93	0.225

部門名　経済学部
形態名　演習

回答対象	番号	質問内容	2013年度				2012年度				2011年度				2010年度				2009年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上　4:出席率89～80% 3:出席率79～70%　2:出席率69～50% 1:出席率49%以下	4.84	0.499	4.79	0.300	4.84	0.466	4.80	0.303	4.80	0.556	4.75	0.317	4.75	0.631	4.74	0.302	4.79	0.563	4.75	0.319
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.50	0.690	4.49	0.258	4.52	0.674	4.49	0.322	4.48	0.709	4.48	0.306	4.38	0.791	4.41	0.359	4.44	0.741	4.43	0.333
	3	この授業のレベルは適切である	4.45	0.740	4.44	0.360	4.46	0.713	4.45	0.337	4.41	0.777	4.42	0.368	4.34	0.847	4.36	0.431	4.35	0.794	4.36	0.404
	4	この授業を進める速さは適切である	4.50	0.720	4.50	0.351	4.51	0.699	4.51	0.309	4.49	0.715	4.49	0.317	4.41	0.795	4.45	0.379	4.44	0.724	4.45	0.339
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.60	0.656	4.60	0.341	4.63	0.643	4.63	0.337	4.62	0.651	4.63	0.311	4.58	0.678	4.61	0.340	4.61	0.664	4.61	0.323
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.59	0.672	4.59	0.317	4.62	0.652	4.62	0.296	4.60	0.648	4.60	0.280	4.54	0.686	4.57	0.283	4.55	0.708	4.56	0.300
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.57	0.703	4.57	0.362	4.59	0.685	4.59	0.352	4.57	0.719	4.58	0.366	4.53	0.719	4.55	0.362	4.56	0.713	4.57	0.350
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.63	0.642	4.63	0.314	4.61	0.681	4.62	0.320	4.60	0.701	4.62	0.352	4.55	0.693	4.58	0.325	4.59	0.669	4.60	0.320
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	4.57	0.691	4.59	0.340	4.58	0.693	4.57	0.331	4.58	0.695	4.59	0.325	4.50	0.759	4.52	0.379	4.56	0.711	4.58	0.332
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	4.32	0.873	4.31	0.443	4.29	0.898	4.30	0.439	4.32	0.869	4.33	0.470	4.20	0.934	4.23	0.458	–	–	–	–
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.60	0.652	4.60	0.343	4.63	0.646	4.62	0.359	4.62	0.656	4.63	0.339	4.55	0.700	4.57	0.379	4.60	0.658	4.61	0.338
「演習」「語学」のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.55	0.710	4.54	0.390	4.58	0.692	4.56	0.391	4.53	0.747	4.54	0.379	4.50	0.760	4.50	0.404	4.52	0.731	4.53	0.359
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.54	0.708	4.56	0.339	4.56	0.725	4.55	0.397	4.54	0.734	4.57	0.360	4.50	0.772	4.51	0.395	4.53	0.717	4.55	0.342
「経済」のみ	20	私は授業に遅刻したことがない	4.18	1.242	4.13	0.562	4.09	1.267	4.00	0.643	4.10	1.281	4.00	0.661	3.97	1.323	3.96	0.597	3.93	1.333	3.87	0.585
	21	高校で履修した数学科目	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3.00	0.610	3.01	0.204

III. 文　学　部

１．集計データから分かること

アンケートの実施率と回答率

今回（2013年度）のアンケートの実施率（授業ベース。以下同じ）は 99.03%であった。これは，一昨年度　(98.38%) および昨年度 (97.35%) とほぼ同水準であったとは言え，僅かながらも 99% を越えたことは，授業評価アンケートの意義が各授業担当者にほぼ浸透したことの現れと言えるだろう。

次に，アンケートに回答した学生の人数および割合を見ると，講義科目では 62.44%（総履修者 12,483 名中，7794 名が回答），演習科目では 76.45% （総履修者 8173 名中，6221 名が回答）であり，全体では 67.97%であった。実施率の推移を見ると，講義科目では一昨年度が 60.80%，昨年度が 60.32% であり，本年度の実施率はこれらに比べて約 2 ポイント高くなっている。これに対して演習科目では，一昨年度が 77.88%，昨年度が 76.93% と，残念ながら演習に関しては実施率が減少傾向にある。演習の場合，履修者の人数が５名以下であったり，アンケート実施日の出席者が５名以下であった場合には実施しないことになっているので，それが回答率低下の原因のひとつとも考えられるが，授業評価アンケートをさらに有効活用するためには，来年度以降の回答率が上昇に転じることが望ましい。

授業評価アンケートの活用

アンケートの結果は，今後の授業改善の参考資料としてもらうために，各教員にそれぞれの結果をフィードバックしている。フィードバックにあたっては，それぞれの授業科目ごとに，各質問項目に対してどの選択肢を何人の学生が選んだかの人数およびその割合を示し，さらに全体の平均値を示している。そして，自分の授業に対する評価が全体のどのあたりに位置するかが解るように，学部全体の平均値を参考値として添えてある。

各教員および各学科は，フィードバックされた授業評価アンケートの結果をもとに，授業の改善に恒常的に取り組む体制をとっている。この報告の最後に，今回の授業評価アンケー

トの集計結果，それぞれの質問の間の相関係数一覧，経年変化比較表を示した。参考にされたい。

アンケート結果から読み取れる傾向

アンケートは１から５までの５段階評定であり，値が５に近いほど肯定的な評価となっている。そこで，平均値 4.0 をひとつの目安とし，平均値が 4.0 以上であった質問内容については，一定の成果が上がっているものと判断した。逆に，平均が 4.0 未満であった質問内容については未だ改善の余地があると考え，その原因を探り改善の方策を検討した。

講義科目

まず講義科目について見ると，平均値が 4.0 未満であった質問項目は，15項目中３項目であり，〈Q2：私はこの授業に意欲的に取り組んでいる（以下「意欲的取り組み」）が 3.69，〈Q10：この授業のシラバスは受講に役立った（以下「シラバス」）が 3.90，〈Q12：板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である（以下「板書やスライド」）が 3.97 であった。それ以外の項目は，すべて 4.0 以上であった。4.0 未満となったこれら３項目は，すべて昨年度も一昨年度も 4.0 を下回っていた。このことは，これらの項目について恒常的に改善する余地があることを示している。以下，それぞれについて，順に検討する。

〈Q 2：意欲的取り組み〉　最初に指摘すべきことは，講義に対する授業評価アンケートの回答率が 62.44% とやや低いということである。これは，37.56% の学生がアンケートに回答していないということでもある。アンケートに回答している学生は，アンケートの実施日に出席して回答しようという学生であるから，授業に対しては比較的意欲を持っているものと推測できる。とすると，アンケートに回答していない学生は授業に対する意欲が低いであろうから，それを勘案すると，この〈Q2：意欲的取り組み〉に対する評価は，実際にはもっと低いのではないかと思われる。

〈Q2：意欲的取り組み〉の平均点が低いことには，２つの要因が考えられる。ひとつは，学生の意欲をかき立てる教員側の工夫や努力の要因である。工夫や改善の方向としては，例えば，講義が受け身で一方的にならないように，教員が問題を投げかけて意見交換や質疑応答を行うであるとか，あるいは折に触れて課題やミニレポートを課してきめ細かくフィードバックをする，さらには，G-Port を活用して予習や復習を課すなどが考えられるだろう。

あるいは，DVD やインターネットなどの材料を講義に織りまぜて，現代の学生の興味を惹き付けるような工夫も考えられる。

ただ，一方で留意すべきなのは，授業に対する教員の工夫や熱意に関する質問項目に対しては，平均値がすべて 4.0 以上になっているということである（〈Q3：この授業のレベルは適切である〉 平均値 4.00，〈Q4：この授業を進める速さは適切である〉 平均値 4.05，〈Q5：この授業に対する教員の熱意が感じられる〉 平均値 4.28，〈Q6：教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている〉 平均値 4.10，〈Q7：教員は理解しやすい授業を行っている〉 平均値 4.06，〈Q8：教員の話し方（スピード，聞き取りやすさ）は適切である〉 平均値 4.10，〈Q10：この授業によって知的好奇心が刺激されたり，新しいものの見方が得られたりした〉 平均値 4.10，〈Q11：総合的に見てこの授業は高く評価できる〉 平均値 4.12）。このことは，授業評価が低い教員個人については改善の余地がまだまだあるであろうとは言え，全体としてみると，授業に対する教員側の工夫は一定以上の水準に達していることを示している。このことを考えると，授業改善の必要性と重要性は言うまでもないが，研究や大学業務など教育以外での教員の義務を勘案すると，バランスを失した行き過ぎの“改善”は，教員の負担増や研究の停滞などといったリスクを招きかねない。従って，〈Q2：意欲的取り組み〉の評価が低い理由を，すべて教員側の努力や工夫が足りないからだと考えるべきではないだろう。

そこで，〈Q2：意欲的取り組み〉の評価が低い第二の要因として，講義という形式そのものに内在する特性を考える必要が出てくる。事実，演習科目における〈Q2：意欲的取り組み〉の平均点を見てみると，講義に対する評価に比べて 0.8 ポイントほど高い 4.20 となっている。このことは，本学部の学生がおしなべて授業に対する意欲を欠いているというわけではなく，演習に比べて講義に対しては意欲を持って取り組みにくいことを表している。つまり，「大人数の学生が，90分間に亘って，受け身的に教員の話を聴く」という講義の形式そのものが，現代の大学生にとって苦手なものなのではなかろうか。とは言え，講義は大学教育の中核を成すものであるから，一朝一夕にその形式を大きく変えることは難しい。となると，例えば，ひとつの講義あたりの学生の人数を少なくして少人数形式にするとか，あるいは，一方的な講義にならないように参加型の講義形式を工夫すること，さらには，昨今の学生の興味を惹くようなビデオやマルチメディア教材などの ICT 技術を活用するなどといった工夫があり得るのではないだろうか。

もうひとつ指摘しておきたいことがある。それは，学生にとっての大学生活は，決して勉強だけで成り立っているわけではなく，サークルなどの課外活動やアルバイトなどの学外生活等，さまざまな活動から成り立っているということである。授業以外のこのような活動の充実は決してマイナスではなく，４年間の大学生活から学び身につける経験を総体として見た時に，貴重で重要な要因であることは論を待たない。そして，勉強と課外活動の両立が困難になったとき，勉強の面でどこで“手を抜く”かと言えば，まずは講義からとなる実情も想像できなくはない。もちろん学生の手抜きを奨励するわけではないが，勉強に対する“締め付け”を強くするあまりに，学生の課外活動や学外生活をスポイルしてしまうとすれば，かえってマイナスであろう。４年間の大学生活をトータルに捉え，その重要な要素のひとつとして授業を位置づけて，その中でいかにして講義の意欲を高めるかという方向で考えるべきではないだろうか。

〈Q10：シラバス〉　この項目には，他の項目と違い，「０：シラバスを読まなかった人」という選択肢がある。今回，「シラバスを読まなかった」と答えた学生の割合は 33.01% であり，一昨年度（28.5%）や昨年度（29.81%）と比べると，かなり高い値となっている。このことは，ここ３年に亘って，一貫してシラバスを読まない学生が増え続けていることを示している。シラバスの充実をFD活動の重要項目に位置づけて努力してきたことを考えると，この傾向は看過できないのではなかろうか。そこで，シラバスの活用をさらに促すために，オリエンテーションなどで「シラバスはちゃんと読んで活用するように」という指導を強化するなどの方策も必要であろう。事実，「０」以外の選択肢を選んだ学生（すなわちシラバスを読んだ学生）の回答を見ると，「シラバスは受講の役に立った」という問に対して「１：全くそう思わない」と答えた割合が 0.98%，「２：あまりそう思わない」は 2.51% となっており，シラバスが受講の役に立たなかったと回答した学生はごく少数である。つまり，シラバスを読んだ学生にとっては，講義の受講に際してシラバスは一定ていど役に立っていたのである。つまり，シラバスを読めば受講に大いに役立つのであるから，オリエンテーションでの指導などを通じて，シラバスを読まない学生の増加傾向に歯止めをかける必要があるだろう。

シラバスがあまり活用されていない背景には，いくつかの理由が考えられる。ひとつには，必修科目あるいはそれに近い科目の場合には，授業の内容を確認しなくてもどのみち履修することになるので，あえてシラバスを読む必要はないと考えられている可能性がある。ある

いは，授業選択にあたっては，シラバスではなく上級生などからの評判を参考にしているのかもしれない。いずれにせよ，このあたりの事情をさらに検討するためには，必修科目と選択科目に分けてシラバスの活用度合いを分析するといったことが必要かもしれない。

〈Q10：シラバス〉に関して興味深いのは，アンケートの項目間の相関である。〈Q10：シラバス〉以外の項目は他の項目との間にかなり強い正の相関があるのだが，〈Q10：シラバス〉だけは，統計的には 1% で有意であるとは言え，相関係数の値自体はかなり低くなっている。特に，〈Q1：私はこの授業によく出席している〉との相関係数はほぼゼロで，完全な無相関になっている。このことは，例えば「授業の出席率が悪い学生ほど，シラバスを活用していない」といった傾向はなく，出席の出席率とシラバスの活用度合いにはまったく関係がないということを示している。さらに，〈Q2：意欲的取り組み〉との相関係数を見ても，.227 と決して強い相関ではない。これらのことから分かるのは，シラバスを活用しようという姿勢が授業への出席や意欲とリンクしていないということである。つまり，「しっかり勉強するために，シラバスを活用しよう」とはなっていない，ということである。

これらを踏まえて考えるべきことは，教員の側は，シラバスをどのていど活用した授業をしているのだろうかということである。もちろん，授業のテーマや成績評価の方法がシラバスとかけ離れていることはないであろうが，毎回の授業の内容や進め方などは，必ずしもシラバス通りになされていないケースも多いのではないだろうか。そうであるならば，「シラバスを読まなくても，受講には差し支えない」と学生が考えたとしても，致し方ないだろう。ただ，このような現状に対して，シラバスに準拠しない教員が問題だと捉えることもできようが，「そもそも，シラバスを厳格に守って授業をすることが，大学の講義としてあるべき姿なのだろうか」という観点からも考える必要があるだろう。最先端の学問的成果を伝えるためにシラバスとは異なる授業展開をしたり，あるいは授業の雰囲気や学生の理解度を見ながら臨機応変に授業の進度や内容を変えてゆくということは，当然あっても良いのではないだろうか。

このように考えてくると，「そもそも，シラバスを活用するとはどういうことか」ということを根本から議論する必要性が浮かび上がってくる。現状では，学生も教員も，どの授業を選択するかを決めるための手段としてしかシラバスを位置づけていないように思われる。それがシラバスの第一義的な意味であることは論を待たないが，しかしシラバスの意義がそれだけだとしたら，半期あるいは一年の授業全体の中で「シラバスが役に立つ」とは言い難

いだろう。シラバスを読まない学生が増えているという傾向は，シラバスの意義に対する根本的な議論の必要性を示しているように思われる。

〈Q12：板書やスライド〉　講義科目独自の質問である〈Q12：板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である〉の平均値も 3.97 と，僅かではあるが 4.0 を下回っている。経年変化を見ると，一昨年度が 3.96，昨年度が 3.92 と，ほぼ横ばいである。なぜ〈Q12：板書やスライド〉の評価が３年連続で 4.0 を下回っているかの原因は，この結果だけからは定かではない。例えば，板書については，「板書が多すぎてノートができない」こともあれば「少なすぎてポイントが分かりづらい」ということもあるだろう。あるいは，板書が読み取りにくいということもあるかもしれないし，そもそも今の大学生にとっては，90分に亘って講義を聴きながら板書をノートすること自体が苦手なのかもしれない。また，スライドについては，教員がその場で書いてゆく板書と違って，スピードが速くてノートが取りにくいという可能性もあるだろう。

ただ，全体としては平均値が 3.9 を上回っているので，板書やスライドの使い方に重大な問題があるとも言い難い。もちろん，さらなる努力や工夫が望ましいことは言う前もないが，板書やスライドのスタイルは，講義に対する教員の個性の発露という側面もあるのではないだろうか。この項目の評価を上げることだけを考えるあまり，そういった教員の個性が失われ，没個性的で画一的な講義が増えてしまうとしたら，大学教育にとってむしろマイナスであろう。従って，板書やスライドの提示方法を改善するにあたっては，教員ひとりひとりの個性を尊重した上で検討してゆく必要があるだろう。

演習科目

演習科目については，すべての項目の評価が 4.0 を上回っていた。これは，講義と比較すると，学生が演習に対してはより意欲的に取り組んでいるという現状を反映している。このことは，講義科目の改善についてのひとつのヒントを示しているように思われる。すなわち，少人数教育であること，討論や質疑応答が行われる双方向的な授業形式であること，都度都度で課題が課されること等の演習の性格が，学生の主体的で自覚的な関与を高めているのではないだろうか。このような演習の性格をひとつのヒントとすることで，講義形式の授業の質をさらに向上させることができるのではないだろうか。

２．今後の取り組みについて

今回の授業評価アンケートの結果を受けてさらに授業を改善してゆくためには,以下のような方向が考えられる。

まず,授業評価アンケートの実施率がほぼ 100% になっていることから,今後もこれを維持し続けることが重要である。ただし,回答率については改善の余地がある。特に講義科目では約38%の学生が未回答となっているので,アンケートの実施時期や実施方法を改善するなど,回答率を上げる工夫が必要であろう。

授業改善の方向としては,全体として,演習よりも講義に重点をおくべきである。特に,講義に対する学生の意欲を向上させることや,板書やスライドの提示方法にさらなる工夫をする必要性があるだろう。

また,特に講義において,シラバスがあまり活用されていない現状が浮き彫りになった。シラバスに関しては,授業に対する意欲と相関がなかったことから,シラバスの必要性そのものが十分に認識されていない可能性が考えられる。そこで,学生に対しては,オリエンテーション等を通じてシラバスの必要性を強調し,活用を促す必要があるだろう。また,教員の側としては,シラバスを活用するとはどういうことか,単なる授業選択のための資料なのか,それとも授業全体を通じて参照すべき“補助教材”なのか等,シラバスの意味や存在価値そのものを根本的に検討する必要があるだろう。

最後に,この授業評価アンケートの目的は,授業の質を向上させることを通じて,大学の教育目標をよりよく達成させることにあるということを再確認したい。すなわち,単に,それぞれの質問項目の平均点を上げることだけを目指すべきではないということである。教員には,それぞれ教育上の信念も,授業展開の個性もある。大学という場では,各教員がおのおのの信念に基づいて思う存分に個性を発揮することが望まれる。場合によっては,学生からの評価が低くなったとしても,やるべきことはやらなければならないということもあるだろう。さらに,学生にとっての大学生活の充実という点から考えると,授業の質的向上に加えて,授業以外の課外活動や学外生活の充実も重要な要素である。もしも,授業評価の平均点を上げることだけに汲々とするあまり,これらの活動がスポイルされてしまうとすれば,結果として大学生活が痩せ細り,授業評価アンケートの本来の目的も見失ってしまうであろう。従って,授業評価アンケートをトータルの大学教育の中に的確に位置づけ,授業以外の

要素も勘案しつつ,さらに本学の教育を充実されるためはどうすれば良いかを検討するために活用してゆくことが必要であろう。

なお，文学部では，2013 年 12 月 10 日（火）の教授会終了後，18:30 から約 1 時間に亘って，文学部全教員が参加して「FD についての検討会」を行った。そこでは，2012 年度の授業評価アンケートの結果を踏まえて，各学科でどのような授業改善の取り組みを行っているかが紹介され，全員で意見交換と討議を行った。学科の枠を越えて授業改善の取り組みについて意見交換をすることができ，たいへん有意義であった。この時の討議や今回の授業評価アンケートの結果が，今後のさらなる授業改善へと繋がることを期待したい。

学習院大学 平成25(2013)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 文学部

形態名 講義

	合計	総履修者数	回収率
回収数	7,794	12,482	62.44%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純単計平均	学生回答単純単計標準偏差	科目ベース 専門別総合別平均	専門別総合別標準偏差
「全員」回答	1	自分はこの授業に[illegible]している 5:自分の[illegible]%以上 4:自分の[illegible]% 3:自分の[illegible]% 2:自分の[illegible]% 1:自分の[illegible]%以下	5,271	1,695	[illegible]	133	48	11	7,758	4.54	0.787	4.53	0.275
			67.93%	21.75%	8.18%	1.71%	0.62%	0.14%	100.00%				
	2	自分はこの授業に自分なりに[illegible]している (自分の時間や[illegible]を含む)	1,730	2,451	2,418	503	195	11	7,758	3.85	0.902	3.75	0.418
			22.29%	31.59%	31.16%	6.48%	2.51%	0.14%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	2,562	3,294	1,533	348	92	15	7,758	4.08	0.900	4.18	0.300
			33.01%	42.45%	19.76%	4.48%	1.19%	0.19%	100.00%				
	4	この授業を通じて自分は適切である	2,745	3,225	1,377	348	58	11	7,758	4.05	0.902	4.18	0.255
			35.38%	41.58%	17.75%	4.48%	1.00%	0.14%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	3,892	2,884	940	188	72	14	7,758	4.29	0.938	4.38	0.345
			47.97%	37.16%	12.12%	2.42%	0.93%	0.18%	100.00%				
	6	教員は授業内容が学生にふさわしい水準に達するよう心がけている	2,908	3,891	1,358	274	81	12	7,758	4.18	0.894	4.22	0.252
			37.48%	50.16%	17.50%	3.53%	1.04%	0.15%	100.00%				
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	2,908	3,908	1,242	414	156	15	7,758	4.08	0.985	4.18	0.403
			37.48%	50.37%	15.94%	5.33%	2.01%	0.19%	100.00%				
	8	教員の話し方(ペース、[illegible])やすさは適切である	3,192	2,888	1,171	388	164	13	7,758	4.18	0.903	4.25	0.443
			41.15%	37.22%	15.09%	4.76%	2.11%	0.17%	100.00%				
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しい知識の見方が得られたりした	3,188	2,765	1,293	348	158	46	7,758	4.18	0.908	4.22	0.421
			41.09%	35.64%	16.66%	4.48%	1.93%	0.59%	100.00%				
	10	この授業のシラバス(授業計画)は役に立った (シラバスを読まなかった人 ＝ 32.81%)	1,538	1,918	1,444	198	78	33	7,758	3.98	0.933	3.97	0.354
			29.87%	24.81%	18.62%	2.51%	0.98%	0.38%	100.00%				
	11	総合的に見てこの授業は高評価である	3,847	2,908	1,292	248	121	58	7,758	4.12	0.908	4.24	0.414
			49.59%	37.48%	16.65%	3.19%	1.56%	1.38%	100.00%				
「講義」「演習」のみ	12	板書の仕方やスライド(写真)の仕方は適切である	2,858	2,815	1,458	508	148	314	7,758	3.97	0.989	4.05	0.407
			34.18%	33.12%	18.79%	6.48%	1.93%	2.75%	100.00%				
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	2,588	2,874	1,318	271	187	365	7,758	4.11	0.911	4.19	0.354
			33.35%	37.07%	16.99%	3.49%	1.37%	4.70%	100.00%				

学習院大学 平成25(2013)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 文学部

形態名 演習

	合計	総履修者数	回収率
回収数	8,221	8,127	78.45%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 部門別80歩別平均	部門別80歩別標準偏差
「全員」回答	1	自分はこの授業に[illegible]している 5:自分自身90%以上 4:自分自身[illegible]% 3:自分自身70%[illegible]50% 2:自分自身[illegible]% 1:自分自身10%以下	4,274	1,[illegible]	432	87	9	[illegible]	8,221	4.53	[illegible]	4.53	[illegible]
			51.9%	22.3%	7.5%	1.0%	0.1%	0.1%	100.0%				
	2	自分はこの授業に自分なりに取り組んでいる (時間の使い方や[illegible]等を含む)	2,529	2,537	917	138	29	15	8,221	4.29	[illegible]	4.33	[illegible]
			30.8%	41.7%	14.7%	2.1%	0.4%	0.2%	100.0%				
	3	この授業のレベルは適切である	2,747	2,440	787	178	40	17	8,221	4.24	[illegible]	4.29	[illegible]
			44.1%	39.3%	12.8%	2.0%	0.7%	0.2%	100.0%				
	4	この授業を通じて[illegible]は適切である	2,592	2,325	742	192	38	12	8,221	4.29	[illegible]	4.32	[illegible]
			42.3%	37.8%	11.9%	2.8%	0.6%	0.1%	100.0%				
	5	授業に対する教員の[illegible]が高くなる	3,[illegible]	1,951	477	82	34	9	8,221	4.48	0.727	4.53	[illegible]
			53.3%	31.8%	7.8%	1.3%	0.5%	0.1%	100.0%				
	6	教員は学生が学習しやすい環境に[illegible]ように心がけている	3,[illegible]	2,[illegible]	578	[illegible]	33	7	8,221	4.48	0.757	4.42	[illegible]
			53.1%	35.5%	9.3%	1.4%	0.5%	0.1%	100.0%				
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	3,352	2,[illegible]	[illegible]	158	58	9	8,221	4.38	[illegible]	4.48	0.631
			53.9%	32.8%	9.7%	2.5%	0.9%	0.1%	100.0%				
	8	教員の話し方(ペース、[illegible]等)やすさは適切である	3,402	2,[illegible]	588	125	34	8	8,221	4.41	0.708	4.44	[illegible]
			55.0%	32.8%	9.6%	2.0%	0.5%	0.1%	100.0%				
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3,372	1,948	870	138	52	38	8,221	4.37	[illegible]	4.48	0.631
			54.9%	31.7%	14.2%	2.3%	0.8%	0.5%	100.0%				
	10	この授業のシラバスは実際に役立った (シラバスを読まなかった人 ＝ 30.3%)	1,775	1,652	776	84	35	38	8,221	4.18	[illegible]	4.18	[illegible]
			28.5%	33.3%	12.4%	1.3%	0.5%	0.6%	100.0%				
	11	総合的に見てこの授業は高評価である	3,218	2,[illegible]	578	185	48	38	8,221	4.39	0.767	4.42	[illegible]
			53.3%	33.5%	9.3%	1.8%	0.7%	1.3%	100.0%				
「実習」「演習」のみ	14	教員はお互い[illegible]に[illegible]が行えるよう心がけていた	3,225	2,815	858	98	48	187	8,221	4.37	0.792	4.41	[illegible]
			51.8%	32.2%	13.5%	1.5%	0.8%	3.0%	100.0%				
	15	教員はお互い[illegible]に取り組むよう心がけた	3,[illegible]	1,958	[illegible]	181	41	258	8,221	4.37	[illegible]	4.41	[illegible]
			52.0%	31.4%	13.5%	1.8%	0.8%	3.2%	100.0%				

相関係数表　　**部門名**　**文学部**
形態名　**講義**

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.301(**)	1											
Q3	.126(**)	.529(**)	1										
Q4	.084(**)	.449(**)	.757(**)	1									
Q5	.140(**)	.443(**)	.555(**)	.595(**)	1								
Q6	.103(**)	.440(**)	.554(**)	.601(**)	.653(**)	1							
Q7	.089(**)	.464(**)	.703(**)	.706(**)	.663(**)	.675(**)	1						
Q8	.062(**)	.407(**)	.614(**)	.688(**)	.634(**)	.632(**)	.771(**)	1					
Q9	.140(**)	.536(**)	.623(**)	.596(**)	.614(**)	.582(**)	.691(**)	.633(**)	1				
Q10	−0.006	.227(**)	.274(**)	.273(**)	.248(**)	.267(**)	.288(**)	.277(**)	.314(**)	1			
Q11	.127(**)	.527(**)	.697(**)	.694(**)	.714(**)	.670(**)	.797(**)	.739(**)	.773(**)	.310(**)	1		
Q12	.078(**)	.403(**)	.551(**)	.606(**)	.543(**)	.565(**)	.654(**)	.617(**)	.549(**)	.265(**)	.652(**)	1	
Q13	.108(**)	.407(**)	.593(**)	.603(**)	.554(**)	.560(**)	.664(**)	.614(**)	.575(**)	.261(**)	.677(**)	.713(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表　　**部門名**　**文学部**
形態名　**演習**

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15
Q1	1												
Q2	.358(**)	1											
Q3	.143(**)	.519(**)	1										
Q4	.104(**)	.449(**)	.740(**)	1									
Q5	.123(**)	.401(**)	.556(**)	.615(**)	1								
Q6	.101(**)	.392(**)	.526(**)	.585(**)	.664(**)	1							
Q7	.090(**)	.409(**)	.654(**)	.678(**)	.681(**)	.660(**)	1						
Q8	.097(**)	.371(**)	.581(**)	.634(**)	.627(**)	.606(**)	.777(**)	1					
Q9	.120(**)	.431(**)	.577(**)	.581(**)	.597(**)	.530(**)	.668(**)	.635(**)	1				
Q10	−0.011	.209(**)	.284(**)	.276(**)	.218(**)	.230(**)	.274(**)	.253(**)	.301(**)	1			
Q11	.121(**)	.456(**)	.662(**)	.691(**)	.712(**)	.633(**)	.782(**)	.709(**)	.740(**)	.292(**)	1		
Q14	.124(**)	.388(**)	.506(**)	.525(**)	.561(**)	.544(**)	.587(**)	.557(**)	.541(**)	.243(**)	.610(**)	1	
Q15	.100(**)	.401(**)	.547(**)	.558(**)	.598(**)	.564(**)	.639(**)	.600(**)	.588(**)	.250(**)	.671(**)	.692(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

Ｑ１　私はこの授業によく出席している

Ｑ２　私はこの授業に意欲的に取り組んでいる（事前の準備や復習等を含む）

Ｑ３　この授業のレベルについて

Ｑ４　この授業を進める速さについて

Ｑ５　授業に対する教員の熱意が感じられる

Ｑ６　教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている

Ｑ７　教員は理解しやすい授業を行っている

Ｑ８　教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である

Ｑ９　この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

Ｑ10　この授業のシラバスは受講に役立った（シラバスを読まなかった人は「０」をマーク）

Ｑ11　総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

Ｑ12　板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である

Ｑ13　教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

Ｑ14　教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた

Ｑ15　教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

学習院大学　平成25（2013）年度　授業評価アンケート　経年変化比較表

部門名　文学部
形態名　講義

回答対象	番号	質問内容	2013年度				2012年度				2011年度				2010年度				2009年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業によく出席している 5：出席率90%以上　4：出席率89～80% 3：出席率79～70%　2：出席率69～50% 1：出席率49%以下	4.54	0.767	4.53	0.275	4.48	0.799	4.45	0.268	4.51	0.811	4.45	0.258	4.43	0.870	4.40	0.303	4.37	0.916	4.38	0.345
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.69	0.982	3.79	0.418	3.65	0.965	3.74	0.405	3.63	0.962	3.68	0.369	3.60	0.974	3.68	0.386	3.53	0.974	3.61	0.355
	3	この授業のレベルは適切である	4.00	0.900	4.10	0.368	3.97	0.917	4.04	0.395	3.98	0.901	4.04	0.359	3.94	0.929	4.03	0.387	3.90	0.916	3.96	0.342
	4	この授業を進める速さは適切である	4.05	0.902	4.16	0.355	4.01	0.931	4.10	0.427	4.03	0.897	4.12	0.347	3.98	0.952	4.08	0.429	3.97	0.911	4.03	0.359
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.28	0.836	4.38	0.345	4.27	0.847	4.36	0.374	4.31	0.822	4.38	0.354	4.34	0.802	4.39	0.345	4.29	0.819	4.34	0.322
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.10	0.884	4.22	0.352	4.10	0.896	4.20	0.364	4.11	0.878	4.21	0.331	4.11	0.880	4.19	0.326	4.05	0.893	4.11	0.335
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.06	0.965	4.18	0.439	4.02	1.003	4.14	0.499	4.07	0.957	4.17	0.413	4.03	0.991	4.14	0.444	3.99	0.989	4.07	0.409
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.10	0.963	4.25	0.443	4.09	0.966	4.21	0.468	4.11	0.935	4.22	0.400	4.06	0.986	4.18	0.453	4.07	0.940	4.13	0.404
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	4.10	0.960	4.22	0.421	4.07	0.976	4.20	0.439	4.11	0.930	4.21	0.374	4.10	0.953	4.20	0.398	4.09	0.933	4.19	0.372
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.90	0.923	3.97	0.354	3.88	0.947	3.92	0.384	3.88	0.930	3.94	0.342	3.83	0.937	3.88	0.369	–	–	–	–
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.12	0.906	4.24	0.414	4.08	0.924	4.19	0.459	4.13	0.877	4.21	0.382	4.10	0.908	4.20	0.401	4.10	0.893	4.18	0.371
「講義」「語学」のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.97	0.989	4.05	0.437	3.92	1.022	4.00	0.506	3.96	0.991	4.05	0.434	3.82	1.074	3.94	0.508	3.81	1.044	3.89	0.481
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は 適切である	4.11	0.911	4.19	0.394	4.06	0.955	4.16	0.467	4.11	0.891	4.18	0.362	4.03	0.963	4.12	0.427	4.00	0.941	4.08	0.411

部門名　文学部
形態名　演習

回答対象	番号	質問内容	2013年度				2012年度				2011年度				2010年度				2009年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業によく出席している 5：出席率90%以上　4：出席率89～80% 3：出席率79～70%　2：出席率69～50% 1：出席率49%以下	4.59	0.690	4.56	0.285	4.57	0.712	4.56	0.310	4.61	0.679	4.59	0.274	4.57	0.725	4.55	0.304	4.58	0.701	4.58	0.301
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.20	0.802	4.23	0.310	4.18	0.799	4.22	0.334	4.15	0.826	4.17	0.321	4.11	0.839	4.13	0.344	4.07	0.846	4.09	0.352
	3	この授業のレベルは適切である	4.24	0.833	4.26	0.375	4.24	0.840	4.27	0.347	4.21	0.845	4.23	0.356	4.18	0.845	4.21	0.374	4.14	0.859	4.16	0.363
	4	この授業を進める速さは適切である	4.28	0.820	4.32	0.364	4.32	0.807	4.35	0.345	4.26	0.840	4.29	0.369	4.22	0.859	4.25	0.393	4.20	0.845	4.23	0.373
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.48	0.727	4.50	0.339	4.51	0.705	4.54	0.325	4.48	0.723	4.51	0.323	4.47	0.721	4.50	0.345	4.48	0.699	4.51	0.312
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.40	0.757	4.42	0.306	4.40	0.766	4.44	0.317	4.37	0.793	4.40	0.318	4.34	0.797	4.38	0.343	4.34	0.780	4.37	0.324
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.36	0.831	4.40	0.431	4.39	0.811	4.44	0.371	4.36	0.814	4.41	0.394	4.33	0.842	4.36	0.425	4.31	0.832	4.34	0.394
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.41	0.781	4.44	0.384	4.43	0.776	4.47	0.342	4.40	0.805	4.44	0.375	4.38	0.800	4.41	0.391	4.36	0.802	4.38	0.384
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	4.37	0.828	4.40	0.401	4.35	0.856	4.40	0.385	4.32	0.849	4.36	0.373	4.33	0.826	4.36	0.376	4.32	0.827	4.34	0.389
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	4.18	0.864	4.18	0.398	4.20	0.892	4.21	0.396	4.12	0.885	4.12	0.383	4.05	0.907	4.06	0.401	–	–	–	–
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.39	0.787	4.42	0.400	4.42	0.774	4.46	0.372	4.39	0.777	4.43	0.361	4.36	0.781	4.39	0.384	4.38	0.765	4.41	0.363
「演習」「語学」のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.37	0.792	4.41	0.385	4.39	0.810	4.45	0.369	4.38	0.795	4.42	0.362	4.35	0.809	4.39	0.386	4.32	0.814	4.36	0.373
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.37	0.801	4.41	0.368	4.42	0.797	4.47	0.335	4.39	0.801	4.43	0.370	4.35	0.820	4.38	0.387	4.33	0.808	4.37	0.365

Ⅳ. 理　学　部

1. 集計データからわかること

理学部では、平成２１年度に生命科学科が開設され、物理学科、化学科、数学科と合わせて４学科体制となった。平成２５年度は生命科学科が開設されて５年目となり、開設年度に入学した第２期生が卒業生となった。

講義

- 回答率は 58.12%であり、昨年度の 54.60%と比較して微増となり、過去 5 年で最も高い数字であった。
- 学生の「出席状況」は良好であり、93.68%の学生が出席率 80%以上と回答した。経年変化をみると、回答者ベースで 4.73、科目ベースで 4.72 という平成２５年度の平均値は、過去５年で最も高い数字となった平成２４年度とほぼ同じ数字であった。一方、標準偏差をみると、平成２５年度は回答者ベースの標準偏差が 0.666、科目ベースの標準偏差が 0.195 となっている。なお平成２４年度のこれらの数字は、回答者ベースの標準偏差 0.673、科目ベースの標準偏差 0.251 であった。回答率が微増であったことを考慮すると、授業に出席する学生は引き続き増加傾向にあり、さらに、回答した学生の出席率は非常に高いことがわかる。
- 授業に対する取り組みでは、61.95%の学生が意欲的に取り組んでいると回答している。過去５年と比較すると、平成２５年度の平均値は、回答者ベースでも科目ベースでも最も高い値であった。理学部の講義科目は、初学者にとっては難解な概念を教員が説明するという受け身の授業になりがちであることを考慮すると、意欲的に取り組む学生の割合は高く、また、経年変化でも意欲的に取り組む学生が増えていることは、授業改善の効果と考えられる。
- 授業のレベル、進める速さが適切である（「強くそう思う」、「そう思う」）と回答した学生は、各々59.27%、62.78%であった。平成２４年度はそれぞれ 57.71%、60.18%であったので、増加している。一方、「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」と回答した学生は、授業のレベルについては 13.34%、進める速さについては 12.34%であり、これらを平成２４年度の数字である 14.76%、13.82%と比較すると、いずれも減少している。このように、授業のレベル、進める速さを適切と回答した学生が増加し、そう思わない学生が減少したことは、授業評価アンケートの結果が教員にフィードバックされることにより改善が実現されたものと考えられる。平均値でみても、平成２５年度の結果は過去５年間でもっと高い数字となっており、着実な改善がみられる。
- 「教員は理解しやすい授業を行っている」かとの設問においては、65.2%の学生が「強

くそう思う」または「そう思う」と回答し、12.24%の学生が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」と回答している。これらの平成２４年度の数字は、62.75%と13.41%であったので、学生にとって理解しやすい授業が増えたことが分かる。平均値の経年変化をみても、平成２５年度の平均値は過去５年で最も高い結果であり、着実な改善がみられる。一方で、およそ８人に１人の学生は授業を理解しにくいと感じていることが伺える。理学部の講義科目は積み上げ式の内容のものが多く、例えば１年生の学習内容を理解していないと２年生の科目が理解できないということが起こる。このような状況において、理解しにくいと感じる学生を減らすことは容易なことではないと考えられるが、着実な改善がみられることは、少人数教育の下できめの細かい授業を実施する不断の努力が行われている顕れであろう。

- 「教員の熱意を感じるか」という質問には、77.65%の学生が「強くそう思う」または「そう思う」と回答し、「あまりそう思わない」または「全くそう思わない」という回答者の割合は5.59%であった。平成２４年度の数字は、77.61%と5.28%であったので、教員の熱意を感じる学生の割合に大きな変化はない。平均値の経年変化では、平成２５年度は過去５年で最も高い数字となった。
- 「教員による良好な学習環境の維持」、「教員の話し方」、「板書・スライドの提示の仕方」「教材の適切性」については、6 割以上の学生が「強くそう思う」または「そう思う」と回答している（それぞれの項目の数字は、70.97%、67.66%、64.87%、66.08%であり、平成２４年度の 68.32%、66.55%、65.54%、65.58%とほぼ同様である）。一方で、１割程度の学生が「あまりそう思わない」または「全くそう思わない」）と回答している（それぞれの項目の数字は、6.96%、11.17%、12.04%、7.91%であり、平成２４年度の7.9%、12.12%、12.47%、8.5%と比べ、いずれの項目とも改善傾向である）。
- 「知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られた」という項目についても、過去５年間で最も高い平均値となっており、着実な改善を示している。
- シラバスについては、53.09%が読まなかったと回答しているが、役に立たなかったという回答（「あまりそう思わない」または「全くそう思わない」）は 3.62%であり、読めば役に立つという評価を得ているといえる。
- 総合的に見て高く評価できるかという質問に対しては、68.72%の学生が「強くそう思う」または「そう思う」と回答し、8.06%の学生が「あまりそう思わない」または「全くそう思わない」と回答している。昨年度のこれらの数字は、66.18%と 9.25%であり、高い評価の学生が増加し、低い評価の学生が減少した。平均値でみると、平成２５年度は過去５年間で最も高い評価となった。一方、標準偏差については、いずれも僅かではあるが回答者ベースでは減少し、科目ベースでは増加した。相関係数表をみると、この「総合的な評価」は質問番号 3～9 の回答と高い相関があり、最も相関係数が大きいのは、質問番号 7 の「教員は理解しやすい授業を行っている」である。また、相関係数表の中で最も相関係数が大きいのは、質問番号７と質問番号８の教員の話し方（ス

ピード、聞き取りやすさ）の適切さである。

演習

- 回答率は 72.82%であり、昨年度の 65.82%と比較して、微増となった。
- 学生の「出席状況」は非常に良好であり、90.20%の学生が 90%以上の出席率、80%以上の出席率の学生は 96.41%であった。70%未満の出席率と回答した学生の割合は 1.77%である。平均値の経年変化を見ると、回答者ベースの平均、科目ベースの平均ともに、過去５年で最も高い数字となった（回答者ベースで 4.85、科目ベースで 4.81）。また、標準偏差をみても、平成２５年度は回答者ベースの標準偏差が 0.548、科目ベースの標準偏差が 0.251 と、過去５年で最も小さくなった平成２４年度とほぼ同様であり、出席率の高さ、出席率のばらつきの小ささがともに維持されている。
- 約８割の学生が、教員の熱意や教員による課題参加への助力を感じ、意欲的に演習に取り組んでいる。

  教員の熱意が感じられる：「強くそう思う」、「そう思う」が 82.44%、「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」）が 2.78%。平成２４年度は、80.39%と 3.01%であったので、熱意を感じる学生が増加している。

  教員による課題参加への助力：77.67%が「強くそう思う」、「そう思う」、2.62%が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」。平成２４年度は、83.37%と 2.57%であったので、十分な助力を得られたと感じる学生の割合は減少した。

  意欲的な取り組み：82.81%が「強くそう思う」、「そう思う」、3.38%が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」。平成２４年度は、79.59%と 3.76%であったので、意欲的に取り組む学生が増加した。
- 授業のレベル、進度は約７割の学生が適切と評価し、ついて行けないと感じている学生は数%以下。

  授業のレベルは適切である：「強くそう思う」、「そう思う」が 76.22%、「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」が 5.94%。平成２４年度は、70.68%と 6.02%であったので、適切だと思う学生が増加した。

  授業を進める速さの適切さ：「強くそう思う」、「そう思う」が 76.86%、「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」が 4.61%。平成２４年度は、72.7%と 4.7%であったので、この項目においても適切だと思う学生が増加した。
- 良好な学習環境の維持、理解しやすい授業、話し方、知的好奇心の喚起、発言・議論の喚起についてもおよそ４分の３の学生から高い評価。

  教員による良好な学習環境の維持：「強くそう思う」、「そう思う」が 77.72%、「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」が 5.25%。平成２４年度は、それぞれ 74.89%と 5.84%であった。

  理解しやすい授業：77.82%が「強くそう思う」、「そう思う」、3.81%が「あまりそ

う思わない」、「全くそう思わない」。平成２４年度は、それぞれ 73.73%と 4.96%であった。

教員の話し方：79.49%が「強くそう思う」、「そう思う」、3.81%が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」。平成２４年度は、それぞれ 75.67%と 4.14%であった。

知的好奇心の喚起： 76.38%が「強くそう思う」、「そう思う」、5.62%が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」。平成２４年度は、それぞれ 73%と 4.91%であった。

教員による参加者の発言・議論の喚起：71.92%が「強くそう思う」、「そう思う」、4.29%が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」。平成２４年度は、それぞれ 73.89%と 4.05%であった。

- 総合評価では、70%以上の学生が授業を高く評価し、6%程度の学生が低く評価している。

  総合的な評価：80.56%が「強くそう思う」、「そう思う」、4.07%が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」。平成２４年度は、それぞれ 77.55%と 3.85%であり、昨年度に比べて肯定的な学生が増加した。

- 平均値をみると、平成２５年度は平成２４年度と比較して全ての項目で改善がみられた。特に平均値の上昇がみられた項目を回答者ベースの平均であげると、授業を進める速さの適切さ（4.03→4.12）、授業に対する教員の熱意（4.21→4.27）、理解しやすい授業の実施（4.06→4.13）、活発な発言や議論（4.07→4.11）、課題への助力（4.27→4.28）であり、これらは教員の授業改善を反映する項目であり、その結果として、総合的な評価も 4.13 から 4.20 に平均値が上昇した。また、過去５年間と比較しても、平成２５年度は１３項目全てにおいて最も高い平均値となった。

2. 今後の授業改善に向けて

講義科目の２０１３年度の授業評価アンケートの平均値は、ほぼ全ての項目で過去５年間の最高値であった。

演習科目についても、２０１３年度の平均値は、全ての項目について過去５年間で最も高い数字となった。評価項目の他、出席率も向上しており、担当者のより良い授業に向けた尽力の賜物であり、また、ファカルティディベロップメント活動の効果がでたものと考えられる。

全体として、２０１３年度授業評価アンケートの結果は、授業改善に向けた地道な活動が継続的に行われていることを反映するものであったといえる。一部に教室環境の悪化が懸念される結果があるなど、今後も改善すべき事柄は多くあると考えられ、より良い教育の実現に向けた継続的な努力を継続しなくてはならない。

学習院大学　平成25（2013）年度　授業評価アンケート　集計結果

部門名　理学部

形態名　講義

	合計	総履修者数	回収率
回収数	5,201	8,786	59.12%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業によく集中している 5：平均平均%以上　4：平均平均～平均% 3：平均平均～平均%　2：平均平均～平均% 1：平均平均%以下	4,272	[illegible]	229	37	42	18	5,201	4.73	[illegible]	4.72	0.153
			82.14%	11.34%	4.23%	1.16%	0.81%	0.15%	100.00%				
	2	私はこの授業に積極的に取り組んでいる（準備の予習や復習等を含む）	1,368	1,662	1,450	323	133	15	5,201	3.77	0.993	3.77	0.229
			26.13%	31.96%	28.76%	6.46%	2.36%	0.29%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	1,383	1,768	1,450	677	217	16	5,201	3.67	1.077	3.67	0.444
			26.60%	34.22%	27.92%	9.17%	4.17%	0.32%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	1,481	1,804	1,270	428	214	16	5,201	3.73	1.080	3.73	0.469
			28.48%	34.69%	24.42%	8.23%	4.11%	0.32%	100.00%				
	5	授業に対する教員の情熱が感じられる	2,133	1,878	834	188	122	17	5,201	4.12	0.933	4.13	0.411
			41.02%	36.11%	16.03%	3.62%	2.35%	0.32%	100.00%				
	6	教員は受講者が学習しやすい雰囲気を作れるように心がけている	1,813	1,878	1,138	241	121	16	5,201	3.97	0.981	4.00	0.273
			34.86%	36.11%	21.88%	4.63%	2.33%	0.32%	100.00%				
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	1,352	1,765	1,158	352	242	17	5,201	3.79	1.101	3.80	0.328
			26.00%	34.19%	22.26%	7.16%	4.65%	0.32%	100.00%				
	8	教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である	1,773	1,748	1,082	378	203	19	5,201	3.87	1.080	3.85	0.327
			34.08%	33.59%	20.80%	7.26%	3.90%	0.37%	100.00%				
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	1,644	1,765	1,218	388	193	31	5,201	3.82	1.057	3.88	0.434
			31.60%	33.94%	23.42%	7.46%	3.71%	0.60%	100.00%				
	10	この授業のシラバス（授業計画）は役に立った（シラバスを読まなかった人 → 33.69%）	787	843	684	189	79	38	5,201	3.73	1.023	3.73	0.414
			15.13%	16.20%	13.15%	3.63%	1.52%	0.73%	100.00%				
	11	総合的に見てこの授業は高評価である	1,688	1,908	1,159	232	187	48	5,201	3.69	1.080	3.51	0.474
			32.45%	36.68%	22.28%	4.46%	3.59%	0.92%	100.00%				
「演習」「実験」のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	1,078	1,058	1,042	418	268	125	5,201	3.64	1.182	3.63	0.342
			22.72%	22.30%	21.96%	8.81%	5.65%	2.63%	100.00%				
	13	教材（教科書、配本資料等）の内容は適切である	1,069	1,748	1,177	238	181	178	5,201	3.51	1.024	3.51	0.442
			22.54%	36.81%	22.82%	4.81%	3.16%	3.36%	100.00%				

学習院大学　平成25(2013)年度　授業評価アンケート　集計結果

部門名　理学部

形態名　演習

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,887	2,584	72.82%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業によく集中している 5:平均80%以上　4:平均60%～80% 3:平均40%～60%　2:平均20%～40% 1:平均20%以下	1,004	118	33	10	10	8	1,187	4.83	0.548	4.81	0.251
			50.38%	9.21%	1.77%	0.54%	0.84%	0.42%	100.00%				
	2	私はこの授業に積極的に取り組んでいる(事前の予習や復習等を含む)	542	384	231	44	19	7	1,187	4.29	0.882	4.33	0.384
			28.48%	32.32%	19.46%	3.38%	1.62%	0.37%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	720	442	222	78	33	11	1,187	4.08	0.948	4.03	0.418
			34.18%	37.12%	17.23%	6.57%	1.67%	0.93%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	781	474	227	81	23	9	1,187	4.12	0.910	4.08	0.420
			48.38%	39.91%	19.12%	6.82%	1.94%	0.76%	100.00%				
	5	授業に対する教員の情熱が感じられる	582	410	169	29	23	10	1,187	4.27	0.833	4.23	0.228
			49.03%	34.57%	14.23%	1.23%	1.93%	0.84%	100.00%				
	6	教員は受講者が学習しやすい雰囲気を作れるよう心がけている	528	353	387	81	37	11	1,187	4.17	0.933	4.12	0.439
			44.50%	29.74%	32.61%	6.82%	3.12%	0.93%	100.00%				
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	787	388	388	88	42	12	1,187	4.13	0.938	4.11	0.418
			66.28%	32.67%	32.67%	7.41%	3.54%	1.01%	100.00%				
	8	教員の話し方やペース、板書やすさは適切である	628	438	381	44	27	11	1,187	4.19	0.893	4.18	0.278
			52.91%	36.87%	32.09%	3.71%	2.27%	0.93%	100.00%				
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたと思った	583	381	322	83	42	14	1,187	4.18	0.978	4.18	0.487
			49.12%	32.09%	27.12%	6.99%	3.54%	1.18%	100.00%				
	10	この授業のシラバスは実際に役立った(シラバスを読まなかった人 → 31.42%)	378	224	229	29	23	12	1,187	4.01	1.023	3.94	0.444
			31.84%	18.87%	19.29%	2.44%	1.94%	1.01%	100.00%				
	11	総合的に見てこの授業は高評価である	828	588	278	39	37	17	1,187	4.29	0.988	4.18	0.434
			69.78%	49.54%	23.41%	3.28%	3.12%	1.43%	100.00%				
「演習」「講学」のみ	14	教員は参加者が活発に議論や討論が行えるよう心がけていた	742	374	343	38	42	18	1,187	4.11	0.931	4.18	0.284
			62.52%	31.51%	28.89%	3.20%	3.54%	1.52%	100.00%				
	15	教員は参加者が理解しやすい説明の仕方を心がけた	872	378	288	28	33	188	1,187	4.28	0.882	4.27	0.243
			73.47%	31.84%	24.26%	2.36%	2.78%	15.84%	100.00%				

相関係数表　　**部門名**　**理学部**
形態名　**講義**

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.277(**)	1											
Q3	.122(**)	.549(**)	1										
Q4	.102(**)	.470(**)	.778(**)	1									
Q5	.137(**)	.439(**)	.554(**)	.616(**)	1								
Q6	.128(**)	.442(**)	.547(**)	.597(**)	.692(**)	1							
Q7	.105(**)	.466(**)	.711(**)	.740(**)	.685(**)	.667(**)	1						
Q8	.117(**)	.425(**)	.612(**)	.718(**)	.665(**)	.655(**)	.793(**)	1					
Q9	.137(**)	.531(**)	.652(**)	.642(**)	.651(**)	.606(**)	.709(**)	.685(**)	1				
Q10	0	.259(**)	.271(**)	.248(**)	.206(**)	.210(**)	.251(**)	.241(**)	.293(**)	1			
Q11	.134(**)	.518(**)	.721(**)	.740(**)	.726(**)	.686(**)	.824(**)	.767(**)	.773(**)	.262(**)	1		
Q12	.112(**)	.427(**)	.584(**)	.655(**)	.624(**)	.593(**)	.732(**)	.708(**)	.623(**)	.223(**)	.737(**)	1	
Q13	.125(**)	.453(**)	.620(**)	.636(**)	.626(**)	.610(**)	.703(**)	.659(**)	.645(**)	.218(**)	.730(**)	.755(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表　　**部門名**　**理学部**
形態名　**演習**

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15
Q1	1												
Q2	.320(**)	1											
Q3	.195(**)	.578(**)	1										
Q4	.191(**)	.556(**)	.792(**)	1									
Q5	.177(**)	.528(**)	.596(**)	.663(**)	1								
Q6	.165(**)	.537(**)	.614(**)	.654(**)	.718(**)	1							
Q7	.149(**)	.526(**)	.656(**)	.705(**)	.697(**)	.707(**)	1						
Q8	.160(**)	.501(**)	.606(**)	.673(**)	.686(**)	.690(**)	.785(**)	1					
Q9	.216(**)	.568(**)	.631(**)	.641(**)	.651(**)	.627(**)	.663(**)	.663(**)	1				
Q10	0.023	.200(**)	.242(**)	.225(**)	.211(**)	.223(**)	.226(**)	.215(**)	.252(**)	1			
Q11	.204(**)	.598(**)	.703(**)	.716(**)	.719(**)	.710(**)	.770(**)	.734(**)	.769(**)	.229(**)	1		
Q14	.143(**)	.455(**)	.505(**)	.564(**)	.579(**)	.574(**)	.616(**)	.596(**)	.574(**)	.211(**)	.628(**)	1	
Q15	.163(**)	.478(**)	.523(**)	.582(**)	.643(**)	.590(**)	.650(**)	.635(**)	.601(**)	.183(**)	.681(**)	.714(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

Ｑ１　私はこの授業によく出席している

Ｑ２　私はこの授業に意欲的に取り組んでいる（事前の準備や復習等を含む）

Ｑ３　この授業のレベルについて

Ｑ４　この授業を進める速さについて

Ｑ５　授業に対する教員の熱意が感じられる

Ｑ６　教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている

Ｑ７　教員は理解しやすい授業を行っている

Ｑ８　教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である

Ｑ９　この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

Ｑ10　この授業のシラバスは受講に役立った（シラバスを読まなかった人は「０」をマーク）

Ｑ11　総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

Ｑ12　板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である

Ｑ13　教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

Ｑ14　教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた

Ｑ15　教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

学習院大学　平成25（2013）年度　授業評価アンケート　経年変化比較表

部門名　理学部
形態名　講義

回答対象	番号	質問内容	2013年度				2012年度				2011年度				2010年度				2009年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業によく出席している 5：出席率90%以上　4：出席率89～80% 3：出席率79～70%　2：出席率69～50% 1：出席率49%以下	4.73	0.666	4.72	0.195	4.73	0.673	4.69	0.251	4.73	0.666	4.69	0.222	4.67	0.742	4.63	0.265	4.64	0.758	4.60	0.252
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.77	0.993	3.77	0.320	3.70	0.990	3.70	0.352	3.64	1.027	3.65	0.385	3.60	1.024	3.61	0.333	3.50	1.028	3.52	0.334
	3	この授業のレベルは適切である	3.67	1.077	3.67	0.444	3.60	1.080	3.63	0.523	3.54	1.103	3.62	0.508	3.52	1.109	3.56	0.482	3.41	1.128	3.44	0.504
	4	この授業を進める速さは適切である	3.75	1.080	3.75	0.489	3.67	1.077	3.72	0.543	3.60	1.107	3.72	0.503	3.60	1.107	3.66	0.478	3.47	1.123	3.54	0.517
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.12	0.955	4.13	0.411	4.09	0.933	4.13	0.408	4.04	0.960	4.11	0.425	4.03	0.970	4.09	0.408	3.89	1.042	3.94	0.459
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	3.97	0.981	4.00	0.373	3.90	0.993	3.96	0.430	3.86	1.011	3.95	0.429	3.83	1.014	3.90	0.395	3.71	1.045	3.80	0.446
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	3.79	1.101	3.80	0.520	3.72	1.126	3.78	0.611	3.64	1.139	3.73	0.576	3.63	1.135	3.69	0.520	3.48	1.182	3.55	0.584
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3.87	1.086	3.89	0.537	3.81	1.105	3.87	0.576	3.76	1.106	3.86	0.551	3.73	1.109	3.80	0.517	3.58	1.144	3.66	0.556
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3.83	1.057	3.86	0.454	3.77	1.057	3.84	0.479	3.70	1.087	3.79	0.474	3.66	1.099	3.74	0.463	3.54	1.122	3.61	0.474
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.75	1.033	3.73	0.414	3.74	0.982	3.76	0.444	3.67	1.020	3.71	0.395	3.59	1.022	3.61	0.377	–	–	–	–
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.89	1.006	3.91	0.474	3.81	1.017	3.87	0.521	3.78	1.028	3.86	0.502	3.77	1.031	3.84	0.475	3.65	1.078	3.71	0.499
「講義」「語学」のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.84	1.102	3.83	0.542	3.79	1.103	3.83	0.570	3.76	1.101	3.84	0.525	3.73	1.096	3.79	0.467	3.56	1.148	3.63	0.542
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は 適切である	3.91	1.024	3.91	0.442	3.84	1.006	3.87	0.439	3.81	1.039	3.86	0.446	3.79	1.027	3.85	0.416	3.67	1.043	3.72	0.426

部門名　理学部
形態名　演習

回答対象	番号	質問内容	2013年度				2012年度				2011年度				2010年度				2009年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業によく出席している 5：出席率90%以上　4：出席率89～80% 3：出席率79～70%　2：出席率69～50% 1：出席率49%以下	4.85	0.546	4.81	0.251	4.83	0.538	4.78	0.234	4.73	0.752	4.66	0.416	4.74	0.730	4.66	0.403	4.73	0.706	4.66	0.313
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.29	0.862	4.23	0.384	4.20	0.882	4.13	0.406	4.07	0.964	4.03	0.463	4.07	0.966	3.97	0.476	3.94	1.015	3.86	0.472
	3	この授業のレベルは適切である	4.08	0.946	4.05	0.410	3.98	0.948	3.92	0.371	3.84	1.014	3.83	0.400	3.86	1.031	3.79	0.397	3.72	1.027	3.65	0.432
	4	この授業を進める速さは適切である	4.12	0.910	4.08	0.420	4.03	0.924	3.99	0.385	3.84	1.003	3.81	0.398	3.89	1.004	3.84	0.380	3.79	1.021	3.75	0.428
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.27	0.853	4.25	0.336	4.21	0.868	4.18	0.358	4.06	0.966	4.01	0.368	4.07	0.966	4.04	0.428	3.99	0.995	3.95	0.430
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.17	0.953	4.12	0.439	4.08	0.951	4.02	0.440	3.95	1.021	3.91	0.408	3.95	1.000	3.90	0.427	3.84	1.050	3.79	0.456
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.13	0.950	4.11	0.418	4.06	0.934	4.02	0.425	3.88	1.014	3.82	0.420	3.88	1.035	3.84	0.438	3.78	1.093	3.75	0.487
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.19	0.893	4.16	0.378	4.08	0.907	4.05	0.401	3.95	0.960	3.92	0.345	3.97	0.971	3.94	0.370	3.89	1.025	3.84	0.402
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	4.16	0.978	4.10	0.467	4.08	0.955	4.02	0.443	3.94	1.025	3.90	0.471	3.94	1.043	3.85	0.489	3.81	1.079	3.74	0.534
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	4.01	1.035	3.94	0.444	3.95	0.965	3.91	0.362	3.83	0.968	3.82	0.362	3.80	1.022	3.75	0.434	–	–	–	–
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.20	0.906	4.16	0.454	4.13	0.895	4.08	0.408	3.99	0.978	3.95	0.425	3.99	0.963	3.96	0.443	3.90	1.044	3.84	0.504
「演習」「語学」のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.11	0.951	4.10	0.384	4.07	0.923	4.07	0.362	3.87	1.006	3.86	0.431	3.97	0.983	3.94	0.421	3.87	1.018	3.86	0.436
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.28	0.862	4.27	0.345	4.27	0.832	4.25	0.302	4.08	0.967	4.05	0.432	4.17	0.966	4.12	0.464	4.09	1.000	4.05	0.423

V．計算機センター

計算機センターで開講している科目には次のような特徴がある。授業形態は講義のみであるが、座学のみだけではなく、学生１人に１台のコンピューター端末を割当て、実際に操作しながら学ぶ形態を講義の中に取り入れている。また、「初等情報処理 1」は、学内の実習室等で計算機センターのコンピューターを利用する権利を得るためには単位取得が必要であり、ほとんどの学科で選択科目ではあるものの、実質的に必修科目に近い。そのため、複数の教員が担当しており、コマ数も履修者数も多い科目である。このような科目の特徴をふまえて、本年度の授業評価アンケートの設問 Q1 から Q13 の集計結果について、2009 年度～2013 年度の過去 5 年間の経年変化を考慮しつつ分析した後、今後の改善点について検討する。また、昨年同様に図 1 に 2013 年度のアンケート項目間の回答傾向の類似性を示す。回答傾向が似ている設問ほど右側で合流する（相関係数を距離に変換し階層クラスタリングによりデンドログラムを作成した）。図中で、回答の傾向が互いに同じ設問を、四角の枠で囲んだ。

図 1. 設問間の類似度（設問間の相関係数に基づく階層クラスタリング）

A) 集計データからわかること（単年度データ及び過去５ヵ年経年変化比較表）

Q1 出席率：

計算機センターの部門別平均 4.69(標準偏差 0.188)は、大学全体の講義の平均 4.56(標準偏

差 0.285)と比べ高く、標準偏差も小さい。この結果は、過去 5 年間と同様に計算機センターで開講している講義科目では、学生全体の出席率が高いことが読み取れる。一方で、図 1 からわかるように、出席率(Q1)と意欲(Q2)は高い位置で合流しており、相関が非常に低いことがわかる。つまり、必ずしも学習意欲が出席率に結びついているわけではない。この傾向には大きな変化はなく、計算機センター開講授業のうち「初等情報処理 1」の単位取得は、計算機センターのコンピューターを卒業まで利用するための条件となっていることから、義務的・受け身的な態度で授業を受ける学生が多いためであると考えられる。

Q2 意欲的か：

計算機センターの部門別平均 3.85(標準偏差 0.279)は、大学全体の講義の平均 0.375(標準偏差 0.383)よりも高く、学生は意欲をもって授業に臨んでいる。しかし、学習意欲(Q2)、理解度(Q7)、総合評価(Q11)との相関は低く、学生の学習意欲に十分に応える授業内容になっていないことや、学生が義務的・受け身的な態度で授業を受けていることが、可能性として考えられる。

Q3 授業レベルの適切さ・Q4 授業の速さの適切さ：

図 1 よりこの 2 つの設問は同様の回答傾向があることがわかる。授業レベル(Q3)の評価については、計算機センターの部門別平均 3.72(標準偏差 0.479)は、大学全体の講義の平均 3.92(標準偏差 0.459)より低い。また、授業の速さ(Q4)の評価においても計算機センターの部門別平均 3.67(標準偏差 0.467)は、大学全体の講義の平均 3.98(標準偏差 0.453)より低い。標準偏差も、大学全体と比較して大きいことから、学科別に割り当てられたクラスでのコンピューターの習熟度には大きな差があること、同じ科目でも教員間でのレベル設定に差があることが考えられる。今後、初等情報処理のように複数の教員で担当している科目については、教員間でより一層の授業内容のすり合わせを行なってゆく必要性がある。

Q5 教員の熱意・Q6 教員の授業環境保全：

図 1 から、設問 Q5 と Q6 は同様の回答傾向があり、計算機センターの部門平均は、それぞれ 3.86(標準偏差 0.434)と 3.97(標準偏差 0.353)であり、大学全体の講義の平均よりやや低い。教員の熱意が授業の総合的な評価(Q11)に、必ずしも結びついているわけではないことも読み取れる。

Q7 授業のわかりやすさ・Q8 教員の話し方・Q11 総合評価：

Q7、Q8、Q11 の評価には比較的強い相関があることがわかる。授業のわかりやすさは、学生の主体性がそもそも前提になっており、授業が理解できた学生にとっては、授業の評価が高いという至極当然のことを表しているにすぎない可能性はある。計算機センターの部門別平均は、過去 5 年の結果と同様に大学全体よりも若干低い。

Q10 シラバスと受講：

計算機センターの部門別平均 3.72 は大学平均 3.86 より低い。1 年生の計算機センター開講授業「初等情報処理」の時間割は、あらかじめ学科ごとに割り振られているために、シラバスを参考に選択する余地がないためであると考えられる。

Q12 板書・スライドの提示、Q13 教材（教科書、配布資料等）の内容：

図 1 より、この 2 つの設問の回答傾向は類似していることがわかる。計算機センターの部門平均は、それぞれ 3.99(標準偏差 0.400)と 4.01(標準偏差 0.363)であり、大学全体の講義の平均とほぼ変わりない。経年変化比較表から若干ながら年々改善されている傾向がわかる。

B) 今後の授業改善に向けて

例年の傾向であるが、概して学生の授業への評価が全学平均よりもやや低く、個々の学生のニーズ・レベルに合わせて授業の改善をする必要がある。ただし、計算機センター開講科目の特色として、次の２点に留意しなくてはならない。

1) 計算機センターで開講している講義科目のほとんど（約 75%）は、コンピューターの基本操作等の情報リテラシー教育を行う「初等情報処理」であり、その受講生の大部分は 1 年生である。1 人 1 台のコンピューター端末を操作する科目で、80 名程度の規模のクラスも少なくない。一般的な傾向として、総履修者数が多くなるほど、授業の総合評価は低くなり、学年が低いほど、授業の総合評価は低くなっており、計算機センターの開講科目も、同様の傾向を示していることがわかる。
2) 特に初等情報処理の一学期開講科目である「初等情報処理 1」においては、この単位を修得した学生に限り、卒業まで継続してコンピューターを利用できる権利を与えている。すなわち在学中に継続して大学でコンピューターを利用したい学生の大部分は、「初等情報処理 1」の単位を修得する必要があり、出席は必須である。

「初等情報処理 1」を履修する学生のコンピューター操作のスキルには、大きな個人差がある上に、実際にコンピューターを操作しながら授業を進める形態であることから、授業に一度ついていけなくなると、その後授業内容がわからないままに、ただ義務的・受身的に授業に出席するという状態に陥りやすい。

今後、義務的に出席している学生が、よりいっそう学習意欲や好奇心を感じられるように授業を改善してゆく必要がある。図 1 からは、学習意欲はあるにもかかわらず(Q2)、学生の好奇心を十分に満たせていない状況(Q9)も読み取れる。これは、授業がコンピューター操作の訓練の場として受け止められており、他の講義科目と同様に予習・復習を前提とした

科目であるという認識が薄いことも一因であろう。コンピューターの操作に終始せず、その背後にある原理や、受講学生の属する学科の学問領域との関連性についても触れ、学生の知的好奇心を満たすことができる充実した内容にしてゆくことが一層望まれる。

学生のコンピューターへの習熟度は、入学時にすでに大きな開きがあり、すべての学生に満足のいくレベルの授業を行うことはいっそう難しくなりつつある。今後は、学生の学習意欲を高めるために、能力別クラス編成の導入などの柔軟な情報処理教育体制も視野に入れて、授業の改善を進める必要がある。

「初等情報処理 1,2」はクラスが多く、多数の教員が担当している。設問 Q3,4,7 は、他の設問と比較して標準偏差の値が大きく、学生に理解しやすい授業をしているクラスとそうでないクラスの差が大きいことがわかる。このような状況を鑑み、共通のシラバスのもとで多数の教員が授業をする科目については、特に教員間で授業改善のための工夫を共有し、学生の声を反映させるための仕組みを作ることが望まれる。

学習院大学　平成25(2013)年度　授業評価アンケート　集計結果

部門名　計算機センター

形態名　講義

	合計	総履修者数	回収率
回収数	3,753	4,966	75.14%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 専門別※1平均	専門別※1標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業には積極的である 5:積極的80%以上　4:積極的60%～80% 3:積極的40%～60%　2:積極的20%～40% 1:積極的20%以下	3,041	475	188	38	14	7	3,753	4.70	0.659	4.69	0.188
			81.03%	12.65%	5.00%	1.01%	0.37%	0.19%	100.00%				
	2	私はこの授業に積極的に参加している (発表の準備や質疑等を含む)	1,146	1,350	951	263	181	18	3,753	3.88	1.081	3.85	0.979
			30.53%	35.97%	25.34%	7.01%	4.82%	0.48%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	1,084	1,229	915	333	179	14	3,753	3.72	1.118	3.72	0.679
			28.88%	32.75%	24.38%	8.87%	4.77%	0.37%	100.00%				
	4	この授業を通じて学ぶことは適切である	1,027	1,225	888	432	179	18	3,753	3.68	1.138	3.67	0.687
			27.36%	32.64%	23.65%	11.51%	4.77%	0.48%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	1,871	1,288	947	328	124	12	3,753	3.81	1.039	3.88	0.634
			49.85%	34.34%	25.23%	8.74%	3.30%	0.32%	100.00%				
	6	教員は授業内容が理解しやすいよう工夫をしたり、学生に興味を持たせるよう心がけている	1,234	1,357	839	187	87	9	3,753	3.54	0.979	3.57	0.553
			32.88%	37.22%	22.35%	4.98%	2.32%	0.24%	100.00%				
	7	教員は質問しやすい雰囲気を作っている	1,188	1,272	803	314	164	8	3,753	3.70	1.121	3.75	0.528
			31.12%	33.89%	21.39%	8.37%	4.37%	0.21%	100.00%				
	8	教員の話し方やビート、声の大きさは適切である	1,224	1,298	827	258	141	14	3,753	3.68	1.089	3.68	0.642
			32.61%	34.58%	22.04%	6.87%	3.76%	0.37%	100.00%				
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	836	1,178	1,188	382	194	33	3,753	3.53	1.185	3.67	0.621
			22.28%	31.38%	31.67%	10.18%	5.17%	0.88%	100.00%				
	10	この授業のシラバスは適切であった (シラバスを読まなかった人 ＝ 48.15%)	524	542	888	104	62	35	3,753	3.71	1.027	3.72	0.548
			13.96%	14.47%	23.66%	2.77%	1.65%	0.93%	100.00%				
	11	総合的に見てこの授業は有益であった	1,002	1,372	928	248	158	45	3,753	3.78	1.058	3.88	0.488
			26.70%	36.56%	24.72%	6.61%	4.21%	1.20%	100.00%				
「講義」「演習」のみ	12	板書の書方やスライドなどの書方は適切である	1,255	1,302	723	172	81	184	3,753	3.99	0.983	3.99	0.488
			34.51%	34.18%	19.26%	4.58%	2.16%	4.90%	100.00%				
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	1,292	1,309	732	148	74	208	3,753	4.01	0.957	4.01	0.503
			34.18%	35.28%	19.26%	3.98%	1.97%	5.53%	100.00%				

相関係数表　　**部門名**　**計算機センター**
形態名　**講義**

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.281(**)	1											
Q3	.138(**)	.528(**)	1										
Q4	.109(**)	.459(**)	.801(**)	1									
Q5	.125(**)	.438(**)	.540(**)	.593(**)	1								
Q6	.109(**)	.455(**)	.543(**)	.574(**)	.675(**)	1							
Q7	.085(**)	.434(**)	.684(**)	.729(**)	.669(**)	.667(**)	1						
Q8	.105(**)	.414(**)	.639(**)	.717(**)	.637(**)	.627(**)	.801(**)	1					
Q9	.108(**)	.484(**)	.597(**)	.579(**)	.612(**)	.572(**)	.631(**)	.620(**)	1				
Q10	−0.002	.261(**)	.277(**)	.293(**)	.290(**)	.256(**)	.292(**)	.283(**)	.392(**)	1			
Q11	.104(**)	.490(**)	.697(**)	.703(**)	.697(**)	.667(**)	.794(**)	.741(**)	.737(**)	.353(**)	1		
Q12	.099(**)	.397(**)	.603(**)	.629(**)	.612(**)	.593(**)	.723(**)	.688(**)	.582(**)	.274(**)	.728(**)	1	
Q13	.121(**)	.403(**)	.586(**)	.581(**)	.571(**)	.562(**)	.661(**)	.620(**)	.573(**)	.264(**)	.678(**)	.773(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

Ｑ１　私はこの授業によく出席している

Ｑ２　私はこの授業に意欲的に取り組んでいる（事前の準備や復習等を含む）

Ｑ３　この授業のレベルについて

Ｑ４　この授業を進める速さについて

Ｑ５　授業に対する教員の熱意が感じられる

Ｑ６　教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている

Ｑ７　教員は理解しやすい授業を行っている

Ｑ８　教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である

Ｑ９　この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

Ｑ10　この授業のシラバスは受講に役立った（シラバスを読まなかった人は「０」をマーク）

Ｑ11　総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

Ｑ12　板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である

Ｑ13　教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である

学習院大学　平成25(2013)年度　授業評価アンケート　経年変化比較表

部門名　計算機センター
形態名　講義

回答対象	番号	質問内容	2013年度				2012年度				2011年度				2010年度				2009年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上　4:出席率89～80% 3:出席率79～70%　2:出席率69～50% 1:出席率49%以下	4.73	0.628	4.69	0.188	4.76	0.595	4.71	0.220	4.77	0.577	4.69	0.282	4.73	0.624	4.66	0.254	4.72	0.640	4.65	0.259
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.86	1.001	3.85	0.279	3.82	1.031	3.82	0.312	3.79	1.008	3.82	0.344	3.74	1.029	3.74	0.266	3.72	1.009	3.73	0.254
	3	この授業のレベルは適切である	3.72	1.116	3.72	0.479	3.63	1.154	3.64	0.556	3.56	1.157	3.60	0.543	3.51	1.123	3.53	0.458	3.59	1.117	3.61	0.488
	4	この授業を進める速さは適切である	3.66	1.136	3.67	0.467	3.58	1.162	3.60	0.516	3.47	1.178	3.56	0.550	3.44	1.140	3.49	0.451	3.54	1.144	3.59	0.499
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	3.81	1.028	3.86	0.434	3.74	1.051	3.78	0.387	3.73	1.043	3.81	0.441	3.64	1.071	3.67	0.392	3.71	1.031	3.77	0.383
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	3.94	0.979	3.97	0.353	3.83	1.035	3.88	0.379	3.76	1.052	3.84	0.434	3.74	1.060	3.78	0.397	3.76	1.026	3.83	0.423
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	3.78	1.121	3.79	0.528	3.63	1.182	3.68	0.590	3.61	1.163	3.69	0.552	3.51	1.170	3.54	0.500	3.63	1.145	3.67	0.544
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3.86	1.069	3.88	0.442	3.74	1.109	3.79	0.436	3.70	1.126	3.80	0.497	3.61	1.123	3.66	0.424	3.70	1.105	3.75	0.452
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3.59	1.109	3.67	0.421	3.55	1.143	3.61	0.448	3.50	1.119	3.61	0.426	3.43	1.130	3.49	0.376	3.55	1.112	3.61	0.435
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.71	1.027	3.72	0.340	3.61	1.053	3.64	0.395	3.53	1.056	3.57	0.384	3.46	1.097	3.49	0.409	–	–	–	–
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.76	1.056	3.80	0.480	3.68	1.065	3.72	0.491	3.64	1.062	3.73	0.471	3.54	1.074	3.58	0.444	3.66	1.056	3.71	0.483
「講義」「語学」のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.99	0.983	3.99	0.400	3.83	1.063	3.86	0.441	3.77	1.052	3.84	0.444	3.75	1.067	3.78	0.395	3.83	1.017	3.84	0.395
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は 適切である	4.01	0.957	4.01	0.363	3.91	1.022	3.92	0.431	3.83	1.017	3.88	0.444	3.82	1.027	3.81	0.397	3.87	1.004	3.88	0.380

Ⅵ. 外国語教育研究センター

1. 集計データからわかること

外国語教育研究センターの授業評価アンケート実施率は、昨年度は99.59%という高い実施率だったが、今年度は対象とする457科目において100%となった。また、2013 年度の回答率は前年度比0.2%上昇の78.32%であり、この三年間はほぼ78%以上の数値で推移している。12000人を超える総履修者で他学部・課程の演習科目並みの回答率を得ているのは、語学科目の授業の規模が小さなこととの関連が考えられる。

◎アンケート項目別分析
昨年度と比べ、科目ベースでQ1とQ5、Q7、Q8 の数値が前年度を0.01～0.02ポイント下回っているものの、他のアンケート項目結果は全て前年度よりも値が0.01～0.03ポイント高くなっており、大きな変化は見られない。以下、各項目に関して分析結果を示す。

Q1「私はこの授業によく出席している」
この項目の科目ベースの数値は4.55 となっており、過去の授業評価アンケートと同様に4.5 を上回る高い数値となっている。これは、語学が必修科目となっていることだけではなく、3 分の2 以上出席しなくてはならないという規定が学生に広く認識され、授業において教員による出席確認も十分に行われているためであると思われる。また、40 人以下という比較的少人数で授業が実施されていることも学生の高い出席率に結びついていると思われる。ちなみに、2012年度は212科目（43.18%）が履修者25名以下のクラスで、279科目（56.82%）が履修者26～50名のクラス、2013年度は234科目（48.05%）が履修者25名以下のクラスで、253科目（51.95%）が履修者26～50名のクラスであった。

Q２「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」
この項目は、これまで授業評価アンケートが実施された過去7 回において最も高い数値となっている。2012年度は4.04であったが、2013年度でも、4.06 と上昇を示している。また、2013 年度は75.33%の学生が意欲的に取り組んでいると回答している中で、「強くそう思う」という回答が前年度に比べて2%以上数値が高くなっている。今後、学生が意欲的に取り組めるような更なる工夫が教員に求められるだろう。課題や小テスト等により、学生自身が授業に意欲的に取り組んでいることを自覚できる環境づくりもその一つとなるだろう。

Q3「この授業のレベルは適切である」
この項目に関しても過去5 年間で最も高い数値となっている。「適切である」と回答して

いる学生の割合も、昨年度から約0.5%上昇し、78.33%となっており、開講されている授業のレベルは概ね適切なものであると言える。ただし、否定的な学生の割合には変化が見られないことから、今後も継続して注視していく必要があるだろう。

Q4「この授業を進める速さについて」
この項目もこれまでで最も高い数値となっている。肯定的な回答をする学生の割合が80.56%に達しており、否定的な回答も5%弱となっていることから、概ね適切な速さで授業が進められていると考えることができる。「どちらとも言えない」という回答も、数値が昨年度よりも約1%低くなっている。

Q5「授業に対する教員の熱意が感じられる」
この項目の科目平均の数値は4.37と過去最高であった2012 年度の値4.38 に0.01及ばないものの、肯定的な回答は86.57%と昨年よりやや数値が上昇している。そして、否定的な回答も2012年度より0.2%低くなっていることから、昨年同様に熱意をもって授業を行っている教員が多いと学生に認められていることが考えてよいだろう。

Q6「教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている」
この項目も、これまで授業評価が実施された中で最も高い平均ベースの値となっている。肯定的な回答は84.78%と昨年度よりも高い数値となっており、否定的な回答も僅かながら減少している。また、「どちらとも言えない」という回答は0.7%ほど減少した12.39%となっている。昨年度と比較し、より多くの授業において教室がよりふさわしい状態に保たれていると考えてよいだろう。

Q7「教員は理解しやすい授業を行っている」_
この項目も、科目ベースの平均は最も高い昨年度にくらべて0.01ポイント及ばない4.27という数値となっている。肯定的な回答が82.81%と、昨年度と比較しても0.07数値が低くなっているのに対し、否定的な回答は4.73%と昨年度より0.05数値が高くなっている。評価が微減したものの昨年度とほぼ同等の内容ということができよう。ただし、「どちらとも言えない」という回答が12.28%となっていることは、さらなる授業改善の余地があるともいえるだろう。

Q８「教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である」
この項目は科目ベース平均が4.29 となっており、昨年度よりも僅かではあるが数値が低くなっている。また、肯定的な回答が83.12%で0.21%の減少、否定的な回答が4.25%と昨年度よりも僅かに数値が高くなっている。昨年度と比較すれば評価は僅かに低下したものの、教員はおおむね適切な話し方をしていると考えてよいだろう。「どちらとも言えない」と

いう回答も約12.3%と値が昨年度と比べ小さくなっているが、まだ教員が話し方を改善すべき余地は残されていると思われる。

例年、Q8 とQ7 の相関係数の値は高くなっていることから、わかりやすい授業と教員の適切な話し方は関連性が高いことが分かる。これは、教員の話し方により学生の理解度があがることを意味しており、教員が更に分かりやすい話し方をすることが求められるであろう。

Q9「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」
この項目は、科目ベース平均が4.07と5 年間で最も高い数値となった昨年度と同じ値である。肯定的な回答が微増し、否定的な回答が微減したが大きな変化は見られない。ただ、「どちらとも言えない」の数値が20%以上になる点は、今後改善の余地が残されていることを示している。初修言語の場合には、基礎的な発音練習や会話練習、文法練習に多くの時間が割かれることが多く、知的好奇心が刺激される段階まではなかなか達し難いことも影響していると思われる。そのような状況の中で、学生の知的好奇心を刺激し、新しいものの見方に触れる機会をつくるためには、言語が使用されている国の様子や文化的特徴を示している映画やビデオ、写真等を活用していくことが必要となるであろう。ビジュアルな情報を用いることにより、学生自身が訪れたことがない文化圏であっても、学生の興味、関心を高めることが可能となり、実際に訪れるきっかけになることもあると思われるからである。

Q10 「この授業のシラバスは役に立った」
この項目は2010年度から新たに追加された項目であるため、過去4 年度分のデータとのみ比較することが可能である。2013 年度の科目ベース平均は3.99 となっており、ほんの僅かにではあるが、年々数値が上昇している。ただし、教員に関する評価項目の中では最も低い値となっていることには変わりない。該当クラスのシラバスを読まない学生が43%に上るのは、語学科目の場合、履修する科目があらかじめ決められている学科も多いためと思われる。また、初修の言語の場合には、基礎的な会話表現や文法を学ぶということがわかっているために、シラバスを確認しない学生も多いと思われる。一方、中級以上の科目で履修すべきクラスが指定されていない場合には、シラバスの内容によって履修科目を決定する学生が多いため、今後も履修科目選択の際に役立つシラバス作成が求められるであろう。

Q11「総合的に見てこの授業は高く評価できる」
この項目は、科目ベースの平均が4.26 と僅かながら数値が高くなっている。昨年同様、80%以上の学生が肯定的な回答をしており、否定的な回答も約4%と大きな変化は見られない。

したがって、概ね学生は授業を高く評価していると言える。この項目と最も相関関係が高いのは、Q7「教員は理解しやすい授業を行っている」の.793、次いでQ8「教員の話し方は適切である」の.727、Q5「授業に対する教員の熱意が感じられる」の.713、Q9「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」の.711 となっている。つまり、総合的に評価が高い授業とは、教員の熱意が感じられ、かつ話し方が適切で理解しやすく、知的好奇心が刺激される授業であることがわかる。このような授業を提供できるようにするには、熱意のある教員をさらに支援する体制を確立する必要があろう。

Q12　「板書の仕方やスライドの提示の仕方は適切である」
科目ベースの平均点は4.16 となっており、昨年度よりも高い数値となっている。これは、過去5 年間で最も高い値である。肯定的な回答が全体の約75%に達してはいるものの、「どちらとも言えない」との回答が17%以上に上ることから、まだ改善の余地があると思われる。授業における教員の一層の努力と工夫とともに、使用しやすい機器を始めとするハード面での授業環境の改善もさらに求められるであろう。

Q13「教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である」
科目ベースの平均点は4.23 となっており、この値は過去5 年間で最も高い数値である。肯定的な回答も約79%と昨年度よりも高くなっており、概ね学生の要望や期待を満たすことはできていると思われる。なお「どちらとも言えない」との回答も約14%と僅かながら減少しているが、この数値を更に低くするためには教員の事前準備を含むさらなる努力が求められるであろう。

Q14 「教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心掛けていた」
科目ベースの平均点は4.25 であり、昨年度よりも僅かながら高い数値となっている。肯定的な回答は約75%と昨年度よりも僅かに高くなっており、授業において学生の発言や議論する場が確保されていると考えることができる。「どちらとも言えない」との回答は約14%と昨年度よりも僅かに減少はしているが、大きな変化は見られない。初級の言語の場合はドリル的な練習が多いことから、学生が活発に発言や議論を行っているとは感じとりにくい可能性もあると考えられる。その一方で、学生が発言する機会が欠乏している可能性もあることから、今後も数値の変動を確認していく必要があるだろう。

Q15 「教員は参加者が課題に取り組むのを助けた」
この項目の科目ベース平均点は4.25 となっており、昨年度よりも少し高い数値となっている。肯定的な回答は約75%に達し、その一方で、否定的な回答は3.43%と昨年よりやや低くなっていることから、教員の多くが学生の学習を支援していることが分かる。この数値

を更に高いものにするためには、例文の暗唱、音読、プレゼンテーションからレポートなど、語学の授業ならではの特徴を生かした課題を用いていくことが求められるであろう。

Q16 「1 回1 回の授業のねらいが明確である」
この項目の科目ベース平均点は4.17 となっており、これまでで最も高い数値となっている。肯定的な回答も約71%と昨年度よりもやや数値が高くなっている。否定的な回答は約4%と昨年度とほぼ変化がないことから、昨年度より僅かながら学生に授業のねらいを明確に受け取らせることができたクラスが増加したと考えることができる。ただし、無回答は約10%と昨年度同様に高く、今後も注視していく必要があるだろう。講読の授業の場合、1 つの科目全体としてのねらい・目標は明確であっても、一回一回の授業のねらい・目標は意識されないことも多いと思われる。学生が意識していない可能性も高いと考えられることから、教員側が意識的にねらい・目標を明確に示し、学生に伝えていくことも必要となるであろう。

Q17「教員は授業時間を有効に活用している」
科目ベースの平均点が4.26 と昨年度よりも数値が高く、過去5 年間で最も高い値となっている。肯定的な回答も約75%と昨年度よりも数値が高くなっているため、概ね授業時間は有効に活用されていると言えるであろう。ただし、無回答が10%と昨年同様に高い数値を示しており、教員が更に努力を重ねていく必要があるであろう。

2. 今後の授業改善に向けて
外国語教育研究センターが提供している語学の授業に関しては、学生からの評価が全般的に肯定的であると考えてよいと思われる。高い数値を示すアンケート項目が大半を占めてはいるが、まだ改善の余地がある項目も見受けられる。したがって、今後も継続して授業をより良いものにしていくための教員の努力と環境の整備が求められるだろう。学生のモチベーション強化のためには履修規定の見直しを含む語学単位の必修化を学部レベルで考える必要があるのではないかと考えられる。
より良い授業にしていく過程には、カリキュラムの見直しや、更なる少人数教育の強化といった大きなものから、より適切な指導法やテキストの選択等の比較的小さな改善が含まれる。学生の語学力を伸ばしていくためには、更なる少人数教育の徹底が重要である。
また、英語に関しては習熟度別クラス編成が必要となってくるであろう。本学では全ての１年生が入学時にTOEIC を受験しており、入学時の英語習熟度にかなりの開きが見られるようになっていることがわかる。このTOEIC のスコアを活用すれば各学部における習熟度別クラス編成を行うことが可能である。
習熟度別クラス編成は、現在、法学部政治学科と理学部で導入されているが、その結果、担当教員からは授業が行いやすくなったという感想があがっている。学生側から見ても適

切な授業レベルを保証するものとして受け入れられているかどうかを確認する必要があるが、全学的に習熟度別クラス編成が行われることで、全学的な教育効果の向上が望めることにもなるだろう。
また、現在の授業評価アンケートはすべてマークシート回答となっており、数値による分析が行われている。学生が具体的に何を語学のクラスに求めているのかを確認するためにも、今後、記述式項目を取り入れ、学生が具体的に意見を述べる機会を提供する必要もあるのではないかと思われる。

学習院大学　平成25(2013)年度　授業評価アンケート　集計結果

部門名　外国語教育研究センター

形態名　語学

	合計	総履修者数	回収率
回収数	9,734	12,614	78.32%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答集計後平均	学生回答集計後標準偏差	科目ベース 部門別科目別平均	部門別科目別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業に主体的に参加している 5:毎授業80%以上　4:毎授業60%～80% 3:毎授業40%～60%　2:毎授業20%～40% 1:毎授業20%以下	3,722	3,853	1,108	447	63	61	9,254	4.12	0.789	4.15	0.318
			38.93%	31.95%	11.91%	4.83%	0.68%	0.66%	100.00%				
	2	私はこの授業に積極的に取り組んでいる (積極的な発言や質問等を含む)	3,238	4,041	1,107	367	76	425	9,254	4.05	0.835	4.08	0.332
			34.14%	44.10%	11.97%	3.96%	0.82%	4.59%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	3,739	3,882	1,014	379	68	172	9,254	4.14	0.824	4.12	0.378
			39.74%	39.59%	10.97%	4.10%	0.73%	1.86%	100.00%				
	4	この授業を通じて成長は適切である	3,835	3,829	1,108	385	68	159	9,254	4.14	0.824	4.18	0.378
			41.44%	39.24%	11.97%	4.16%	0.73%	1.72%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意は適切である	5,040	3,434	1,014	407	74	285	9,254	4.35	0.788	4.37	0.357
			54.48%	37.11%	10.96%	4.40%	0.80%	3.08%	100.00%				
	6	教員は学生の質問や考えを受け入れやすい雰囲気を作り出そうとしている	4,087	3,882	1,108	479	82	616	9,254	4.29	0.848	4.32	0.372
			44.17%	41.95%	11.97%	5.18%	0.89%	6.66%	100.00%				
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4,051	3,434	1,108	379	64	617	9,254	4.35	0.838	4.37	0.359
			43.78%	37.11%	11.97%	4.10%	0.69%	6.67%	100.00%				
	8	教員の話しぶり(スピード、声の調子)は適切である	4,085	3,442	1,105	392	62	168	9,254	4.29	0.829	4.29	0.382
			44.14%	37.19%	11.94%	4.24%	0.67%	1.82%	100.00%				
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3,959	3,487	1,152	419	63	174	9,254	4.28	0.841	4.27	0.411
			42.78%	37.69%	12.45%	4.53%	0.68%	1.88%	100.00%				
	10	この授業のクラバスは充実していたか (クラバスを使わなかった人 → 43.79%)	1,908	1,738	1,108	367	67	416	9,254	3.88	0.961	3.90	0.407
			20.62%	18.78%	11.97%	3.97%	0.72%	4.50%	100.00%				
	11	総合的に見てこの授業は満足できる	4,338	3,835	1,257	355	63	306	9,254	4.33	0.824	4.29	0.407
			46.87%	41.44%	13.58%	3.84%	0.68%	3.31%	100.00%				
「通年」「前半」のみ	12	授業の仕方(スライド使用の仕方)は適切である	3,838	3,544	1,102	383	88	299	9,254	4.14	0.832	4.18	0.364
			41.48%	38.31%	11.91%	4.14%	0.95%	3.23%	100.00%				
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4,147	3,884	1,172	359	68	625	9,254	4.24	0.838	4.22	0.382
			44.83%	41.97%	12.67%	3.88%	0.73%	6.76%	100.00%				
「夏期」「前半」のみ	14	教員は参加者が互いに協力し合う雰囲気が作られるよう心がけていた	4,215	3,432	1,182	344	131	952	9,254	4.32	0.834	4.35	0.408
			45.56%	37.10%	12.77%	3.72%	1.42%	10.29%	100.00%				
	15	教員は参加者間に協力関係を築けた	4,189	3,242	1,152	338	134	1,199	9,254	4.32	0.832	4.35	0.395
			45.27%	35.04%	12.45%	3.65%	1.45%	12.96%	100.00%				
「前半」のみ	16	授業1回の授業のあらかた理解できる	3,752	3,848	1,177	387	108	982	9,254	4.05	0.941	4.17	0.369
			40.56%	41.59%	12.72%	4.18%	1.17%	10.61%	100.00%				
	17	教員は授業時間を有効に使っている	4,008	3,880	1,054	358	104	850	9,254	4.24	0.832	4.29	0.378
			43.31%	41.94%	11.39%	3.87%	1.12%	9.18%	100.00%				

相関係数表　　**部門名**　**外国語教育研究センター**
形態名　**語学**

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15	Q16	Q17
Q1	1																
Q2	.345(**)	1															
Q3	.147(**)	.522(**)	1														
Q4	.106(**)	.456(**)	.760(**)	1													
Q5	.120(**)	.423(**)	.575(**)	.626(**)	1												
Q6	.098(**)	.419(**)	.554(**)	.603(**)	.704(**)	1											
Q7	.093(**)	.420(**)	.664(**)	.696(**)	.699(**)	.690(**)	1										
Q8	.097(**)	.400(**)	.599(**)	.659(**)	.650(**)	.634(**)	.787(**)	1									
Q9	.112(**)	.484(**)	.587(**)	.584(**)	.613(**)	.584(**)	.643(**)	.620(**)	1								
Q10	0.008	.249(**)	.246(**)	.228(**)	.208(**)	.220(**)	.248(**)	.233(**)	.323(**)	1							
Q11	.122(**)	.473(**)	.678(**)	.698(**)	.713(**)	.672(**)	.793(**)	.727(**)	.711(**)	.269(**)	1						
Q12	.106(**)	.410(**)	.578(**)	.605(**)	.603(**)	.596(**)	.680(**)	.643(**)	.588(**)	.246(**)	.693(**)	1					
Q13	.106(**)	.412(**)	.627(**)	.625(**)	.604(**)	.596(**)	.671(**)	.626(**)	.599(**)	.242(**)	.704(**)	.759(**)	1				
Q14	.104(**)	.408(**)	.511(**)	.547(**)	.600(**)	.578(**)	.593(**)	.563(**)	.573(**)	.212(**)	.632(**)	.581(**)	.599(**)	1			
Q15	.097(**)	.413(**)	.555(**)	.584(**)	.638(**)	.607(**)	.665(**)	.608(**)	.610(**)	.237(**)	.690(**)	.643(**)	.645(**)	.753(**)	1		
Q16	.103(**)	.428(**)	.562(**)	.601(**)	.626(**)	.588(**)	.659(**)	.603(**)	.627(**)	.245(**)	.698(**)	.666(**)	.660(**)	.630(**)	.681(**)	1	
Q17	.095(**)	.405(**)	.556(**)	.624(**)	.655(**)	.634(**)	.669(**)	.621(**)	.600(**)	.227(**)	.723(**)	.659(**)	.661(**)	.629(**)	.660(**)	.756(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

Ｑ１　私はこの授業によく出席している

Ｑ２　私はこの授業に意欲的に取り組んでいる（事前の準備や復習等を含む）

Ｑ３　この授業のレベルについて

Ｑ４　この授業を進める速さについて

Ｑ５　授業に対する教員の熱意が感じられる

Ｑ６　教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている

Ｑ７　教員は理解しやすい授業を行っている

Ｑ８　教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である

Ｑ９　この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

Ｑ10　この授業のシラバスは受講に役立った（シラバスを読まなかった人は「０」をマーク）

Ｑ11　総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

Ｑ12　板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である

Ｑ13　教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

Ｑ14　教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた

Ｑ15　教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【授業形態が「語学」の場合のみ回答】

Ｑ16　１回１回の授業のねらいが明確である

Ｑ17　教員は授業時間を有効に活用している

学習院大学　平成25（2013）年度　授業評価アンケート　経年変化比較表

部門名　外国語教育研究センター
形態名　語学

回答対象	番号	質問内容	2013年度				2012年度				2011年度				2010年度				2009年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業によく出席している 5：出席率90%以上　4：出席率89～80% 3：出席率79～70%　2：出席率69～50% 1：出席率49%以下	4.58	0.709	4.55	0.236	4.57	0.708	4.56	0.237	4.61	0.695	4.59	0.236	4.57	0.729	4.55	0.252	4.54	0.753	4.52	0.256
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.05	0.868	4.06	0.323	4.02	0.868	4.04	0.326	3.99	0.902	4.01	0.341	3.95	0.909	3.97	0.352	3.94	0.927	3.95	0.368
	3	この授業のレベルは適切である	4.11	0.891	4.12	0.378	4.09	0.905	4.11	0.348	4.06	0.925	4.08	0.394	4.02	0.939	4.04	0.412	4.01	0.949	4.01	0.442
	4	この授業を進める速さは適切である	4.16	0.884	4.18	0.376	4.15	0.887	4.17	0.371	4.11	0.920	4.14	0.406	4.08	0.920	4.11	0.416	4.06	0.943	4.07	0.456
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.35	0.798	4.37	0.357	4.36	0.803	4.38	0.362	4.32	0.833	4.35	0.403	4.31	0.833	4.33	0.393	4.29	0.852	4.31	0.438
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.29	0.816	4.32	0.322	4.27	0.820	4.30	0.328	4.25	0.843	4.29	0.369	4.22	0.849	4.26	0.356	4.19	0.878	4.21	0.384
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.25	0.896	4.27	0.426	4.25	0.891	4.28	0.423	4.21	0.922	4.24	0.454	4.19	0.920	4.23	0.460	4.15	0.959	4.17	0.508
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.26	0.879	4.29	0.388	4.27	0.870	4.31	0.386	4.22	0.895	4.25	0.410	4.22	0.896	4.25	0.418	4.17	0.923	4.19	0.453
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	4.03	0.961	4.07	0.411	4.02	0.969	4.07	0.414	3.98	0.990	4.02	0.445	3.95	0.998	4.00	0.445	3.95	1.004	3.99	0.476
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.98	0.961	3.99	0.407	3.96	0.958	3.96	0.409	3.91	0.982	3.90	0.436	3.88	0.981	3.89	0.435	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.23	0.864	4.26	0.407	4.23	0.863	4.26	0.401	4.19	0.894	4.22	0.446	4.19	0.881	4.22	0.425	4.17	0.912	4.19	0.474
「講義」「語学」のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4.14	0.882	4.16	0.384	4.11	0.892	4.14	0.390	4.07	0.921	4.10	0.424	4.04	0.918	4.07	0.423	4.02	0.940	4.03	0.454
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は 適切である	4.21	0.863	4.23	0.363	4.19	0.865	4.22	0.368	4.14	0.899	4.17	0.392	4.12	0.902	4.15	0.399	4.10	0.918	4.12	0.431
「演習」「語学」のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.22	0.891	4.25	0.400	4.20	0.892	4.23	0.408	4.16	0.912	4.20	0.433	4.16	0.914	4.20	0.441	4.12	0.932	4.15	0.455
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.22	0.872	4.25	0.395	4.20	0.881	4.23	0.402	4.17	0.896	4.21	0.416	4.16	0.895	4.20	0.419	4.12	0.923	4.15	0.451
「語学」のみ	16	1回1回の授業のねらいが明確である	4.15	0.911	4.17	0.389	4.13	0.913	4.16	0.417	4.10	0.929	4.13	0.417	4.08	0.930	4.11	0.434	4.05	0.954	4.08	0.468
	17	教員は授業時間を有効に活用している	4.24	0.872	4.26	0.370	4.20	0.889	4.23	0.397	4.17	0.908	4.20	0.407	4.16	0.910	4.18	0.427	4.15	0.920	4.17	0.439

Ⅶ. スポーツ・健康科学センター

集計データからわかる事及び今後の授業改善に向けて

当年度のスポーツ・健康科学科目における授業評価アンケートの実施率は 100.00%（106 科目）、回答率は 75.83%（総履修者数 2,313 名、回答者数 1,754 名）であった。

Q1 出席率は、平均値 4.49 ポイントであり、出席率 80%以上と回答した学生は 88.03%であった。他部門の出席率と比較すると、90%以上と回答した学生は 64.02%でやや低めの値となっている。これは、必修科目であるスポーツ・健康科学Ⅰ・Ⅱと選択科目であるスポーツ・健康科学Ⅲがまとまった形で集計されていることも要因であると考えられる。文学部・理学部 1 年生及び理学部 2 年生が主体となるⅠとⅡは、出席率は比較的高いが、全学対象の選択科目であるⅢの履修者は、3・4 年生が比較的多く履修しており、就職活動等で欠席がちになることなどが、影響しているものと考えられる。科目の性質を考慮した集計も必要であると考えられる。

Q2 授業への取り組みは、平均値 4.45 ポイントであった。87.4%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答しているが、「どちらともいえない」が 10.43%という点にも着目すべきである。必修科目として履修している学生の中には、単位のためにしかたなく受講している者もいることが予想されるが、そのような学生にとっても必要な知識の習得とともに、充実感や達成感を持ってもらい意欲的に授業に参加してもらえるような工夫が必要であると考えられる。

Q3 授業レベルは、平均値 4.49 ポイントであった。89%以上の学生が、「強くそう思う」「そう思う」と回答しているが、「どちらともいえない」が 8.44%、「あまりそう思わない」2.22%も注目すべき点であると思われる。履修する学生は経験者から初心者まで、また、体力レベルの高い者から低いものまで巾が広い。実技という特性から、非常に難しいことではあるが、いずれの学生に対しても適切なレベルで授業を展開できるような技量を身に着けることが教員には求められるのではないかと思われる。また、「授業のレベルが適切であるか」については、経験者にとっては「簡単すぎて適切でない」のか、初心者にとっては「高度すぎて」適切でないのかを評価しづらく、項目の検討が必要であると思われる。(H27 年度に向けて FD 推進委員会で検討する課題となっている。)

Q4 授業を進める速さについては、平均値 4.56 ポイントと高い評価を受けている。学生の反応や技術の習得具合、各授業に対するリアクションペーパー等の内容から各授業ごとに進度を調整していると思われる。今後も、適切な進度となるよう努めたい。

Q5 教員の熱意、Q6 教場をふさわしい状態に保つ、Q7 理解しやすい授業を行っている、Q8 教員の話し方については、比較的高い評価を受けていると考えられる。これらの項目に

ついても、より良い内容となるよう努めていきたい。

Q9 知的好奇心や新しい知識については、平均値 4.36 ポイントとやや低めの回答であった。実技種目の特性上、実際の活動に主眼が置かれがちであるが、科学的なトレーニング方法の紹介や、効果的な技能習得方法の提示（様々な練習ドリルの紹介）、スポーツ種目にまつわる歴史やルールなどの解説など学生に興味や関心を持たせることも必要であると思われる。教員自身の技量の向上や知識の獲得のために、情報の収集や研修会への参加を積極的に行っていかなければならない。

Q10 シラバスについては、平均値 4.36 ポイントであった。シラバスを読まなかったと回答した学生が、39.45%いた。また、シラバスを見た学生の中でも、役に立ったかという問いに対して「どちらともいえない」と回答した学生が 9.81%いる。シラバスの記載方法については、工夫を凝らしてきているが、より情報が伝わりやすくすることやシラバスを見てもらえるような工夫も必要であると思われる。

Q11 総合的に見てこの授業は高く評価できるは、平均値 4.62 ポイントであった。「強くそう思う」「そう思う」と回答した学生の合計は 92.36%であり、かなり高い評価を受けていると考えられる。しかし、現状に甘んじることなく更なる改善に向けて努力していかなければならない。

Q22 運動量については、平均値 4.51 ポイントであった。85.00%の学生が「十分」「おおむね十分」と回答している。また、「どちらとも言えない」と回答した学生が 5.42%いる。初心者、経験者、体力のある者ない者ともに十分な運動量を確保できるような授業となるよう努めたい。

Q23 体力・健康状態の改善については、平均値は 4.28 ポイントと他の項目と比較してやや低い評価となった。「強くそう思う」「そう思う」と回答した学生の合計が 76%と他の項目に比較してやや低い数値となった。週間頻度 2~3 回の運動実践が体力向上に必要であるとされていることから、週 1 回の授業のみでの効果は小さいと思われる。履修することによって、授業外での自発的な運動実践に結びつくよう指導できるよう努めたい。

Q24 運動技術の向上、Q25 スポーツに関する知識、Q26 身体・運動への関心については、4.30～4.44 ポイントと比較的低めの評価と見ることができる。Q9 とも関連することであるが、教員自身の技量の向上や知識の獲得のために、情報の収集や研修会への参加を積極的に行っていかなければならない。

Q27 健康・体力の確認については、平均値 4.47 ポイントであった。例年、一学期中に受講者全員を対象として体力テストを実施している。その結果のフィードバックの方法をさらに向上させることによって、この項目に対する認識がさらに深まるものと期待できる。

Q28 生活習慣の見直しについては、平均値 4.31 ポイントとやや低めの数値であった。学生の時期は一般的に健康に対して無関心なこともあり、授業そのものが本学学生のライフスタイルに及ぼす影響は小さいかもしれないが、授業で運動や栄養・休養の重要性については言及し、健康的な生活習慣が身につくよう指導していきたい。

Q29 施設・用具の準備については、平均値 4.62 ポイントと比較的高い評価となった。施設については、グラウンドの人工芝化など比較的好条件の中で授業が行われていると考えられるが、雨天時の体育館更衣室から卓球場への移動やテニスコートにおける暑熱環境下での対策など改善していくべき場所もあると考えられる。用具についても、受講者数、破損、劣化具合を考慮して適宜整備していきたい。

学年別

Q22～Q29 の質問項目について、強くそう思うと回答した割合は、学年が高くなるにつれて高くなる傾向がみられた。学部 1 年生では 50%前後、学部 4 年生では 80 前後が強くそう思うと回答している。これは、1 年生は文・理学部の必修選択として受講している学生が多く、授業内容が基礎体力作りや基本的な技術練習からスタートした内容が多く、上級生は選択科目として受講した者が多く、試合形式の内容が多く実施されていることなどが影響していると思われる。また、本アンケートに対する姿勢として、低学年ほど真剣に回答しており、上級生になるほど項目を熟読せず「⑤」を機械的にマークして提出しているような様子も感じられ、実施に際して、真剣に取り組ませるような配慮も必要ではないかと思われる。

相関係数から

ほとんどの項目で、有意な相関が認めれているが、有意な相関が認められなかった項目は、Q1 と Q10、Q1 と Q28 の 2 つであった。

特に高い相関関係がみられた項目は、Q23 と Q24、Q26 と Q27、Q26 と Q28、Q27 と Q28 であった。

経年変化

過去 5 年間の経年変化をみると、回答平均値に大きな変化は認められない。微小な変化でみると、Q9「知的好奇心の刺激」低下傾向、Q22「運動量」は上昇傾向、Q28「生活習慣の見直し」は低下傾向、Q29「施設・用具」は上昇傾向とみることができる。前出の項目でも触れているが、学生の知的好奇心を刺激しより良い授業が展開できるよう、教員自身の技量の向上や知識の獲得のために、情報の収集や研修会への参加を積極的に行っていかなければならない。施設用具については、グラウンドの人工芝化、テニスコートのオムニコート化、卓球場の空調設備設置などが影響しているのではないかと考えられる。

学習院大学　平成25(2013)年度　授業評価アンケート　集計結果

部門名　スポーツ・健康科学センター

影響名　演習

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,754	2,313	75.83%

			回答者ベース									科目ベース	
			5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別相当例平均	部門別相当例標準偏差
回答対象	番号	質問内容											
「全員」回答	1	自分の授業に十分参加している 5=参加している以上　4=参加している～3=2=参加していない～1=参加していない以下	1,123 64.0%	422 24.1%	108 6.2%	28 1.7%	10 0.6%	3 0.1%	1,734 100.0%	4.48	0.784	4.48	0.784
	2	自分の授業に意欲が十分に感じている 時間の準備や復習をかな	1,127 64.9%	479 27.6%	103 5.9%	23 1.3%	12 0.7%	3 0.1%	1,734 100.0%	4.48	0.788	4.52	0.782
	3	この授業のレベルは適切である	1,085 62.6%	488 28.1%	148 8.5%	38 2.2%	8 0.5%	3 0.2%	1,734 100.0%	4.48	0.778	4.54	0.788
	4	この授業を通じて達成は適切である	1,135 65.4%	442 25.5%	123 7.1%	31 1.8%	3 0.2%	0 0.0%	1,734 100.0%	4.50	0.808	4.62	0.754
	5	授業に対する教師の熱意が感じられる	1,288 74.3%	378 21.8%	72 4.1%	2 0.1%	1 0.0%	3 0.2%	1,734 100.0%	4.70	0.554	4.76	0.518
	6	教師は学生が学習にとって難しい内容に配慮しようと心がけている	1,181 67.8%	438 25.2%	102 5.9%	16 0.9%	2 0.1%	0 0.0%	1,734 100.0%	4.58	0.647	4.64	0.548
	7	教師は理解しやすい授業を行っている	1,212 69.9%	422 24.3%	88 5.1%	14 0.8%	3 0.1%	6 0.3%	1,734 100.0%	4.62	0.648	4.63	0.558
	8	教師の話し方やペース、説明のやすさは適切である	1,248 71.9%	388 22.3%	80 4.6%	11 0.6%	3 0.1%	3 0.2%	1,734 100.0%	4.63	0.613	4.68	0.528
	9	この授業によって自分の心が刺激された、新しいものの見方が得られた気がした	1,022 58.9%	502 28.9%	204 11.7%	23 1.3%	10 0.6%	3 0.2%	1,734 100.0%	4.38	0.843	4.48	0.688
	10	この授業のシラバスは受講に役立った (シラバスを読まなかった人 →28.6%)	1,000 57.6%	247 14.2%	172 9.9%	18 1.0%	7 0.4%	12 0.7%	1,734 100.0%	4.38	0.855	4.38	0.828
	11	為になる話でこの授業は全体的にできる	1,214 69.9%	400 23.0%	100 5.8%	15 0.9%	4 0.2%	15 0.9%	1,734 100.0%	4.62	0.657	4.67	0.588
「体育」「選択」回答	14	教師は学生の参加意欲を高めるように心がけていた	622 35.9%	308 17.8%	228 13.1%	22 1.3%	10 0.6%	544 31.4%	1,734 100.0%	4.27	0.888	4.35	0.833
	15	教師は学生の質問に適切な回答を行った	727 41.9%	300 17.3%	130 7.5%	13 0.7%	5 0.3%	559 32.2%	1,734 100.0%	4.48	0.723	4.52	0.688
スポーツ・健康科学科目	22	授業は	1,000 57.7%	480 27.7%	83 4.8%	28 1.6%	8 0.5%	126 7.3%	1,734 100.0%	4.58	0.722	4.58	0.678
	23	自分・他者平等に扱われた	822 47.4%	502 28.9%	278 16.0%	34 1.9%	7 0.4%	117 6.7%	1,734 100.0%	4.38	0.842	4.37	0.804
	24	授業内容が向上した	824 47.5%	502 28.9%	248 14.3%	38 2.2%	13 0.7%	110 6.3%	1,734 100.0%	4.38	0.834	4.38	0.802
	25	教師はスポーツ・健康科学について新しい情報を得られた	888 51.2%	484 27.9%	173 9.9%	28 1.6%	9 0.5%	117 6.7%	1,734 100.0%	4.44	0.773	4.50	0.688
	26	自分や他者に対する関心が高まった	804 46.3%	482 27.8%	237 13.7%	38 2.2%	12 0.7%	110 6.3%	1,734 100.0%	4.34	0.843	4.43	0.788
	27	自分の自分の健康、体力の向上ができた	872 50.3%	480 27.7%	183 10.5%	32 1.8%	5 0.3%	110 6.3%	1,734 100.0%	4.47	0.727	4.53	0.613
	28	自分の生涯学習意欲を高めることができた	888 51.2%	445 25.7%	242 13.9%	45 2.6%	10 0.6%	110 6.3%	1,734 100.0%	4.38	0.888	4.38	0.802
	29	施設・用具などの授業の準備は十分なされていた	1,123 64.8%	422 24.3%	83 4.8%	8 0.5%	2 0.1%	110 6.3%	1,734 100.0%	4.62	0.628	4.67	0.553

相関係数表　　部門名　スポーツ・健康科学センター
形態名　演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15	Q22	Q23	Q24	Q25	Q26	Q27	Q28	Q29
Q1	1																				
Q2	.264(**)	1																			
Q3	.143(**)	.535(**)	1																		
Q4	.121(**)	.530(**)	.795(**)	1																	
Q5	.134(**)	.444(**)	.533(**)	.621(**)	1																
Q6	.106(**)	.445(**)	.530(**)	.584(**)	.639(**)	1															
Q7	.097(**)	.461(**)	.607(**)	.686(**)	.656(**)	.688(**)	1														
Q8	.113(**)	.443(**)	.552(**)	.618(**)	.630(**)	.638(**)	.749(**)	1													
Q9	.074(**)	.487(**)	.560(**)	.586(**)	.537(**)	.528(**)	.592(**)	.588(**)	1												
Q10	0.005	.203(**)	.252(**)	.250(**)	.173(**)	.195(**)	.228(**)	.194(**)	.331(**)	1											
Q11	.130(**)	.489(**)	.661(**)	.677(**)	.634(**)	.614(**)	.724(**)	.681(**)	.666(**)	.247(**)	1										
Q14	.060(*)	.392(**)	.468(**)	.476(**)	.434(**)	.476(**)	.561(**)	.517(**)	.569(**)	.294(**)	.566(**)	1									
Q15	.074(*)	.407(**)	.518(**)	.517(**)	.525(**)	.535(**)	.624(**)	.568(**)	.585(**)	.290(**)	.642(**)	.735(**)	1								
Q22	.092(**)	.332(**)	.324(**)	.389(**)	.362(**)	.325(**)	.330(**)	.332(**)	.358(**)	.190(**)	.384(**)	.303(**)	.347(**)	1							
Q23	.079(**)	.440(**)	.442(**)	.476(**)	.424(**)	.442(**)	.449(**)	.456(**)	.548(**)	.309(**)	.499(**)	.499(**)	.485(**)	.539(**)	1						
Q24	.082(**)	.442(**)	.460(**)	.488(**)	.416(**)	.431(**)	.469(**)	.436(**)	.595(**)	.302(**)	.522(**)	.483(**)	.481(**)	.497(**)	.729(**)	1					
Q25	.063(*)	.353(**)	.452(**)	.499(**)	.473(**)	.439(**)	.488(**)	.462(**)	.573(**)	.270(**)	.526(**)	.432(**)	.499(**)	.421(**)	.602(**)	.674(**)	1				
Q26	.055(*)	.463(**)	.494(**)	.536(**)	.462(**)	.472(**)	.524(**)	.518(**)	.665(**)	.330(**)	.573(**)	.535(**)	.533(**)	.387(**)	.688(**)	.698(**)	.646(**)	1			
Q27	.076(**)	.451(**)	.481(**)	.493(**)	.462(**)	.470(**)	.511(**)	.499(**)	.560(**)	.291(**)	.540(**)	.513(**)	.510(**)	.411(**)	.651(**)	.613(**)	.591(**)	.735(**)	1		
Q28	0.047	.390(**)	.438(**)	.483(**)	.393(**)	.434(**)	.493(**)	.466(**)	.575(**)	.314(**)	.508(**)	.572(**)	.522(**)	.373(**)	.650(**)	.603(**)	.564(**)	.707(**)	.730(**)	1	
Q29	.079(**)	.382(**)	.463(**)	.497(**)	.480(**)	.540(**)	.527(**)	.530(**)	.478(**)	.214(**)	.570(**)	.469(**)	.513(**)	.369(**)	.504(**)	.501(**)	.544(**)	.545(**)	.578(**)	.555(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

Ｑ１　私はこの授業によく出席している

Ｑ２　私はこの授業に意欲的に取り組んでいる（事前の準備や復習等を含む）

Ｑ３　この授業のレベルについて

Ｑ４　この授業を進める速さについて

Ｑ５　授業に対する教員の熱意が感じられる

Ｑ６　教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている

Ｑ７　教員は理解しやすい授業を行っている

Ｑ８　教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である

Ｑ９　この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

Ｑ10　この授業のシラバスは受講に役立った（シラバスを読まなかった人は「０」をマーク）

Ｑ11　総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

Ｑ14　教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた

Ｑ15　教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【開設部門が「スポーツ・健康科学センター」の場合のみ回答】

Ｑ22　運動量は（⑤十分、④おおむね十分、③どちらともいえない、④やや不足、⑤不十分）

Ｑ23　体力・健康状態が改善された

Ｑ24　運動技術が向上した

Ｑ25　履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた

Ｑ26　身体や運動に対する関心が高まった

Ｑ27　自分の身体の健康、体力の再確認ができた

Ｑ28　自分の生活習慣を見直す機会となった

Ｑ29　施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた

学習院大学　平成25(2013)年度　授業評価アンケート　経年変化比較表

部門名　スポーツ・健康科学センター
形態名　演習

回答対象	番号	質問内容	2013年度				2012年度				2011年度				2010年度				2009年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業によく出席している 5：出席率90%以上　4：出席率89～80% 3：出席率79～70%　2：出席率69～50% 1：出席率49%以下	4.49	0.784	4.49	0.264	4.43	0.841	4.43	0.358	4.46	0.823	4.46	0.282	4.44	0.837	4.45	0.329	4.43	0.861	4.44	0.298
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.45	0.786	4.52	0.282	4.44	0.772	4.48	0.299	4.44	0.785	4.50	0.302	4.43	0.790	4.45	0.324	4.43	0.801	4.45	0.346
	3	この授業のレベルは適切である	4.49	0.771	4.54	0.296	4.46	0.789	4.51	0.289	4.44	0.806	4.49	0.387	4.43	0.824	4.46	0.353	4.44	0.803	4.46	0.318
	4	この授業を進める速さは適切である	4.56	0.698	4.62	0.254	4.53	0.723	4.59	0.270	4.51	0.737	4.56	0.336	4.52	0.735	4.57	0.330	4.55	0.695	4.56	0.286
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.70	0.554	4.74	0.196	4.65	0.620	4.70	0.212	4.62	0.639	4.66	0.270	4.63	0.653	4.67	0.267	4.66	0.598	4.68	0.243
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.60	0.647	4.64	0.246	4.58	0.685	4.63	0.253	4.54	0.744	4.59	0.324	4.56	0.703	4.62	0.316	4.57	0.671	4.59	0.274
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.62	0.646	4.65	0.261	4.58	0.694	4.64	0.270	4.55	0.705	4.60	0.317	4.57	0.734	4.63	0.347	4.58	0.686	4.60	0.299
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.65	0.615	4.68	0.236	4.61	0.673	4.67	0.261	4.58	0.697	4.63	0.305	4.61	0.684	4.66	0.301	4.64	0.624	4.66	0.251
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	4.39	0.845	4.48	0.400	4.42	0.822	4.50	0.349	4.37	0.878	4.46	0.407	4.39	0.864	4.46	0.407	4.43	0.807	4.47	0.386
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	4.36	0.855	4.39	0.430	4.40	0.841	4.41	0.375	4.33	0.887	4.37	0.398	4.32	0.914	4.35	0.402	–	–	–	–
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.62	0.657	4.67	0.288	4.61	0.647	4.66	0.287	4.59	0.684	4.64	0.334	4.62	0.678	4.67	0.313	4.63	0.638	4.66	0.306
「演習」「語学」のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.27	0.890	4.35	0.455	4.30	0.883	4.36	0.414	4.25	0.921	4.36	0.453	4.31	0.903	4.39	0.470	4.32	0.830	4.35	0.447
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.46	0.773	4.52	0.390	4.46	0.767	4.51	0.387	4.43	0.808	4.54	0.387	4.45	0.836	4.53	0.457	4.48	0.751	4.50	0.414
「スポ健」のみ	22	運動量は	4.51	0.732	4.56	0.271	4.49	0.729	4.56	0.312	4.47	0.790	4.53	0.321	4.52	0.733	4.57	0.302	4.50	0.728	4.54	0.269
	23	体力・健康状態が改善された	4.28	0.842	4.37	0.404	4.26	0.866	4.35	0.398	4.24	0.871	4.34	0.400	4.25	0.889	4.31	0.403	4.23	0.857	4.28	0.405
	24	運動技術が向上した	4.30	0.854	4.38	0.383	4.29	0.868	4.38	0.394	4.26	0.874	4.35	0.400	4.25	0.877	4.33	0.416	4.24	0.879	4.30	0.447
	25	履修したスポーツ種目等について新しい知識が 得られた	4.44	0.775	4.50	0.300	4.43	0.798	4.49	0.331	4.38	0.831	4.43	0.371	4.40	0.813	4.45	0.330	4.35	0.839	4.39	0.360
	26	身体や運動に対する関心が高まった	4.34	0.845	4.43	0.390	4.35	0.830	4.43	0.376	4.34	0.845	4.42	0.401	4.34	0.857	4.40	0.402	4.32	0.851	4.36	0.403
	27	自分の身体の健康、体力の再確認ができた	4.47	0.727	4.53	0.313	4.46	0.730	4.52	0.300	4.44	0.773	4.51	0.340	4.47	0.758	4.51	0.336	4.44	0.737	4.47	0.324
	28	自分の生活習慣を見直す機会となった	4.31	0.890	4.39	0.383	4.27	0.901	4.35	0.366	4.30	0.893	4.37	0.369	4.30	0.905	4.36	0.393	4.27	0.884	4.31	0.376
	29	施設・用具も含め授業の準備は 十分なされていた	4.62	0.621	4.67	0.255	4.59	0.661	4.65	0.257	4.58	0.680	4.63	0.309	4.63	0.646	4.65	0.263	4.58	0.667	4.61	0.305

VIII. 基礎教養科目運営委員会

本学では、いわゆる教養教育的科目を「総合基礎科目」と位置付けており、通称、学習院ベーシックとしている。基礎教養科目運営委員会は、この「総合基礎科目（学習院ベーシック)」のうち、外国語科目・体育科目・情報処理科目を除く科目の運営を担当している。このため、本章で分析する「基礎教養科目」は、「総合基礎科目」のうち基礎教養科目運営委員会が担当する科目のみを対象とする。

A） 集計データからわかること

平成 25 年度の「基礎教養科目」開設科目数は 86 科目（講義形式が 85 科目、演習形式が 1 科目)、アンケートは全開設科目において実施され、実施率 100%となった。総履修者数は、10,492 名、このうちアンケート回答者数は 5,120 名に止まり、回答率は 48.80%という結果となった。昨年度の回答率が 50.12%であったことからみると、回答率は減少した。なお、この結果は、過去の回答率（下表参照）と比較して、始めて回答率が 50%を超えた昨年度に対し微減となったものの、大きな落ち込みと言う程ではなく、依然としてゆるやかな右肩上がりの傾向と見て差し支えないのではないだろうか。

年　度	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
回答率	37.50%	42.57%	38.67%	41.72%	44.79%	50.12%	48.80%

ただし、「基礎教養科目」を含む大学全体科目の回答率が 52.71%であり、前年度比+0.59%を実現している結果から見ると、基礎教養科目の回答率が、全体回答率に与えるマイナス影響は大きい。次回以降の回答率の向上に向けて、対策を講じる必要があろう。

以下、質問内容別に分析するが、前述のとおり、基礎教養科目は演習形態の科目が 1 科目のみであるため、記載する数値は、すべて講義形態のものを引用する。

Q１　私はこの授業によく出席している

出席率 90%以上と回答した学生（67.39%）と、出席率 80%以上と回答した学生（19.79%）の合計は、87%を超えた。アンケート回答者は、必然的によく出席している学生となるであろうから、出席状況は高い数値になる傾向にある。

Q２　私はこの授業に意欲的に取り組んでいる

学生の授業への意欲度については、肯定を意味する「強くそう思う」「そう思う」という回答の合計比率（以下、「肯定の割合」と略す）が 56.11%となり、昨年度 53.62%、一昨年度の 54.12%に比較すると、この設問についても上昇結果となった。但し、大学全体としての「肯定の割合」は、67.35%と高いことから、基礎教養科目の各授業に対する学生の意欲については、それを向上させるための検討が必要といえよう。なお、この設問に対する大

学全体の割合のうち、形態別に見た場合、「講義」だけを抽出すると、58.86%となり、基礎教養の数値とも近似値と見ることができ、「演習」だけの大学全体が 84.35%と考え合わせると、授業形態が、学生の授業への意欲度に大きな影響を与えることが確認できるといえよう。

Ｑ３　この授業のレベルは適切である

授業のレベルの適切度については、「肯定の割合」では 75.97%であった。昨年度 74.56%、一昨年度の 73.55%であったことから、順調に上昇している。また、大学全体の平均（74.08%）も上回っている点は過年度と同様の傾向である。授業を進める速さの適切度（Q4）や授業の理解しやすさ（Q7）や授業への総合的評価（Q11）との相関係数が昨年同様に高かった。

Ｑ４　この授業を進める速さは適切である

授業を進める速さの適切度についても、大学全体の平均を上回り、「肯定の割合」は 79.54%となった（大学全体の「肯定の割合」は 75.84、%）。昨年度が 77.61%であったこと、一昨年度の大学全体の平均値が 67.72%であったことから推測すると、全体として、教員の適正さへの取組みが奏功して全授業を通しての満足度が向上したものと見て取れる。

Ｑ５　授業に対する教員の熱意が感じられる

授業に対する教員の熱意については、回答者の約半数、率にして 46.93%の学生が、「強くそう思う」と回答しており、「肯定の割合」で見ると実に 84.77%であった。これは、大学全体の結果（83.51%）より高い評価となっており、基礎教養科目の教員の熱意が学生に十分に伝わっているといえよう。

Ｑ６　教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている

教室内が学習にふさわしい状態に保たれているかについては、今回は大学全体の平均を下回り、「肯定の割合」は 76.79%であった（大学全体は 79.49%）。このことは、大学全体の形態別の数値で見ると明らかであるが、「講義」が 37.57%に対し、「演習」は 57.19%と、約 20%近い数値の開きがあり、主として大人数の授業環境についての適切性を考察する必要があるのではないかと考えられる。

Ｑ７　教員は理解しやすい授業を行っている

授業の理解しやすさについては、大学全体の平均をわずかに上回り、「肯定の割合」は 78.76%であった（大学全体は 77.22%）。

Ｑ８　教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である

教員の話し方についても、大学全体の平均を上回り、「肯定の割合」は 81.21%であり、昨年度（79.21%）より約 2%上昇した。昨年度からも同様の傾向にあり、回答者の８割を超える学生から高評価を得られた結果となった（大学全体は 78.82%）。

Ｑ９　この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

知的好奇心の刺激についても、大学全体の平均を上回り、「肯定の割合」は 78.6%であった。大学全体では 74.36%であったことから考察すると、既に関心の高い所属学科領域を超

えた「基礎教養科目」領域の授業提供の本望といえる点が評価される結果となった。

Q10　この授業のシラバスは受講に役立った

「肯定の割合」は 46.56%であり、大学全体の 41.78%よりは大きく上回ったが、昨年同様に、設問中、最も低い数値を示した。一方で、シラバスを読まなかったという学生は 28.75%に昇り、昨年度の 30.74%よりは減少したものの、依然として回答者の 3 人にひとりがシラバスを読んでいないという実態は、大きな衝撃として受けとめるべきであろう。この実態は、大学全体でも同様の傾向にあり、36.98%となった。大学全体の学年別の内訳をみると、1 年生が 43.76%であり、昇順に、36.77%、29.04%、23.28%となっており、学年が上がるに従って利用率が上がっていると見て取れる。1 年生については、シラバスの活用方法を周知することも必要であるかもしれない。

Q11　総合的に見てこの授業は高く評価できる

授業への総合的評価については、大学全体の平均を若干上回り、「肯定の割合」は 79.32%であり、ほぼ８割の受講生から評価を得られた結果となった（大学全体は 78.79%）。この傾向は基礎教養科目に限らず全学的に見られるものであり、教員の授業に対する取り組み姿勢が、そのまま授業に対する満足度としての評価につながっていることが分かる。

Q12　板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である

板書の仕方やスライド提示の仕方については、肯定の回答が 72.81%で、大学全体の平均（71.5%）を些かながら上回った。

Q13　教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である

教材の内容の適切度については、大学全体の平均を下回り、「肯定の割合」は 72.81%であった（大学全体は 75.07%）。大学全体の過年度からの推移が、23 年度 71.15%→24 年度 73.83%→25 年度 75.07%と上昇傾向であるのに対しし、基礎教養科目が 23 年度 76.11%→24 年度 73.6%→25 年度 72.81%と下降傾向を辿っていることは、要因をどこに求めるべきか検証が必要であろう。

Q18　授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった

本設問は、基礎教養科目に特化した項目であり、「肯定の割合」は 47.49%であり、昨年度の 48.69%と同様、前々年度の 85.58%という高い結果に対して、半減傾向が継続した結果となった。本設問では無回答が 45.61%であったことから、要因は授業内容に因るものではなく、回答対象者が、本設問が回答対象設問と認識していなかった可能性があるのではないかと推察できる。次年度においては、この点を解消する方策を講じる必要があろう。

Q19　授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった

この設問の結果についても、無回答が 74.34%という結果であり、Q18 同様、授業内容に回答結果の原因を求めることは難しいと思われる。設問方法に、「(複数講師による授業の場合のみ回答)」という注記に影響を受けたと分析できようか。

■授業形態別の分析

基礎教養科目は、演習科目が 1 科目のみの開講であり、ほぼすべて「講義」の形態で授業が行われている。全体のアンケート結果を見ると、「演習」形式の授業が、多くの項目で「講義」形式の授業より評価が高いことがわかる。

その理由として、「演習」は、比較的履修者数が少ないために教員の目が届きやすいこと、発表やグループディスカッションなど履修者参加型の授業形式であることが挙げられる。

基礎教養科目の場合、履修者数が多い科目の比重が他の科目に比して高く、教員から学生への一方通行型の講義となる傾向になりがちであることから、学生が受身ではなく主体的に授業に参加しているという意識を持てるような工夫が個々の教員に求められる。

■学年別の分析

今回のアンケート結果からは、例年同様、多くの設問において、学年進行と比例して、評価が高くなる傾向にあることが読み取れる。この理由については、アンケート結果のみで即断することはできないが、高学年になるにつれて、必修科目や選択必修科目の履修登録数が減少してくるため、結果的に時間割に余裕が生じ、学生は自らの意思で学びたい科目を履修しているということが影響しているものと思われる。

B） 今後の課題

今回の授業評価アンケートは 8 回目の実施となり、これまでのアンケート結果を踏まえた各担当教員の授業内容に対する改善の努力結果が、随所で数字にも表れている。しかし、今回の結果で浮き彫りになったシラバスを読まずに履修する学生が全体の 3 分の 1 に上る実態を抜本的にどのように解消していくか、履修者が希望する授業のあり方に対して、特に全体平均を下回った Q6「教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている」や Q13「教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である」などについては、基礎教養科目運営委員会としての、対応策が求められるところであろう。

学習院大学　平成25(2013)年度　授業評価アンケート　集計結果

部門名　基礎教養

	合計	総履修者数	回収率
回収数	5,083	10,428	48.74%

形態名　講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業をよく理解している 5:理解平均%以上　4:理解平均%～0% 3:理解平均～-10%　2:理解平均-10%～-20% 1:理解平均-20%以下	3,402	1,008	672	187	81	13	5,363	4.38	0.949	4.38	0.276
			67.26%	19.79%	13.21%	3.68%	1.59%	0.26%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (単位の不足等の理由を含む)	1,429	1,629	1,622	482	130	13	5,303	3.82	0.993	3.83	0.281
			28.26%	32.51%	31.80%	9.47%	2.70%	0.26%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	1,802	2,487	958	178	43	13	5,303	4.07	0.878	4.08	0.251
			35.26%	48.74%	18.80%	3.49%	0.84%	0.26%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	1,914	2,137	934	136	42	12	5,303	4.13	0.848	4.13	0.233
			37.56%	41.94%	18.33%	2.67%	0.82%	0.24%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	2,298	1,927	828	181	37	18	5,303	4.29	0.811	4.31	0.221
			45.10%	37.84%	12.33%	1.98%	0.73%	0.35%	100.00%				
	6	教員は学生が学習したくなる様に教えられるよう心がけている	1,888	1,923	918	194	37	13	5,303	4.18	0.903	4.13	0.266
			36.95%	37.62%	18.02%	3.81%	1.12%	0.26%	100.00%				
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	2,003	1,928	887	152	83	13	5,303	4.13	0.908	4.13	0.448
			39.18%	37.70%	13.93%	2.98%	1.63%	0.26%	100.00%				
	8	教員の話し方やペース、黒板の字などは適切である	2,137	1,579	727	188	88	18	5,303	4.18	0.873	4.20	0.269
			41.79%	30.88%	14.22%	3.68%	1.72%	0.35%	100.00%				
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	2,138	1,847	818	178	84	18	5,303	4.13	0.921	4.18	0.248
			41.82%	36.12%	16.00%	3.48%	1.64%	0.35%	100.00%				
	10	この授業のシラバスは実際に役立った (シラバスを見なかった人 ⇒ 28.72%)	1,804	1,317	1,083	138	48	13	5,303	3.98	0.913	3.98	0.229
			35.28%	25.76%	21.18%	2.70%	0.94%	0.25%	100.00%				
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	2,018	2,022	758	149	34	24	5,303	4.13	0.888	4.17	0.258
			39.83%	39.76%	14.83%	2.92%	1.66%	1.66%	100.00%				
「板書」「話す」のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	1,881	1,847	821	232	87	213	5,303	4.08	0.928	4.09	0.432
			36.78%	36.12%	16.06%	4.54%	1.70%	4.16%	100.00%				
	13	教材(資料集、配本資料等)の内容は適切である	1,939	1,923	888	139	39	223	5,303	4.14	0.877	4.17	0.266
			38.07%	37.76%	17.36%	2.72%	1.16%	4.42%	100.00%				
基礎教養科目選択未履修	14	授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった	1,282	1,023	281	32	28	2,333	5,303	4.34	0.751	4.28	0.428
			27.16%	20.22%	5.53%	1.82%	0.55%	45.61%	100.00%				
	15	授業の内容や構成は全体としてはよりよいものだった(教養教育による授業の場合のみ回答)	324	324	178	39	14	3,768	5,303	4.28	0.838	4.33	0.328
			18.86%	18.86%	9.48%	2.27%	0.82%	74.34%	100.00%				

学習院大学　平成25(2013)年度　授業評価アンケート　集計結果

部門名　基礎教養

形態名　演習

	合計	総履修者数	回収率
回収数	27	64	42.19%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 専門別形態別平均	専門別形態別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業によく集中している 5:平均より15%以上 4:平均より5～15% 3:平均より±5% 2:平均より5～15% 1:平均より15%以下	18 66.67%	9 33.33%	0 0.00%	1 3.70%	0 0.00%	0 0.00%	27 100.00%	4.63	0.926	4.63	—
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (時間の不足や疲労感を含む)	4 14.81%	7 25.93%	9 33.33%	5 18.52%	2 7.41%	0 0.00%	27 100.00%	3.22	1.133	3.22	—
	3	この授業のレベルは適切である	0 0.00%	5 18.52%	12 44.44%	2 7.41%	0 0.00%	0 0.00%	27 100.00%	3.70	0.993	3.70	—
	4	この授業を進める速さは適切である	0 0.00%	13 48.15%	4 14.81%	2 7.41%	0 0.00%	0 0.00%	27 100.00%	4.00	0.877	4.00	—
	5	授業に対する教師の熱意が感じられる	9 33.33%	11 40.74%	4 14.81%	3 11.11%	0 0.00%	0 0.00%	27 100.00%	3.96	0.980	3.96	—
	6	教師は受講者が学習したくなるような教授に努められるよう心がけている	10 37.04%	7 25.93%	6 22.22%	1 3.70%	2 7.41%	1 3.70%	27 100.00%	3.81	1.222	3.81	—
	7	教師は理解しやすい授業を行っている	0 0.00%	9 33.33%	6 22.22%	2 7.41%	0 0.00%	2 7.41%	27 100.00%	3.52	0.934	3.52	—
	8	教師の話し方(ペース、聞取りやすさ)は適切である	9 33.33%	12 44.44%	3 11.11%	2 7.41%	0 0.00%	1 3.70%	27 100.00%	4.00	0.951	4.00	—
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が開かれたりした	9 33.33%	10 37.04%	5 18.52%	1 3.70%	1 3.70%	1 3.70%	27 100.00%	3.96	1.030	3.96	—
	10	この授業のシラバスは学習に役立った (シラバス閲覧されなかった人 ⇒18.52%)	6 22.22%	10 37.04%	4 14.81%	1 3.70%	0 0.00%	1 3.70%	27 100.00%	4.00	0.927	4.00	—
	11	総合的に見てこの授業は高評価である	7 25.93%	10 37.04%	6 22.22%	0 0.00%	1 3.70%	1 3.70%	27 100.00%	3.93	0.987	3.93	—
「演習」「講学」のみ	14	教師は参加者が互いに意見や情報が行えるよう心がけていた	6 22.22%	2 7.41%	11 40.74%	2 7.41%	2 7.41%	4 14.81%	27 100.00%	3.33	1.225	3.33	—
	15	教師は参加者が積極的に取り組むよう心がけた	6 22.22%	6 22.22%	6 22.22%	3 11.11%	1 3.70%	3 11.11%	27 100.00%	3.63	1.133	3.63	—
基礎教養科目選択共通	16	授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった	7 25.93%	6 22.22%	3 11.11%	0 0.00%	0 0.00%	11 40.74%	27 100.00%	4.33	0.773	4.33	—
	19	授業の内容や進度は全体としてはよかったものだった(演習講学による授業の場合のみ回答)	3 18.52%	3 18.52%	2 7.41%	0 0.00%	0 0.00%	13 55.56%	27 100.00%	4.33	0.734	4.33	—

相関係数表　　**部門名　基礎教養**
形態名　講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q18	Q19
Q1	1														
Q2	.299(**)	1													
Q3	.183(**)	.542(**)	1												
Q4	.138(**)	.463(**)	.741(**)	1											
Q5	.160(**)	.407(**)	.574(**)	.627(**)	1										
Q6	.129(**)	.424(**)	.540(**)	.589(**)	.613(**)	1									
Q7	.132(**)	.458(**)	.704(**)	.704(**)	.653(**)	.648(**)	1								
Q8	.111(**)	.405(**)	.606(**)	.683(**)	.622(**)	.588(**)	.760(**)	1							
Q9	.132(**)	.505(**)	.605(**)	.570(**)	.572(**)	.507(**)	.655(**)	.619(**)	1						
Q10	.037(**)	.265(**)	.243(**)	.219(**)	.227(**)	.220(**)	.241(**)	.221(**)	.287(**)	1					
Q11	.153(**)	.518(**)	.684(**)	.676(**)	.661(**)	.623(**)	.775(**)	.710(**)	.730(**)	.281(**)	1				
Q12	.083(**)	.405(**)	.542(**)	.594(**)	.555(**)	.526(**)	.642(**)	.612(**)	.553(**)	.223(**)	.640(**)	1			
Q13	.115(**)	.403(**)	.563(**)	.592(**)	.555(**)	.536(**)	.643(**)	.593(**)	.543(**)	.234(**)	.647(**)	.723(**)	1		
Q18	.145(**)	.419(**)	.634(**)	.603(**)	.560(**)	.499(**)	.688(**)	.632(**)	.595(**)	.193(**)	.711(**)	.557(**)	.585(**)	1	
Q19	.165(**)	.431(**)	.592(**)	.615(**)	.581(**)	.529(**)	.684(**)	.636(**)	.568(**)	.220(**)	.693(**)	.604(**)	.593(**)	.754(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表　　**部門名　基礎教養**
形態名　演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15	Q18	Q19
Q1	1														
Q2	0.217	1													
Q3	-0.014	.697(**)	1												
Q4	0.048	.646(**)	.883(**)	1											
Q5	0.142	.721(**)	.660(**)	.761(**)	1										
Q6	0.184	.759(**)	.650(**)	.682(**)	.801(**)	1									
Q7	0.227	.617(**)	.756(**)	.839(**)	.655(**)	.759(**)	1								
Q8	0.212	.635(**)	.741(**)	.872(**)	.825(**)	.672(**)	.824(**)	1							
Q9	0.179	.578(**)	.758(**)	.798(**)	.747(**)	.562(**)	.713(**)	.781(**)	1						
Q10	-0.118	.501(**)	0.329	0.305	.437(*)	0.294	0.132	0.292	0.287	1					
Q11	0.189	.694(**)	.740(**)	.767(**)	.802(**)	.757(**)	.738(**)	.711(**)	.830(**)	.465(*)	1				
Q14	0.265	.713(**)	.736(**)	.575(**)	.638(**)	.632(**)	.484(*)	.504(*)	.604(**)	.466(*)	.731(**)	1			
Q15	0.213	.807(**)	.793(**)	.729(**)	.788(**)	.725(**)	.661(**)	.691(**)	.801(**)	.497(*)	.845(**)	.867(**)	1		
Q18	0.225	.750(**)	.752(**)	.704(**)	.825(**)	.841(**)	.839(**)	.665(**)	.851(**)	.611(*)	.801(**)	.616(*)	.868(**)	1	
Q19	0.06	.803(**)	.920(**)	.836(**)	.930(**)	.870(**)	.817(**)	.781(**)	.939(**)	.660(*)	.904(**)	.896(**)	.896(**)	1.000(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

Ｑ１　私はこの授業によく出席している

Ｑ２　私はこの授業に意欲的に取り組んでいる（事前の準備や復習等を含む）

Ｑ３　この授業のレベルについて

Ｑ４　この授業を進める速さについて

Ｑ５　授業に対する教員の熱意が感じられる

Ｑ６　教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている

Ｑ７　教員は理解しやすい授業を行っている

Ｑ８　教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である

Ｑ９　この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

Ｑ10　この授業のシラバスは受講に役立った（シラバスを読まなかった人は「０」をマーク）

Ｑ11　総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

Ｑ14　教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた

Ｑ15　教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【開設部門が「基礎教養科目運営委員会」の場合のみ回答】

Ｑ18　授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった

Ｑ19　授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった（複数講師による授業の場合のみ）

学習院大学　平成25（2013）年度　授業評価アンケート　経年変化比較表

部門名　基礎教養
形態名　講義

回答対象	番号	質問内容	2013年度				2012年度				2011年度				2010年度				2009年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業によく出席している 5：出席率90%以上　4：出席率89～80% 3：出席率79～70%　2：出席率69～50% 1：出席率49%以下	4.50	0.840	4.50	0.274	4.46	0.871	4.43	0.246	4.53	0.866	4.49	0.301	4.47	0.914	4.43	0.276	4.38	1.012	4.38	0.409
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.62	0.993	3.65	0.381	3.58	0.993	3.61	0.356	3.57	1.005	3.60	0.374	3.58	1.025	3.61	0.414	3.48	1.047	3.55	0.418
	3	この授業のレベルは適切である	4.07	0.870	4.06	0.391	4.01	0.882	3.99	0.344	3.99	0.876	3.99	0.334	4.04	0.883	4.05	0.355	3.97	0.921	3.95	0.400
	4	この授業を進める速さは適切である	4.13	0.849	4.15	0.333	4.07	0.889	4.10	0.327	4.02	0.875	4.05	0.322	4.11	0.856	4.12	0.316	4.06	0.884	4.03	0.361
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.29	0.811	4.31	0.321	4.32	0.823	4.31	0.322	4.26	0.831	4.29	0.355	4.31	0.814	4.31	0.357	4.23	0.869	4.24	0.416
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.10	0.903	4.15	0.304	4.08	0.920	4.11	0.320	4.07	0.893	4.11	0.334	4.08	0.934	4.10	0.353	3.99	0.946	4.04	0.388
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.13	0.908	4.13	0.440	4.11	0.937	4.10	0.420	4.07	0.937	4.10	0.410	4.13	0.927	4.15	0.438	4.04	0.975	4.04	0.507
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.18	0.875	4.20	0.360	4.15	0.919	4.18	0.397	4.10	0.913	4.14	0.361	4.15	0.910	4.19	0.403	4.10	0.923	4.13	0.440
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	4.15	0.921	4.18	0.348	4.16	0.908	4.20	0.286	4.11	0.908	4.17	0.295	4.15	0.927	4.18	0.343	4.09	0.960	4.11	0.371
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.89	0.915	3.90	0.329	3.84	0.947	3.86	0.264	3.79	0.942	3.84	0.270	3.81	0.966	3.83	0.320	–	–	–	–
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.15	0.866	4.17	0.396	4.14	0.879	4.15	0.366	4.12	0.860	4.14	0.340	4.16	0.873	4.17	0.382	4.10	0.925	4.11	0.434
「講義」「語学」のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4.06	0.939	4.09	0.413	3.95	1.011	4.01	0.424	3.85	1.017	3.93	0.434	3.94	1.013	3.98	0.444	3.90	1.008	3.93	0.477
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は 適切である	4.14	0.877	4.17	0.364	4.10	0.894	4.11	0.362	4.06	0.878	4.11	0.315	4.09	0.910	4.13	0.408	3.99	0.949	4.04	0.431
「基礎教養」のみ	18	授業は全学共通の総合基礎科目として ふさわしいものだった	4.34	0.791	4.26	0.428	4.31	0.817	4.26	0.424	4.29	0.811	4.31	0.390	4.33	0.804	4.30	0.411	4.23	0.899	4.19	0.443
	19	授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった（複数講師による授業の場合のみ回答）	4.20	0.858	4.23	0.526	4.12	0.920	4.20	0.465	4.05	0.932	4.19	0.538	4.05	0.923	4.14	0.573	3.90	1.019	4.10	0.545

部門名　基礎教養
形態名　演習

回答対象	番号	質問内容	2013年度				2012年度				2011年度				2010年度				2009年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業によく出席している 5：出席率90%以上　4：出席率89～80% 3：出席率79～70%　2：出席率69～50% 1：出席率49%以下	4.33	0.920	4.33	–	4.58	0.690	4.58	–	4.70	0.720	4.70	–	4.21	0.940	4.21	–	4.48	0.802	4.48	–
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.22	1.155	3.22	–	3.33	0.905	3.33	–	3.23	1.005	3.23	–	3.72	0.960	3.72	–	3.11	1.311	3.11	–
	3	この授業のレベルは適切である	3.70	0.993	3.70	–	3.62	0.960	3.62	–	3.53	0.997	3.53	–	3.83	0.889	3.83	–	3.52	1.221	3.52	–
	4	この授業を進める速さは適切である	4.00	0.877	4.00	–	3.93	0.873	3.93	–	3.60	0.993	3.60	–	4.17	0.889	4.17	–	3.93	1.174	3.93	–
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	3.96	0.980	3.96	–	4.23	0.774	4.23	–	4.23	0.758	4.23	–	4.31	0.967	4.31	–	4.04	1.126	4.04	–
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	3.85	1.223	3.85	–	4.02	0.866	4.02	–	3.89	1.026	3.89	–	4.28	1.066	4.28	–	3.56	1.086	3.56	–
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	3.92	0.954	3.92	–	3.76	1.048	3.76	–	3.55	1.138	3.55	–	4.21	0.978	4.21	–	3.74	1.095	3.74	–
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.08	0.891	4.08	–	3.80	1.036	3.80	–	3.74	0.988	3.74	–	4.21	0.902	4.21	–	4.00	1.109	4.00	–
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3.96	1.038	3.96	–	4.02	0.902	4.02	–	3.70	1.121	3.70	–	4.21	1.048	4.21	–	3.96	1.091	3.96	–
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	4.00	0.837	4.00	–	3.58	1.032	3.58	–	3.68	1.020	3.68	–	3.96	0.878	3.96	–	–	–	–	–
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.85	0.967	3.85	–	3.87	0.815	3.87	–	3.63	1.123	3.63	–	4.31	0.930	4.31	–	3.96	1.055	3.96	–
「演習」「語学」のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	3.35	1.229	3.35	–	2.87	0.842	2.87	–	2.91	1.213	2.91	–	3.68	1.307	3.68	–	3.17	1.154	3.17	–
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	3.63	1.135	3.63	–	3.82	0.984	3.82	–	3.70	1.102	3.70	–	4.07	0.917	4.07	–	3.39	1.076	3.39	–
「基礎教養」のみ	18	授業は全学共通の総合基礎科目として ふさわしいものだった	4.25	0.775	4.25	–	4.09	1.040	4.09	–	4.00	1.062	4.00	–	4.32	0.988	4.32	–	5.00	–	5.00	–
	19	授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった（複数講師による授業の場合のみ回答）	4.25	0.754	4.25	–	4.29	0.756	4.29	–	4.33	0.866	4.33	–	4.38	0.961	4.38	–	–	–	–	–

Ⅸ．教職課程

１．　集計データから分かること

平成25年度の教職課程のアンケートは、対象科目数89、実施科目数88、実施率は、98.88%（前年度比－1.12%）であったが、非常に高い数値であった。学生の回答率も73.58%（前年度比－0.42%）であったが、例年通りの高い数値であった。総履修者数は、「講義」2178名、「演習」2288名、合計4466名であった。前年度とほぼ同様の傾向となっている。教職課程は資格課程であることから、その組織の大きさに比して学生数が多い。中高教職課程を主たる担当とする専任教員が４名に対して、学部学生・大学院学生を通じて全学で1000名程度（一つの学部分に相当する程度）履修しているので、平均すると教員一人あたり250名の学生の指導をしていることになる。

教職課程の「講義」・「演習」については、実際の運用については、その区別はない。すなわち、「講義」においても演習形式を、「演習」においても講義形式を部分的に採用している。これは、教師にとって重要な資質を養成するためには、教職課程全般にわたって主体的な学びが重要であるという判断から、科目形態にとらわれない授業を展開しているからである。なお、教職課程において「演習」と題する科目が設置されているが、これは、教育職員免許法に定められた科目だからである。各設問に対する回答の平均値・標準偏差については、全科目の有効回答・平均とほぼ同じである。各質問に対する回答を見ると、そのほとんどが「強くそう思う」・「そう思う」に集中していることを考えれば、高い数値であるとみることができる。

その上で、「総履修者数ランク別」による集計結果と「出席率別」による集計結果に着目してみることにしたい。

「総履修者数ランク別」による集計結果については、全体としては、前年度同様、総履修者数が少ない科目の方が満足度が高い傾向にあり、特に、50名以下のクラス・サイズが望ましいことが分かった。教職課程のすべての科目が、100名のクラス・サイズを基本として授業コマ数が換算されていることからすれば、質問項目11の「総合的に見てこの授業は高く評価できる」という質問に対する回答結果の数値を上げるためには、クラス・サイズの基本を50名にまでしていくことは必要不可欠のように思われる。

「出席率別」による集計結果については、全体としては、前年度同様、出席率は高い。これは、資格取得のために出席することは基本であるという指導をしており、欠席に対しては厳しく対応していうことが影響していると思われる。

また、「授業のシラバスは受講に役立った」かどうかを問う設問に対しては、３　人に１人程度の割合でシラバスを読まずに受講していることが分かった。教職課程の場合は、履修すべき科目が教育職員免許法によって定められており、また、科目ごとにできるだけ同

一の担当者が授業をおこなうことや、複数の場合にも教えるべき内容を同じにするよう心がけていることから、実際の学生の授業選択に際しては、自学科の必修・選択必修科目などを選んだ後に教職の科目を履修する、という時間割の都合が大きく左右することにならざるを得ない。そのため、シラバスを読まない傾向にあると思われる。しかし、シラバスは、「教職課程がどのような教員を養成しようとしているのか」を示す手がかりとなっていることから、学生にはシラバスを熟読するよう指導する必要がある。

２． 今後の授業改善に向けて

教職課程では、授業評価は「総括的評価」ではなく「形成的評価」として受け止めているので、今後も、教員・職員が学部学生・大学院学生・科目等履修生と一緒になって、よりよい授業をつくっていくために努力する、という方針に変更はない。

平成 25 年度より文学部教育学科の開設にともなって、教育学関連の専任教員が６名着任し、平成 26 年度には２名着任していることから、中高教職課程のあり方についても大きく変貌していかざるを得ない。また、教育学科においては、小学校教員養成に取り組んでいることから、学習院大学における教員養成の全体像についても、再把握する必要がある。このようなことから、今後の授業改善については、教職課程の主たる課題として位置づいていることを再度確認しておきたい。

そのうえで、さしあたりの課題として、次の四点を指摘しておく。

第一は、「教育基礎」のあり方についてである。教育基礎は４コマ開講しているが、従来は、授業担当者２名が、前半２コマ・後半２コマを担当する形式をとっていた。それに対して、平成 26 年度より授業担当者の変更もあって、前半は同じ授業担当者が４コマとも担当し、後半は別の授業担当者がそれぞれを担当することにした。この意図するところは、「教職課程における初年次教育」である。これまでの輪講形式の授業とはその性格を異にしており、また、学生からは大変好評である。このようなスタイルの授業を運営することにしたのは、授業評価アンケートの結果によるものであり、そのための条件整備も今後の課題として残されている。

第二は、「教育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の運用についてである。３・４年次に履修する科目であるが、教壇実習だけではなく、ガイダンス・集中講義・事前指導・事後指導など、きめ細かい指導に取り組んでいる授業となっている。アンケート結果には十分に反映されていない科目の一つである。特に、参観指導については、各学科が教員免許状の課程認定を受けていることから、各学科の専任教員にもお願いをしているところである。その意味からしても、教職課程は「全学的な取り組み」なのである。各学科の教員が積極的に教職課程の運営に協力して下さることで、学習院大学全体として教職課程における学生指導が一貫性をもって取り組まれることになるのであり、そのような教員の姿勢は、学生にとっては、

安心した学生生活をおこなうことができるようで、やはり好評である。

第三は、「教職実践演習」の運営の仕方についてである。教員免許取得の科目が文部科学省によって追加されたことから、平成25年度より新設された、教育実習を終了した学生を対象とした科目である。平成 25 年度については、集中講義形式でおこなったが、平成 26 年度については毎週1回の授業としておこなわれる予定である。新規の科目であることや、科目の性格をどのように位置づけるのか、クラス・サイズが 40-50 名で設定されている科目で学生の満足度が高い数値を得られるような演習となりうるのかなど、検討すべき事項が多いので、試行錯誤中である。

第四は、「事務室体制」についてである。教育学科の開設にともなって、従来、教職課程に所属をしていた専任教員が教育学科に配置換えになり、副手制度が廃止になったため、教職課程は職員を配置した「教職課程事務室」として再スタートをした。特に、職員は、教職課程履修にともなう各種書類、介護等体験・教育実習などの手続きなど、学生に応対する機会は、教員と同程度に多く、また、そのことが授業にも影響を与えることが大きい。組織変更によって、学生に対しては、多少、迷惑がかかったこともあったかと思うが、むしろ、新しい教職課程にとっては、「学生と教員・職員でともにつくる教職課程」にしていく絶好の契機となっている。

総じて、教職課程という学部でも学科でもない全学的な資格課程の組織においては、チーム・プレイによる教職課程の運営のあり方が、個々の授業にも直結している。また、その組織のあり方は分かりにくさをもっている。そのことから、全般的な記述をおこなうことにしたことをお許しいただきたい。

学習院大学　平成25(2013)年度　授業評価アンケート　集計結果

部門名　　教職課程

形態名　　講義

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,382	2,178	62.53%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業によく集中している 5:平均平均%以上　4:平均平均～80% 3:平均平均～70%　2:平均平均～60% 1:平均平均%以下	1,112	169	62	14	3	1	1,362	4.74	0.624	4.72	0.144
			81.66%	12.22%	4.55%	1.02%	0.27%	0.07%	100.00%				
	2	私はこの授業に積極的に取り組んでいる (事前の予習や復習等を含む)	372	332	374	81	21	2	1,362	3.88	0.921	3.93	0.268
			27.31%	24.38%	27.46%	6.00%	1.54%	0.15%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	527	553	227	38	13	2	1,362	4.13	0.881	4.23	0.232
			38.69%	40.72%	16.67%	2.80%	1.16%	0.15%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	531	558	211	44	13	2	1,362	4.14	0.889	4.21	0.228
			38.99%	41.04%	15.49%	3.23%	1.16%	0.15%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	662	467	166	25	13	3	1,362	4.38	0.847	4.41	0.242
			48.62%	34.29%	12.19%	1.83%	1.16%	0.22%	100.00%				
	6	教員は受講者が学習しやすい雰囲気を作れるよう心がけている	594	463	214	38	27	4	1,362	4.18	0.927	4.29	0.248
			43.61%	33.99%	15.71%	2.79%	1.98%	0.29%	100.00%				
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	587	466	212	28	30	3	1,362	4.09	0.963	4.23	0.489
			43.10%	34.24%	15.57%	2.06%	2.20%	0.22%	100.00%				
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	558	479	222	28	29	3	1,362	4.08	0.982	4.24	0.444
			40.97%	35.17%	16.30%	2.06%	2.13%	0.22%	100.00%				
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	553	438	221	38	22	8	1,362	4.13	0.928	4.28	0.273
			40.60%	32.16%	16.23%	2.79%	1.62%	0.59%	100.00%				
	10	この授業のシラバスは実際に役立った (シラバスを読まなかった人⇒27.1%)	244	308	253	32	18	4	1,362	3.84	0.957	3.98	0.229
			17.91%	22.62%	18.72%	2.37%	1.32%	0.29%	100.00%				
	11	総合的に見てこの授業は高評価である	548	458	227	33	19	17	1,362	4.11	0.924	4.29	0.251
			40.23%	33.62%	16.67%	2.42%	1.40%	1.25%	100.00%				
「演習」「実学」のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	365	417	242	88	46	28	1,362	3.98	1.063	4.18	0.314
			27.31%	31.19%	18.10%	6.58%	3.44%	2.09%	100.00%				
	13	教材(教科書、配本資料等)の内容は適切である	548	458	201	42	23	28	1,362	4.14	0.923	4.28	0.273
			40.23%	33.62%	14.76%	3.08%	1.69%	2.06%	100.00%				

学習院大学　平成25（2013）年度　授業評価アンケート　集計結果

部門名　教職課程

形態名　演習

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,924	2,288	84.08%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業よく理解している 5：理解平均80%以上　4：理解平均60～80% 3：理解平均40～60%　2：理解平均20～40% 1：理解平均20%以下	1,257	238	38	8	3	2	1,924	4.79	0.514	4.77	0.138
			65.38%	12.47%	1.97%	0.42%	0.16%	0.10%	100.00%				
	2	私はこの授業に積極的に取り組んでいる （事前の予習や復習を含む）	815	778	269	33	18	6	1,924	4.22	0.817	4.28	0.263
			42.36%	40.42%	14.00%	1.72%	0.93%	0.31%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	1,622	632	182	33	38	5	1,924	4.38	0.842	4.29	0.282
			84.32%	32.85%	9.46%	1.72%	1.98%	0.26%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	1,663	602	175	38	22	1	1,924	4.38	0.817	4.37	0.268
			86.44%	31.29%	9.10%	1.98%	1.14%	0.05%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	1,312	433	118	21	17	3	1,924	4.57	0.733	4.33	0.263
			68.19%	22.50%	6.13%	1.09%	0.88%	0.16%	100.00%				
	6	教員は受講者が学習するにふさわしい雰囲気に なれるよう心がけている	1,058	378	180	45	22	3	1,924	4.29	0.847	4.25	0.258
			55.00%	19.65%	9.36%	2.34%	1.14%	0.16%	100.00%				
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	1,078	338	194	38	48	4	1,924	4.32	0.914	4.26	0.271
			56.03%	17.57%	10.08%	1.98%	2.49%	0.21%	100.00%				
	8	教員の話し方やペース、問題取りやすさは 適切である	1,127	533	188	38	22	4	1,924	4.48	0.833	4.47	0.222
			58.58%	27.70%	9.77%	1.98%	1.14%	0.21%	100.00%				
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が身につけられた	1,184	381	182	32	38	13	1,924	4.43	0.841	4.47	0.218
			61.53%	19.80%	9.46%	1.66%	1.98%	0.76%	100.00%				
	10	この授業のシラバスは実態に即していた （シラバスを読まなかった人 ⇒ 22.73%）	481	399	252	48	43	18	1,924	3.99	1.028	4.03	0.228
			25.00%	20.74%	13.10%	2.49%	2.23%	0.93%	100.00%				
	11	総合的に見てこの授業は高評価である	1,187	547	125	48	37	34	1,924	4.48	0.878	4.43	0.248
			61.70%	28.43%	6.50%	2.49%	1.92%	1.77%	100.00%				
「演習」「実習」のみ	14	教員は参加者が活発に意見や議論が行えるよう 心がけていた	988	512	211	44	33	136	1,924	4.33	0.878	4.34	0.252
			51.35%	26.61%	10.97%	2.29%	1.71%	7.07%	100.00%				
	15	教員は参加者が理解しやすい進行の仕方を心がけた	957	532	216	48	32	139	1,924	4.29	0.853	4.37	0.243
			49.74%	27.65%	11.23%	2.49%	1.66%	7.22%	100.00%				

相関係数表　　**部門名**　**教職課程**
形態名　**講義**

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.274(**)	1											
Q3	.101(**)	.487(**)	1										
Q4	.082(**)	.428(**)	.800(**)	1									
Q5	.114(**)	.465(**)	.649(**)	.656(**)	1								
Q6	.120(**)	.423(**)	.573(**)	.613(**)	.666(**)	1							
Q7	.080(**)	.402(**)	.714(**)	.721(**)	.663(**)	.626(**)	1						
Q8	.077(**)	.411(**)	.661(**)	.698(**)	.643(**)	.573(**)	.788(**)	1					
Q9	.128(**)	.467(**)	.639(**)	.622(**)	.669(**)	.595(**)	.680(**)	.675(**)	1				
Q10	0.034	.264(**)	.284(**)	.247(**)	.276(**)	.276(**)	.289(**)	.307(**)	.306(**)	1			
Q11	.122(**)	.482(**)	.725(**)	.733(**)	.723(**)	.637(**)	.805(**)	.775(**)	.748(**)	.339(**)	1		
Q12	.106(**)	.361(**)	.616(**)	.622(**)	.545(**)	.507(**)	.691(**)	.659(**)	.567(**)	.262(**)	.688(**)	1	
Q13	.128(**)	.394(**)	.664(**)	.663(**)	.636(**)	.569(**)	.674(**)	.635(**)	.631(**)	.256(**)	.718(**)	.743(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表　　**部門名**　**教職課程**
形態名　**演習**

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15
Q1	1												
Q2	.256(**)	1											
Q3	.205(**)	.549(**)	1										
Q4	.141(**)	.502(**)	.775(**)	1									
Q5	.164(**)	.384(**)	.584(**)	.591(**)	1								
Q6	.142(**)	.372(**)	.533(**)	.559(**)	.621(**)	1							
Q7	.164(**)	.467(**)	.743(**)	.704(**)	.659(**)	.624(**)	1						
Q8	.137(**)	.451(**)	.633(**)	.656(**)	.583(**)	.606(**)	.777(**)	1					
Q9	.230(**)	.460(**)	.634(**)	.599(**)	.625(**)	.579(**)	.670(**)	.632(**)	1				
Q10	.061(**)	.193(**)	.215(**)	.211(**)	.156(**)	.182(**)	.238(**)	.208(**)	.241(**)	1			
Q11	.224(**)	.478(**)	.735(**)	.696(**)	.689(**)	.644(**)	.800(**)	.721(**)	.771(**)	.244(**)	1		
Q14	.160(**)	.415(**)	.532(**)	.516(**)	.535(**)	.536(**)	.561(**)	.515(**)	.569(**)	.201(**)	.605(**)	1	
Q15	.153(**)	.450(**)	.606(**)	.607(**)	.573(**)	.574(**)	.645(**)	.594(**)	.612(**)	.218(**)	.695(**)	.741(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

Ｑ１　私はこの授業によく出席している

Ｑ２　私はこの授業に意欲的に取り組んでいる（事前の準備や復習等を含む）

Ｑ３　この授業のレベルについて

Ｑ４　この授業を進める速さについて

Ｑ５　授業に対する教員の熱意が感じられる

Ｑ６　教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている

Ｑ７　教員は理解しやすい授業を行っている

Ｑ８　教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である

Ｑ９　この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

Ｑ10　この授業のシラバスは受講に役立った（シラバスを読まなかった人は「０」をマーク）

Ｑ11　総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

Ｑ12　板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である

Ｑ13　教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

Ｑ14　教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた

Ｑ15　教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

学習院大学　平成25(2013)年度　授業評価アンケート　経年変化比較表

部門名　教職課程
形態名　講義

回答対象	番号	質問内容	2013年度				2012年度				2011年度				2010年度				2009年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上　4:出席率89～80% 3:出席率79～70%　2:出席率69～50% 1:出席率49%以下	4.74	0.624	4.73	0.144	4.69	0.659	4.66	0.162	4.70	0.656	4.69	0.153	4.63	0.740	4.56	0.281	4.60	0.719	4.58	0.162
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.86	0.921	3.95	0.390	3.88	0.889	3.88	0.290	3.85	0.921	3.87	0.283	3.82	0.959	3.82	0.283	3.81	0.937	3.80	0.293
	3	この授業のレベルは適切である	4.13	0.861	4.25	0.333	4.16	0.813	4.16	0.267	4.11	0.858	4.18	0.316	4.09	0.874	4.10	0.266	4.12	0.875	4.10	0.383
	4	この授業を進める速さは適切である	4.14	0.869	4.21	0.320	4.17	0.835	4.14	0.297	4.08	0.914	4.16	0.356	4.09	0.917	4.09	0.300	4.13	0.902	4.12	0.467
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.30	0.847	4.41	0.343	4.38	0.764	4.39	0.249	4.26	0.851	4.31	0.266	4.32	0.810	4.33	0.310	4.28	0.885	4.29	0.364
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.16	0.927	4.29	0.349	4.20	0.885	4.23	0.283	4.12	0.931	4.18	0.324	4.16	0.875	4.17	0.304	4.14	0.922	4.15	0.320
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.09	0.985	4.25	0.409	4.17	0.891	4.21	0.370	4.11	0.932	4.19	0.375	4.14	0.950	4.13	0.354	4.17	0.940	4.17	0.416
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.08	0.983	4.24	0.444	4.22	0.863	4.24	0.344	4.14	0.902	4.21	0.370	4.16	0.933	4.16	0.371	4.20	0.910	4.20	0.416
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	4.15	0.939	4.26	0.375	4.19	0.907	4.20	0.287	4.06	0.932	4.13	0.317	4.03	0.940	4.05	0.303	4.15	0.962	4.16	0.386
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.84	0.957	3.98	0.359	3.90	0.933	3.94	0.265	3.77	0.974	3.81	0.264	3.86	0.977	3.90	0.309	–	–	–	–
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.11	0.924	4.29	0.391	4.18	0.867	4.20	0.339	4.10	0.876	4.17	0.336	4.11	0.880	4.12	0.314	4.19	0.913	4.20	0.418
「講義」「語学」のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.96	1.085	4.10	0.514	3.83	1.036	3.91	0.502	3.70	1.068	3.87	0.507	3.80	1.079	3.83	0.451	3.84	1.017	3.87	0.470
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は 適切である	4.14	0.925	4.26	0.373	4.16	0.883	4.20	0.296	4.04	0.930	4.13	0.341	4.08	0.922	4.07	0.325	4.09	0.916	4.09	0.392

部門名　教職課程
形態名　演習

回答対象	番号	質問内容	2013年度				2012年度				2011年度				2010年度				2009年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上　4:出席率89～80% 3:出席率79～70%　2:出席率69～50% 1:出席率49%以下	4.79	0.514	4.77	0.156	4.78	0.518	4.75	0.164	4.81	0.483	4.80	0.163	4.76	0.538	4.74	0.169	4.81	0.518	4.73	0.236
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.22	0.817	4.28	0.265	4.35	0.769	4.39	0.249	4.26	0.820	4.31	0.249	4.18	0.872	4.23	0.310	4.29	0.801	4.26	0.302
	3	この授業のレベルは適切である	4.36	0.843	4.39	0.302	4.46	0.740	4.48	0.241	4.35	0.804	4.35	0.312	4.23	0.896	4.25	0.364	4.33	0.870	4.27	0.389
	4	この授業を進める速さは適切である	4.36	0.817	4.37	0.288	4.49	0.741	4.50	0.264	4.38	0.817	4.40	0.323	4.24	0.914	4.27	0.373	4.33	0.874	4.29	0.390
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.57	0.733	4.55	0.265	4.64	0.666	4.63	0.275	4.60	0.720	4.59	0.311	4.50	0.801	4.51	0.322	4.51	0.814	4.49	0.388
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.39	0.847	4.39	0.296	4.46	0.794	4.49	0.295	4.41	0.819	4.44	0.309	4.33	0.898	4.37	0.330	4.40	0.840	4.39	0.399
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.35	0.914	4.39	0.371	4.43	0.835	4.49	0.356	4.36	0.898	4.41	0.394	4.25	0.991	4.28	0.447	4.38	0.889	4.35	0.421
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.40	0.855	4.47	0.332	4.47	0.821	4.53	0.343	4.42	0.837	4.47	0.345	4.32	0.940	4.38	0.392	4.43	0.866	4.39	0.412
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	4.45	0.841	4.47	0.318	4.52	0.759	4.54	0.263	4.43	0.827	4.44	0.336	4.27	0.984	4.31	0.398	4.39	0.869	4.39	0.392
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.99	1.026	4.03	0.338	4.18	0.921	4.19	0.293	4.11	0.948	4.16	0.326	3.95	1.047	3.97	0.366	–	–	–	–
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.40	0.878	4.43	0.348	4.50	0.763	4.53	0.286	4.39	0.826	4.42	0.356	4.28	0.958	4.33	0.419	4.42	0.843	4.40	0.422
「演習」「語学」のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.35	0.878	4.34	0.592	4.39	0.859	4.41	0.366	4.39	0.871	4.39	0.383	4.31	0.932	4.30	0.417	4.30	0.907	4.29	0.502
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.29	0.895	4.37	0.343	4.38	0.845	4.43	0.340	4.35	0.857	4.39	0.322	4.26	0.956	4.29	0.417	4.28	0.918	4.29	0.416

Ｘ．学芸員課程委員会

１．全体的に見て

2012 年度までと同様、2013 年度もまた学芸員課程は高い数値を維持している。学芸員資格取得の中心は言うまでも無く、4 年次に履修が割り当てられている「博物館実習」（通年の演習形式授業）であるが、この授業に対する学生の評価は、Ｑ3～Ｑ9、Ｑ11 においていずれも全学 10 部門の中で最高となっている。各数値を見ると、回答のうち、「5.強くそう思う」が 75～85％程度を占めており、大部分の学生から充分な評価を受けていることが分かる。また、Q1「私はこの授業によく出席している」およびQ2「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」の項目に関しては、必ずしも全学の中でトップクラスの数値を示しているわけではないが、アンケートの回答率を見ると、84.25%と、全学で一番高い回答率を示しており、学生の出席率、学習意欲は実際はきわめて高いと考えられる。まじめに授業に取り組んでいる者ほど、自己に対する評価が厳しいということは専門科目の演習にも見られる傾向であり、Ｑ1、Ｑ2 の数値は必ずしも額面どおりには受け取れないと思われる。

いずれにせよ、そのような高い評価は、資格取得のため卒業に必要な単位を越えて自発的に選択するという学生の側の意識と、優れた後進を育てたいと考える授業担当者（多くが美術館・博物館・資料館等の現場で活躍する学芸員である）の側の意欲とがうまく噛み合っている結果である。また、昨年度の報告にも記したが、重要なことであるので本年も繰り返すならば、そうした両者の意識がうまく噛み合うという状況は、単に個々の授業の内容、進め方の良し悪しというだけではなく、カリキュラムの設定、非常勤講師の選任に関しての充分な検討、実習に必要な設備や備品の充実、学生に対して行われる徹底したガイダンス、事務室窓口での決め細やかな指導・アドヴァイスなど、授業以前の、あるいは授業を取り巻く環境の整備によるところが極めて大きいと考えられる。ある非常勤講師（美術館学芸員）からは、「学習院大学では私が教壇に上がると、すぐに私語が収まりシーンと静まり返るまことに心地よい」というお褒めの言葉をいただくほどである。言い換えるならば、ＦＤにとって重要なのは、個々の教員の意識の問題だけではなく、教員が自らの理想とする授業を展開できる状況や枠組、学生が自ら積極的に参加したいと考えるような授業を用意できる状況や枠組を、外側から積極的に構築してゆくということであり、そのような全体としてのＦＤの仕組みが学芸員資格取得関係の履修システムの中に組み込まれているということである。こうした環境は今後とも維持してゆきたいと考えている。

文部科学省による博物館法施行規則の改正により、平成24 年４月から学芸員資格取得に関するカリキュラムが変更された。本学では以前より博物館関係の授業は充実しているので、新課程への移行とは言っても、さほど大幅な変更は生じていない。担当教員の顔ぶれも以前の教員がそのまま引き継がれるので、ＦＤという点においても全く問題はない。た

だし、文部科学省の新指針に従って、設定科目は以前よりも細分化され、専門性が強くなるので、各科目の内容設定は、これから数年試行錯誤を行わなければならない。そのことは、Q10「この授業のシラバスは受講に役立った」の数値が全学的にも部門としてもさほど高くないということとも関連して、今後の課題となるだろう。

２．今後の授業改善に向けて

毎年学年初めに行われる、非常勤講師との意見交換会において、情報を交換し、また授業の改善等についても話題としている。学芸員課程は、とりわけ４年生の実習クラス（演習）が資格取得の総仕上げとして重要なものとなってくるので、学生の意見も充分聞いたうえで、実習環境の整備を常に心がけている。実習が終わり油断してしまう学生もおり、年度末まできちんと授業に対応させるようにしたい。また、学生の意見、希望等は常時、学芸員課程事務室において聴き取り、必要な場合に担当教員に伝えるようにしている。

学習院大学　平成25(2013)年度　授業評価アンケート　集計結果

部門名　学芸員

形態名　講義

	合計	総履修者数	回収率
回収数	[illegible]	1,119	77.29%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 専門別形態別平均	専門別形態別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業によく集中している 5:集中率90%以上　4:集中率80%～89% 3:集中率70%～79%　2:集中率60%～59% 1:集中率59%以下	[illegible]	172	[illegible]	5	[illegible]	1	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	0.657
			76.13%	15.[illegible]%	5.31%	[illegible]%	[illegible]%	0.12%	100.[illegible]%				
	2	私はこの授業に自分なりに取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	181	375	242	85	18	1	[illegible]	3.85	[illegible]	3.77	0.864
			[illegible]%	45.7[illegible]%	27.94%	7.51%	2.[illegible]%	0.12%	100.[illegible]%				
	3	この授業のレベルは適切である	250	425	155	24	4	1	[illegible]	4.13	[illegible]	4.18	[illegible]
			[illegible]%	46.[illegible]%	13.74%	2.77%	[illegible]%	0.12%	100.[illegible]%				
	4	この授業を通じて達成感はあった	394	417	138	17	1	1	[illegible]	4.18	[illegible]	4.17	[illegible]
			35.19%	46.15%	14.53%	1.[illegible]%	0.12%	0.12%	100.[illegible]%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	[illegible]	[illegible]	76	14	3	3	[illegible]	4.37	[illegible]	4.38	0.174
			46.15%	35.95%	6.79%	1.25%	0.27%	0.27%	100.[illegible]%				
	6	教員は受講者が学習しやすい状態に配慮している	337	[illegible]	135	21	5	1	[illegible]	4.17	[illegible]	4.28	[illegible]
			30.11%	42.[illegible]%	15.59%	2.[illegible]%	0.45%	0.12%	100.[illegible]%				
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	325	381	115	33	10	2	[illegible]	4.17	[illegible]	4.22	[illegible]
			30.[illegible]%	44.[illegible]%	13.28%	2.[illegible]%	1.15%	0.20%	100.[illegible]%				
	8	教員の話し方やボード、資料等がわかりやすさは適切である	[illegible]	[illegible]	97	11	8	1	[illegible]	4.27	[illegible]	4.28	[illegible]
			42.01%	44.11%	11.28%	1.27%	0.93%	0.12%	100.[illegible]%				
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	[illegible]	[illegible]	112	24	8	5	[illegible]	4.21	[illegible]	4.25	[illegible]
			42.[illegible]%	40.78%	12.93%	2.77%	0.93%	0.58%	100.[illegible]%				
	10	この授業のシラバスは適切であった (シラバスを読まなかった人 ⇒ 24.71%)	158	277	198	14	7	2	[illegible]	3.88	[illegible]	3.89	0.177
			18.01%	31.95%	22.83%	1.62%	0.81%	0.23%	100.[illegible]%				
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	[illegible]	[illegible]	128	18	8	12	[illegible]	4.18	[illegible]	4.21	0.152
			32.95%	44.[illegible]%	13.[illegible]%	2.08%	0.93%	1.39%	100.[illegible]%				
「講義」「演習」のみ	12	板書の書き方やスライド等の使い方は適切である	318	381	158	44	5	13	[illegible]	4.08	[illegible]	4.18	0.358
			35.[illegible]%	39.[illegible]%	17.07%	5.[illegible]%	0.58%	1.50%	100.[illegible]%				
	13	教材資料集、配布資料等の内容は適切である	[illegible]	351	171	17	8	18	[illegible]	4.05	[illegible]	4.12	[illegible]
			38.[illegible]%	40.52%	19.75%	1.96%	0.93%	2.08%	100.[illegible]%				

学習院大学　平成25(2013)年度　授業評価アンケート　集計結果

部門名　学芸員

形態名　演習

	合計	総履修者数	回収率
回収数	122	149	84.2%

回答対象	番号	質問内容	回答ベース 5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	科目ベース 部門別対象別平均	部門別対象別標準偏差
「全員」回答	1	自分はこの授業には満足している 5:満足度90%以上 4:満足度80%～90% 3:満足度70%～79% 2:満足度60%～69% 1:満足度60%以下	88	28	5	0	0	0	120	4.63	0.619	4.68	0.517
			73.333%	23.333%	4.167%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%				
	2	自分はこの授業に自分なりに取り組んでいる (時間の使い方・教材等を含む)	54	53	15	1	0	0	120	4.38	0.712	4.37	0.595
			45.000%	44.167%	12.500%	0.833%	0.000%	0.000%	100.000%				
	3	この授業のレベルは適切である	95	25	1	2	0	0	120	4.78	0.553	4.71	0.558
			79.167%	20.833%	0.833%	1.667%	0.000%	0.000%	100.000%				
	4	この授業を通じて自分は満足できる	94	24	5	0	0	0	120	4.72	0.530	4.70	0.542
			78.333%	20.000%	4.167%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	105	17	1	0	0	0	120	4.85	0.385	4.84	0.188
			87.500%	14.167%	0.833%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%				
	6	教員は教材が平易でわかりやすい授業に結びつけようと努めている	99	21	4	2	0	0	120	4.72	0.668	4.70	0.558
			82.500%	17.500%	3.333%	1.667%	0.000%	0.000%	100.000%				
	7	教員は質問しやすい雰囲気を作っている	101	19	3	0	0	0	120	4.68	0.601	4.77	0.545
			84.167%	15.833%	2.500%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%				
	8	教員の話し方(ペース、声の大きさ)やすさは適切である	106	13	1	0	0	0	120	4.85	0.377	4.83	0.188
			88.333%	10.833%	0.833%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%				
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	110	12	1	0	0	0	120	4.89	0.344	4.88	0.111
			91.667%	10.000%	0.833%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%				
	10	この授業のシラバスは適切であった (シラバス未読はおよそ15人 ＝15.45%)	82	24	16	0	0	0	120	4.42	0.772	4.38	0.535
			68.333%	20.000%	13.333%	0.000%	0.000%	0.000%	100.000%				
	11	自分が進んでこの授業を高評価できる	104	15	2	0	0	2	120	4.84	0.488	4.82	0.214
			86.667%	12.500%	1.667%	0.000%	0.000%	1.667%	100.000%				
「実習」「講習」のみ	14	教員はお知らせが全員に徹底や掲示が行なわれるよう心がけていた	90	19	5	1	0	5	120	4.70	0.588	4.71	0.538
			75.833%	15.833%	4.167%	0.833%	0.000%	4.167%	100.000%				
	15	教員はお知らせ掲示板の取り扱いを守っていた	90	18	2	0	0	5	120	4.81	0.433	4.88	0.195
			75.000%	15.000%	1.667%	0.000%	0.000%	4.167%	100.000%				

相関係数表　　**部門名**　**学芸員**
形態名　**講義**

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.282(**)	1											
Q3	.248(**)	.443(**)	1										
Q4	.251(**)	.397(**)	.764(**)	1									
Q5	.260(**)	.397(**)	.597(**)	.600(**)	1								
Q6	.205(**)	.431(**)	.603(**)	.627(**)	.667(**)	1							
Q7	.167(**)	.371(**)	.718(**)	.635(**)	.633(**)	.671(**)	1						
Q8	.164(**)	.355(**)	.601(**)	.623(**)	.600(**)	.623(**)	.716(**)	1					
Q9	.200(**)	.487(**)	.539(**)	.536(**)	.575(**)	.553(**)	.575(**)	.583(**)	1				
Q10	0.067	.341(**)	.253(**)	.228(**)	.255(**)	.278(**)	.263(**)	.229(**)	.343(**)	1			
Q11	.201(**)	.462(**)	.678(**)	.668(**)	.697(**)	.686(**)	.734(**)	.678(**)	.701(**)	.309(**)	1		
Q12	.124(**)	.329(**)	.520(**)	.535(**)	.527(**)	.574(**)	.607(**)	.566(**)	.477(**)	.242(**)	.623(**)	1	
Q13	.174(**)	.407(**)	.497(**)	.513(**)	.557(**)	.528(**)	.541(**)	.543(**)	.481(**)	.207(**)	.630(**)	.584(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表　　**部門名**　**学芸員**
形態名　**演習**

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15
Q1	1												
Q2	.257(**)	1											
Q3	−0.008	.513(**)	1										
Q4	0.007	.372(**)	.795(**)	1									
Q5	−0.004	.291(**)	.492(**)	.510(**)	1								
Q6	0.042	.294(**)	.570(**)	.591(**)	.722(**)	1							
Q7	0.076	.313(**)	.550(**)	.604(**)	.607(**)	.670(**)	1						
Q8	0.009	.318(**)	.551(**)	.572(**)	.633(**)	.568(**)	.770(**)	1					
Q9	−0.048	.242(**)	.352(**)	.319(**)	.548(**)	.354(**)	.474(**)	.566(**)	1				
Q10	0.076	.345(**)	.329(**)	.335(**)	.207(*)	.276(**)	.269(**)	.252(**)	0.168	1			
Q11	0.037	.301(**)	.646(**)	.711(**)	.633(**)	.517(**)	.619(**)	.654(**)	.519(**)	.253(**)	1		
Q14	0.171	.452(**)	.483(**)	.367(**)	.388(**)	.363(**)	.366(**)	.368(**)	.345(**)	.359(**)	.271(**)	1	
Q15	0.026	.242(**)	.465(**)	.469(**)	.548(**)	.544(**)	.491(**)	.569(**)	.530(**)	0.122	.486(**)	.478(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

Ｑ１　私はこの授業によく出席している

Ｑ２　私はこの授業に意欲的に取り組んでいる（事前の準備や復習等を含む）

Ｑ３　この授業のレベルについて

Ｑ４　この授業を進める速さについて

Ｑ５　授業に対する教員の熱意が感じられる

Ｑ６　教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている

Ｑ７　教員は理解しやすい授業を行っている

Ｑ８　教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である

Ｑ９　この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

Ｑ10　この授業のシラバスは受講に役立った（シラバスを読まなかった人は「０」をマーク）

Ｑ11　総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

Ｑ12　板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である

Ｑ13　教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

Ｑ14　教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた

Ｑ15　教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

学習院大学　平成25(2013)年度　授業評価アンケート　経年変化比較表

部門名　学芸員
形態名　講義

回答対象	番号	質問内容	2013年度				2012年度				2011年度				2010年度				2009年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上　4:出席率89～80% 3:出席率79～70%　2:出席率69～50% 1:出席率49%以下	4.68	0.600	4.66	0.157	4.66	0.652	4.62	0.195	4.65	0.687	4.61	0.162	4.61	0.673	4.59	0.256	4.53	0.783	4.49	0.237
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.69	0.928	3.77	0.304	3.59	0.856	3.62	0.219	3.66	0.928	3.70	0.378	3.74	0.969	3.76	0.393	3.62	0.982	3.71	0.427
	3	この授業のレベルは適切である	4.13	0.782	4.16	0.229	4.06	0.781	4.09	0.270	4.07	0.894	4.02	0.426	4.21	0.808	4.14	0.440	4.12	0.817	4.18	0.322
	4	この授業を進める速さは適切である	4.16	0.748	4.17	0.167	4.09	0.797	4.13	0.199	4.13	0.860	4.13	0.291	4.27	0.799	4.23	0.295	4.20	0.815	4.26	0.279
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.37	0.737	4.38	0.174	4.24	0.809	4.29	0.263	4.36	0.785	4.45	0.328	4.44	0.742	4.45	0.300	4.44	0.752	4.52	0.315
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.17	0.817	4.20	0.181	4.11	0.821	4.16	0.191	4.17	0.859	4.23	0.267	4.24	0.785	4.25	0.249	4.19	0.844	4.28	0.298
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.17	0.839	4.22	0.256	4.05	0.893	4.09	0.292	4.17	0.916	4.16	0.406	4.30	0.817	4.23	0.409	4.20	0.887	4.31	0.358
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.27	0.762	4.28	0.143	4.12	0.866	4.16	0.289	4.24	0.887	4.23	0.403	4.33	0.759	4.30	0.300	4.32	0.807	4.39	0.292
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	4.21	0.840	4.25	0.181	4.16	0.842	4.19	0.244	4.15	0.933	4.22	0.379	4.31	0.809	4.34	0.271	4.21	0.863	4.32	0.321
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.86	0.841	3.89	0.177	3.78	0.913	3.83	0.205	3.84	0.943	3.83	0.326	3.90	0.940	3.95	0.256	–	–	–	–
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.18	0.801	4.21	0.152	4.06	0.834	4.09	0.256	4.15	0.912	4.22	0.388	4.27	0.818	4.24	0.306	4.22	0.849	4.32	0.370
「講義」「語学」のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4.06	0.894	4.10	0.356	3.96	0.941	3.97	0.268	4.15	0.919	4.23	0.302	4.19	0.874	4.22	0.322	4.12	0.951	4.23	0.372
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は 適切である	4.09	0.834	4.12	0.228	3.93	0.932	4.00	0.315	4.18	0.894	4.25	0.319	4.17	0.893	4.16	0.422	4.20	0.874	4.28	0.348

部門名　学芸員
形態名　演習

回答対象	番号	質問内容	2013年度				2012年度				2011年度				2010年度				2009年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上　4:出席率89～80% 3:出席率79～70%　2:出席率69～50% 1:出席率49%以下	4.63	0.619	4.60	0.317	4.57	0.666	4.56	0.308	4.56	0.623	4.56	0.258	4.60	0.693	4.59	0.189	4.60	0.705	4.60	0.283
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.30	0.712	4.27	0.285	4.27	0.700	4.26	0.269	4.22	0.777	4.20	0.315	4.15	0.831	4.15	0.213	4.13	0.780	4.11	0.317
	3	この授業のレベルは適切である	4.73	0.559	4.71	0.296	4.60	0.624	4.59	0.239	4.61	0.627	4.60	0.248	4.62	0.583	4.62	0.241	4.51	0.657	4.51	0.205
	4	この授業を進める速さは適切である	4.72	0.533	4.70	0.242	4.66	0.547	4.66	0.118	4.63	0.600	4.62	0.205	4.67	0.560	4.67	0.239	4.53	0.634	4.52	0.215
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.85	0.385	4.84	0.160	4.78	0.415	4.78	0.099	4.74	0.591	4.72	0.330	4.77	0.487	4.77	0.177	4.67	0.531	4.66	0.208
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.72	0.608	4.70	0.259	4.66	0.524	4.67	0.128	4.69	0.583	4.68	0.260	4.73	0.539	4.74	0.165	4.52	0.634	4.50	0.213
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.80	0.461	4.77	0.245	4.73	0.496	4.74	0.178	4.74	0.576	4.73	0.319	4.72	0.520	4.72	0.208	4.67	0.545	4.66	0.212
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.85	0.377	4.83	0.183	4.75	0.514	4.75	0.126	4.64	0.696	4.63	0.288	4.74	0.490	4.74	0.176	4.63	0.595	4.62	0.220
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	4.89	0.344	4.88	0.111	4.78	0.472	4.77	0.232	4.72	0.623	4.70	0.319	4.75	0.563	4.74	0.173	4.69	0.591	4.69	0.244
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	4.42	0.772	4.36	0.321	4.18	0.806	4.23	0.255	4.07	0.845	4.06	0.320	4.21	0.865	4.21	0.408	–	–	–	–
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.84	0.408	4.82	0.214	4.76	0.460	4.75	0.192	4.73	0.582	4.72	0.297	4.70	0.519	4.69	0.203	4.64	0.619	4.63	0.250
「演習」「語学」のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.73	0.580	4.71	0.328	4.70	0.548	4.72	0.256	4.46	0.736	4.43	0.441	4.47	0.751	4.47	0.410	4.41	0.726	4.37	0.436
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.81	0.433	4.80	0.195	4.77	0.487	4.79	0.126	4.62	0.630	4.62	0.288	4.65	0.602	4.66	0.289	4.55	0.650	4.53	0.297

第３章

授業への取り組み例

Ⅰ．法学部

【法学科】

●民事訴訟法の授業では、レジュメを配布するだけではなく、授業全体のポイントを理解しやすくするために、話をするテーマ毎に、それぞれのテーマが訴訟手続全体のどのような場面において問題となるものであるかについて説明した図を配布したうえで、テーマの位置付けについて説明している。

外国書講読において、前回取り扱った部分の英文和訳の小テストを実施した。これにより、参加者が毎回の授業の復習を行うように誘導し、間違いやすい英文の理解力の向上を図った。

●講義をパワーポイントで行っている。使用するスライドは全て S ドライブに講義前に保存し、学生が予習・復習の際に自由にダウンロードできるようにしている。講義では、スライドの文字で書かれている情報をホワイトボードで図示するなど、スライドを読み上げるだけにならないように気を配る。

講義でも、途中で簡単な事例問題を出題して、その場で問題を解かせたり、時間を決めて周囲の学生と議論させたりすることで、講義内容を理解しているかを自己チェックできるようにしている。

演習では全員のメーリングリストをつくり、レジュメの配布等の準備作業を円滑に行えるようにしている。

●民法の授業では，毎回，授業の初めに，B4 で 4 枚ほど（B5 で 8 ページ相当）の詳細なレジュメを学生に配布して，判例や学説の分かれ目や，重要な学説の構造などを学生が理解するのに役立ててもらっている。また，板書も多く行い（なお，マーカーは，黒のほか，赤，青，そして個人研究費で購入した緑のマーカーも用いて，学生の視覚に訴えるようにしている），口頭の説明も，学生の反応を見ながら，できるだけ分かりやすい内容となるよう心がけているつもりである。

●講義科目において，受講生の理解の向上および教員の板書負担の軽減のために，図表を多く採り入れた講義資料を配布している。なお，何らの理由で欠席せざるをえなかった受講生のため，講義資料はＰＤＦ化し，G-Port でダウンロードできるようにしている。

●法学科の科会に、法科大学院専任教員を含めた法学教育の担当教員全員が集まる機会を利用して、各教員の授業に対する取り組み事例を報告し、それをめぐって意見を交換することを継続している。

【政治学科】

●講義科目のうち、提供する情報量が多いものについては、講義ノート的なものを G-Port を通じて配布している。就活を優先せざるを得ない 4 年生に好評だが、ノートを配布する回の出席率は低いと感じる。穴埋め式も試したが、穴に入る言葉は何かに学生の関心（質問）が集中してしまう。

受講者が講義内容に興味をもち、具体例に引きつけて理解できるよう、事前に課題を出し、ウェブを用いて簡単な調査をしてもらっている。やる気がある学生は積極的に取り組んでくれている。しかし、一部の回にとどめているが、負担感をもつ学生が脱落するとともに、友人の成果を写したり、翌週に持参したり、ミニレポートを提出することが目的化している学生もいて、ジレンマを感じている。

●政治学科には、ほぼすべての 1 年生が履修する基礎演習が開設されている。これは、大学における授業の基礎をなす非常に重要な科目であると思われる。そのような見地から、次のような点に留意しながら基礎演習を進めている。

第一に、大学における勉学が円滑に始められるように、図書館の使い方、調査の方法、レジュメの書き方、報告の技法といった、学問の「技術」的な側面を、演習のプログラムの中に取り入れていることである。

第二に、人前で真面目な発言をすることに慣れていない学生が多いことに鑑み、ディスカッションを「グループ討論→全体討論」という二段階方式で行い、グループ討論で発言に慣れてから全体討論に参加するという形を徹底している。また、議論・発言は、指定されたテキストをめぐり事前に準備した課題（A4 用紙 1 枚）に基づいて行われるので、発言内容に困るということもない。また、課題は、その都度、コメントを付けて返却している。こうすることで、学生の課題文を書くモチベーションが多少なりとも上がることが期待できる。

第三に、テキストは、いわゆる古典よりも、現在の世界と日本の政治・社会に関わる新書を読むことにしている。知識の体系的な取得よりも、1 年生には様々な知的刺激を与える方がよいと思われるからである。その際、「多少、分量は多いかな」といった程度の分量を課題としている。ある程度の「負荷」をかけないと学力や好奇心の増進も見込めないからである。

●基礎演習では、政治現象をゲーム理論で表現したものを、実際にゲームとしてプレーし、遊びながら政治のメカニズムが理解できるようにしている。例えば、ねじれ国会、公共財、連立政権、瀬戸際政策、政党の政策、などを扱った。

政治学Ⅲでは、授業用サイトからデータやスクリプトをダウンロードして、各自が R という統計ソフトを用いて、授業中あるいは課外に、データ分析をさせている。

●社会心理学的な実験などを説明する場合には、実際にその実験に使われた刺激材料などを

スクリーンに映し、まず学生自身に実験参加者と同じ体験をさせ、その後にその実験の結果と意味を説明することで、授業の内容にリアリティを持たせるようにしている。

なお、学生の私語に関しては、毎学期１回目の授業において少し時間を取り、注意事項として説明を行うことにより、その後の授業ではほとんど私語のない状態を保てるようになった。

Ⅱ．経済学部

●経済数学の授業において、全体の履修者を 4 分割した少人数の数学演習を行っている。同様に、経営数学の授業において、他大学では類を見ない少人数（一クラス 30 人）の数学演習を行っている。一人一台のコンピュータでグラフィクス教材を使い、教員やティーチングアシスタントの大学院生と話しながら演習を進められる。また、経済数学・経営数学双方で e-ラーニングシステムを駆使し、web ベースの学習支援を行っている。これらの導入により、「理解しやすい授業」、「知的好奇心や新しいものの見方」、「教材の内容」の観点から学生へのサービス向上が図れていると考えられる。

●管理会計の授業において、企業再生の研究で取り上げた日本航空の例をあげて、コスト管理やマネジメントコントロールについての説明を行っている。学生にとって管理会計の概念は抽象的でわかりにくい部分があると思われるが、日本航空の具体的な例をとりあげることにより、実際に適用した場合のイメージがわきやすくなるような工夫をしており、「理解しやすい授業」「知的好奇心や新しいものの見方」の観点から授業内容が改善されていると考えられる。

●意欲的な取り組み（Ｑ２）の向上を目的に、講義の最後の約２０分間を質疑応答の時間にした。質問をした学生に対し点を与え、学期末の授業評価に加算する。この質疑応答の時間とインセンティブ仕組みの導入に伴い、以前より多くの学生が質問を事前に準備して大教室の緊張感を乗り越えて発言するようになった。

●授業のレベル（Ｑ３）とペース（Ｑ４）の向上のため、出席管理カードの裏面を使って各授業後に調査を行っている。また、オフィスアワーの時間に来た学生から講義の進行速度が速いという意見が多い場合は、スライド一枚当たりの文量を減らし、より詳しく説明する。

●講義中は、教壇で立って説明するより教室を巡回しながら説明する方が効果的だとわかって、ワイヤレスマイクを使って歩き回って説明している。説明の中で適宜質問を学生に投げかけ、それについて数名に答えてもらう形で双方向型講義を提供している。結果とし

て、学生各自は教えている側の熱意（Ｑ５）を近くから感じており、授業に集中するとともに講義内容についてその場で考えるように努力しているので、学生による意欲的な取り組み（Ｑ２）が高まると期待している。

Ⅲ．文学部

【哲学科】

本学科は哲学思想系と美学美術史系の二つの系から成る複合学科であり、前者は文献の読解、後者は作品の解釈と、授業の方向性は異なるものの、両系ともに、基礎力の充実、豊かな思考と柔軟な応用力の涵養、卒業論文の作成、を重視する教育方針は同一である。以下、授業改善に向けての取り組みを、初年次教育の充実、達成度の検証とフィードバック、シラバスの改善、卒業論文の指導体制の順に記述する。

1. 初年次教育の充実

基礎演習における＜少人数教育＞を堅持し、予習復習を含め、学生一人一人の授業参加姿勢や習熟度を的確に把握し、欠席しがちな学生、課題提出が困難な学生へのサポートを行い、すべての学生が学ぶ楽しさを得つつ、目標とする学力を獲得するよう努めている。また、総合基礎科目の「東アジア日本の倫理思想」をＡ，Ｂ二コマ設定にするなど、学生の履修希望にきめ細かく対応し、総合基礎科目を活用しつつ、基礎から専門への道筋をつけている。なお、哲学系であるが美術史系も学んでみたい、西洋を第一志望としているが、日本東洋も学んでみたいといった、両系や対象地域をまたいでの向学心に応えるべく、時間割にも配慮している。さらに、教員と大学院生による初年次の学習サポートとして、ジュニアセミナーを年数回開催し、参考文献の探し方、プレゼンテーション技術、配布資料の作り方、レポートの書き方などを指導している。

2. 達成度の検証とフィードバック

演習科目においては、授業への積極的な参加を一層推し進めるための受講生への働きかけを様々に工夫している。たとえば発表エントリー表や課題の分割説明等を学科フロアの廊下掲示板に開示し受講生の相互関心を深め課題に対する協働の下地をつくる、発表者とコメンテーター双方を評価するなど、教員と TA は、学生が孤立することなく学習に向かう環境をつくり、授業の場のみならずその外側も活発なコミュニケーションの場となるよう努めている。

受講生一人一人と教員のコミュニケーションは、講義科目の場合、演習に比べ困難を伴うが、毎授業提出するリアクションペーパーの活用によって、それを補うことができる。質問事項や意見などを抜粋してコメント表を作成し、次の授業で配布し紹介する、リアクションペーパーに回答や意見を記入して返却する、など、教員個々によって、リアクショ

ンペーパー活用の実態は異なるが、基本は、それによって授業の理解度を把握し、質問など疑問点に答え、受講生の関心や興味を授業に反映させるということにある。

3. シラバスの改善

シラバスと実際の授業運営においては、受講生の質問、あるいは関心の広がりに答える局面が多く、学期初めに想定したシラバスの内容との齟齬が生まれることは珍しくない。だが、それによって、「シラバスは役に立たなかったという」感想が生まれることは残念である。よって、『文学部シラバス』に掲げたものと違いが生まれた場合、学期途上で、再構成し直したシラバスを提示するよう努めた。また、シラバスの記述を見直し、専任・非常勤ともに、具体的な指針となるシラバスを作成するよう努めている。特に、できるだけ詳しく授業の予定を具体的に示すこと、成績評価の方法や基準を明らかに示すこと、参考文献や教科書の書誌情報を多く示すこと、を心がけている。

4. 卒業論文の重視

本学科では、4 年間の学部での学習の集大成として、充実した卒業論文を書くよう、カリキュラムを構築し、各自が研究テーマに誠実に向かい合い、自分の言葉で論理を組み立て、議論を完成させることを目指している。２年次に系志望届を提出し、そこで専門的学習へのモチベーションを高め、３年次では、卒業論文ガイダンスと卒論テーマ個人相談の時間を設定している。指導教員の演習や自主ゼミでの指導のほか、４年次では、春と秋の二度の中間発表をおこない、卒業論文の経過報告と教員のアドバイスがなされる。春の卒論中間発表会は公開を原則とし、テーマへの取り組み方、考察視点の可能性、先行研究の示唆など、教員全員からのアドバイスが与えられ、主査・副査の決定が行なわれる。秋の中間発表は、主査と副査に対して、卒業論文の組み立てや中核となる議論を発表する。卒業論文への評価は、口頭試問に対する主査・副査の評点を教員全員が確認して決定する。

なお、卒業論文ガイダンスでは「卒業論文への道」という小冊子を配り、卒業論文作成の心構え、提出までの教務上のスケジュール、卒業論文の執筆要項などを記載し、本学科が４年間の学業の達成として卒業論文の作成を重視していることを周知させている。

【史学科】

学生の学修達成度の検証と授業への反映

本学科では卒業論文の完成を目標にカリキュラムを編成されている。提出された卒業論文については、主査・副査・三査による審査をおこなうが、口頭試問には全教員が陪席し、最終的な評価は教員間での質疑をへたうえでくだされる。他方、履修状況に問題を抱える学生にかんしては学科会議で状況を検討し、適宜、家庭と連絡をとりながら指導する態勢をとっている。

授業への取り組み例　1

本年度より新たな授業科目として「歴史文献講読入門」を設置し、週一コマ開講している。この科目は、従来のカリキュラムでは卒業論文執筆に要求される外国語文献や原史料を読みこなす学力を身に付けることが困難な学生の増加への対応策である。本年度は約 30 名の学生が受講している。

授業への取り組み例　2

1 年生を対象にした「基礎演習 B」（週一コマ）では、議論に取り組む姿勢を養う狙いをもって、グループ討論を試みている。約 30 名の受講者を 3 組に分けたうえで、テキストの担当箇所についてグループ内での討論を重ね、全体討論を実施する。受講者それぞれに何らかの役割を割り振って発言を促すようにしている。

【日本語日本文学科】

- 日本古典文学の授業では、授業評価アンケートから、学生の関心の低さと退屈ぶりがうかがえた。これは、学生の古文読解力の不足（高校までの教育に問題があろう）に一つの原因があると思われるが、なんとか学生の関心を高めるために、以下のような対策をとった。

1. 古文の実例を示す時には、必ず現代語訳を付すこと。そのために、２年かけて教材をすべて作りかえた。

2. 古代のことを説明するのに、それに近い現代の例を持ち出し、「古代や中世では… 」と話を進めるようにした。

3. 授業の進行にあたっては、学生に問いかけを繰り返して、話題に意識を集中させるようにした。

- 日本古典文学の一年生向けの授業では、「シラバスが受講に役立った」「自分（学生のこと）は意欲的に取り組んでいる」という二点が、他に比べて評価が低かった。前者については、文系の場合、理系のような組織的なカリキュラムに則ったものにはなりにくいので、仕方ない一面もあるが、なるべく具体的な内容を提示できるよう努力することにした。また、後者については、一年生は取らなくてはならない単位も多く、すべての科目に意欲を発揮するのは難しいと思われるが、

1. 現代の問題にも通じるような形で問題提起をする。

2. 現代語訳を丁寧にする。

3. 図版や表を多用し、視覚的にも伝える。

というようなことを心がけて、興味・関心を高めるようにした。二年生以上の科目についてはおおむね問題はない。

- 日本近代文学の授業では、学生のアンケートで、特に１年生向けの授業内容の難しさが指摘された。しかし授業の難易度を急速に落とすことは、教育のレベル低下を招く恐れがある。そこで、具体例を多くし、質問の時間を充分に取るように心掛け、また重要なポイントについては授業で話した内容をプリントにして配布して、復習をしてくるように求めるなどの対策を講じた。特に具体例の呈示に関しては、映像資料を見せて学生の理解を容易にするといった方法も試みている。

- 日本近代文学の授業では、いわゆるゆとり教育世代に属する昨今の学生のレベルに対応する一方で、従来の授業の難易度をできるだけ維持する工夫をしている。そのため、授業の導入部分では、学生にとって身近な話題を多めに取り入れ、図像や映像資料による例示を増やすなど、できるだけ具体的な局面から入ることで、学生に関心をもってもらうよう授業内容を改善してきた。またその上で、抽象度の高い論理的な文章や、微妙な感情を読みとる必要のある文章を少しずつ加えて行くことで、最終的にはこれまで通りの教育レベルに達するようにしている。授業の節目節目で十分に質問の時間をとり、小レポートを課して学生の理解をいっそう確かなもの機会を増やすとともに、重要なポイントに関しては授業で話した内容をプリントにして配布し、復習してくることを求めるといったことなども、ゆとり教育世代対策として打ち出された変更点といえる。現在までのところ、授業アンケートの結果からみても、これら一連の取り組みは一定の評価を得ているものと考えている。

日本語教育・日本語学の授業では、学生による授業アンケートにおいて、特別な不満や改善要求は見られなかった。しかし、日本語学・日本語に関する授業については、授業内容のレベルについての意見が多少分かれる傾向があるため、内容の理解度、わかりにくさの原因を探るため、多くの授業（特に講義科目）においては、授業に関するコメントシートの記入を毎回実施し、その結果を授業改善に役立てている。また、日本語教育を専攻する学生には、日本語教育の現場を知りたいという要望や、日本語・外国語によるコミュニケ

ーション能力を高めたいという要望が強くあるため、長年にわたり、海外日本語教育研修をマレーシア、シンガポール、台湾、韓国等で実施してきた。これに加え、外部資金の導入により、海外日本語教育インターンシップの推進をはかり、オーストラリア、タイ、アメリカ合衆国などへ、学生を派遣している。

【英語英米文化学科】

1. 板書は時間を取られる。板書する事柄を書いたハンドアウトを初めに配布するのも副作用がありうる。板書とハンドアウトを組み合わせた講義を試みる。

2. 講義（2～4 年生対象、120 名程度）

アメリカ文学に描かれた弱者について、映画や写真等の映像資料を多用することで、学生の作品および同時代の社会的背景に対する理解を深めることができた。講義科目は学生が受け身になりがちだが、その日の授業の核となる問題について全学生がコメントを書く時間を毎回 10 分程度設けた。これにより、学生は授業中、自分なりに考えたり批評したりすることもできた。またこのコメントシートは、出席や毎回の授業への取り組みが成績に反映されにくい講義科目に対する学生の不満を解消することにも役立った。

3. ゼミナール（3、4 年生対象、30 名程度）

前期において、4 年生は卒論の内容について、3 年生は卒論にむけて興味関心のある研究テーマについて、毎回 3 名程度の学生が 30 分間ほど発表を行う授業形式。後期は 4 年生の卒論ドラフトを 3 年生が批評するという授業形式。発表者以外の学生は質疑応答と発表者宛のコメントシートを書くことで、クラス全体が積極的に授業に参加できるようにした。卒業論文執筆への準備を進めるとともに、クラスメートの研究内容を知ることで、学生たちは知識を広げたり刺激を受けることができた。

4. 講義（1～3 年生対象、140 名程度）

アメリカの歴史、アメリカ研究の講義形式の授業であるが、主体的に取り組んでほしいので、各回のポイントにかかわる資料を前週に配布し、その資料を読んで設問に対する答えを準備し、コメントシートの形で提出してもらっている。さらに、授業で使うスライドを前もって G-Port にアップロードしているので、学生はそれをノートに書いてくることができるようになっている。自筆ノートのみ持ち込み可の期末試験を行うため、理想的には授業中に各自がスライドの内容を準備したノートに授業で聞いた話を補っていけば、期末試験にも無理なく臨めることになると思われる。現実としては、学生によって熱意はまちまちで、コメントシートのコメントの質にもばらつきがあるので、熱意をどうやって保つかの工夫が必要だと考えている。コメントシート上の反応を授業中に紹介したり、また学期中 1 回は課す短めのレポートにコメントをつけて返却したりすることにより、一方通行に

ならないよう心がけている。

【ドイツ語圏文化学科】

1. 基礎教育の充実

本学科では、３年次から各自の関心に応じて３つのコース（現代地域事情、文学・文化、言語情報）のいずれかを選択するカリキュラムとなっているが、コース選択の準備段階として入門ゼミナールという必修科目を設置している。この授業では各コースの基本的知識を学ぶとともに、文献検索の仕方、発表の仕方、レポート作成の基本を習得することを目指しているが、学生に対するきめ細かい指導を行うために、授業時間外にTAによるグループ指導および個別指導を行っている。このTAによる指導によって、発表やレポートの質的向上をはかることができている。

2. 大学図書館ガイダンスの活用

毎年5月に、1年生、3年生、また卒業論文を執筆する4年生を対象としたガイダンスを大学図書館に依頼している。該当する学生たちには出席を強く勧め、ガイダンス内容については学年ごとの到達目標を勘案し、本学科教員と図書館職員で密接な打ち合わせを行っている。特に3年生にはより専門的な文献およびドイツ語文献の検索の基本を学ばせることによって、4年生で選択する卒業論文または卒業研究に向けた準備を早くから始めることができるようにしている。また卒業論文を執筆する4年生に対しては、上記のガイダンスのほかに学科教員によるガイダンスを行い、自立的な文献調査ができるよう指導している。

3. リアクション・ペーパーの活用

受講者数の多い講義科目、さらには演習科目の一部では、、毎回の授業でリアクション・ペーパーを配布し、授業内容についての質問や疑問などを学生に書かせている。各教員はリアクション・ペーパーに書かれた質問事項について、次回の授業で取り上げて説明するなどの形で、授業に反映させている。リアクション・ペーパーによって学生の理解度をその都度確認しながら授業を進めることが可能となり、また授業に対する学生の要望なども知ることができるために、全学一斉で行われる「学生による授業評価」よりきめ細かい対応が可能となっていると考える。

【フランス語圏文化学科】

1. コース制と単位読み替え

フランス語圏文化学科では、 学生の多様な興味、関心に応えるべく、2007 年度から「言語・翻訳」、「文学・思想」、「舞台・映像」および「広域」からなるコース制を敷いている。しかし、学生が取り扱うテーマが、各コースの限定された領域に収まりきれないことも明白であり、厳密なコース制の持つ様々な弊害が目につくようになってきている。これまで

もゼミナールを複数のコースにまたがらせる等の工夫をしてきたが、今年度からはコース間の授業単位の読み替えなどを積極的に行い、学生の視野を広げつつ研究対象をより深く掘り下げられるよう配慮している。

2. 卒業論文、卒業翻訳、卒業演習に関する指導方針

フランス語圏文化学科では、卒業のための最終段階として、卒業論文、卒業翻訳、卒業演習の３つの選択肢が与えられている。この選択に関しては、これまでもゼミ担当者が個別に相談に応じ、指導をしてきたが、昨年度からはより客観的に判断を下せるよう、ゼミ単位で「３年次レポート」を義務付けている。３年次の学生に課題を選択させ、夏休み後にレポートを提出させて、優秀なものは小冊子にまとめて配布する、というものであるが、これによって各学生の適性や関心がより明確に把握できるようになり、特に従来多かった、卒論を書くべき学生が卒演に流れてしまう、というミスマッチが避けられることになると期待される。

3. １年次の学生へのガイダンス

１年次の学生の必修科目である「基礎演習Ｉ」は、フランス語圏文化学科の学生にとって文字通りもっとも基礎的な単位となる授業であるが、３クラス制になっているため、クラス間の交流がなかなか保てない、という弊害があった。そこで今年度からは、５月半ばにあらためて学年全体を対象としたオリエンテーションを開催し、飲み物と軽食をとりながら、全学生と教員の間のコミュニケーションをとる機会とした。

4. ２年次のフランス語教育強化

「基礎演習II」の授業ではフランス語の文法の基礎を復習したあと中級文法を学び、それと同時にフランス語の読解力を向上させることを目的としており、フランス語圏文化学科の科目のなかでも重要な位置を占めている。しかし、ここ数年、授業内容を十分理解できていない学生が目立つようになってきた。そこで、学科教員と外国語教育研究センターの教員が協力して、学習院大学のレベルに合わせた教科書「フランス語文法」「フランス語解釈」を作成し、それを 2010 年度より使用している。またその後授業で利用した際の学生の反応などを汲み取って、内容の見直しを行なっている。

【心理学科】

1. パワーポイントや DVD を使って，視覚資料やビデオ教材などを織り交ぜながら，学生の興味を惹きつつ心理学の知見を体験的に理解できるように工夫している。(認知心理学、社会心理学など)

2. 授業で使ったパワーポイントのファイルを，授業後に G-Port にアップロードしている。（認知心理学）

3. 授業後に，授業の感想や要望，質問などをコメントペーパーに書いてもらい，授業が一方通行にならないように配慮している。コメントペーパーに書かれたコメントや質問に対しては，次回の授業で回答するようにしている。（認知心理学、性格心理学など）

4. コメントペーパーに対する回答や，授業に関連した参考資料などを，ホームページを使って学生に提供している。（認知心理学）

5. 英文講読演習で、初学者である１年生に講読の前に予備知識を提供するために事前に講義を実施している。（心理学演習Ⅰ）

6. 英文講読演習で、学生同士の討論を活性化するため、小グループに分け、さらに教員が討論の柱を提示して討論を引き出す工夫をしている。（心理学演習Ⅱ）

7. 試験の際に，学生が自分で作成した「まとめペーパー」（Ａ４，１枚のみ）のみの持ち込みを許している。まとめペーパーを作成することで，授業を復習や自習を促している。（認知心理学）

Ⅳ．理学部

●電磁気学２、３の授業において、講義の際に使用したスライドを HP 上にアップし、予習復習ができるようにしている。また、やや複雑な計算がある個所は、丁寧な計算過程を示した資料や練習問題なども HP 上にアップして、理解を深めるように工夫している。

●物理実験２、３について、実験の参考テキストを HP 上にアップして実験内容の理解を深めるよう工夫している。

●原子物理学概論（物理、2 年生）授業への出席の動機付けのため、講義の中で学生への質問、小問題を課すなどの働きかけをしている。

●一般物理学（物理、1 年生）新棟（南 7 号館）の教室に移ったので、そこの設備の有効活用を図っている。ただし、例えば黒板が狭くなるなど、若干使い勝手が悪くなった点もあるので、その使いこなしを検討しつつ、改善すべき点をまとめてより使い易い教室となるよう考えている。

●構造化学の講義において、前任者の用いていた教科書に準拠して講義を進めているが、省略されている背景や、図表を補足して理解を深める工夫を行っている。講義で用いた資料はホームページを通して公開し、復習に利用できるようにしている。

●「地球化学」を担当していたが、環境問題に対する重要性を鑑み、環境を重視し「環境地球化学」という科目名にしました。それに合わせて、配付資料やスライド（PowerPoint）の図も充実させました。

●分かりにくいという声が聞こえた科目は練習問題のプリントを配ったりして、理解しやすいように工夫しつつあります。

●2 年生の化学科の学生実験は、新しい校舎に移り実験室が広くなったので、デモンストレーションなども分かり易くし、TA もより効果的に活用していく予定です。また、新しい実験テーマも加え、より充実したものにしていく予定です。なお、排気施設が不十分であることは今後改善していきたい点です。

●「位相空間」の授業において、これまでいくつかの教科書を使ってきたが、詳しすぎたり、あるいは簡略に流れたりで、ちょうどよいものになかなかめぐり会わない。そこで、毎時間、授業の内容をレジュメにして、簡単な練習問題もつけたプリントとして配布している。

●線形代数の授業において、冒頭に簡単な問題を出して授業の終わりに解答をあつめ、次回には○か×で採点して返している。

●やさしい問題も手を動かして解くことが大切なので、毎回問題を出して解かせることに意義がある。もっと、大切なことは、ごく簡単な問題と思っていたが 1 割くらいしか解けなくて、学生の講義理解が不十分なことがわかることがある。そのことがあると次回の講義で補える。問題は、G-Port に載せて、欠席の学生への配慮を行っている。

●演習において、講義で学習する重要な定義・定理を書き出し、それらの関係をまとめたプリントを作成し配布している。

●演習では基本的に講義で指定されている教科書に沿った演習問題を作成し学生に解いてもらっているが、学生が熱心によいペースで問題を解いてくれた場合には、やや発展的な内容や講義では触れないかもしれないが、重要または意義のある内容についての問題を作

成し、配布している。

●計算機Ｉ（１学期）
昨年度までは授業でプログラム例をたくさん提示しすぎたため、学生が工夫してプログラムを作る余地が殆どありませんでした。そのことに気付き、今年度はプログラム例を極力減らし、文法の説明をして、学生に出来るだけ多くのプログラムを作ってもらうように改めました。よい方向に結果が出れば、来年度もこの方法を続けたいと思っています。

●微分積分 III（１学期）
多変数関数の微積分とベクトル解析初歩が講義内容です。内容が多すぎるため、細かいことには目をつぶって、重要と思われる事柄を中心に講義を行っています。

●従来、レジュメとして（証明などは省いて）主要定理をまとめたものをプリントにして講義ごとに配布していたものを、かなり改訂して、教科書では不十分な証明の細部もプリントにできるだけ書き込んだ形にしました。

●授業が難しいとの声があったので、基本的な事柄をより時間をかけて、分かりやすく説明するように心掛けている。また、学生の自習・復習を促すために、小テスト数回行う予定である。

●必修科目および選択科目を担当しているが、例年通り、期末試験に加え中間試験を実施している。なお、試験問題については、是非身につけてもらいたい重要な事項についての出題傾向は保ちつつ、決して同じ問題にならないようにしている。中間試験ならびに期末試験の前には、試験範囲の内容についてまとめを行い、特に重要なポイントについて周知徹底を図った。これらの作業によって、学生の習熟度の向上を試みた。

●実験については、提出されたレポートについて、すぐに細部にわたり添削を行い、その内容に基づいて履修者全員に再提出を求めた。それでも理解が不充分な時は、理解できたと判断できるまで何度も提出を求めた。
授業内容と関連した課題も課してあり、そのような添削・再提出を通して、講義との連携を図りつつ（少なくとも）行った実験の内容については、徹底的に理解させるようにした。

●前年度のアンケート結果から担当授業が平均以上の評価を受けていることが分かったので改善点はない。学生への連絡や課題提出などで積極的に G−Port を使っている。

●物理化学 III および物理化学 IV では，講義の内容をまとめた資料を作成し，それに沿って講義を進めている。講義で用いた資料はホームページを通して公開し、復習に利用できるようにしている。毎回演習を行い、学生の理解度を確認しながら講義を進めている。

●「構造化学」および「分光化学」では、講義の最後に「宿題」と称する簡単な演習問題を出題して、次の講義の冒頭でその問題に対する解答を示している。講義ノートの内容を出席者に毎回配布するとともに、Web ページにも掲載している。

●物性物理学１、３（物理、３年生）において、数年前からスライド（PC+プロジェクター）を活用し、板書を補うこととしている。スライドは配付資料として配っているが、前年度まで６スライド/枚としたが、小さすぎたことを反省して、本年度から４スライド/枚とした。

●教科書の画像に加えて、学生の理解が深まるよう、オリジナルの画像を工夫している。原則的に、毎回、講義内容に関連した問題を宿題とし、提出されたレポートは添削して次々回に返却している。

●今年度は受講者数が倍増し、私語が目立つようになったので授業中に注意する回数を多くした。

●学生の反応を目で見ているだけでは、講義をどこまで理解しているのか判断が難しいので、講義の最後にその日の講義に関連した小問をプリント及びスライドで示し、指名するなどして答えさせるという工夫をした。そして正答を示し、時間の許す限りその理由をその日の授業の中で説明する、という風にしてみた。その結果、授業への集中度が高まり、理解度も進んだ。

●基礎科学実験 1,2 の物理分野および物理実験 1 のテキスト原稿を web site に掲載するようにした。必要に応じてある部分のみを印刷することで予習や復習などに役立てることを期待している。

●基礎科学実験 1,2 の物理分野および物理実験 1 では、学生の反応や理解度と学問分野を考え、新実験テーマの考案、実験テーマの変更を必要に応じて行っている。具体例 1(基礎科学実験 2) : 化学科と生命化学科の学生に対する電気回路実験の開講時間数を減らし、その代りに粒子の運動を顕微鏡を通して直接観測するテーマである「ブラウン運動」を新たに加えた。学生の反応はよい。具体例 2(基礎科学実験 1) : 物理学科 1 年生のテーマである分光計テーマを物理実験 1(2 年生)で行うようにした。当該テーマは光のスペクトルを観測

するための分光器の調整という、「計測器の取り扱い」に注意と時間を要する。それまで実験の経験が全くない1年生にとっては肝心の内容を味わう余裕がなくなっていると判断したため。具体例 3(物理実験 1):実際に研究室での研究分野に関連する実験を考え、また、装置の不具合が頻発するテーマを削除した。新たに「画像解析」「フーリエ級数」「電気伝導度の測定」のテーマを考案し、物理実験 1 のテーマに加えた。具体例 4(物理実験 1):従来、実験技術実習で行われていた製図、金属加工のテーマを物理実験1で行うこととし、実験装置の作成のための技術の習得も授業の目的に加えた。

●基礎科学実験 2 の物理分野において、1 テーマ当たりの学生の人数が多すぎると教育効果が下がることを考え、必要に応じて開講日程を調整した。

●授業内容のポイントとなる箇所や自ら計算を行った方が良い箇所はレポート課題として提出させ、理解の定着を図っている。

●物理実験 2，3 では、１つの実験テーマを同時に行う学生数を原則として 2 名とし、2 名毎に１名のＴＡ（大学院生、助教、または教授）が担当する少人数教育を実施している。実験の内容は、予め準備したものよりも、学生自身が考察し工夫した実験を行うことを推奨しており、自分の目で見て、自分の頭で考え、自分の手を動かす実験となるように努めている。実験終了後は発表会を行い、プレゼンテーション能力の向上につなげるとともに、能動的な実験の動機付けとなるようにしている。

Ⅴ．計算機センター

● 初等情報処理１・２は、全学の１年生を対象とした授業である。原則として、学科ごとのクラス編成にして授業を開講している。そこでは、情報に関連する規則や法律と情報を利用する際のモラルやマナーなど、情報倫理教育を授業の大きな柱のひとつとして取り上げている。そこでは道徳教育だけでなく、インターネットなどを利用するに当たり自分に降りかかる危険を見極め回避する方法や基礎技術の習得も目指している。

● コンピュータの利用方法は各学科の教育目的に依存し、また学生の興味の対象は各学科で大きく異なっている。そのため、情報倫理教育を除き、各学科に応じた目標設定や題材を選ぶことによって、目的意識をもって学べるように配慮している。

● 一般に情報処理の授業では、学生間のスキルや知識の差が大きい。PC 操作に慣れていない学生にとっては、授業についてゆくのが困難である反面、すでにスキルのある学生に

は退屈な授業になりがちである。また、授業の進行に影響をあたえることを気にして質問を控え、ますます授業についていけなくなる学生もいる。このような状況を改善するために、すぐに学生の疑問や要望を反映できるように、匿名で書き込みができる Web の簡易チャットを設置し、教室前面のスクリーンに投影し、学生の声を確認しながら授業を進めることにしている。また、実際のコンピューターを操作する時間では学生同士で教え合うことを積極的に奨励している。

● 比較的少人数のクラスでは、学生の顔と名前を把握し、一人一人の学生とのやりとりから、PC のスキルレベルや理解状況を把握して授業を進めている。

VI. 外国語教育研究センター

● コミュニケーションの授業では、授業時間の一部を使い、写真やビデオを見せながら現地の文化や社会等に関する説明を行い、学生たちの興味関心を喚起するよう努めた。

● リーディングの授業で、書画カメラでテクストを映し出し、直接原稿に線や矢印等を書き込んで、文の構造や、他の文との関係などを示すことで、学生の読解を助けた。

● 練習問題を解かせる際に、学生たちの机の間を頻繁に行き来し、理解の不十分な学生を見つけて、分からない点を再度説明したり、より噛み砕いた説明で理解させるように努めた。

● コミュニケーションの授業で会話や作文の練習をする際、学生の興味やモティベーションを高めるため、インターネット上の当該言語のサイトを教材に使い、その言語や社会等に対する親近感を持たせるようにした。

● リーディングの教材として、新聞や雑誌、インターネットのサイト内のテクスト等を用いて、アクティブな題材を取り上げることで、学生の興味を刺激するよう努めた。

● 文法の授業で、学習内容が定着しやすくなるように、単元毎に試験を行った。

● リーディングの教材として、新聞や雑誌、インターネットのサイト内のテクスト等を用いて、アクティブな題材を取り上げることで、学生の興味を刺激するよう努めた。

● オンライン学習支援システムを利用して、自宅からアクセスすることで授業後も継続し

て学習できる環境を提供している。

● オンライン学習支援システムで問題ごとの正答率を出して、正答率の低い項目を重点的に復習させるようにした。

● 言語表現等の上達を図るため、授業中に当該外国語でブログを書かせ、コメントや意見を付け加えて返すようにしている。

● 興味を持たせながら語彙を増やすために、当該言語の辞典での語句の定義や解釈を示し、その語句を推測させた。

Ⅶ. スポーツ・健康科学センター

● 実技授業全般において、前年の受講者数を参考に、開講時間、開講種目、各次元毎の開講コマ数などをできるだけ学生の要望に応えられるように調整している。

● 実技（本学のスポーツ・健康科学Ⅰ（必修）、Ⅲｂ（選択）、Ⅲｂ（野外教育））においては、運動学習理論に基づき指導法の変化をつけ、年次ごとに経験とデータを積み重ねて、指導法に反映させている。

● スポーツ・健康科学Ⅰ(バレーボール)の授業において、極端に体力レベルの劣るクラスがあったため、教材（５号球→４号球→軽量ボール）を工夫して体力レベルに応じた授業内容に変更して進めている。

● 体力トレーニングの授業において、作成した資料を配布している。しかし、紙媒体での資料を携行した状態ではトレーニングしづらいことや、身体の操作法について文章や口頭説明では伝わりづらい部分もある。そこで、トレーニングルームに設置されたモニターに映像、画像を提示し、トレーニング動作修得が効率的に進むよう工夫している。

● スポーツ・健康科学Ⅰ（文・理必修）では、共通のテキストとノートを作成し、授業内で実施したトレーニング内容や練習内容、体調、感想等を記録させている。授業終了後に提出し、学生の授業に対するリアクションを授業中の観察に加えて文章で見ることにより、自身の実施した内容が質、量ともに適切であったかを把握し、次回の授業において生かすようにしている。

Ⅸ．教職課程

● 「教育基礎」の授業テキストとして「教育基礎資料集」を教職課程独自に作成し、受講生全員に配布している。教育に関する古典をはじめとして今日的な動向について資料収集し、基礎的かつ現代的に「教育とは何か」を考えることに資している。古典に関しては前記資料集のみならず毎授業時においても、関連資料の配付あるいは資料差し替えなどをし、興味・関心の深化・発展、内容理解の拡充に供した。また、現代的な資料に関してはこの一年間に発行された新聞や雑誌等からデータを収集しており、教職を目指す学生にとって新鮮な情報に接することができ、知識を得るだけではなく接した情報について自他者発信型の授業を進めることができている。学生の当該事に関する興味・関心の深化・発展に寄与することに努めた。

● 平成 25 年度より、文学部教育学科の設置にともなって、新たに６名の専任教員が配置されたため、教職課程開設科目についても、大きく授業担当者の変更をおこなった。そのため、教育理論と教育実践を結合した中学校・高等学校の教員養成の内容についても、従来の学校教育・学校史・国際比較学校・教科教育・教科外教育に加えて、教職開発・言語教育・社会科学教育・自然科学教育・身体教育・芸術教育へと視野をひろげたことにより、さらに充実した教師教育として取り組まれた。そのことの具体化については、学生たちが主体的に授業に参加することを前提とした各授業担当者の講義・演習・実験・実習などの授業に反映されており、学生には大変好評である。なお、教職課程では教員免許の取得にあたって、授業を履修して単位を取得するものと、教員免許の取得のための単位外の基礎要件があるが、単位外についての学生援助については、教員による指導と同時に、職員による支援も重要な役割を担っていることも付記しておきたい。

Ⅹ．学芸員課程委員会

● 毎年学年初めに行なわれる、非常勤講師との意見交換会において、情報を交換し、また授業の改善等についても話題としている。学芸部門は、とりわけ４年生の実習クラス（演習）が資格取得の総仕上げとして重要なものとなってくるので、学生の意見も充分聞いたうえで、実習環境の整備には常に心がけている。

● 学生の意見、希望等は常時、学芸員課程事務室において聴き取り、必要な場合には担当教員に伝えるようにしている。

第４章

資　　料　　集

（質問項目別基礎データクロス表）

Q1　私はこの授業によく出席している

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5 出席率 90%以上	4 出席率 89～80%	3 出席率 79～70%	2 出席率 69～50%	1 出席率 49%以下	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	3,041 81.18%	475 12.68%	180 4.81%	36 0.96%	14 0.37%	3,746 100.00%	4.73	0.628	4.69	0.188
外セ	語学	6,723 69.05%	2,053 21.09%	830 8.53%	117 1.20%	13 0.13%	9,736 100.00%	4.58	0.709	4.55	0.236
スポ健	演習	1,121 64.02%	423 24.16%	166 9.48%	31 1.77%	10 0.57%	1,751 100.00%	4.49	0.784	4.49	0.264
基礎教養	講義	3,432 67.56%	1,008 19.84%	472 9.29%	107 2.11%	61 1.20%	5,080 100.00%	4.50	0.840	4.50	0.274
	演習	16 59.26%	5 18.52%	5 18.52%	1 3.70%	0 0.00%	27 100.00%	4.33	0.920	4.33	–
	計	3,448 67.52%	1,013 19.84%	477 9.34%	108 2.11%	61 1.19%	5,107 100.00%	4.50	0.841	4.50	0.273
法学部	講義	5,446 67.85%	1,423 17.73%	706 8.80%	275 3.43%	176 2.19%	8,026 100.00%	4.46	0.945	4.43	0.298
	演習	1,267 77.73%	258 15.83%	83 5.09%	16 0.98%	6 0.37%	1,630 100.00%	4.70	0.646	4.65	0.306
	計	6,713 69.52%	1,681 17.41%	789 8.17%	291 3.01%	182 1.88%	9,656 100.00%	4.50	0.906	4.53	0.320
経済学部	講義	5,052 68.32%	1,327 17.94%	600 8.11%	251 3.39%	165 2.23%	7,395 100.00%	4.47	0.940	4.44	0.322
	演習	1,336 88.42%	122 8.07%	41 2.71%	9 0.60%	3 0.20%	1,511 100.00%	4.84	0.499	4.79	0.300
	計	6,388 71.73%	1,449 16.27%	641 7.20%	260 2.92%	168 1.89%	8,906 100.00%	4.53	0.891	4.59	0.357
文学部	講義	5,271 67.72%	1,695 21.78%	636 8.17%	133 1.71%	48 0.62%	7,783 100.00%	4.54	0.767	4.53	0.275
	演習	4,274 68.81%	1,389 22.36%	472 7.60%	67 1.08%	9 0.14%	6,211 100.00%	4.59	0.690	4.56	0.285
	計	9,545 68.21%	3,084 22.04%	1,108 7.92%	200 1.43%	57 0.41%	13,994 100.00%	4.56	0.734	4.55	0.282
理学部	講義	4,272 82.30%	600 11.56%	220 4.24%	57 1.10%	42 0.81%	5,191 100.00%	4.73	0.666	4.72	0.195
	演習	1,684 90.59%	116 6.24%	33 1.78%	10 0.54%	16 0.86%	1,859 100.00%	4.85	0.546	4.81	0.251
	計	5,956 84.48%	716 10.16%	253 3.59%	67 0.95%	58 0.82%	7,050 100.00%	4.77	0.638	4.74	0.214
教職課程	講義	1,112 81.70%	168 12.34%	62 4.56%	14 1.03%	5 0.37%	1,361 100.00%	4.74	0.624	4.73	0.144
	演習	1,597 83.09%	258 13.42%	58 3.02%	6 0.31%	3 0.16%	1,922 100.00%	4.79	0.514	4.77	0.156
	計	2,709 82.52%	426 12.98%	120 3.66%	20 0.61%	8 0.24%	3,283 100.00%	4.77	0.563	4.75	0.152
学芸員	講義	642 74.22%	172 19.88%	46 5.32%	5 0.58%	0 0.00%	865 100.00%	4.68	0.600	4.66	0.157
	演習	86 69.92%	28 22.76%	9 7.32%	0 0.00%	0 0.00%	123 100.00%	4.63	0.619	4.60	0.317
	計	728 73.68%	200 20.24%	55 5.57%	5 0.51%	0 0.00%	988 100.00%	4.67	0.602	4.64	0.229
合計		46,372 72.21%	11,520 17.94%	4,619 7.19%	1,135 1.77%	571 0.89%	64,217 100.00%	4.59	0.774	4.58	0.281

【形態別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5 出席率 90%以上	4 出席率 89～80%	3 出席率 79～70%	2 出席率 69～50%	1 出席率 49%以下	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 平均	部門別 標準偏差
講義	28,268 71.66%	6,868 17.41%	2,922 7.41%	878 2.23%	511 1.30%	39,447 100.00%	4.56	0.827	4.56	0.285
演習	11,381 75.70%	2,599 17.29%	867 5.77%	140 0.93%	47 0.31%	15,034 100.00%	4.67	0.655	4.62	0.299
語学	6,723 69.05%	2,053 21.09%	830 8.53%	117 1.20%	13 0.13%	9,736 100.00%	4.58	0.709	4.55	0.236
合計	46,372 72.21%	11,520 17.94%	4,619 7.19%	1,135 1.77%	571 0.89%	64,217 100.00%	4.59	0.774	4.58	0.281

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5 出席率 90%以上	4 出席率 89～80%	3 出席率 79～70%	2 出席率 69～50%	1 出席率 49%以下	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
学部1年	20,809 77.93%	3,903 14.62%	1,485 5.56%	352 1.32%	154 0.58%	26,703 100.00%	4.68	0.691
学部2年	12,675 71.02%	3,312 18.56%	1,367 7.66%	315 1.76%	179 1.00%	17,848 100.00%	4.57	0.790
学部3年	7,880 68.66%	2,374 20.68%	886 7.72%	234 2.04%	103 0.90%	11,477 100.00%	4.54	0.795
学部4年	2,295 53.89%	1,163 27.31%	571 13.41%	148 3.47%	82 1.93%	4,259 100.00%	4.28	0.953

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5 出席率 90%以上	4 出席率 89～80%	3 出席率 79～70%	2 出席率 69～50%	1 出席率 49%以下	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
25名以下	7,781 71.95%	2,127 19.67%	756 6.99%	119 1.10%	32 0.30%	10,815 100.00%	4.62	0.691	4.59	0.300
26～50名	10,263 72.08%	2,724 19.13%	1,036 7.28%	170 1.19%	45 0.32%	14,238 100.00%	4.61	0.701	4.59	0.259
51～100名	12,515 77.54%	2,453 15.20%	866 5.37%	205 1.27%	101 0.63%	16,140 100.00%	4.68	0.691	4.64	0.252
101～200名	7,601 69.79%	2,077 19.07%	904 8.30%	194 1.78%	115 1.06%	10,891 100.00%	4.55	0.805	4.51	0.236
201名以上	8,212 67.68%	2,139 17.63%	1,057 8.71%	447 3.68%	278 2.29%	12,133 100.00%	4.45	0.958	4.38	0.289
合計	46,372 72.21%	11,520 17.94%	4,619 7.19%	1,135 1.77%	571 0.89%	64,217 100.00%	4.59	0.774	4.58	0.281

Q2　私はこの授業に意欲的に取り組んでいる

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
計セ	講義	1,144 30.61%	1,338 35.80%	951 25.45%	203 5.43%	101 2.70%	3,737 100.00%	3.86	1.001	3.85	0.279
外セ	語学	3,330 34.20%	4,018 41.27%	1,967 20.20%	347 3.56%	74 0.76%	9,736 100.00%	4.05	0.868	4.06	0.323
スポ健	演習	1,057 60.37%	476 27.18%	183 10.45%	23 1.31%	12 0.69%	1,751 100.00%	4.45	0.786	4.52	0.282
基礎教養	講義	1,029 20.26%	1,829 36.00%	1,622 31.93%	462 9.09%	138 2.72%	5,080 100.00%	3.62	0.993	3.65	0.381
	演習	4 14.81%	7 25.93%	9 33.33%	5 18.52%	2 7.41%	27 100.00%	3.22	1.155	3.22	–
	計	1,033 20.23%	1,836 35.95%	1,631 31.94%	467 9.14%	140 2.74%	5,107 100.00%	3.62	0.994	3.64	0.382
法学部	講義	1,650 20.58%	2,738 34.15%	2,691 33.56%	692 8.63%	247 3.08%	8,018 100.00%	3.61	1.004	3.67	0.386
	演習	815 49.94%	563 34.50%	214 13.11%	31 1.90%	9 0.55%	1,632 100.00%	4.31	0.811	4.35	0.343
	計	2,465 25.54%	3,301 34.21%	2,905 30.10%	723 7.49%	256 2.65%	9,650 100.00%	3.72	1.010	3.96	0.498
経済学部	講義	1,692 22.92%	2,524 34.19%	2,251 30.49%	638 8.64%	277 3.75%	7,382 100.00%	3.64	1.043	3.70	0.418
	演習	906 59.92%	481 31.81%	111 7.34%	8 0.53%	6 0.40%	1,512 100.00%	4.50	0.690	4.49	0.258
	計	2,598 29.21%	3,005 33.79%	2,362 26.56%	646 7.26%	283 3.18%	8,894 100.00%	3.79	1.043	4.05	0.530
文学部	講義	1,734 22.28%	2,851 36.63%	2,416 31.04%	583 7.49%	199 2.56%	7,783 100.00%	3.69	0.982	3.79	0.418
	演習	2,528 40.73%	2,597 41.85%	917 14.78%	136 2.19%	28 0.45%	6,206 100.00%	4.20	0.802	4.23	0.310
	計	4,262 30.47%	5,448 38.94%	3,333 23.83%	719 5.14%	227 1.62%	13,989 100.00%	3.91	0.942	4.07	0.410
理学部	講義	1,360 26.22%	1,862 35.90%	1,496 28.85%	335 6.46%	133 2.56%	5,186 100.00%	3.77	0.993	3.77	0.320
	演習	942 50.65%	604 32.47%	251 13.49%	44 2.37%	19 1.02%	1,860 100.00%	4.29	0.862	4.23	0.384
	計	2,302 32.67%	2,466 35.00%	1,747 24.79%	379 5.38%	152 2.16%	7,046 100.00%	3.91	0.988	3.89	0.394
教職課程	講義	372 27.35%	532 39.12%	374 27.50%	61 4.49%	21 1.54%	1,360 100.00%	3.86	0.921	3.95	0.390
	演習	819 42.70%	770 40.15%	280 14.60%	33 1.72%	16 0.83%	1,918 100.00%	4.22	0.817	4.28	0.265
	計	1,191 36.33%	1,302 39.72%	654 19.95%	94 2.87%	37 1.13%	3,278 100.00%	4.07	0.880	4.15	0.356
学芸員	講義	161 18.61%	379 43.82%	242 27.98%	65 7.51%	18 2.08%	865 100.00%	3.69	0.928	3.77	0.304
	演習	54 43.90%	53 43.09%	15 12.20%	1 0.81%	0 0.00%	123 100.00%	4.30	0.712	4.27	0.285
	計	215 21.76%	432 43.72%	257 26.01%	66 6.68%	18 1.82%	988 100.00%	3.77	0.925	3.96	0.383
合計		19,597 30.54%	23,622 36.81%	15,990 24.92%	3,667 5.71%	1,300 2.03%	64,176 100.00%	3.88	0.975	4.03	0.431

【形態別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別平均	部門別標準偏差
講義	9,142 23.20%	14,053 35.66%	12,043 30.56%	3,039 7.71%	1,134 2.88%	39,411 100.00%	3.69	1.003	3.75	0.383
演習	7,125 47.41%	5,551 36.94%	1,980 13.17%	281 1.87%	92 0.61%	15,029 100.00%	4.29	0.808	4.32	0.329
語学	3,330 34.20%	4,018 41.27%	1,967 20.20%	347 3.56%	74 0.76%	9,736 100.00%	4.05	0.868	4.06	0.323
合計	19,597 30.54%	23,622 36.81%	15,990 24.92%	3,667 5.71%	1,300 2.03%	64,176 100.00%	3.88	0.975	4.03	0.431

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
学部1年	7,809 29.26%	9,780 36.65%	6,874 25.76%	1,621 6.07%	601 2.25%	26,685 100.00%	3.85	0.986
学部2年	4,975 27.89%	6,741 37.80%	4,706 26.39%	1,029 5.77%	384 2.15%	17,835 100.00%	3.84	0.970
学部3年	3,873 33.76%	4,232 36.89%	2,624 22.87%	580 5.06%	163 1.42%	11,472 100.00%	3.97	0.946
学部4年	1,654 38.85%	1,500 35.24%	849 19.94%	194 4.56%	60 1.41%	4,257 100.00%	4.06	0.946

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
25名以下	4,991 46.14%	4,127 38.15%	1,436 13.28%	208 1.92%	55 0.51%	10,817 100.00%	4.27	0.801	4.27	0.359
26～50名	5,153 36.22%	5,643 39.66%	2,794 19.64%	502 3.53%	136 0.96%	14,228 100.00%	4.07	0.884	4.06	0.355
51～100名	4,735 29.36%	5,923 36.72%	4,193 26.00%	946 5.87%	331 2.05%	16,128 100.00%	3.85	0.976	3.82	0.378
101～200名	2,252 20.68%	3,909 35.90%	3,504 32.18%	886 8.14%	337 3.10%	10,888 100.00%	3.63	0.998	3.64	0.286
201名以上	2,466 20.35%	4,020 33.18%	4,063 33.54%	1,125 9.29%	441 3.64%	12,115 100.00%	3.57	1.028	3.52	0.329
合計	19,597 30.54%	23,622 36.81%	15,990 24.92%	3,667 5.71%	1,300 2.03%	64,176 100.00%	3.88	0.975	4.03	0.431

Q3 この授業のレベルは適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
計セ	講義	1,084 28.99%	1,228 32.84%	915 24.47%	333 8.91%	179 4.79%	3,739 100.00%	3.72	1.116	3.72	0.479
外セ	語学	3,779 38.81%	3,862 39.66%	1,614 16.58%	376 3.86%	106 1.09%	9,737 100.00%	4.11	0.891	4.12	0.378
スポ健	演習	1,095 62.61%	461 26.36%	148 8.46%	39 2.23%	6 0.34%	1,749 100.00%	4.49	0.771	4.54	0.296
基礎教養	講義	1,802 35.47%	2,067 40.69%	998 19.65%	170 3.35%	43 0.85%	5,080 100.00%	4.07	0.870	4.06	0.391
	演習	8 29.63%	5 18.52%	12 44.44%	2 7.41%	0 0.00%	27 100.00%	3.70	0.993	3.70	-
	計	1,810 35.44%	2,072 40.57%	1,010 19.78%	172 3.37%	43 0.84%	5,107 100.00%	4.06	0.871	4.05	0.391
法学部	講義	2,337 29.19%	3,093 38.63%	1,938 24.20%	475 5.93%	164 2.05%	8,007 100.00%	3.87	0.969	3.91	0.441
	演習	808 49.54%	561 34.40%	213 13.06%	42 2.58%	7 0.43%	1,631 100.00%	4.30	0.823	4.34	0.346
	計	3,145 32.63%	3,654 37.91%	2,151 22.32%	517 5.36%	171 1.77%	9,638 100.00%	3.94	0.959	4.09	0.456
経済学部	講義	2,250 30.48%	2,628 35.60%	1,702 23.05%	573 7.76%	230 3.12%	7,383 100.00%	3.83	1.047	3.88	0.489
	演習	863 57.08%	492 32.54%	131 8.66%	20 1.32%	6 0.40%	1,512 100.00%	4.45	0.740	4.44	0.360
	計	3,113 35.00%	3,120 35.08%	1,833 20.61%	593 6.67%	236 2.65%	8,895 100.00%	3.93	1.028	4.13	0.519
文学部	講義	2,542 32.68%	3,264 41.96%	1,533 19.71%	348 4.47%	92 1.18%	7,779 100.00%	4.00	0.900	4.10	0.368
	演習	2,747 44.28%	2,448 39.46%	787 12.69%	176 2.84%	46 0.74%	6,204 100.00%	4.24	0.833	4.26	0.375
	計	5,289 37.82%	5,712 40.85%	2,320 16.59%	524 3.75%	138 0.99%	13,983 100.00%	4.11	0.878	4.20	0.380
理学部	講義	1,303 25.14%	1,780 34.34%	1,406 27.13%	477 9.20%	217 4.19%	5,183 100.00%	3.67	1.077	3.67	0.444
	演習	730 39.33%	693 37.34%	322 17.35%	76 4.09%	35 1.89%	1,856 100.00%	4.08	0.946	4.05	0.410
	計	2,033 28.88%	2,473 35.13%	1,728 24.55%	553 7.86%	252 3.58%	7,039 100.00%	3.78	1.059	3.77	0.465
教職課程	講義	527 38.75%	555 40.81%	227 16.69%	36 2.65%	15 1.10%	1,360 100.00%	4.13	0.861	4.25	0.333
	演習	1,022 53.26%	652 33.98%	182 9.48%	33 1.72%	30 1.56%	1,919 100.00%	4.36	0.843	4.39	0.302
	計	1,549 47.24%	1,207 36.81%	409 12.47%	69 2.10%	45 1.37%	3,279 100.00%	4.26	0.857	4.34	0.320
学芸員	講義	293 33.87%	425 49.13%	119 13.76%	24 2.77%	4 0.46%	865 100.00%	4.13	0.782	4.16	0.229
	演習	95 77.24%	25 20.33%	1 0.81%	2 1.63%	0 0.00%	123 100.00%	4.73	0.559	4.71	0.296
	計	388 39.27%	450 45.55%	120 12.15%	26 2.63%	4 0.40%	988 100.00%	4.21	0.783	4.38	0.370
合計		23,285 36.30%	24,239 37.78%	12,248 19.09%	3,202 4.99%	1,180 1.84%	64,154 100.00%	4.02	0.959	4.12	0.450

【形態別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別平均	部門別標準偏差
講義	12,138 30.81%	15,040 38.18%	8,838 22.43%	2,436 6.18%	944 2.40%	39,396 100.00%	3.89	0.991	3.92	0.459
演習	7,368 49.05%	5,337 35.53%	1,796 11.96%	390 2.60%	130 0.87%	15,021 100.00%	4.29	0.840	4.34	0.378
語学	3,779 38.81%	3,862 39.66%	1,614 16.58%	376 3.86%	106 1.09%	9,737 100.00%	4.11	0.891	4.12	0.378
合計	23,285 36.30%	24,239 37.78%	12,248 19.09%	3,202 4.99%	1,180 1.84%	64,154 100.00%	4.02	0.959	4.12	0.450

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
学部1年	8,726 32.69%	10,005 37.48%	5,778 21.65%	1,609 6.03%	576 2.16%	26,694 100.00%	3.93	0.986
学部2年	5,881 32.98%	7,127 39.97%	3,523 19.76%	924 5.18%	375 2.10%	17,830 100.00%	3.97	0.961
学部3年	4,864 42.45%	4,321 37.71%	1,757 15.33%	390 3.40%	127 1.11%	11,459 100.00%	4.17	0.886
学部4年	2,262 53.11%	1,378 32.36%	484 11.36%	104 2.44%	31 0.73%	4,259 100.00%	4.35	0.829

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
25名以下	5,304 49.08%	3,863 35.75%	1,250 11.57%	305 2.82%	85 0.79%	10,807 100.00%	4.30	0.839	4.30	0.410
26～50名	5,875 41.29%	5,463 38.40%	2,222 15.62%	529 3.72%	138 0.97%	14,227 100.00%	4.15	0.884	4.14	0.396
51～100名	5,237 32.49%	6,073 37.68%	3,382 20.98%	978 6.07%	449 2.79%	16,119 100.00%	3.91	1.010	3.90	0.458
101～200名	3,204 29.43%	4,220 38.76%	2,517 23.12%	695 6.38%	251 2.31%	10,887 100.00%	3.87	0.985	3.89	0.403
201名以上	3,665 30.25%	4,620 38.14%	2,877 23.75%	695 5.74%	257 2.12%	12,114 100.00%	3.89	0.973	3.85	0.408
合計	23,285 36.30%	24,239 37.78%	12,248 19.09%	3,202 4.99%	1,180 1.84%	64,154 100.00%	4.02	0.959	4.12	0.450

Q4 この授業を進める速さは適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
計セ	講義	1,027 27.44%	1,225 32.73%	880 23.51%	432 11.54%	179 4.78%	3,743 100.00%	3.66	1.136	3.67	0.467
外セ	語学	4,028 41.36%	3,829 39.32%	1,409 14.47%	365 3.75%	108 1.11%	9,739 100.00%	4.16	0.884	4.18	0.376
スポ健	演習	1,158 66.25%	443 25.34%	123 7.04%	19 1.09%	5 0.29%	1,748 100.00%	4.56	0.698	4.62	0.254
基礎教養	講義	1,914 37.67%	2,137 42.06%	834 16.41%	154 3.03%	42 0.83%	5,081 100.00%	4.13	0.849	4.15	0.333
	演習	8 29.63%	13 48.15%	4 14.81%	2 7.41%	0 0.00%	27 100.00%	4.00	0.877	4.00	-
	計	1,922 37.63%	2,150 42.09%	838 16.41%	156 3.05%	42 0.82%	5,108 100.00%	4.13	0.849	4.15	0.332
法学部	講義	2,465 30.76%	3,038 37.91%	1,801 22.48%	547 6.83%	162 2.02%	8,013 100.00%	3.89	0.987	3.98	0.417
	演習	918 56.25%	527 32.29%	147 9.01%	34 2.08%	6 0.37%	1,632 100.00%	4.42	0.770	4.46	0.344
	計	3,383 35.08%	3,565 36.96%	1,948 20.20%	581 6.02%	168 1.74%	9,645 100.00%	3.98	0.975	4.19	0.454
経済学部	講義	2,362 31.99%	2,662 36.05%	1,559 21.11%	586 7.94%	215 2.91%	7,384 100.00%	3.86	1.045	3.95	0.473
	演習	923 61.04%	445 29.43%	122 8.07%	17 1.12%	5 0.33%	1,512 100.00%	4.50	0.720	4.50	0.351
	計	3,285 36.93%	3,107 34.93%	1,681 18.90%	603 6.78%	220 2.47%	8,896 100.00%	3.97	1.025	4.20	0.503
文学部	講義	2,745 35.27%	3,225 41.44%	1,377 17.69%	340 4.37%	96 1.23%	7,783 100.00%	4.05	0.902	4.16	0.355
	演習	2,942 47.38%	2,325 37.45%	742 11.95%	162 2.61%	38 0.61%	6,209 100.00%	4.28	0.820	4.32	0.364
	計	5,687 40.64%	5,550 39.67%	2,119 15.14%	502 3.59%	134 0.96%	13,992 100.00%	4.15	0.874	4.26	0.369
理学部	講義	1,461 28.19%	1,804 34.81%	1,276 24.62%	428 8.26%	214 4.13%	5,183 100.00%	3.75	1.080	3.75	0.489
	演習	761 40.96%	674 36.28%	337 18.14%	61 3.28%	25 1.35%	1,858 100.00%	4.12	0.910	4.08	0.420
	計	2,222 31.56%	2,478 35.19%	1,613 22.91%	489 6.95%	239 3.39%	7,041 100.00%	3.85	1.051	3.84	0.493
教職課程	講義	531 39.04%	559 41.10%	211 15.51%	44 3.24%	15 1.10%	1,360 100.00%	4.14	0.869	4.21	0.320
	演習	1,005 52.26%	683 35.52%	175 9.10%	38 1.98%	22 1.14%	1,923 100.00%	4.36	0.817	4.37	0.288
	計	1,536 46.79%	1,242 37.83%	386 11.76%	82 2.50%	37 1.13%	3,283 100.00%	4.27	0.846	4.31	0.309
学芸員	講義	304 35.14%	417 48.21%	126 14.57%	17 1.97%	1 0.12%	865 100.00%	4.16	0.748	4.17	0.167
	演習	94 76.42%	24 19.51%	5 4.07%	0 0.00%	0 0.00%	123 100.00%	4.72	0.533	4.70	0.242
	計	398 40.28%	441 44.64%	131 13.26%	17 1.72%	1 0.10%	988 100.00%	4.23	0.748	4.38	0.327
合計		24,646 38.40%	24,030 37.44%	11,128 17.34%	3,246 5.06%	1,133 1.77%	64,183 100.00%	4.06	0.957	4.18	0.446

【形態別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別平均	部門別標準偏差
講義	12,809 32.50%	15,067 38.23%	8,064 20.46%	2,548 6.47%	924 2.34%	39,412 100.00%	3.92	0.996	3.98	0.453
演習	7,809 51.95%	5,134 34.15%	1,655 11.01%	333 2.22%	101 0.67%	15,032 100.00%	4.34	0.812	4.40	0.368
語学	4,028 41.36%	3,829 39.32%	1,409 14.47%	365 3.75%	108 1.11%	9,739 100.00%	4.16	0.884	4.18	0.376
合計	24,646 38.40%	24,030 37.44%	11,128 17.34%	3,246 5.06%	1,133 1.77%	64,183 100.00%	4.06	0.957	4.18	0.446

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
学部1年	9,156 34.30%	10,007 37.48%	5,289 19.81%	1,690 6.33%	555 2.08%	26,697 100.00%	3.96	0.990
学部2年	6,298 35.32%	7,125 39.95%	3,149 17.66%	913 5.12%	348 1.95%	17,833 100.00%	4.02	0.954
学部3年	5,183 45.19%	4,187 36.50%	1,622 14.14%	358 3.12%	120 1.05%	11,470 100.00%	4.22	0.875
学部4年	2,367 55.56%	1,327 31.15%	422 9.91%	116 2.72%	28 0.66%	4,260 100.00%	4.38	0.823

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
25名以下	5,713 52.82%	3,718 34.38%	1,058 9.78%	249 2.30%	78 0.72%	10,816 100.00%	4.36	0.807	4.37	0.392
26～50名	6,189 43.49%	5,336 37.50%	2,060 14.48%	504 3.54%	142 1.00%	14,231 100.00%	4.19	0.881	4.19	0.384
51～100名	5,521 34.23%	5,982 37.09%	3,152 19.54%	1,034 6.41%	438 2.72%	16,127 100.00%	3.94	1.017	3.94	0.473
101～200名	3,451 31.70%	4,374 40.17%	2,231 20.49%	627 5.76%	205 1.88%	10,888 100.00%	3.94	0.958	3.97	0.361
201名以上	3,772 31.12%	4,620 38.12%	2,627 21.67%	832 6.86%	270 2.23%	12,121 100.00%	3.89	0.996	3.88	0.410
合計	24,646 38.40%	24,030 37.44%	11,128 17.34%	3,246 5.06%	1,133 1.77%	64,183 100.00%	4.06	0.957	4.18	0.446

Q5　授業に対する教員の熱意が感じられる

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
計セ	講義	1,071 28.63%	1,360 36.35%	947 25.31%	239 6.39%	124 3.31%	3,741 100.00%	3.81	1.028	3.86	0.434
外セ	語学	5,010 51.50%	3,434 35.30%	1,044 10.73%	167 1.72%	74 0.76%	9,729 100.00%	4.35	0.798	4.37	0.357
スポ健	演習	1,298 74.21%	376 21.50%	72 4.12%	2 0.11%	1 0.06%	1,749 100.00%	4.70	0.554	4.74	0.196
基礎教養	講義	2,390 47.02%	1,927 37.91%	628 12.35%	101 1.99%	37 0.73%	5,083 100.00%	4.29	0.811	4.31	0.321
	演習	9 33.33%	11 40.74%	4 14.81%	3 11.11%	0 0.00%	27 100.00%	3.96	0.980	3.96	–
	計	2,399 46.95%	1,938 37.93%	632 12.37%	104 2.04%	37 0.72%	5,110 100.00%	4.28	0.812	4.31	0.321
法学部	講義	3,315 41.38%	3,011 37.58%	1,322 16.50%	254 3.17%	110 1.37%	8,012 100.00%	4.14	0.899	4.22	0.366
	演習	1,075 65.83%	428 26.21%	116 7.10%	12 0.73%	2 0.12%	1,633 100.00%	4.57	0.668	4.60	0.286
	計	4,390 45.52%	3,439 35.66%	1,438 14.91%	266 2.76%	112 1.16%	9,645 100.00%	4.22	0.879	4.38	0.382
経済学部	講義	3,251 44.03%	2,604 35.27%	1,136 15.39%	236 3.20%	156 2.11%	7,383 100.00%	4.16	0.942	4.19	0.434
	演習	1,026 67.81%	387 25.58%	84 5.55%	12 0.79%	4 0.26%	1,513 100.00%	4.60	0.656	4.60	0.341
	計	4,277 48.08%	2,991 33.62%	1,220 13.71%	248 2.79%	160 1.80%	8,896 100.00%	4.23	0.915	4.37	0.444
文学部	講義	3,692 47.46%	2,884 37.07%	946 12.16%	186 2.39%	72 0.93%	7,780 100.00%	4.28	0.836	4.38	0.345
	演習	3,688 59.37%	1,951 31.41%	477 7.68%	62 1.00%	34 0.55%	6,212 100.00%	4.48	0.727	4.50	0.339
	計	7,380 52.74%	4,835 34.56%	1,423 10.17%	248 1.77%	106 0.76%	13,992 100.00%	4.37	0.796	4.46	0.346
理学部	講義	2,169 41.84%	1,870 36.07%	854 16.47%	168 3.24%	123 2.37%	5,184 100.00%	4.12	0.955	4.13	0.411
	演習	903 48.63%	636 34.25%	266 14.32%	29 1.56%	23 1.24%	1,857 100.00%	4.27	0.853	4.25	0.336
	計	3,072 43.63%	2,506 35.59%	1,120 15.91%	197 2.80%	146 2.07%	7,041 100.00%	4.16	0.932	4.16	0.395
教職課程	講義	682 50.18%	467 34.36%	166 12.21%	29 2.13%	15 1.10%	1,359 100.00%	4.30	0.847	4.41	0.343
	演習	1,312 68.30%	455 23.69%	116 6.04%	21 1.09%	17 0.88%	1,921 100.00%	4.57	0.733	4.55	0.265
	計	1,994 60.79%	922 28.11%	282 8.60%	50 1.52%	32 0.98%	3,280 100.00%	4.46	0.793	4.50	0.305
学芸員	講義	426 49.36%	346 40.09%	74 8.57%	14 1.62%	3 0.35%	863 100.00%	4.37	0.737	4.38	0.174
	演習	105 85.37%	17 13.82%	1 0.81%	0 0.00%	0 0.00%	123 100.00%	4.85	0.385	4.84	0.160
	計	531 53.85%	363 36.82%	75 7.61%	14 1.42%	3 0.30%	986 100.00%	4.42	0.720	4.56	0.279
合計		31,422 48.97%	22,164 34.54%	8,253 12.86%	1,535 2.39%	795 1.24%	64,169 100.00%	4.28	0.866	4.38	0.398

【形態別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別平均	部門別標準偏差
講義	16,996 43.13%	14,469 36.72%	6,073 15.41%	1,227 3.11%	640 1.62%	39,405 100.00%	4.17	0.910	4.22	0.411
演習	9,416 62.63%	4,261 28.34%	1,136 7.56%	141 0.94%	81 0.54%	15,035 100.00%	4.52	0.722	4.55	0.329
語学	5,010 51.50%	3,434 35.30%	1,044 10.73%	167 1.72%	74 0.76%	9,729 100.00%	4.35	0.798	4.37	0.357
合計	31,422 48.97%	22,164 34.54%	8,253 12.86%	1,535 2.39%	795 1.24%	64,169 100.00%	4.28	0.866	4.38	0.398

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
学部1年	11,678 43.75%	9,731 36.46%	4,105 15.38%	803 3.01%	375 1.40%	26,692 100.00%	4.18	0.897
学部2年	8,472 47.52%	6,532 36.64%	2,190 12.28%	384 2.15%	249 1.40%	17,827 100.00%	4.27	0.859
学部3年	6,426 56.01%	3,620 31.56%	1,131 9.86%	203 1.77%	92 0.80%	11,472 100.00%	4.40	0.800
学部4年	2,790 65.49%	1,056 24.79%	333 7.82%	52 1.22%	29 0.68%	4,260 100.00%	4.53	0.749

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
25名以下	6,786 62.72%	3,135 28.98%	732 6.77%	112 1.04%	54 0.50%	10,819 100.00%	4.52	0.712	4.54	0.351
26～50名	7,760 54.56%	4,633 32.57%	1,479 10.40%	229 1.61%	122 0.86%	14,223 100.00%	4.38	0.803	4.39	0.365
51～100名	7,061 43.79%	5,827 36.14%	2,472 15.33%	494 3.06%	270 1.67%	16,124 100.00%	4.17	0.914	4.18	0.410
101～200名	4,897 44.97%	3,992 36.66%	1,558 14.31%	282 2.59%	160 1.47%	10,889 100.00%	4.21	0.886	4.21	0.338
201名以上	4,918 40.60%	4,577 37.78%	2,012 16.61%	418 3.45%	189 1.56%	12,114 100.00%	4.12	0.914	4.10	0.352
合計	31,422 48.97%	22,164 34.54%	8,253 12.86%	1,535 2.39%	795 1.24%	64,169 100.00%	4.28	0.866	4.38	0.398

Q6　教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
計セ	講義	1,234 32.96%	1,397 37.31%	839 22.41%	187 4.99%	87 2.32%	3,744 100.00%	3.94	0.979	3.97	0.353
外セ	語学	4,667 47.94%	3,602 37.00%	1,209 12.42%	176 1.81%	82 0.84%	9,736 100.00%	4.29	0.816	4.32	0.322
スポ健	演習	1,191 68.14%	439 25.11%	102 5.84%	14 0.80%	2 0.11%	1,748 100.00%	4.60	0.647	4.64	0.246
基礎教養	講義	1,986 39.09%	1,925 37.89%	918 18.07%	194 3.82%	57 1.12%	5,080 100.00%	4.10	0.903	4.15	0.304
	演習	10 38.46%	7 26.92%	6 23.08%	1 3.85%	2 7.69%	26 100.00%	3.85	1.223	3.85	-
	計	1,996 39.09%	1,932 37.84%	924 18.10%	195 3.82%	59 1.16%	5,106 100.00%	4.10	0.905	4.14	0.304
法学部	講義	3,024 37.75%	2,870 35.83%	1,609 20.08%	376 4.69%	132 1.65%	8,011 100.00%	4.03	0.956	4.15	0.367
	演習	1,016 62.25%	457 28.00%	140 8.58%	14 0.86%	5 0.31%	1,632 100.00%	4.51	0.714	4.55	0.298
	計	4,040 41.90%	3,327 34.50%	1,749 18.14%	390 4.04%	137 1.42%	9,643 100.00%	4.11	0.937	4.32	0.393
経済学部	講義	2,849 38.59%	2,653 35.94%	1,378 18.67%	338 4.58%	164 2.22%	7,382 100.00%	4.04	0.977	4.11	0.395
	演習	1,021 67.48%	378 24.98%	98 6.48%	12 0.79%	4 0.26%	1,513 100.00%	4.59	0.672	4.59	0.317
	計	3,870 43.51%	3,031 34.08%	1,476 16.59%	350 3.93%	168 1.89%	8,895 100.00%	4.13	0.954	4.32	0.432
文学部	講義	2,969 38.16%	3,091 39.72%	1,366 17.56%	274 3.52%	81 1.04%	7,781 100.00%	4.10	0.884	4.22	0.352
	演習	3,308 53.23%	2,209 35.55%	576 9.27%	88 1.42%	33 0.53%	6,214 100.00%	4.40	0.757	4.42	0.306
	計	6,277 44.85%	5,300 37.87%	1,942 13.88%	362 2.59%	114 0.81%	13,995 100.00%	4.23	0.842	4.35	0.336
理学部	講義	1,813 34.98%	1,878 36.23%	1,130 21.80%	241 4.65%	121 2.33%	5,183 100.00%	3.97	0.981	4.00	0.373
	演習	856 46.12%	595 32.06%	307 16.54%	61 3.29%	37 1.99%	1,856 100.00%	4.17	0.953	4.12	0.439
	計	2,669 37.92%	2,473 35.13%	1,437 20.41%	302 4.29%	158 2.24%	7,039 100.00%	4.02	0.978	4.03	0.394
教職課程	講義	594 43.74%	485 35.71%	214 15.76%	38 2.80%	27 1.99%	1,358 100.00%	4.16	0.927	4.29	0.349
	演習	1,098 57.22%	570 29.70%	180 9.38%	49 2.55%	22 1.15%	1,919 100.00%	4.39	0.847	4.39	0.296
	計	1,692 51.63%	1,055 32.19%	394 12.02%	87 2.65%	49 1.50%	3,277 100.00%	4.30	0.888	4.35	0.320
学芸員	講義	337 38.96%	367 42.43%	135 15.61%	21 2.43%	5 0.58%	865 100.00%	4.17	0.817	4.20	0.181
	演習	96 78.05%	21 17.07%	4 3.25%	2 1.63%	0 0.00%	123 100.00%	4.72	0.608	4.70	0.259
	計	433 43.83%	388 39.27%	139 14.07%	23 2.33%	5 0.51%	988 100.00%	4.24	0.814	4.39	0.324
合計		28,069 43.74%	22,944 35.75%	10,211 15.91%	2,086 3.25%	861 1.34%	64,171 100.00%	4.17	0.904	4.30	0.378

【形態別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別平均	部門別標準偏差
講義	14,806 37.57%	14,666 37.22%	7,589 19.26%	1,669 4.24%	674 1.71%	39,404 100.00%	4.05	0.943	4.12	0.369
演習	8,596 57.19%	4,676 31.11%	1,413 9.40%	241 1.60%	105 0.70%	15,031 100.00%	4.42	0.783	4.48	0.332
語学	4,667 47.94%	3,602 37.00%	1,209 12.42%	176 1.81%	82 0.84%	9,736 100.00%	4.29	0.816	4.32	0.322
合計	28,069 43.74%	22,944 35.75%	10,211 15.91%	2,086 3.25%	861 1.34%	64,171 100.00%	4.17	0.904	4.30	0.378

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
学部1年	10,418 39.03%	9,932 37.21%	4,893 18.33%	1,040 3.90%	408 1.53%	26,691 100.00%	4.08	0.927
学部2年	7,404 41.53%	6,712 37.65%	2,905 16.29%	555 3.11%	253 1.42%	17,829 100.00%	4.15	0.899
学部3年	5,784 50.41%	3,838 33.45%	1,449 12.63%	289 2.52%	113 0.98%	11,473 100.00%	4.30	0.855
学部4年	2,602 61.08%	1,166 27.37%	380 8.92%	88 2.07%	24 0.56%	4,260 100.00%	4.46	0.787

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
25名以下	6,391 59.08%	3,349 30.96%	890 8.23%	136 1.26%	51 0.47%	10,817 100.00%	4.47	0.739	4.48	0.330
26～50名	7,013 49.28%	5,109 35.90%	1,723 12.11%	267 1.88%	120 0.84%	14,232 100.00%	4.31	0.818	4.32	0.318
51～100名	6,328 39.26%	6,021 37.35%	2,916 18.09%	592 3.67%	262 1.63%	16,119 100.00%	4.09	0.927	4.09	0.355
101～200名	4,011 36.83%	4,073 37.40%	2,141 19.66%	470 4.32%	196 1.80%	10,891 100.00%	4.03	0.948	4.05	0.312
201名以上	4,326 35.72%	4,392 36.26%	2,541 20.98%	621 5.13%	232 1.92%	12,112 100.00%	3.99	0.972	3.97	0.353
合計	28,069 43.74%	22,944 35.75%	10,211 15.91%	2,086 3.25%	861 1.34%	64,171 100.00%	4.17	0.904	4.30	0.378

Q7　教員は理解しやすい授業を行っている

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
計セ	講義	1,168 31.17%	1,272 33.95%	809 21.59%	314 8.38%	184 4.91%	3,747 100.00%	3.78	1.121	3.79	0.528
外セ	語学	4,654 47.80%	3,424 35.16%	1,198 12.30%	320 3.29%	141 1.45%	9,737 100.00%	4.25	0.896	4.27	0.426
スポ健	演習	1,212 69.26%	423 24.17%	98 5.60%	14 0.80%	3 0.17%	1,750 100.00%	4.62	0.646	4.65	0.261
基礎教養	講義	2,083 41.00%	1,928 37.95%	807 15.89%	193 3.80%	69 1.36%	5,080 100.00%	4.13	0.908	4.13	0.440
	演習	8 32.00%	9 36.00%	6 24.00%	2 8.00%	0 0.00%	25 100.00%	3.92	0.954	3.92	-
	計	2,091 40.96%	1,937 37.94%	813 15.93%	195 3.82%	69 1.35%	5,105 100.00%	4.13	0.909	4.13	0.438
法学部	講義	2,785 34.75%	2,813 35.10%	1,632 20.36%	544 6.79%	240 2.99%	8,014 100.00%	3.92	1.042	4.00	0.500
	演習	1,034 63.40%	429 26.30%	133 8.15%	29 1.78%	6 0.37%	1,631 100.00%	4.51	0.751	4.56	0.351
	計	3,819 39.60%	3,242 33.61%	1,765 18.30%	573 5.94%	246 2.55%	9,645 100.00%	4.02	1.023	4.24	0.522
経済学部	講義	2,686 36.37%	2,510 33.99%	1,411 19.11%	518 7.01%	260 3.52%	7,385 100.00%	3.93	1.071	3.98	0.541
	演習	1,006 66.49%	394 26.04%	89 5.88%	15 0.99%	9 0.59%	1,513 100.00%	4.57	0.703	4.57	0.362
	計	3,692 41.49%	2,904 32.64%	1,500 16.86%	533 5.99%	269 3.02%	8,898 100.00%	4.04	1.046	4.24	0.553
文学部	講義	2,989 38.42%	2,980 38.31%	1,242 15.97%	414 5.32%	154 1.98%	7,779 100.00%	4.06	0.965	4.18	0.439
	演習	3,356 54.02%	2,032 32.71%	608 9.79%	160 2.58%	56 0.90%	6,212 100.00%	4.36	0.831	4.40	0.431
	計	6,345 45.35%	5,012 35.82%	1,850 13.22%	574 4.10%	210 1.50%	13,991 100.00%	4.19	0.920	4.32	0.445
理学部	講義	1,592 30.71%	1,799 34.70%	1,156 22.30%	395 7.62%	242 4.67%	5,184 100.00%	3.79	1.101	3.80	0.520
	演習	787 42.43%	666 35.90%	300 16.17%	60 3.23%	42 2.26%	1,855 100.00%	4.13	0.950	4.11	0.418
	計	2,379 33.80%	2,465 35.02%	1,456 20.68%	455 6.46%	284 4.03%	7,039 100.00%	3.88	1.074	3.88	0.512
教職課程	講義	567 41.72%	480 35.32%	212 15.60%	70 5.15%	30 2.21%	1,359 100.00%	4.09	0.985	4.25	0.409
	演習	1,078 56.15%	558 29.06%	194 10.10%	50 2.60%	40 2.08%	1,920 100.00%	4.35	0.914	4.39	0.371
	計	1,645 50.17%	1,038 31.66%	406 12.38%	120 3.66%	70 2.13%	3,279 100.00%	4.24	0.952	4.34	0.391
学芸員	講義	335 38.77%	381 44.10%	115 13.31%	23 2.66%	10 1.16%	864 100.00%	4.17	0.839	4.22	0.256
	演習	101 82.11%	19 15.45%	3 2.44%	0 0.00%	0 0.00%	123 100.00%	4.80	0.461	4.77	0.245
	計	436 44.17%	400 40.53%	118 11.96%	23 2.33%	10 1.01%	987 100.00%	4.25	0.828	4.43	0.369
合計		27,441 42.76%	22,117 34.46%	10,013 15.60%	3,121 4.86%	1,486 2.32%	64,178 100.00%	4.10	0.988	4.24	0.496

【形態別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別平均	部門別標準偏差
講義	14,205 36.04%	14,163 35.94%	7,384 18.74%	2,471 6.27%	1,189 3.02%	39,412 100.00%	3.96	1.034	4.01	0.509
演習	8,582 57.10%	4,530 30.14%	1,431 9.52%	330 2.20%	156 1.04%	15,029 100.00%	4.40	0.829	4.47	0.407
語学	4,654 47.80%	3,424 35.16%	1,198 12.30%	320 3.29%	141 1.45%	9,737 100.00%	4.25	0.896	4.27	0.426
合計	27,441 42.76%	22,117 34.46%	10,013 15.60%	3,121 4.86%	1,486 2.32%	64,178 100.00%	4.10	0.988	4.24	0.496

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
学部1年	10,115 37.89%	9,558 35.80%	4,758 17.82%	1,559 5.84%	708 2.65%	26,698 100.00%	4.00	1.015
学部2年	7,165 40.17%	6,427 36.03%	2,866 16.07%	914 5.12%	464 2.60%	17,836 100.00%	4.06	0.999
学部3年	5,770 50.34%	3,726 32.50%	1,401 12.22%	388 3.38%	178 1.55%	11,463 100.00%	4.27	0.911
学部4年	2,580 60.53%	1,174 27.55%	362 8.49%	101 2.37%	45 1.06%	4,262 100.00%	4.44	0.828

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
25名以下	6,387 59.04%	3,224 29.80%	867 8.01%	225 2.08%	115 1.06%	10,818 100.00%	4.44	0.812	4.45	0.424
26～50名	7,018 49.31%	4,767 33.50%	1,822 12.80%	444 3.12%	180 1.26%	14,231 100.00%	4.26	0.889	4.27	0.431
51～100名	6,013 37.30%	5,799 35.97%	2,866 17.78%	927 5.75%	516 3.20%	16,121 100.00%	3.98	1.034	3.98	0.507
101～200名	3,762 34.55%	4,020 36.91%	2,056 18.88%	727 6.68%	325 2.98%	10,890 100.00%	3.93	1.032	3.95	0.459
201名以上	4,261 35.16%	4,307 35.54%	2,402 19.82%	798 6.59%	350 2.89%	12,118 100.00%	3.94	1.034	3.89	0.475
合計	27,441 42.76%	22,117 34.46%	10,013 15.60%	3,121 4.86%	1,486 2.32%	64,178 100.00%	4.10	0.988	4.24	0.496

Q8　教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
計セ	講義	1,224 32.74%	1,289 34.47%	827 22.12%	258 6.90%	141 3.77%	3,739 100.00%	3.86	1.069	3.88	0.442
外セ	語学	4,695 48.26%	3,413 35.08%	1,205 12.39%	293 3.01%	122 1.25%	9,728 100.00%	4.26	0.879	4.29	0.388
スポ健	演習	1,248 71.36%	406 23.21%	81 4.63%	11 0.63%	3 0.17%	1,749 100.00%	4.65	0.615	4.68	0.236
基礎教養	講義	2,157 42.44%	1,979 38.93%	727 14.30%	160 3.15%	60 1.18%	5,083 100.00%	4.18	0.875	4.20	0.360
	演習	9 34.62%	12 46.15%	3 11.54%	2 7.69%	0 0.00%	26 100.00%	4.08	0.891	4.08	-
	計	2,166 42.40%	1,991 38.97%	730 14.29%	162 3.17%	60 1.17%	5,109 100.00%	4.18	0.875	4.20	0.358
法学部	講義	2,832 35.36%	2,777 34.68%	1,585 19.79%	576 7.19%	238 2.97%	8,008 100.00%	3.92	1.049	4.03	0.465
	演習	1,077 65.95%	420 25.72%	112 6.86%	21 1.29%	3 0.18%	1,633 100.00%	4.56	0.695	4.60	0.289
	計	3,909 40.55%	3,197 33.16%	1,697 17.60%	597 6.19%	241 2.50%	9,641 100.00%	4.03	1.026	4.27	0.487
経済学部	講義	2,837 38.41%	2,637 35.70%	1,335 18.07%	386 5.23%	191 2.59%	7,386 100.00%	4.02	1.003	4.07	0.447
	演習	1,060 70.11%	357 23.61%	80 5.29%	12 0.79%	3 0.20%	1,512 100.00%	4.63	0.642	4.63	0.314
	計	3,897 43.80%	2,994 33.65%	1,415 15.90%	398 4.47%	194 2.18%	8,898 100.00%	4.12	0.978	4.32	0.480
文学部	講義	3,192 41.02%	2,888 37.12%	1,171 15.05%	366 4.70%	164 2.11%	7,781 100.00%	4.10	0.963	4.25	0.443
	演習	3,462 55.72%	2,028 32.64%	564 9.08%	125 2.01%	34 0.55%	6,213 100.00%	4.41	0.781	4.44	0.384
	計	6,654 47.55%	4,916 35.13%	1,735 12.40%	491 3.51%	198 1.41%	13,994 100.00%	4.24	0.900	4.37	0.416
理学部	講義	1,773 34.21%	1,746 33.69%	1,082 20.88%	376 7.26%	205 3.96%	5,182 100.00%	3.87	1.086	3.89	0.537
	演習	828 44.61%	656 35.34%	301 16.22%	44 2.37%	27 1.45%	1,856 100.00%	4.19	0.893	4.16	0.378
	計	2,601 36.96%	2,402 34.13%	1,383 19.65%	420 5.97%	232 3.30%	7,038 100.00%	3.95	1.049	3.96	0.513
教職課程	講義	558 41.06%	479 35.25%	223 16.41%	70 5.15%	29 2.13%	1,359 100.00%	4.08	0.983	4.24	0.444
	演習	1,127 58.70%	533 27.76%	188 9.79%	50 2.60%	22 1.15%	1,920 100.00%	4.40	0.855	4.47	0.332
	計	1,685 51.39%	1,012 30.86%	411 12.53%	120 3.66%	51 1.56%	3,279 100.00%	4.27	0.924	4.38	0.395
学芸員	講義	369 42.66%	382 44.16%	97 11.21%	11 1.27%	6 0.69%	865 100.00%	4.27	0.762	4.28	0.143
	演習	106 86.18%	16 13.01%	1 0.81%	0 0.00%	0 0.00%	123 100.00%	4.85	0.377	4.83	0.183
	計	475 48.08%	398 40.28%	98 9.92%	11 1.11%	6 0.61%	988 100.00%	4.34	0.751	4.49	0.315
合計		28,554 44.50%	22,018 34.32%	9,582 14.93%	2,761 4.30%	1,248 1.95%	64,163 100.00%	4.15	0.958	4.29	0.456

【形態別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別平均	部門別標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
講義	14,942 37.92%	14,177 35.98%	7,047 17.88%	2,203 5.59%	1,034 2.62%	39,403 100.00%	4.01	1.009	4.08	0.472
演習	8,917 59.32%	4,428 29.46%	1,330 8.85%	265 1.76%	92 0.61%	15,032 100.00%	4.45	0.777	4.51	0.363
語学	4,695 48.26%	3,413 35.08%	1,205 12.39%	293 3.01%	122 1.25%	9,728 100.00%	4.26	0.879	4.29	0.388
合計	28,554 44.50%	22,018 34.32%	9,582 14.93%	2,761 4.30%	1,248 1.95%	64,163 100.00%	4.15	0.958	4.29	0.456

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない			
学部1年	10,561 39.57%	9,525 35.69%	4,653 17.43%	1,365 5.11%	585 2.19%	26,689 100.00%	4.05	0.984
学部2年	7,481 41.95%	6,471 36.29%	2,675 15.00%	796 4.46%	409 2.29%	17,832 100.00%	4.11	0.971
学部3年	6,018 52.49%	3,633 31.68%	1,314 11.46%	362 3.16%	139 1.21%	11,466 100.00%	4.31	0.882
学部4年	2,647 62.19%	1,115 26.20%	361 8.48%	100 2.35%	33 0.78%	4,256 100.00%	4.47	0.808

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
25名以下	6,578 60.83%	3,125 28.90%	846 7.82%	204 1.89%	60 0.55%	10,813 100.00%	4.48	0.765	4.50	0.380
26～50名	7,159 50.33%	4,784 33.63%	1,741 12.24%	387 2.72%	154 1.08%	14,225 100.00%	4.29	0.863	4.30	0.391
51～100名	6,424 39.86%	5,716 35.47%	2,742 17.01%	815 5.06%	419 2.60%	16,116 100.00%	4.05	1.001	4.05	0.475
101～200名	3,995 36.69%	4,086 37.52%	1,931 17.73%	595 5.46%	283 2.60%	10,890 100.00%	4.00	0.998	4.02	0.424
201名以上	4,398 36.29%	4,307 35.54%	2,322 19.16%	760 6.27%	332 2.74%	12,119 100.00%	3.96	1.025	3.94	0.437
合計	28,554 44.50%	22,018 34.32%	9,582 14.93%	2,761 4.30%	1,248 1.95%	64,163 100.00%	4.15	0.958	4.29	0.456

Q9　この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
計セ	講義	898 24.08%	1,170 31.37%	1,106 29.65%	362 9.71%	194 5.20%	3,730 100.00%	3.59	1.109	3.67	0.421
外セ	語学	3,650 37.69%	3,467 35.80%	1,958 20.22%	426 4.40%	183 1.89%	9,684 100.00%	4.03	0.961	4.07	0.411
スポ健	演習	1,022 58.43%	462 26.42%	214 12.24%	35 2.00%	16 0.91%	1,749 100.00%	4.39	0.845	4.48	0.400
基礎教養	講義	2,156 42.48%	1,847 36.39%	818 16.12%	170 3.35%	84 1.66%	5,075 100.00%	4.15	0.921	4.18	0.348
	演習	9 34.62%	10 38.46%	5 19.23%	1 3.85%	1 3.85%	26 100.00%	3.96	1.038	3.96	－
	計	2,165 42.44%	1,857 36.40%	823 16.13%	171 3.35%	85 1.67%	5,101 100.00%	4.15	0.921	4.18	0.346
法学部	講義	2,668 33.40%	2,893 36.22%	1,809 22.65%	423 5.30%	195 2.44%	7,988 100.00%	3.93	0.993	4.04	0.399
	演習	1,064 65.36%	403 24.75%	130 7.99%	23 1.41%	8 0.49%	1,628 100.00%	4.53	0.744	4.60	0.350
	計	3,732 38.81%	3,296 34.28%	1,939 20.16%	446 4.64%	203 2.11%	9,616 100.00%	4.03	0.982	4.28	0.468
経済学部	講義	2,447 33.24%	2,361 32.07%	1,728 23.48%	530 7.20%	295 4.01%	7,361 100.00%	3.83	1.090	3.93	0.517
	演習	1,003 66.42%	387 25.63%	97 6.42%	20 1.32%	3 0.20%	1,510 100.00%	4.57	0.691	4.59	0.340
	計	3,450 38.89%	2,748 30.98%	1,825 20.57%	550 6.20%	298 3.36%	8,871 100.00%	3.96	1.069	4.22	0.553
文学部	講義	3,188 41.11%	2,785 35.92%	1,283 16.55%	348 4.49%	150 1.93%	7,754 100.00%	4.10	0.960	4.22	0.421
	演習	3,372 54.52%	1,949 31.51%	673 10.88%	139 2.25%	52 0.84%	6,185 100.00%	4.37	0.828	4.40	0.401
	計	6,560 47.06%	4,734 33.96%	1,956 14.03%	487 3.49%	202 1.45%	13,939 100.00%	4.22	0.913	4.33	0.416
理学部	講義	1,644 31.80%	1,709 33.06%	1,318 25.49%	306 5.92%	193 3.73%	5,170 100.00%	3.83	1.057	3.86	0.454
	演習	865 46.68%	561 30.28%	322 17.38%	63 3.40%	42 2.27%	1,853 100.00%	4.16	0.978	4.10	0.467
	計	2,509 35.73%	2,270 32.32%	1,640 23.35%	369 5.25%	235 3.35%	7,023 100.00%	3.92	1.047	3.93	0.468
教職課程	講義	595 43.88%	458 33.78%	231 17.04%	50 3.69%	22 1.62%	1,356 100.00%	4.15	0.939	4.26	0.375
	演習	1,184 62.02%	501 26.24%	162 8.49%	32 1.68%	30 1.57%	1,909 100.00%	4.45	0.841	4.47	0.318
	計	1,779 54.49%	959 29.37%	393 12.04%	82 2.51%	52 1.59%	3,265 100.00%	4.33	0.896	4.39	0.354
学芸員	講義	364 42.28%	353 41.00%	112 13.01%	24 2.79%	8 0.93%	861 100.00%	4.21	0.840	4.25	0.181
	演習	110 89.43%	12 9.76%	1 0.81%	0 0.00%	0 0.00%	123 100.00%	4.89	0.344	4.88	0.111
	計	474 48.17%	365 37.09%	113 11.48%	24 2.44%	8 0.81%	984 100.00%	4.29	0.826	4.50	0.348
合計		26,239 41.02%	21,328 33.34%	11,967 18.71%	2,952 4.62%	1,476 2.31%	63,962 100.00%	4.06	0.993	4.19	0.475

【形態別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別平均	部門別標準偏差
講義	13,960 35.53%	13,576 34.55%	8,405 21.39%	2,213 5.63%	1,141 2.90%	39,295 100.00%	3.94	1.026	4.02	0.465
演習	8,629 57.59%	4,285 28.60%	1,604 10.71%	313 2.09%	152 1.01%	14,983 100.00%	4.40	0.837	4.46	0.403
語学	3,650 37.69%	3,467 35.80%	1,958 20.22%	426 4.40%	183 1.89%	9,684 100.00%	4.03	0.961	4.07	0.411
合計	26,239 41.02%	21,328 33.34%	11,967 18.71%	2,952 4.62%	1,476 2.31%	63,962 100.00%	4.06	0.993	4.19	0.475

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
学部1年	9,183 34.54%	9,113 34.28%	5,998 22.56%	1,526 5.74%	763 2.87%	26,583 100.00%	3.92	1.026
学部2年	6,879 38.66%	6,322 35.53%	3,342 18.78%	824 4.63%	425 2.39%	17,792 100.00%	4.03	0.987
学部3年	5,817 50.87%	3,587 31.37%	1,559 13.63%	331 2.89%	140 1.22%	11,434 100.00%	4.28	0.891
学部4年	2,561 60.33%	1,129 26.60%	396 9.33%	109 2.57%	50 1.18%	4,245 100.00%	4.42	0.852

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
25名以下	6,111 56.70%	3,159 29.31%	1,173 10.88%	238 2.21%	96 0.89%	10,777 100.00%	4.39	0.833	4.41	0.430
26～50名	6,211 43.81%	4,711 33.23%	2,475 17.46%	558 3.94%	223 1.57%	14,178 100.00%	4.14	0.945	4.15	0.428
51～100名	6,028 37.50%	5,380 33.47%	3,319 20.65%	875 5.44%	472 2.94%	16,074 100.00%	3.97	1.031	3.98	0.467
101～200名	3,965 36.53%	3,822 35.22%	2,184 20.12%	559 5.15%	323 2.98%	10,853 100.00%	3.97	1.020	3.99	0.394
201名以上	3,924 32.48%	4,256 35.23%	2,816 23.31%	722 5.98%	362 3.00%	12,080 100.00%	3.88	1.026	3.85	0.405
合計	26,239 41.02%	21,328 33.34%	11,967 18.71%	2,952 4.62%	1,476 2.31%	63,962 100.00%	4.06	0.993	4.19	0.475

Q10 この授業のシラバスは受講に役立った

【部門別・形態別】

		回答者ベース									科目ベース	
		5	4	3	2	1	0	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない	読まなかった					
計セ	講義	524 14.06%	543 14.57%	688 18.45%	104 2.79%	62 1.66%	1,807 48.47%	3,728 100.00%	3.71	1.027	3.72	0.340
外セ	語学	1,980 20.40%	1,730 17.83%	1,430 14.73%	207 2.13%	87 0.90%	4,271 44.01%	9,705 100.00%	3.98	0.961	3.99	0.407
スポ健	演習	608 34.90%	247 14.18%	172 9.87%	16 0.92%	7 0.40%	692 39.72%	1,742 100.00%	4.36	0.855	4.39	0.430
基礎教養	講義	1,054 20.76%	1,317 25.94%	1,065 20.97%	130 2.56%	48 0.95%	1,464 28.83%	5,078 100.00%	3.89	0.915	3.90	0.329
	演習	6 23.08%	10 38.46%	4 15.38%	1 3.85%	0 0.00%	5 19.23%	26 100.00%	4.00	0.837	4.00	–
	計	1,060 20.77%	1,327 26.00%	1,069 20.94%	131 2.57%	48 0.94%	1,469 28.78%	5,104 100.00%	3.89	0.914	3.90	0.328
法学部	講義	1,523 19.04%	1,652 20.66%	1,952 24.41%	252 3.15%	144 1.80%	2,474 30.94%	7,997 100.00%	3.75	0.993	3.83	0.388
	演習	623 38.34%	313 19.26%	231 14.22%	29 1.78%	10 0.62%	419 25.78%	1,625 100.00%	4.25	0.903	4.27	0.376
	計	2,146 22.30%	1,965 20.42%	2,183 22.69%	281 2.92%	154 1.60%	2,893 30.07%	9,622 100.00%	3.84	0.996	4.02	0.440
経済学部	講義	1,545 20.97%	1,589 21.57%	1,539 20.89%	246 3.34%	111 1.51%	2,338 31.73%	7,368 100.00%	3.84	0.990	3.88	0.376
	演習	570 37.80%	297 19.69%	156 10.34%	24 1.59%	10 0.66%	451 29.91%	1,508 100.00%	4.32	0.873	4.31	0.443
	計	2,115 23.83%	1,886 21.25%	1,695 19.10%	270 3.04%	121 1.36%	2,789 31.42%	8,876 100.00%	3.92	0.988	4.07	0.460
文学部	講義	1,564 20.13%	1,918 24.68%	1,444 18.58%	196 2.52%	76 0.98%	2,573 33.11%	7,771 100.00%	3.90	0.923	3.97	0.354
	演習	1,775 28.67%	1,452 23.45%	774 12.50%	84 1.36%	35 0.57%	2,071 33.45%	6,191 100.00%	4.18	0.864	4.18	0.398
	計	3,339 23.91%	3,370 24.14%	2,218 15.89%	280 2.01%	111 0.80%	4,644 33.26%	13,962 100.00%	4.02	0.907	4.11	0.397
理学部	講義	707 13.69%	645 12.49%	864 16.73%	109 2.11%	79 1.53%	2,761 53.46%	5,165 100.00%	3.75	1.033	3.73	0.414
	演習	378 20.38%	224 12.08%	239 12.88%	29 1.56%	25 1.35%	960 51.75%	1,855 100.00%	4.01	1.035	3.94	0.444
	計	1,085 15.46%	869 12.38%	1,103 15.71%	138 1.97%	104 1.48%	3,721 53.01%	7,020 100.00%	3.82	1.040	3.79	0.431
教職課程	講義	244 17.97%	300 22.09%	255 18.78%	35 2.58%	18 1.33%	506 37.26%	1,358 100.00%	3.84	0.957	3.98	0.359
	演習	491 25.65%	399 20.85%	292 15.26%	40 2.09%	43 2.25%	649 33.91%	1,914 100.00%	3.99	1.026	4.03	0.338
	計	735 22.46%	699 21.36%	547 16.72%	75 2.29%	61 1.86%	1,155 35.30%	3,272 100.00%	3.93	1.001	4.01	0.346
学芸員	講義	156 18.06%	277 32.06%	196 22.69%	14 1.62%	7 0.81%	214 24.77%	864 100.00%	3.86	0.841	3.89	0.177
	演習	62 50.41%	24 19.51%	18 14.63%	0 0.00%	0 0.00%	19 15.45%	123 100.00%	4.42	0.772	4.36	0.321
	計	218 22.09%	301 30.50%	214 21.68%	14 1.42%	7 0.71%	233 23.61%	987 100.00%	3.94	0.853	4.07	0.333
合計		13,810 21.57%	12,937 20.21%	11,319 17.68%	1,516 2.37%	762 1.19%	23,674 36.98%	64,018 100.00%	3.93	0.969	4.02	0.431

【形態別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5	4	3	2	1	0	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別平均	部門別標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない	読まなかった					
講義	7,317 18.60%	8,241 20.95%	8,003 20.35%	1,086 2.76%	545 1.39%	14,137 35.95%	39,329 100.00%	3.82	0.971	3.86	0.377
演習	4,513 30.12%	2,966 19.79%	1,886 12.59%	223 1.49%	130 0.87%	5,266 35.14%	14,984 100.00%	4.18	0.915	4.22	0.419
語学	1,980 20.40%	1,730 17.83%	1,430 14.73%	207 2.13%	87 0.90%	4,271 44.01%	9,705 100.00%	3.98	0.961	3.99	0.407
合計	13,810 21.57%	12,937 20.21%	11,319 17.68%	1,516 2.37%	762 1.19%	23,674 36.98%	64,018 100.00%	3.93	0.969	4.02	0.431

【学部生・学年別】

	回答者ベース								
	5	4	3	2	1	0	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない	読まなかった			
学部1年	4,349 16.33%	4,664 17.51%	4,918 18.46%	718 2.70%	331 1.24%	11,658 43.76%	26,638 100.00%	3.80	0.984
学部2年	3,513 19.73%	3,799 21.34%	3,319 18.64%	394 2.21%	232 1.30%	6,545 36.77%	17,802 100.00%	3.89	0.959
学部3年	3,273 28.62%	2,646 23.14%	1,843 16.11%	239 2.09%	115 1.01%	3,321 29.04%	11,437 100.00%	4.07	0.933
学部4年	1,640 38.64%	937 22.08%	581 13.69%	66 1.56%	32 0.75%	988 23.28%	4,244 100.00%	4.26	0.887

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース									科目ベース	
	5	4	3	2	1	0	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない	読まなかった					
25名以下	3,413 31.65%	2,183 20.24%	1,324 12.28%	174 1.61%	72 0.67%	3,619 33.56%	10,785 100.00%	4.21	0.896	4.20	0.437
26～50名	3,241 22.84%	2,702 19.04%	2,120 14.94%	279 1.97%	121 0.85%	5,726 40.36%	14,189 100.00%	4.02	0.945	4.00	0.384
51～100名	2,962 18.43%	3,066 19.08%	2,856 17.77%	358 2.23%	203 1.26%	6,623 41.22%	16,068 100.00%	3.87	0.972	3.84	0.384
101～200名	1,965 18.07%	2,477 22.78%	2,268 20.86%	312 2.87%	187 1.72%	3,664 33.70%	10,873 100.00%	3.79	0.975	3.80	0.298
201名以上	2,229 18.42%	2,509 20.73%	2,751 22.73%	393 3.25%	179 1.48%	4,042 33.40%	12,103 100.00%	3.77	0.980	3.76	0.338
合計	13,810 21.57%	12,937 20.21%	11,319 17.68%	1,516 2.37%	762 1.19%	23,674 36.98%	64,018 100.00%	3.93	0.969	4.02	0.431

Q11　総合的に見てこの授業は高く評価できる

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
計セ	講義	1,002 27.03%	1,372 37.01%	928 25.03%	246 6.64%	159 4.29%	3,707 100.00%	3.76	1.056	3.80	0.480
外セ	語学	4,396 45.49%	3,635 37.62%	1,257 13.01%	255 2.64%	120 1.24%	9,663 100.00%	4.23	0.864	4.26	0.407
スポ健	演習	1,214 69.81%	406 23.35%	100 5.75%	15 0.86%	4 0.23%	1,739 100.00%	4.62	0.657	4.67	0.288
基礎教養	講義	2,018 40.05%	2,022 40.13%	796 15.80%	149 2.96%	54 1.07%	5,039 100.00%	4.15	0.866	4.17	0.396
	演習	7 26.92%	10 38.46%	8 30.77%	0 0.00%	1 3.85%	26 100.00%	3.85	0.967	3.85	–
	計	2,025 39.98%	2,032 40.12%	804 15.87%	149 2.94%	55 1.09%	5,065 100.00%	4.15	0.867	4.16	0.395
法学部	講義	2,686 33.86%	3,106 39.15%	1,637 20.64%	357 4.50%	147 1.85%	7,933 100.00%	3.99	0.944	4.08	0.444
	演習	1,062 66.13%	418 26.03%	108 6.72%	12 0.75%	6 0.37%	1,606 100.00%	4.57	0.685	4.61	0.295
	計	3,748 39.29%	3,524 36.94%	1,745 18.29%	369 3.87%	153 1.60%	9,539 100.00%	4.08	0.932	4.31	0.470
経済学部	講義	2,607 35.65%	2,680 36.65%	1,472 20.13%	368 5.03%	186 2.54%	7,313 100.00%	3.98	0.994	4.04	0.492
	演習	1,016 68.10%	380 25.47%	81 5.43%	11 0.74%	4 0.27%	1,492 100.00%	4.60	0.652	4.60	0.343
	計	3,623 41.15%	3,060 34.75%	1,553 17.64%	379 4.30%	190 2.16%	8,805 100.00%	4.08	0.973	4.29	0.516
文学部	講義	3,047 39.58%	2,989 38.83%	1,292 16.78%	249 3.23%	121 1.57%	7,698 100.00%	4.12	0.906	4.24	0.414
	演習	3,316 54.05%	2,089 34.05%	579 9.44%	105 1.71%	46 0.75%	6,135 100.00%	4.39	0.787	4.42	0.400
	計	6,363 46.00%	5,078 36.71%	1,871 13.53%	354 2.56%	167 1.21%	13,833 100.00%	4.24	0.866	4.35	0.414
理学部	講義	1,608 31.21%	1,966 38.16%	1,159 22.50%	252 4.89%	167 3.24%	5,152 100.00%	3.89	1.006	3.91	0.474
	演習	836 45.19%	668 36.11%	270 14.59%	39 2.11%	37 2.00%	1,850 100.00%	4.20	0.906	4.16	0.454
	計	2,444 34.90%	2,634 37.62%	1,429 20.41%	291 4.16%	204 2.91%	7,002 100.00%	3.97	0.990	3.98	0.480
教職課程	講義	548 40.74%	496 36.88%	227 16.88%	55 4.09%	19 1.41%	1,345 100.00%	4.11	0.924	4.29	0.391
	演習	1,107 58.57%	547 28.94%	159 8.41%	40 2.12%	37 1.96%	1,890 100.00%	4.40	0.878	4.43	0.348
	計	1,655 51.16%	1,043 32.24%	386 11.93%	95 2.94%	56 1.73%	3,235 100.00%	4.28	0.908	4.37	0.371
学芸員	講義	329 38.52%	381 44.61%	120 14.05%	18 2.11%	6 0.70%	854 100.00%	4.18	0.801	4.21	0.152
	演習	104 85.95%	15 12.40%	2 1.65%	0 0.00%	0 0.00%	121 100.00%	4.84	0.408	4.82	0.214
	計	433 44.41%	396 40.62%	122 12.51%	18 1.85%	6 0.62%	975 100.00%	4.26	0.793	4.45	0.349
合計		26,903 42.32%	23,180 36.47%	10,195 16.04%	2,171 3.42%	1,114 1.75%	63,563 100.00%	4.14	0.926	4.27	0.464

【形態別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別平均	部門別標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
講義	13,845 35.46%	15,012 38.45%	7,631 19.55%	1,694 4.34%	859 2.20%	39,041 100.00%	4.01	0.960	4.07	0.466
演習	8,662 58.29%	4,533 30.51%	1,307 8.80%	222 1.49%	135 0.91%	14,859 100.00%	4.44	0.788	4.50	0.388
語学	4,396 45.49%	3,635 37.62%	1,257 13.01%	255 2.64%	120 1.24%	9,663 100.00%	4.23	0.864	4.26	0.407
合計	26,903 42.32%	23,180 36.47%	10,195 16.04%	2,171 3.42%	1,114 1.75%	63,563 100.00%	4.14	0.926	4.27	0.464

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない			
学部1年	9,789 36.96%	9,970 37.65%	5,056 19.09%	1,125 4.25%	542 2.05%	26,482 100.00%	4.03	0.956
学部2年	7,010 39.64%	6,889 38.95%	2,841 16.06%	606 3.43%	339 1.92%	17,685 100.00%	4.11	0.924
学部3年	5,732 50.49%	3,908 34.42%	1,328 11.70%	263 2.32%	122 1.07%	11,353 100.00%	4.31	0.846
学部4年	2,590 61.70%	1,156 27.54%	349 8.31%	66 1.57%	37 0.88%	4,198 100.00%	4.48	0.785

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
25名以下	6,344 59.37%	3,263 30.54%	823 7.70%	170 1.59%	86 0.80%	10,686 100.00%	4.46	0.771	4.48	0.406
26～50名	6,801 48.22%	5,030 35.67%	1,777 12.60%	341 2.42%	154 1.09%	14,103 100.00%	4.28	0.853	4.28	0.405
51～100名	5,956 37.29%	6,026 37.73%	2,962 18.55%	636 3.98%	391 2.45%	15,971 100.00%	4.03	0.968	4.03	0.468
101～200名	3,756 34.78%	4,178 38.69%	2,153 19.94%	458 4.24%	254 2.35%	10,799 100.00%	3.99	0.964	4.01	0.411
201名以上	4,046 33.71%	4,683 39.01%	2,480 20.66%	566 4.72%	229 1.91%	12,004 100.00%	3.98	0.951	3.94	0.415
合計	26,903 42.32%	23,180 36.47%	10,195 16.04%	2,171 3.42%	1,114 1.75%	63,563 100.00%	4.14	0.926	4.27	0.464

Q12　板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
計セ	講義	1,295 36.28%	1,282 35.92%	739 20.71%	172 4.82%	81 2.27%	3,569 100.00%	3.99	0.983	3.99	0.400
外セ	語学	3,888 40.98%	3,544 37.35%	1,663 17.53%	303 3.19%	90 0.95%	9,488 100.00%	4.14	0.882	4.16	0.384
基礎教養	講義	1,861 38.15%	1,847 37.86%	851 17.45%	252 5.17%	67 1.37%	4,878 100.00%	4.06	0.939	4.09	0.413
法学部	講義	2,362 30.50%	2,472 31.93%	1,849 23.88%	727 9.39%	333 4.30%	7,743 100.00%	3.75	1.115	3.88	0.510
経済学部	講義	2,600 36.84%	2,398 33.98%	1,352 19.16%	488 6.92%	219 3.10%	7,057 100.00%	3.95	1.055	3.98	0.499
文学部	講義	2,658 35.07%	2,815 37.14%	1,458 19.23%	506 6.68%	143 1.89%	7,580 100.00%	3.97	0.989	4.05	0.437
理学部	講義	1,676 33.24%	1,698 33.68%	1,042 20.67%	418 8.29%	208 4.13%	5,042 100.00%	3.84	1.102	3.83	0.542
教職課程	講義	509 39.03%	417 31.98%	242 18.56%	88 6.75%	48 3.68%	1,304 100.00%	3.96	1.085	4.10	0.514
学芸員	講義	310 36.34%	341 39.98%	153 17.94%	44 5.16%	5 0.59%	853 100.00%	4.06	0.894	4.10	0.356
合計		17,159 36.11%	16,814 35.39%	9,349 19.68%	2,998 6.31%	1,194 2.51%	47,514 100.00%	3.96	1.017	4.05	0.456

【形態別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
講義	13,271 34.90%	13,270 34.90%	7,686 20.21%	2,695 7.09%	1,104 2.90%	38,026 100.00%	3.92	1.044	3.97	0.481
語学	3,888 40.98%	3,544 37.35%	1,663 17.53%	303 3.19%	90 0.95%	9,488 100.00%	4.14	0.882	4.16	0.384
合計	17,159 36.11%	16,814 35.39%	9,349 19.68%	2,998 6.31%	1,194 2.51%	47,514 100.00%	3.96	1.017	4.05	0.456

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない			
学部1年	7,647 34.94%	7,860 35.91%	4,508 20.59%	1,330 6.08%	544 2.49%	21,889 100.00%	3.95	1.010
学部2年	4,580 33.60%	4,946 36.28%	2,728 20.01%	967 7.09%	410 3.01%	13,631 100.00%	3.90	1.040
学部3年	2,889 40.92%	2,400 33.99%	1,221 17.29%	421 5.96%	129 1.83%	7,060 100.00%	4.06	0.991
学部4年	1,024 45.09%	710 31.26%	374 16.47%	117 5.15%	46 2.03%	2,271 100.00%	4.12	0.995

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
25名以下	1,794 45.13%	1,442 36.28%	589 14.82%	113 2.84%	37 0.93%	3,975 100.00%	4.22	0.866	4.23	0.407
26～50名	3,678 40.00%	3,382 36.78%	1,678 18.25%	349 3.80%	107 1.16%	9,194 100.00%	4.11	0.910	4.10	0.404
51～100名	4,574 35.97%	4,455 35.03%	2,479 19.50%	866 6.81%	342 2.69%	12,716 100.00%	3.95	1.033	3.94	0.484
101～200名	3,341 32.90%	3,606 35.51%	2,167 21.34%	745 7.34%	297 2.92%	10,156 100.00%	3.88	1.042	3.89	0.445
201名以上	3,772 32.88%	3,929 34.25%	2,436 21.23%	925 8.06%	411 3.58%	11,473 100.00%	3.85	1.078	3.84	0.464
合計	17,159 36.11%	16,814 35.39%	9,349 19.68%	2,998 6.31%	1,194 2.51%	47,514 100.00%	3.96	1.017	4.05	0.456

Q13　教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
計セ	講義	1,282 36.08%	1,328 37.38%	723 20.35%	146 4.11%	74 2.08%	3,553 100.00%	4.01	0.957	4.01	0.363
外セ	語学	4,147 43.75%	3,601 37.99%	1,372 14.47%	259 2.73%	100 1.05%	9,479 100.00%	4.21	0.863	4.23	0.363
基礎教養	講義	1,939 39.83%	1,923 39.50%	808 16.60%	139 2.86%	59 1.21%	4,868 100.00%	4.14	0.877	4.17	0.364
法学部	講義	2,614 33.85%	2,667 34.54%	1,827 23.66%	417 5.40%	197 2.55%	7,722 100.00%	3.92	1.007	4.03	0.406
経済学部	講義	2,608 37.06%	2,483 35.28%	1,390 19.75%	391 5.56%	165 2.34%	7,037 100.00%	3.99	1.001	4.03	0.442
文学部	講義	2,981 39.49%	2,874 38.07%	1,316 17.43%	271 3.59%	107 1.42%	7,549 100.00%	4.11	0.911	4.19	0.394
理学部	講義	1,689 33.61%	1,748 34.79%	1,177 23.42%	250 4.98%	161 3.20%	5,025 100.00%	3.91	1.024	3.91	0.442
教職課程	講義	548 42.02%	488 37.42%	201 15.41%	42 3.22%	25 1.92%	1,304 100.00%	4.14	0.925	4.26	0.373
学芸員	講義	303 35.73%	351 41.39%	171 20.17%	17 2.00%	6 0.71%	848 100.00%	4.09	0.834	4.12	0.228
合計		18,111 38.22%	17,463 36.85%	8,985 18.96%	1,932 4.08%	894 1.89%	47,385 100.00%	4.05	0.950	4.13	0.403

【形態別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
講義	13,964 36.84%	13,862 36.57%	7,613 20.08%	1,673 4.41%	794 2.09%	37,906 100.00%	4.02	0.966	4.07	0.414
語学	4,147 43.75%	3,601 37.99%	1,372 14.47%	259 2.73%	100 1.05%	9,479 100.00%	4.21	0.863	4.23	0.363
合計	18,111 38.22%	17,463 36.85%	8,985 18.96%	1,932 4.08%	894 1.89%	47,385 100.00%	4.05	0.950	4.13	0.403

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない			
学部1年	7,967 36.51%	8,218 37.66%	4,358 19.97%	896 4.11%	385 1.76%	21,824 100.00%	4.03	0.942
学部2年	4,926 36.22%	5,184 38.11%	2,566 18.87%	609 4.48%	316 2.32%	13,601 100.00%	4.01	0.969
学部3年	3,041 43.17%	2,456 34.87%	1,187 16.85%	250 3.55%	110 1.56%	7,044 100.00%	4.15	0.928
学部4年	1,100 48.52%	721 31.80%	343 15.13%	73 3.22%	30 1.32%	2,267 100.00%	4.23	0.912

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
25名以下	1,921 48.38%	1,431 36.04%	499 12.57%	88 2.22%	32 0.81%	3,971 100.00%	4.29	0.829	4.30	0.385
26～50名	3,899 42.49%	3,474 37.86%	1,397 15.22%	305 3.32%	101 1.10%	9,176 100.00%	4.17	0.883	4.17	0.367
51～100名	4,761 37.57%	4,624 36.49%	2,507 19.79%	503 3.97%	276 2.18%	12,671 100.00%	4.03	0.963	4.04	0.408
101～200名	3,578 35.33%	3,803 37.55%	2,080 20.54%	443 4.37%	224 2.21%	10,128 100.00%	3.99	0.966	4.00	0.366
201名以上	3,952 34.55%	4,131 36.11%	2,502 21.87%	593 5.18%	261 2.28%	11,439 100.00%	3.95	0.987	3.95	0.393
合計	18,111 38.22%	17,463 36.85%	8,985 18.96%	1,932 4.08%	894 1.89%	47,385 100.00%	4.05	0.950	4.13	0.403

Q14　教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
外セ	語学	4,215 46.33%	3,138 34.49%	1,382 15.19%	241 2.65%	121 1.33%	9,097 100.00%	4.22	0.891	4.25	0.400
スポ健	演習	623 52.18%	309 25.88%	230 19.26%	22 1.84%	10 0.84%	1,194 100.00%	4.27	0.890	4.35	0.455
基礎教養	演習	6 26.09%	2 8.70%	11 47.83%	2 8.70%	2 8.70%	23 100.00%	3.35	1.229	3.35	–
法学部	演習	980 64.64%	377 24.87%	119 7.85%	33 2.18%	7 0.46%	1,516 100.00%	4.51	0.770	4.52	0.408
経済学部	演習	928 65.77%	353 25.02%	112 7.94%	13 0.92%	5 0.35%	1,411 100.00%	4.55	0.710	4.54	0.390
文学部	演習	3,225 53.45%	2,015 33.39%	658 10.90%	96 1.59%	40 0.66%	6,034 100.00%	4.37	0.792	4.41	0.385
理学部	演習	743 42.17%	596 33.83%	343 19.47%	38 2.16%	42 2.38%	1,762 100.00%	4.11	0.951	4.10	0.384
教職課程	演習	980 55.37%	512 28.93%	211 11.92%	44 2.49%	23 1.30%	1,770 100.00%	4.35	0.878	4.34	0.592
学芸員	演習	93 78.81%	19 16.10%	5 4.24%	1 0.85%	0 0.00%	118 100.00%	4.73	0.580	4.71	0.328
合計		11,793 51.44%	7,321 31.93%	3,071 13.40%	490 2.14%	250 1.09%	22,925 100.00%	4.30	0.860	4.35	0.427

【形態別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
演習	7,578 54.80%	4,183 30.25%	1,689 12.21%	249 1.80%	129 0.93%	13,828 100.00%	4.36	0.834	4.42	0.430
語学	4,215 46.33%	3,138 34.49%	1,382 15.19%	241 2.65%	121 1.33%	9,097 100.00%	4.22	0.891	4.25	0.400
合計	11,793 51.44%	7,321 31.93%	3,071 13.40%	490 2.14%	250 1.09%	22,925 100.00%	4.30	0.860	4.35	0.427

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない			
学部1年	3,921 44.93%	2,955 33.86%	1,483 16.99%	240 2.75%	128 1.47%	8,727 100.00%	4.18	0.910
学部2年	3,065 48.53%	2,216 35.09%	841 13.32%	126 1.99%	68 1.08%	6,316 100.00%	4.28	0.847
学部3年	2,558 57.51%	1,326 29.81%	452 10.16%	76 1.71%	36 0.81%	4,448 100.00%	4.42	0.804
学部4年	1,464 72.26%	433 21.37%	112 5.53%	13 0.64%	4 0.20%	2,026 100.00%	4.65	0.633

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
25名以下	5,392 58.97%	2,637 28.84%	897 9.81%	150 1.64%	67 0.73%	9,143 100.00%	4.44	0.793	4.45	0.411
26～50名	4,933 47.28%	3,547 34.00%	1,600 15.34%	239 2.29%	114 1.09%	10,433 100.00%	4.24	0.871	4.24	0.378
51～100名	1,183 42.94%	955 34.66%	481 17.46%	81 2.94%	55 2.00%	2,755 100.00%	4.14	0.940	4.04	0.560
101～200名	169 42.36%	129 32.33%	70 17.54%	17 4.26%	14 3.51%	399 100.00%	4.06	1.041	4.09	0.521
201名以上	116 59.49%	53 27.18%	23 11.79%	3 1.54%	0 0.00%	195 100.00%	4.45	0.760	4.45	–
合計	11,793 51.44%	7,321 31.93%	3,071 13.40%	490 2.14%	250 1.09%	22,925 100.00%	4.30	0.860	4.35	0.427

Q15　教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
外セ	語学	4,160 45.76%	3,243 35.68%	1,353 14.88%	230 2.53%	104 1.14%	9,090 100.00%	4.22	0.872	4.25	0.395
スポ健	演習	727 61.14%	306 25.74%	138 11.61%	13 1.09%	5 0.42%	1,189 100.00%	4.46	0.773	4.52	0.390
基礎教養	演習	6 25.00%	8 33.33%	6 25.00%	3 12.50%	1 4.17%	24 100.00%	3.63	1.135	3.63	–
法学部	演習	939 61.94%	377 24.87%	166 10.95%	26 1.72%	8 0.53%	1,516 100.00%	4.46	0.796	4.48	0.388
経済学部	演習	909 64.79%	366 26.09%	111 7.91%	12 0.86%	5 0.36%	1,403 100.00%	4.54	0.708	4.56	0.339
文学部	演習	3,239 53.80%	1,958 32.52%	682 11.33%	101 1.68%	41 0.68%	6,021 100.00%	4.37	0.801	4.41	0.368
理学部	演習	872 49.57%	578 32.86%	260 14.78%	26 1.48%	23 1.31%	1,759 100.00%	4.28	0.862	4.27	0.345
教職課程	演習	897 50.74%	583 32.98%	216 12.22%	40 2.26%	32 1.81%	1,768 100.00%	4.29	0.895	4.37	0.343
学芸員	演習	98 83.05%	18 15.25%	2 1.69%	0 0.00%	0 0.00%	118 100.00%	4.81	0.433	4.80	0.195
合計		11,847 51.76%	7,437 32.49%	2,934 12.82%	451 1.97%	219 0.96%	22,888 100.00%	4.32	0.841	4.37	0.395

【形態別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
演習	7,687 55.71%	4,194 30.40%	1,581 11.46%	221 1.60%	115 0.83%	13,798 100.00%	4.39	0.814	4.45	0.375
語学	4,160 45.76%	3,243 35.68%	1,353 14.88%	230 2.53%	104 1.14%	9,090 100.00%	4.22	0.872	4.25	0.395
合計	11,847 51.76%	7,437 32.49%	2,934 12.82%	451 1.97%	219 0.96%	22,888 100.00%	4.32	0.841	4.37	0.395

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない			
学部1年	3,859 44.31%	3,081 35.37%	1,441 16.54%	224 2.57%	105 1.21%	8,710 100.00%	4.19	0.885
学部2年	3,106 49.18%	2,240 35.47%	780 12.35%	119 1.88%	70 1.11%	6,315 100.00%	4.30	0.838
学部3年	2,663 60.00%	1,274 28.71%	412 9.28%	59 1.33%	30 0.68%	4,438 100.00%	4.46	0.771
学部4年	1,458 72.07%	430 21.26%	113 5.59%	18 0.89%	4 0.20%	2,023 100.00%	4.64	0.647

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
25名以下	5,358 58.68%	2,704 29.61%	878 9.62%	126 1.38%	65 0.71%	9,131 100.00%	4.44	0.779	4.46	0.386
26～50名	4,930 47.34%	3,593 34.50%	1,546 14.85%	242 2.32%	102 0.98%	10,413 100.00%	4.25	0.861	4.25	0.377
51～100名	1,310 47.62%	950 34.53%	399 14.50%	59 2.14%	33 1.20%	2,751 100.00%	4.25	0.867	4.23	0.350
101～200名	142 35.50%	132 33.00%	83 20.75%	24 6.00%	19 4.75%	400 100.00%	3.89	1.104	3.97	0.475
201名以上	107 55.44%	58 30.05%	28 14.51%	0 0.00%	0 0.00%	193 100.00%	4.41	0.731	4.41	–
合計	11,847 51.76%	7,437 32.49%	2,934 12.82%	451 1.97%	219 0.96%	22,888 100.00%	4.32	0.841	4.37	0.395

Q16　1回1回の授業のねらいが明確である

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
外セ	語学	3,752 42.65%	3,146 35.76%	1,477 16.79%	307 3.49%	116 1.32%	8,798 100.00%	4.15	0.911	4.17	0.389
合計		3,752 42.65%	3,146 35.76%	1,477 16.79%	307 3.49%	116 1.32%	8,798 100.00%	4.15	0.911	4.17	0.389

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない			
学部1年	2,085 41.48%	1,777 35.35%	913 18.16%	176 3.50%	76 1.51%	5,027 100.00%	4.12	0.927
学部2年	1,130 42.43%	988 37.10%	413 15.51%	103 3.87%	29 1.09%	2,663 100.00%	4.16	0.898
学部3年	245 51.26%	163 34.10%	58 12.13%	10 2.09%	2 0.42%	478 100.00%	4.34	0.802
学部4年	128 60.09%	63 29.58%	16 7.51%	2 0.94%	4 1.88%	213 100.00%	4.45	0.826

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
25名以下	1,315 46.61%	996 35.31%	418 14.82%	69 2.45%	23 0.82%	2,821 100.00%	4.24	0.852	4.25	0.374
26～50名	2,437 40.77%	2,150 35.97%	1,059 17.72%	238 3.98%	93 1.56%	5,977 100.00%	4.10	0.935	4.10	0.389
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
合計	3,752 42.65%	3,146 35.76%	1,477 16.79%	307 3.49%	116 1.32%	8,798 100.00%	4.15	0.911	4.17	0.389

Q17　教員は授業時間を有効に活用している

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
外セ	語学	4,098 46.69%	3,169 36.11%	1,151 13.11%	258 2.94%	101 1.15%	8,777 100.00%	4.24	0.872	4.26	0.370
合計		4,098 46.69%	3,169 36.11%	1,151 13.11%	258 2.94%	101 1.15%	8,777 100.00%	4.24	0.872	4.26	0.370

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない			
学部1年	2,282 45.54%	1,816 36.24%	697 13.91%	152 3.03%	64 1.28%	5,011 100.00%	4.22	0.885
学部2年	1,232 46.28%	998 37.49%	327 12.28%	78 2.93%	27 1.01%	2,662 100.00%	4.25	0.855
学部3年	262 54.93%	159 33.33%	41 8.60%	13 2.73%	2 0.42%	477 100.00%	4.40	0.791
学部4年	141 66.82%	49 23.22%	15 7.11%	3 1.42%	3 1.42%	211 100.00%	4.53	0.807

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
25名以下	1,435 50.94%	967 34.33%	335 11.89%	52 1.85%	28 0.99%	2,817 100.00%	4.32	0.829	4.33	0.365
26～50名	2,663 44.68%	2,202 36.95%	816 13.69%	206 3.46%	73 1.22%	5,960 100.00%	4.20	0.889	4.20	0.364
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
合計	4,098 46.69%	3,169 36.11%	1,151 13.11%	258 2.94%	101 1.15%	8,777 100.00%	4.24	0.872	4.26	0.370

Q18　授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
基礎教養	講義	1,382 49.89%	1,035 37.36%	281 10.14%	52 1.88%	20 0.72%	2,770 100.00%	4.34	0.791	4.26	0.428
	演習	7 43.75%	6 37.50%	3 18.75%	0 0.00%	0 0.00%	16 100.00%	4.25	0.775	4.25	－
合計		1,389 49.86%	1,041 37.37%	284 10.19%	52 1.87%	20 0.72%	2,786 100.00%	4.34	0.791	4.26	0.426

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない			
学部1年	908 48.07%	716 37.90%	219 11.59%	32 1.69%	14 0.74%	1,889 100.00%	4.31	0.798
学部2年	207 50.74%	158 38.73%	28 6.86%	11 2.70%	4 0.98%	408 100.00%	4.36	0.805
学部3年	142 57.96%	80 32.65%	17 6.94%	5 2.04%	1 0.41%	245 100.00%	4.46	0.749
学部4年	50 52.08%	37 38.54%	6 6.25%	3 3.13%	0 0.00%	96 100.00%	4.40	0.747

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
25名以下	20 55.56%	8 22.22%	6 16.67%	0 0.00%	2 5.56%	36 100.00%	4.22	1.098	4.24	0.883
26～50名	121 66.85%	44 24.31%	8 4.42%	8 4.42%	0 0.00%	181 100.00%	4.54	0.778	4.39	0.477
51～100名	230 46.37%	199 40.12%	49 9.88%	14 2.82%	4 0.81%	496 100.00%	4.28	0.818	4.21	0.449
101～200名	510 43.74%	471 40.39%	146 12.52%	26 2.23%	13 1.11%	1,166 100.00%	4.23	0.835	4.22	0.330
201名以上	508 56.01%	319 35.17%	75 8.27%	4 0.44%	1 0.11%	907 100.00%	4.47	0.674	4.33	0.294
合計	1,389 49.86%	1,041 37.37%	284 10.19%	52 1.87%	20 0.72%	2,786 100.00%	4.34	0.791	4.26	0.426

Q19　授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
基礎教養	講義	554 42.39%	524 40.09%	176 13.47%	39 2.98%	14 1.07%	1,307 100.00%	4.20	0.858	4.23	0.526
	演習	5 41.67%	5 41.67%	2 16.67%	0 0.00%	0 0.00%	12 100.00%	4.25	0.754	4.25	－
合計		559 42.38%	529 40.11%	178 13.50%	39 2.96%	14 1.06%	1,319 100.00%	4.20	0.857	4.23	0.523

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない			
学部1年	365 41.29%	354 40.05%	130 14.71%	27 3.05%	8 0.90%	884 100.00%	4.18	0.856
学部2年	90 45.23%	78 39.20%	23 11.56%	4 2.01%	4 2.01%	199 100.00%	4.24	0.882
学部3年	53 48.18%	40 36.36%	12 10.91%	4 3.64%	1 0.91%	110 100.00%	4.27	0.866
学部4年	17 41.46%	20 48.78%	4 9.76%	0 0.00%	0 0.00%	41 100.00%	4.32	0.650

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
25名以下	6 50.00%	6 50.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	12 100.00%	4.50	0.522	4.67	0.385
26～50名	41 61.19%	19 28.36%	6 8.96%	1 1.49%	0 0.00%	67 100.00%	4.49	0.726	4.47	0.597
51～100名	114 42.22%	110 40.74%	32 11.85%	11 4.07%	3 1.11%	270 100.00%	4.19	0.878	4.22	0.483
101～200名	213 37.50%	234 41.20%	89 15.67%	22 3.87%	10 1.76%	568 100.00%	4.09	0.916	4.11	0.539
201名以上	185 46.02%	160 39.80%	51 12.69%	5 1.24%	1 0.25%	402 100.00%	4.30	0.755	4.17	0.424
合計	559 42.38%	529 40.11%	178 13.50%	39 2.96%	14 1.06%	1,319 100.00%	4.20	0.857	4.23	0.523

Q20　私は授業に遅刻したことがない

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
経済学部	講義	2,239 39.47%	1,202 21.19%	912 16.08%	681 12.00%	639 11.26%	5,673 100.00%	3.66	1.390	3.66	0.506
	演習	670 59.87%	209 18.68%	98 8.76%	57 5.09%	85 7.60%	1,119 100.00%	4.18	1.242	4.13	0.562
合計		2,909 42.83%	1,411 20.77%	1,010 14.87%	738 10.87%	724 10.66%	6,792 100.00%	3.74	1.380	3.87	0.580

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない			
学部1年	1,032 49.10%	415 19.74%	262 12.46%	195 9.28%	198 9.42%	2,102 100.00%	3.90	1.351
学部2年	893 44.38%	393 19.53%	262 13.02%	224 11.13%	240 11.93%	2,012 100.00%	3.73	1.422
学部3年	676 39.72%	372 21.86%	294 17.27%	190 11.16%	170 9.99%	1,702 100.00%	3.70	1.352
学部4年	191 29.25%	159 24.35%	133 20.37%	88 13.48%	82 12.56%	653 100.00%	3.44	1.363

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
25名以下	677 59.60%	209 18.40%	105 9.24%	61 5.37%	84 7.39%	1,136 100.00%	4.17	1.241	4.13	0.562
26～50名	128 45.88%	65 23.30%	36 12.90%	26 9.32%	24 8.60%	279 100.00%	3.89	1.314	3.75	0.624
51～100名	224 36.78%	139 22.82%	93 15.27%	82 13.46%	71 11.66%	609 100.00%	3.60	1.396	3.53	0.549
101～200名	667 45.19%	292 19.78%	218 14.77%	161 10.91%	138 9.35%	1,476 100.00%	3.81	1.357	3.75	0.504
201名以上	1,213 36.85%	706 21.45%	558 16.95%	408 12.39%	407 12.36%	3,292 100.00%	3.58	1.404	3.57	0.385
合計	2,909 42.83%	1,411 20.77%	1,010 14.87%	738 10.87%	724 10.66%	6,792 100.00%	3.74	1.380	3.87	0.580

Q21　高校で履修した数学科目

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		－	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲを履修した	数Ⅰ・数Ⅱのみ履修した	数Ⅰのみ履修した	いずれにも該当しない（例：留学生）					
経済学部	講義	－ －	744 13.27%	3,989 71.14%	594 10.59%	280 4.99%	5,607 100.00%	－	－	－	－
	演習	－ －	179 16.48%	762 70.17%	104 9.58%	41 3.78%	1,086 100.00%	－	－	－	－
合計		－ －	923 13.79%	4,751 70.98%	698 10.43%	321 4.80%	6,693 100.00%	－	－	－	－

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	－	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲを履修した	数Ⅰ・数Ⅱのみ履修した	数Ⅰのみ履修した	いずれにも該当しない（例：留学生）			
学部1年	－ －	244 11.75%	1,496 72.03%	229 11.03%	108 5.20%	2,077 100.00%	－	－
学部2年	－ －	247 12.35%	1,498 74.90%	210 10.50%	45 2.25%	2,000 100.00%	－	－
学部3年	－ －	299 17.88%	1,136 67.94%	145 8.67%	92 5.50%	1,672 100.00%	－	－
学部4年	－ －	86 13.48%	426 66.77%	75 11.76%	51 7.99%	638 100.00%	－	－

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	－	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲを履修した	数Ⅰ・数Ⅱのみ履修した	数Ⅰのみ履修した	いずれにも該当しない（例：留学生）					
25名以下	－ －	209 18.88%	750 67.75%	106 9.58%	42 3.79%	1,107 100.00%	－	－	－	－
26～50名	－ －	32 11.90%	189 70.26%	30 11.15%	18 6.69%	269 100.00%	－	－	－	－
51～100名	－ －	86 14.43%	416 69.80%	54 9.06%	40 6.71%	596 100.00%	－	－	－	－
101～200名	－ －	207 14.08%	1,020 69.39%	165 11.22%	78 5.31%	1,470 100.00%	－	－	－	－
201名以上	－ －	389 11.97%	2,376 73.09%	343 10.55%	143 4.40%	3,251 100.00%	－	－	－	－
合計	－ －	923 13.79%	4,751 70.98%	698 10.43%	321 4.80%	6,693 100.00%	－	－	－	－

Q22　運動量は

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5 十分であった	4 おおむね十分であった	3 どちらとも言えない	2 やや不足していた	1 不十分であった	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
スポ健	演習	1,009 61.90%	488 29.94%	95 5.83%	30 1.84%	8 0.49%	1,630 100.00%	4.51	0.732	4.56	0.271
合計		1,009 61.90%	488 29.94%	95 5.83%	30 1.84%	8 0.49%	1,630 100.00%	4.51	0.732	4.56	0.271

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5 十分であった	4 おおむね十分であった	3 どちらとも言えない	2 やや不足していた	1 不十分であった	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
学部1年	481 55.10%	302 34.59%	64 7.33%	22 2.52%	4 0.46%	873 100.00%	4.41	0.772
学部2年	195 63.73%	85 27.78%	20 6.54%	3 0.98%	3 0.98%	306 100.00%	4.52	0.747
学部3年	132 71.35%	45 24.32%	6 3.24%	2 1.08%	0 0.00%	185 100.00%	4.66	0.597
学部4年	136 83.44%	24 14.72%	2 1.23%	1 0.61%	0 0.00%	163 100.00%	4.81	0.466

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5 十分であった	4 おおむね十分であった	3 どちらとも言えない	2 やや不足していた	1 不十分であった	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
25名以下	527 72.39%	163 22.39%	29 3.98%	7 0.96%	2 0.27%	728 100.00%	4.66	0.630	4.66	0.214
26～50名	482 53.44%	325 36.03%	66 7.32%	23 2.55%	6 0.67%	902 100.00%	4.39	0.786	4.41	0.278
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
合計	1,009 61.90%	488 29.94%	95 5.83%	30 1.84%	8 0.49%	1,630 100.00%	4.51	0.732	4.56	0.271

Q23　体力・健康状態が改善された

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
スポ健	演習	823 50.27%	503 30.73%	270 16.49%	34 2.08%	7 0.43%	1,637 100.00%	4.28	0.842	4.37	0.404
合計		823 50.27%	503 30.73%	270 16.49%	34 2.08%	7 0.43%	1,637 100.00%	4.28	0.842	4.37	0.404

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない			
学部1年	367 41.94%	293 33.49%	186 21.26%	25 2.86%	4 0.46%	875 100.00%	4.14	0.877
学部2年	165 53.75%	101 32.90%	35 11.40%	5 1.63%	1 0.33%	307 100.00%	4.38	0.776
学部3年	125 67.20%	38 20.43%	21 11.29%	2 1.08%	0 0.00%	186 100.00%	4.54	0.736
学部4年	114 69.51%	39 23.78%	10 6.10%	1 0.61%	0 0.00%	164 100.00%	4.62	0.629

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
25名以下	451 61.70%	186 25.44%	85 11.63%	8 1.09%	1 0.14%	731 100.00%	4.47	0.752	4.52	0.368
26～50名	372 41.06%	317 34.99%	185 20.42%	26 2.87%	6 0.66%	906 100.00%	4.13	0.879	4.15	0.361
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
合計	823 50.27%	503 30.73%	270 16.49%	34 2.08%	7 0.43%	1,637 100.00%	4.28	0.842	4.37	0.404

Q24　運動技術が向上した

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
スポ健	演習	834 50.98%	513 31.36%	240 14.67%	36 2.20%	13 0.79%	1,636 100.00%	4.30	0.854	4.38	0.383
合計		834 50.98%	513 31.36%	240 14.67%	36 2.20%	13 0.79%	1,636 100.00%	4.30	0.854	4.38	0.383

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない			
学部1年	361 41.30%	319 36.50%	159 18.19%	25 2.86%	10 1.14%	874 100.00%	4.14	0.891
学部2年	168 54.72%	95 30.94%	37 12.05%	6 1.95%	1 0.33%	307 100.00%	4.38	0.797
学部3年	126 67.74%	38 20.43%	20 10.75%	2 1.08%	0 0.00%	186 100.00%	4.55	0.728
学部4年	119 72.56%	34 20.73%	11 6.71%	0 0.00%	0 0.00%	164 100.00%	4.66	0.601

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
25名以下	454 62.11%	193 26.40%	70 9.58%	11 1.50%	3 0.41%	731 100.00%	4.48	0.763	4.51	0.339
26～50名	380 41.99%	320 35.36%	170 18.78%	25 2.76%	10 1.10%	905 100.00%	4.14	0.893	4.18	0.366
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
合計	834 50.98%	513 31.36%	240 14.67%	36 2.20%	13 0.79%	1,636 100.00%	4.30	0.854	4.38	0.383

Q25　履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
スポ健	演習	969 59.19%	464 28.34%	175 10.69%	20 1.22%	9 0.55%	1,637 100.00%	4.44	0.775	4.50	0.300
合計		969 59.19%	464 28.34%	175 10.69%	20 1.22%	9 0.55%	1,637 100.00%	4.44	0.775	4.50	0.300

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない			
学部1年	453 51.77%	295 33.71%	111 12.69%	13 1.49%	3 0.34%	875 100.00%	4.35	0.783
学部2年	196 63.84%	69 22.48%	38 12.38%	3 0.98%	1 0.33%	307 100.00%	4.49	0.773
学部3年	131 70.43%	38 20.43%	12 6.45%	3 1.61%	2 1.08%	186 100.00%	4.58	0.776
学部4年	121 73.78%	34 20.73%	7 4.27%	1 0.61%	1 0.61%	164 100.00%	4.66	0.649

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
25名以下	494 67.58%	175 23.94%	55 7.52%	7 0.96%	0 0.00%	731 100.00%	4.58	0.672	4.60	0.281
26～50名	475 52.43%	289 31.90%	120 13.25%	13 1.43%	9 0.99%	906 100.00%	4.33	0.833	4.36	0.275
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
合計	969 59.19%	464 28.34%	175 10.69%	20 1.22%	9 0.55%	1,637 100.00%	4.44	0.775	4.50	0.300

Q26　身体や運動に対する関心が高まった

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
スポ健	演習	894 54.65%	463 28.30%	237 14.49%	30 1.83%	12 0.73%	1,636 100.00%	4.34	0.845	4.43	0.390
合計		894 54.65%	463 28.30%	237 14.49%	30 1.83%	12 0.73%	1,636 100.00%	4.34	0.845	4.43	0.390

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない			
学部1年	398 45.54%	284 32.49%	159 18.19%	24 2.75%	9 1.03%	874 100.00%	4.19	0.898
学部2年	178 57.98%	77 25.08%	46 14.98%	5 1.63%	1 0.33%	307 100.00%	4.39	0.822
学部3年	126 67.74%	46 24.73%	13 6.99%	0 0.00%	1 0.54%	186 100.00%	4.59	0.670
学部4年	126 76.83%	29 17.68%	8 4.88%	1 0.61%	0 0.00%	164 100.00%	4.71	0.586

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
25名以下	480 65.75%	167 22.88%	72 9.86%	8 1.10%	3 0.41%	730 100.00%	4.52	0.750	4.56	0.352
26～50名	414 45.70%	296 32.67%	165 18.21%	22 2.43%	9 0.99%	906 100.00%	4.20	0.888	4.22	0.357
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
合計	894 54.65%	463 28.30%	237 14.49%	30 1.83%	12 0.73%	1,636 100.00%	4.34	0.845	4.43	0.390

Q27　自分の身体の健康、体力の再認識ができた

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
スポ健	演習	972 59.34%	486 29.67%	163 9.95%	12 0.73%	5 0.31%	1,638 100.00%	4.47	0.727	4.53	0.313
合計		972 59.34%	486 29.67%	163 9.95%	12 0.73%	5 0.31%	1,638 100.00%	4.47	0.727	4.53	0.313

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない			
学部1年	449 51.26%	305 34.82%	111 12.67%	9 1.03%	2 0.23%	876 100.00%	4.36	0.757
学部2年	196 63.84%	80 26.06%	27 8.79%	3 0.98%	1 0.33%	307 100.00%	4.52	0.724
学部3年	141 75.81%	34 18.28%	11 5.91%	0 0.00%	0 0.00%	186 100.00%	4.70	0.575
学部4年	119 72.56%	38 23.17%	6 3.66%	0 0.00%	1 0.61%	164 100.00%	4.67	0.608

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
25名以下	499 68.26%	185 25.31%	42 5.75%	4 0.55%	1 0.14%	731 100.00%	4.61	0.634	4.63	0.284
26～50名	473 52.15%	301 33.19%	121 13.34%	8 0.88%	4 0.44%	907 100.00%	4.36	0.776	4.38	0.295
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
合計	972 59.34%	486 29.67%	163 9.95%	12 0.73%	5 0.31%	1,638 100.00%	4.47	0.727	4.53	0.313

Q28　自分の生活習慣を見直す機会となった

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
スポ健	演習	888 54.28%	445 27.20%	242 14.79%	45 2.75%	16 0.98%	1,636 100.00%	4.31	0.890	4.39	0.383
合計		888 54.28%	445 27.20%	242 14.79%	45 2.75%	16 0.98%	1,636 100.00%	4.31	0.890	4.39	0.383

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
学部1年	410 46.80%	271 30.94%	159 18.15%	30 3.42%	6 0.68%	876 100.00%	4.20	0.900
学部2年	177 57.84%	73 23.86%	43 14.05%	8 2.61%	5 1.63%	306 100.00%	4.34	0.927
学部3年	128 68.82%	38 20.43%	15 8.06%	4 2.15%	1 0.54%	186 100.00%	4.55	0.778
学部4年	113 69.33%	38 23.31%	9 5.52%	1 0.61%	2 1.23%	163 100.00%	4.59	0.735

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言えない	2 あまりそう思わない	1 全くそう思わない	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
25名以下	461 63.24%	176 24.14%	72 9.88%	17 2.33%	3 0.41%	729 100.00%	4.47	0.798	4.51	0.359
26～50名	427 47.08%	269 29.66%	170 18.74%	28 3.09%	13 1.43%	907 100.00%	4.18	0.938	4.20	0.341
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
合計	888 54.28%	445 27.20%	242 14.79%	45 2.75%	16 0.98%	1,636 100.00%	4.31	0.890	4.39	0.383

Q29　施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた

【部門別・形態別】

		回答者ベース								科目ベース	
		5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
スポ健	演習	1,120 68.46%	422 25.79%	83 5.07%	9 0.55%	2 0.12%	1,636 100.00%	4.62	0.621	4.67	0.255
合計		1,120 68.46%	422 25.79%	83 5.07%	9 0.55%	2 0.12%	1,636 100.00%	4.62	0.621	4.67	0.255

【学部生・学年別】

	回答者ベース							
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない			
学部1年	554 63.31%	258 29.49%	56 6.40%	7 0.80%	0 0.00%	875 100.00%	4.55	0.651
学部2年	217 70.68%	81 26.38%	9 2.93%	0 0.00%	0 0.00%	307 100.00%	4.68	0.527
学部3年	144 77.42%	30 16.13%	11 5.91%	0 0.00%	1 0.54%	186 100.00%	4.70	0.629
学部4年	135 82.82%	23 14.11%	3 1.84%	2 1.23%	0 0.00%	163 100.00%	4.79	0.530

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース								科目ベース	
	5	4	3	2	1	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない					
25名以下	554 75.99%	149 20.44%	25 3.43%	1 0.14%	0 0.00%	729 100.00%	4.72	0.527	4.75	0.231
26～50名	566 62.40%	273 30.10%	58 6.39%	8 0.88%	2 0.22%	907 100.00%	4.54	0.676	4.55	0.245
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	－	－	－	－
合計	1,120 68.46%	422 25.79%	83 5.07%	9 0.55%	2 0.12%	1,636 100.00%	4.62	0.621	4.67	0.255

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員一覧

		平成25年度	平成26年度
委員長	副　学　長	青　木　幸　弘	眞　野　　泰
委　員	学生センター所長	桂　木　隆　夫	常　岡　孝　好
委　員	学　長　室　部　長	佐　藤　吉　孝	佐　藤　吉　孝
委　員	法　学　部	小　塚　荘一郎	福　元　健太郎
			庄　司　　香
委　員	経　済　学　部	清　水　大　昌	D.リティシェフ
委　員	文　学　部	野　村　正　人	今　井　久　登
委　員	理　学　部	平　野　琢　也	持　田　邦　夫
委　員	法 務 研 究 科	渕　　圭　吾	長谷部　由起子
委　員	スポーツ・健康科学センター	廣　　紀　江	髙　丸　　功
委　員	計算機センター	久保山　哲　二	横　山　悦　郎
委　員	外国語教育研究センター	志　村　美　加	大　澤　顯　浩
委　員	教　職　課　程	川　口　幸　宏	宮　盛　邦　友
委　員	学芸員課程委員会	荒　川　正　明	荒　川　正　明

学習院大学
平成２５（２０１３）年度「授業評価アンケート」報告書

平成２６年7月１８日発行
編　集　　学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会
発　行　　学習院大学
〒171－8588　東京都豊島区目白１－５－１
TEL　03(3986)0221　代表
お問合せ先：学長室経営企画課